

令和6年度
環境問題に関する県民意識
アンケート報告書
【詳細版】

令和7年2月
群馬県

目次

1 調査の概要.....	1
①調査の目的.....	1
②調査の方法.....	1
③回収状況.....	1
④調査項目概要.....	2
⑤報告書の見方.....	3
2 回答者属性.....	4
3 調査結果.....	7
3-1 調査項目別要旨.....	7
3-2 環境問題に関する関心.....	11
3-2-1 社会問題についての関心度.....	11
3-2-2 環境問題についての関心度.....	15
3-3 身のまわりの環境.....	29
3-3-1 身のまわりの環境の満足度.....	29
3-3-2 身のまわりの生活環境全般の満足度.....	40
3-3-3 身のまわりの環境の5、6年前との変化.....	41
3-3-4 5、6年前と比較した意識・行動の変化.....	43
3-3-5 快適環境確保のために県に求められる取組.....	52
3-4 環境問題に関する情報源.....	65
3-4-1 環境問題に関する情報源.....	65
3-4-2-1 群馬県の発信する環境情報をどこから得ているか.....	68
3-4-2-2 群馬県の発信する環境情報を今後どこから得たいか.....	71
3-4-3 今後、環境に関するどのような情報を知りたいか.....	71
3-5 取組.....	77
3-5-1 環境保全のための現在の取組状況と今後の取組意向.....	77
3-6 地球温暖化防止.....	107
3-6-1 地球温暖化防止のための取組状況と今後の取組意向.....	107
3-6-2 地球温暖化防止のために県に求められる取組.....	131
3-7 生物多様性※1の保全とネイチャーポジティブ(自然再興)※2.....	140
3-7-1 身のまわりの自然環境の5、6年前との変化.....	140
3-7-2 身のまわりの植物や動物の5、6年前との変化.....	141
3-7-3 「自然環境」を保全する活動への参加.....	142
3-7-4 「生物多様性」の認知.....	143
3-7-5 「ネイチャーポジティブ(自然再興)」の認知.....	144
3-7-6 「30by30 目標」の認知.....	145
3-7-7 「生物多様性」の危機と人間社会との関係性の認知.....	146
3-7-8 「生物多様性」の保全のための取組の支持.....	147
4 調査票.....	152

1 調査の概要

①調査の目的

令和3年3月に策定した「群馬県環境基本計画 2021-2030」に基づいて、良好な環境の保全と創造を図るための総合的な環境保全対策を実施していますが、この計画について内容の充実を図るため中間見直しを実施します。

本計画の推進には、県民の参加が重要であり、県民の意見を計画に反映させるため、環境問題に関する県民の意識について、アンケート調査を行い見直しの基礎資料とします。

②調査の方法

- (1) 調査対象
群馬県内在住の満18歳以上の男女2,000人
- (2) サンプルング方法
多段階無作為抽出法（抽出台帳は選挙人名簿）
- (3) 調査方法
郵送配布、郵送回収及びWEB回収（督促状送付1回）
- (4) 調査期間
令和6年9月12日（木）～10月4日（金）

③回収状況

有効回収数：958（回収率：47.9%）

圏域名	市町村	有効回収数	構成比率
1. 前橋圏	前橋市	166	17.3%
2. 渋川圏	渋川市、榛東村、吉岡町	57	5.9%
3. 伊勢崎圏	伊勢崎市、玉村町	108	11.3%
4. 高崎・安中圏	高崎市、安中市	222	23.2%
5. 藤岡圏	藤岡市、上野村、神流町	27	2.8%
6. 富岡圏	富岡市、下仁田町、甘楽町、南牧村	29	3.0%
7. 吾妻圏	中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町	20	2.1%
8. 利根・沼田圏	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町	34	3.5%
9. 太田・館林圏	太田市、館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町	183	19.1%
10. 桐生圏	桐生市、みどり市	71	7.4%
	無回答	41	4.3%
	合 計	958	100.0%

④調査項目概要

質問項目		ねらい
【環境問題に対する関心】		
問 1	(1) 社会問題についての関心度 (2) 環境問題についての関心度	県民の社会・環境問題に対する関心度を把握する。
【身のまわりの環境】		
問 2	(1) 身のまわりの環境の満足度 (2) 生活環境全般の満足度	身のまわりの環境・生活環境全般の満足度を把握。
問 3	(1) 身のまわりの環境 (2) 意識・行動 (3) 実践のきっかけ (4) 実践しない理由	身のまわりの環境について経年変化を比較・検討する。
問 4	県に求められる取組	快適で住みよい環境を確保するための取組を把握する。
【環境問題に関する情報源】		
問 5	環境問題に関する情報源	利用されやすい情報源を把握し、県が情報提供を行う
問 6	県の環境情報をどこから得ているか	県の環境情報をより利用しやすいものにするための検討材料として活用する。
問 7	今後知りたい情報	県が行う情報提供内容の検討材料として活用する。
【取組】		
問 8	環境保全に対する取組	県民レベルでの取組状況と経年推移を把握し、支援策などの検討材料とする。
【地球温暖化防止】		
問 9	地球温暖化防止のための心がけ	県民レベルでの地球温暖化防止策の取組状況と、今後の意向を把握する。
問 10	県に求められる取組	県に求められる重点施策への要望を把握する。
【生物多様性の保全】		
問 11	(1) 自然環境の変化 (2) 植物や動物の変化 (3) 「自然環境」を保全する活動への参加 (4) 「生物多様性」の認知 (5) 「ネイチャーポジティブ(自然再興)」の認知 (6) 「30by30 目標」の認知 (7) 「生態系サービス」「生物多様性」の危機と人間社会との関係性の認知度 (8) 「生物多様性」の保全のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の経年変化に対する意識を確認する。 ・自然環境を保全する活動への参加度を確認する。 ・「生物多様性」、「ネイチャーポジティブ」、「30by30 目標」の認知度を確認する。 ・生態系サービスや生物多様性の危機と人間社会の関係性の認知度を確認する。 ・「生物多様性」の保全のための取組の優先度を確認する。

【属性】	
問 12	(1) 性別 (2) 年齢 (3) 職業 (4) 圏域 (5) 地域の状況 (6) 居住期間 (7) 出身都道府県

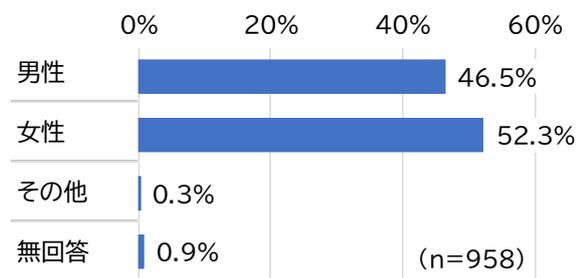
経年変化による比較は、平成 17、22、27、30 年度と行い、平成 18 年度以降に追加された設問については、その年度との比較を行う。

⑤報告書の見方

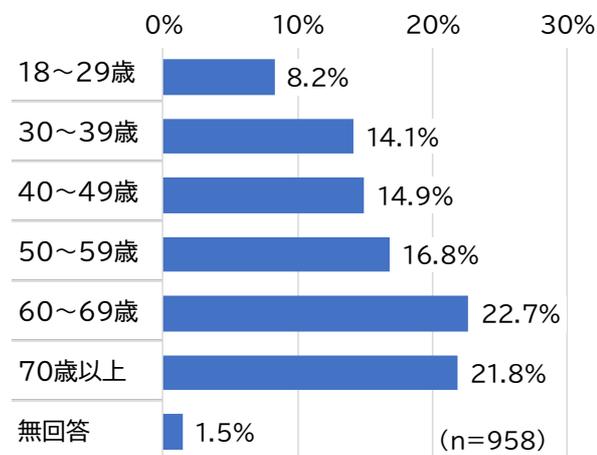
- 1 単数回答の設問における各選択肢の回答割合（比率）は、非該当者を除いた回答者数（「n」で表す当該設問での該当者数）を基数とした百分率（%）で示しています。各数値は、小数点以下第二位を四捨五入して算出しているため、比率の合計は 100%にならない場合があります。
- 2 複数回答の設問における各選択肢の回答割合（比率）は、非該当者を除いた回答者数（「n」で表す当該設問での該当者数）を基数とした百分率（%）で示しています。したがって、比率の合計値は 100%以上となります。
- 3 図や表、本文では、選択肢の一部や数値の一部を省略している場合があります。また、「」（一重かっこ）は 1 項目を示し、『』（二重かっこ）は複数項目をまとめた項目となっています。
- 4 クロス集計、経年推移では、差があるものにコメントしています。

2 回答者属性

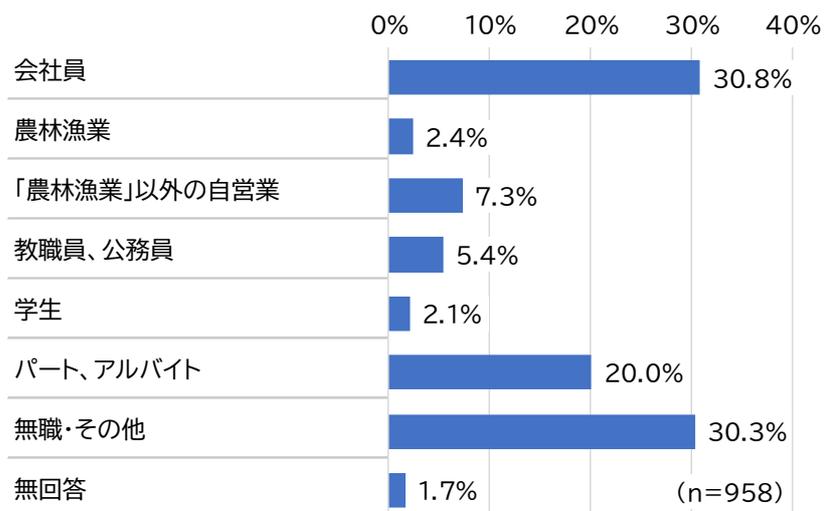
(1) あなたの性別をお答えください。



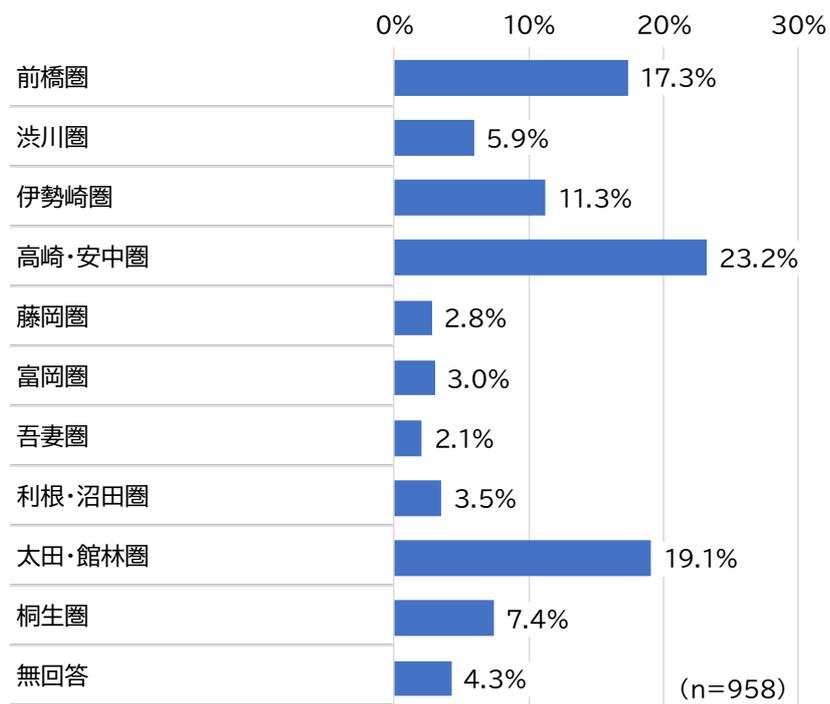
(2) あなたの年齢をお知らせください。



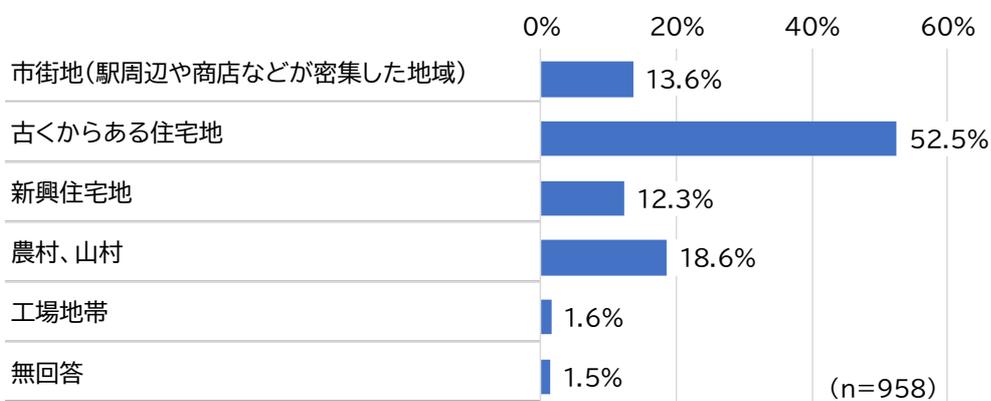
(3) あなたのご職業をお答えください。



(4) あなたのお住まいの市町村をお答えください。

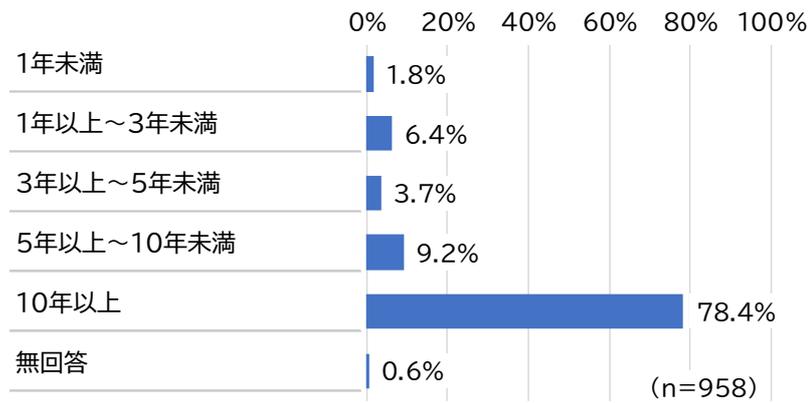


(5) お住まいになっている地域の状況

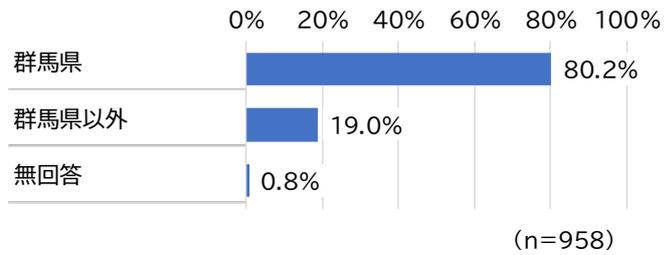


2 回答者属性

(6) あなたは、現在のお住まいに、どのくらいの期間住んでいますか。



(7) あなたは、群馬県出身の方ですか。



3 調査結果

3-1 調査項目別要旨

I 環境問題に対する関心

●環境問題を含めた社会問題

環境問題を含めた社会問題については、「地震、火山、豪雨など、災害に関する問題」が46.3%と最も多く、次いで「増加する要介護高齢者や障害者の支援など、福祉に関する問題」が35.2%、「経済の活性化や、産業振興など、経済に関する問題」が30.3%となっています。

●環境問題への関心

環境問題への関心については、「非常に関心がある」「関心がある」を合わせた『関心がある』では、「19. 自然災害（農作物被害や感染症の流行拡大を含む）の原因となる異常気象」が94.8%と最も多く、次いで「18. 気温上昇による熱中症被害」が93.9%、「1. 二酸化炭素などによる地球温暖化」が92.1%となっています。

II 身のまわりの環境

●生活環境についての満足度

生活環境についての満足度については、「満足している」「やや満足している」を合わせた『満足している』（以下同様）では、「2. 日あたり」が85.0%と最も多く、次いで「1. 空気のさわやかさ」が70.3%、「3. のんびり歩ける空間」が66.5%となっています。

●自然環境についての満足度

自然環境についての満足度については、『満足している』では、「11. 緑の豊かさ」が66.0%と最も多く、次いで「13. 自然景観の美しさ」が53.4%、「15. 星空の美しさ」が53.0%となっています。

●その他の満足度

その他の満足度については、『満足している』では、「17. 安全で安定的なエネルギーの供給」が40.1%と最も多くとなっています。

●身のまわりの生活環境全般の満足度

身のまわりの生活環境全般の満足度については、『満足している』が62.0%となっています。

●5、6年前と比べた環境の変化

5、6年前と比べた環境の変化については、「良くなった」「少し良くなった」を合わせた『良くなった』が22.3%となっています。一方、「少し悪くなった」「悪くなった」を合わせた『悪くなった』（以下同様）は30.9%となっています。

●5、6年前と比べた環境に対する意識や行動

5、6年前と比べた環境に対する意識は、「少し関心が深まった、またはその状態を継続している」が41.9%、行動では、「どちらともいえない、またはその状態を継続している」が35.0%となっています。

●快適で住みよい環境を確保していくために、群馬県として重要だと思う生活環境についての取組

重要だと思う生活環境についての取組は、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』（以下同様）では、「4. 水道水のおいしさ」が87.1%と最も多く、次いで「7. 住まいのまわりの清潔さ」が87.0%となっています。

●快適で住みよい環境を確保していくために、群馬県として重要だと思う自然環境についての取組
重要だと思う自然環境についての取組は、『重要』では、「10. 河川や湖沼のきれいさ」が86.5%と最も多く、次いで「11. 緑の豊かさ」が84.5%、「13. 自然景観の美しさ」が82.0%となっています。

●快適で住みよい環境を確保していくために、群馬県として重要だと思うその他の環境についての取組

重要だと思うその他の環境についての取組は、『重要』では、「17. 安全で安定的なエネルギーの供給」が87.0%となっています。

Ⅲ 環境問題に関する情報源

●自然環境や身近な生活環境に関する情報の取得方法

自然環境や身近な生活環境に関する情報の取得方法については、「新聞やテレビなどを通じて」が80.6%と最も多く、次いで「インターネット・SNSを通じて」が52.6%、「回覧板や県・市町村の広報などを通じて」が42.5%となっています。

●群馬県の発信する環境情報

県の環境に関する情報源については、「市町村の広報誌」が49.1%と最も多く、次いで「県の広報誌（ぐんま広報）」が40.7%、「群馬テレビの県政ガイド」が21.0%となっています。

今後、県の環境に関する情報源を得たいと思うところについては、「市町村の広報誌」が53.9%と最も多く、次いで「県の広報誌（ぐんま広報）」が40.2%、「LINE や Instagram、X(旧 Twitter)などのSNS」が32.6%となっています。

●今後、知りたい環境に関する情報

今後、知りたい環境に関する情報については、「地域の自然環境やゴミ問題など、身近な環境問題について」が64.0%と最も多く、次いで「行政が取り組んでいる、環境に対する施策や取組について」が51.5%、「普段の生活の中で、自分でできる環境保全の方法について」が47.1%となっています。

Ⅳ 取組

●環境保全のために、現在心がけていること

環境保全のために、現在心がけていることについては、「常に実行している」「時々実行している」を合わせた『実行している』では、「7. 買物にはマイバッグ等を持参し、むだなレジ袋等を断る」が93.6%と最も多く、次いで「2. 電気・ガス・水道等の節約に努めている」「12. 資源ごみは分別して資源回収、店頭回収や廃品回収等を利用してリサイクルしている」がともに92.8%となっています。

環境保全のために、今後心がけていきたいことについては、「今後も(今後は)行っていきたい」では、「2. 電気・ガス・水道等の節約に努めている」が89.7%と最も多く、次いで「7. 買物にはマイバッグ等を持参し、むだなレジ袋等を断る」が89.1%、「12. 資源ごみは分別して資源回収、店頭回収や廃品回収等を利用してリサイクルしている」が87.9%となっています。

V 地球温暖化防止

●地球温暖化防止のために、現在心がけていること

地球温暖化防止のために、現在心がけていることについては、「常に実行している」「時々実行している」を合わせた『実行している』では、「4. 照明器具や電気機器をこまめに消す、主電源を切って待機電力を削減するなどに努める」が91.0%と最も多く、次いで「3. 車を使用するときには、不要なアイドリング・急発進・急加速はしない」が90.0%、「10. 身体や髪・手を洗っている間、水やお湯を出しっぱなしにしないように努める」が89.9%となっています。

地球温暖化防止のために、今後心がけていきたいことについては、「今後も(今後は)行っていきたい」では、「3. 車を使用するときには、不要なアイドリング・急発進・急加速はしない」が86.0%と最も多く、次いで「10. 身体や髪・手を洗っている間、水やお湯を出しっぱなしにしないように努める」が84.9%と「4. 照明器具や電気機器をこまめに消す、主電源を切って待機電力を削減するなどに努める」が84.8%となっています。

●地球温暖化防止のため、群馬県として必要な取組

地球温暖化防止のため、群馬県として必要な取組については、「とても必要」「どちらかと言えば必要」を合わせた『必要』では、「8. 森林の適切な管理・利用や緑化対策の推進」が84.5%と最も多く、次いで「1. 省エネルギー機器や省エネ型建築物等の普及促進」が83.4%、「3. 燃費効率のよい自動車やハイブリッド車、天然ガス車、電気自動車など低公害車の普及促進」が79.5%となっています。

VI 生物多様性※1の保全とネイチャーポジティブ（自然再興）※2

●5、6年前と比べた身近な自然環境の変化

5、6年前と比べて、身近な自然環境が少なくなってきたと思うかでは、「思う」「少し思う」を合わせた『思う』が65.8%となっています。

●5、6年前と比べた身近な野生の植物や動物の種類の変化

5、6年前と比べて、身近な野生の植物や動物の種類が変わってきたと思うかでは、「思う」「少し思う」を合わせた『思う』が66.3%となっています。

●「自然環境」を保全する活動への参加

「自然環境」を保全する活動への参加については、「参加したことはなく、今後も参加したくない」が38.9%と最も多く、次いで「参加したことはないが、今後参加してみたい」が32.0%となっています。

●「生物多様性」という言葉の認知

「生物多様性」という言葉の認知については、「よく知っている」「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」を合わせた『知っている』は、69.1%となっています。

●「ネイチャーポジティブ（自然再興）」という言葉の認知

「ネイチャーポジティブ（自然再興）」という言葉の認知については、「よく知っている」「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」を合わせた『知っている』は、38.4%となっています。

●「30by30 目標※3」という言葉の認知

「30by30 目標」という言葉の認知については、「よく知っている」「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」を合わせた『知っている』は、13.9%となっています。

●「生物多様性」による人類への恩恵（生態系サービス※4）や、生物多様性の危機と人間社会との関係性についての認知

「生物多様性」による人類への恩恵や、生物多様性の危機と人間社会との関係性についての認知については、「よく知っている」「だいたい知っている」を合わせた『知っている』は、17.8%となっています。

●「生物多様性」の保全のための取組の支持

「生物多様性」の保全のための取組の支持については、「生活の便利さが制限されない程度に、生物が生息等できる環境の保全を進める」が59.2%となっています。

- ※1 「生物多様性」とは、全ての生物の間の変異性のことを意味し、種、遺伝子、生態系の3つのレベルでの多様性があるとされています。
- ※2 「ネイチャーポジティブ（自然再興）」とは、今の地球は過去と比べて非常に速い速度で生物が絶滅していく「マイナス」の状態だが、自然が豊かになっていく「プラス」の状態へと反転させることをいいます。
- ※3 「30by30 目標」とは、陸と海のそれぞれで30%以上の面積で、健全な生態系を保全する目標をいいます。
- ※4 「生態系サービス」とは、私たちが当たり前だと思っている毎日の食事や医療、産業、防災や文化に至るまで、生態系サービスに支えられています。

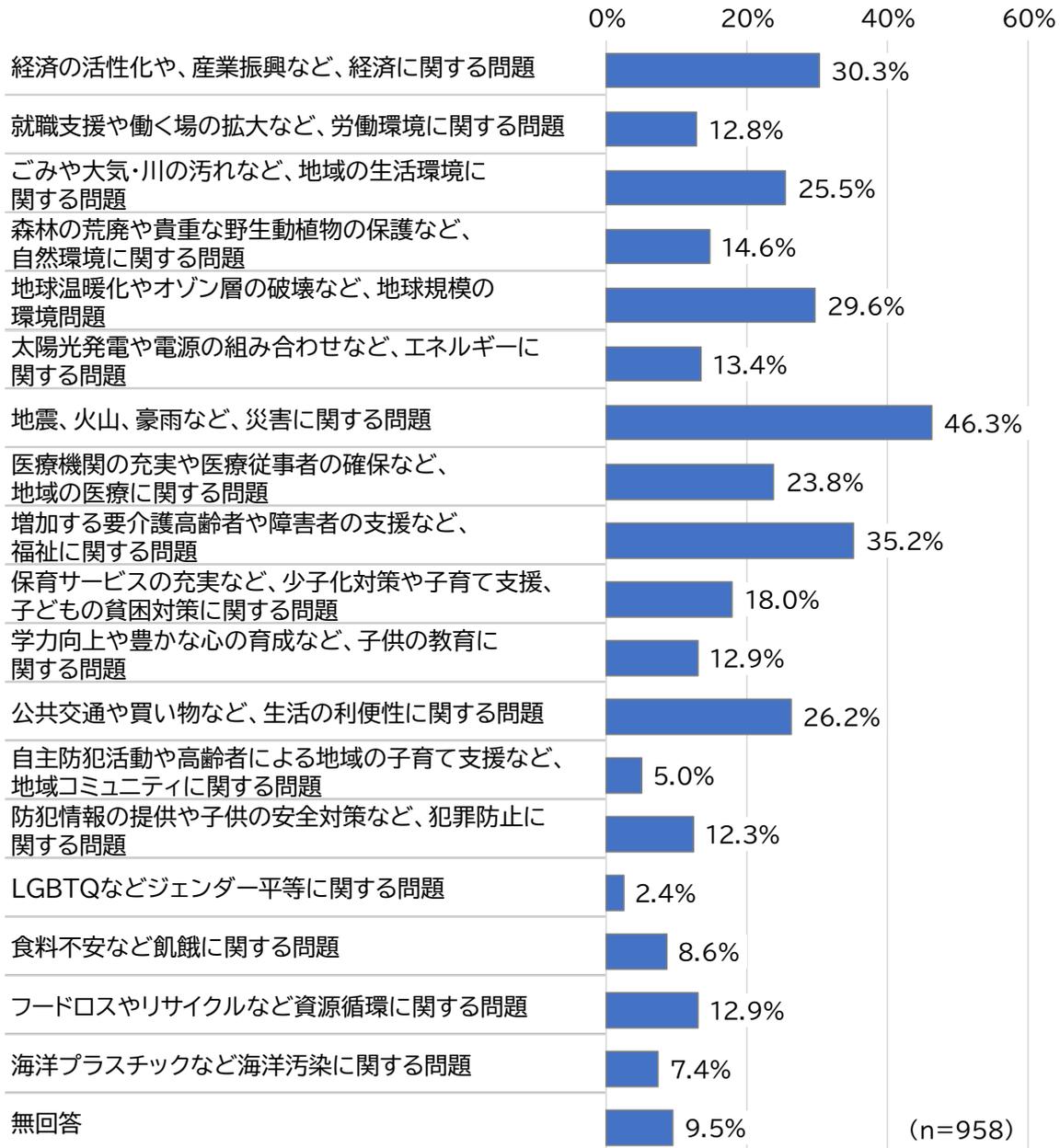
3-2 環境問題に関する関心

3-2-1 社会問題についての関心度

問1 環境問題を含めた社会問題について、お聞きします。

(1)以下の社会問題について、あなたが特に関心をお持ちの問題を4つまで選び、あてはまる番号に○をつけてください。(○は4つまで)

◆R6年度傾向

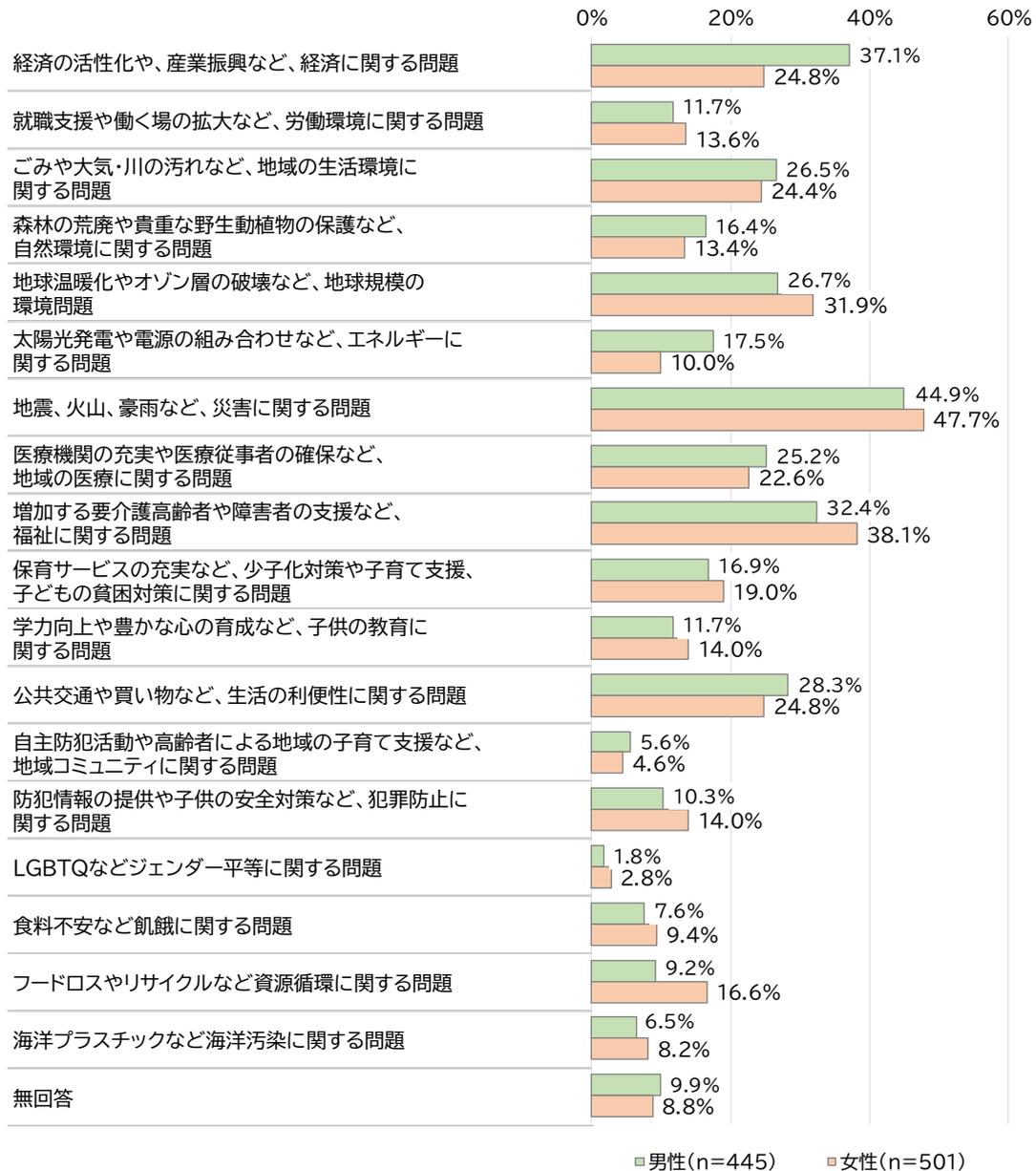


3 調査結果

◆男女別

男女別でみると、「経済の活性化や、産業振興など、経済に関する問題」が12.3ポイント、「太陽光発電や電源の組み合わせなど、エネルギーに関する問題」が7.5ポイント女性より男性の意識が高いことがわかります。

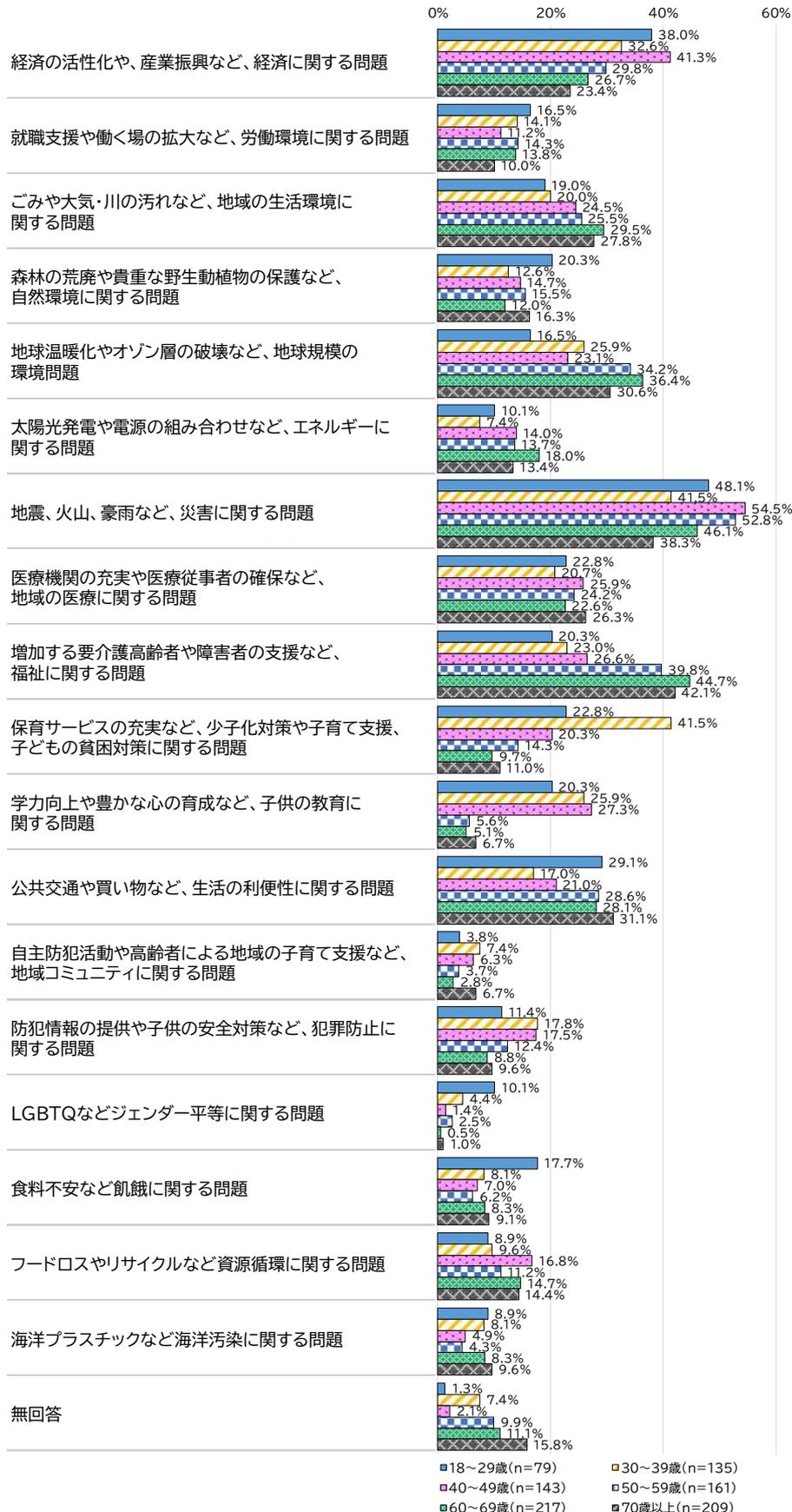
一方、「フードロスやリサイクルなど資源循環に関する問題」が7.4ポイント男性より女性の意識が高いことがわかります。



◆年代別

年代別でみると、「地震、火山、豪雨など、災害に関する問題」が40代、50代で5割を超え、「保育サービスの充実など、少子化対策や子育て支援、子どもの貧困対策に関する問題」は30代で4割を超え高くなっています。

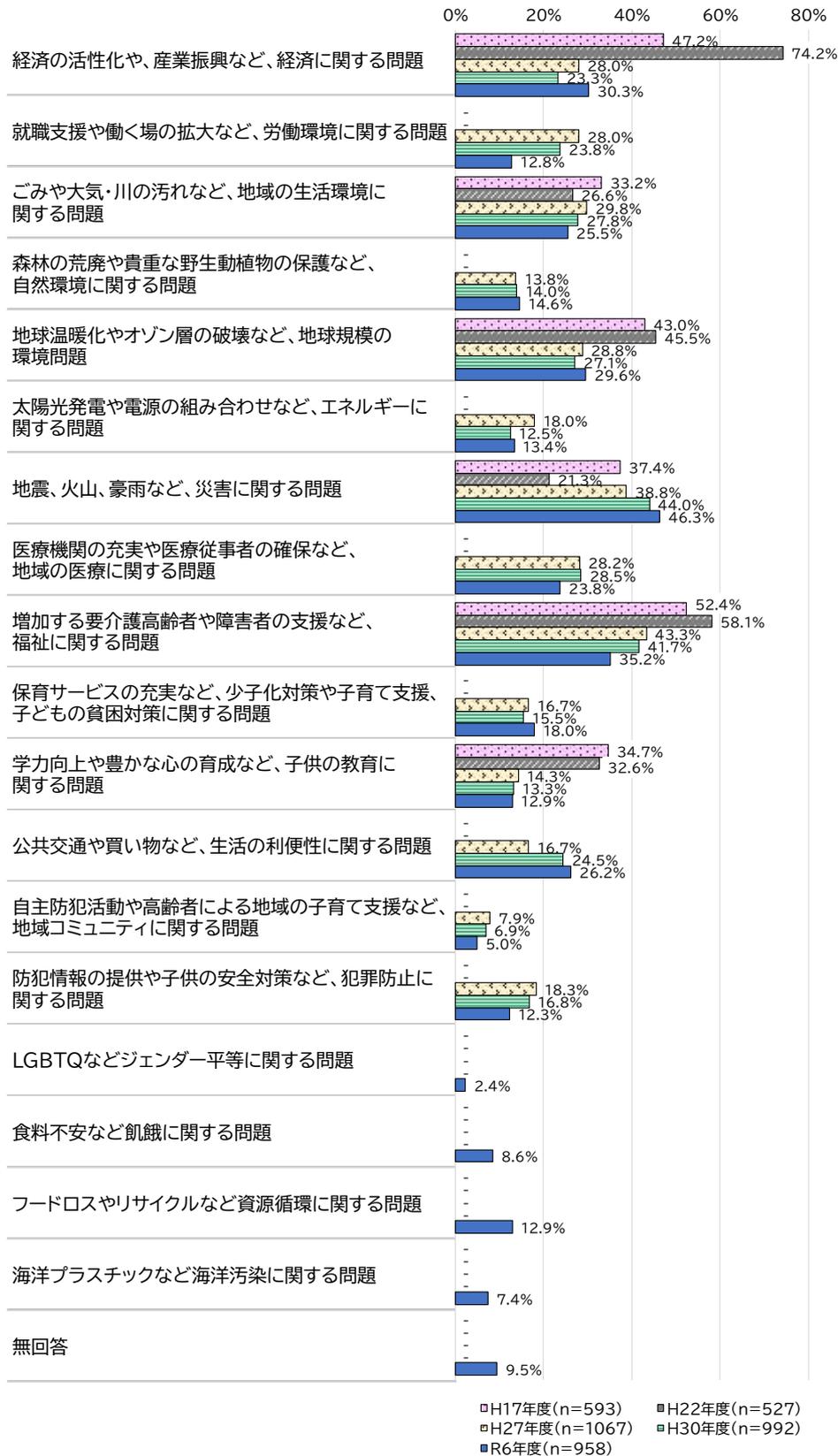
また、「経済の活性化や、産業振興など、経済に関する問題」は年代が若いほど高くなり、「増加する要介護高齢者や障害者の支援など、福祉に関する問題」は年代が上がるほど高い傾向となっています。



3 調査結果

◆経年推移

経年比較すると、「地震、火山、豪雨など、災害に関する問題」「公共交通や買い物など、生活の利便性に関する問題」が調査ごとに高くなる傾向となっています。



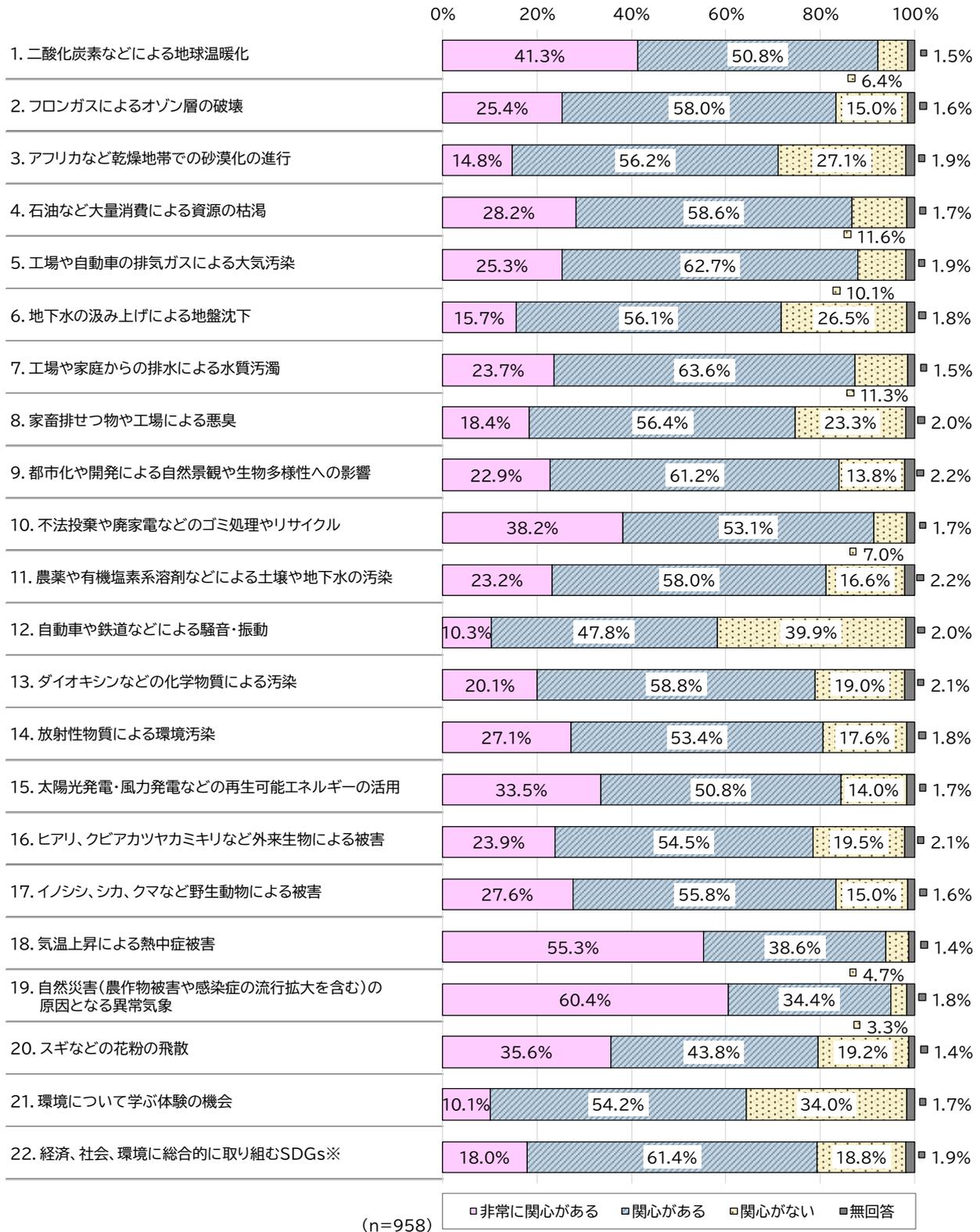
※グラフ内の「-」は、前回調査なし

3-2-2 環境問題についての関心度

(2)環境問題への関心について、お聞きます。

環境問題には様々な内容がありますが、あなたは以下の環境問題にどの程度関心をお持ちですか。それぞれの問題について、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

◆R6年度傾向



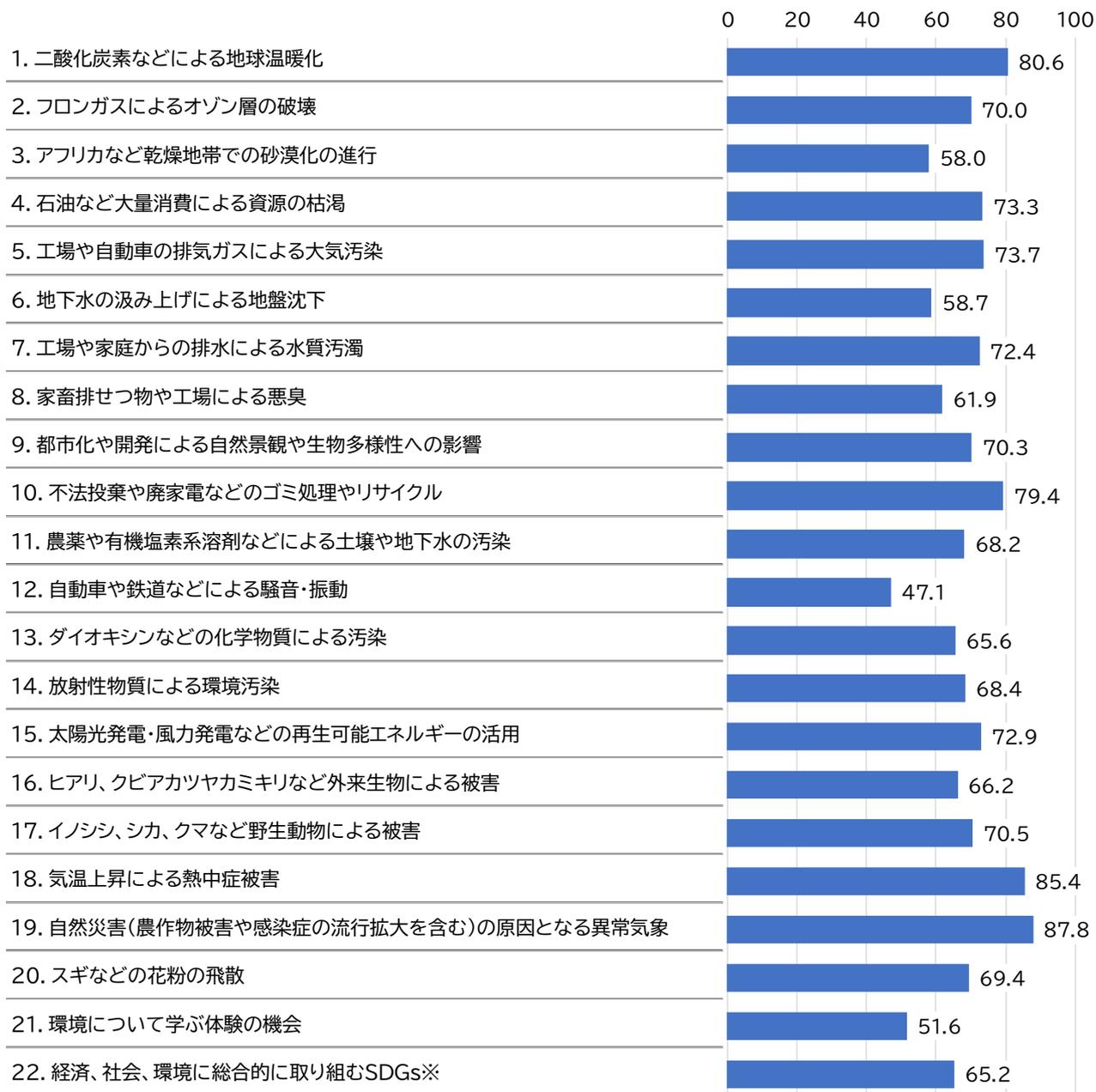
※SDGs(持続可能な開発目標)…「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。

◆加重平均

加重平均の求め方

「非常に関心がある」=100点、「関心がある」=75点、「関心がない」=0点とし加重を与え、指標化

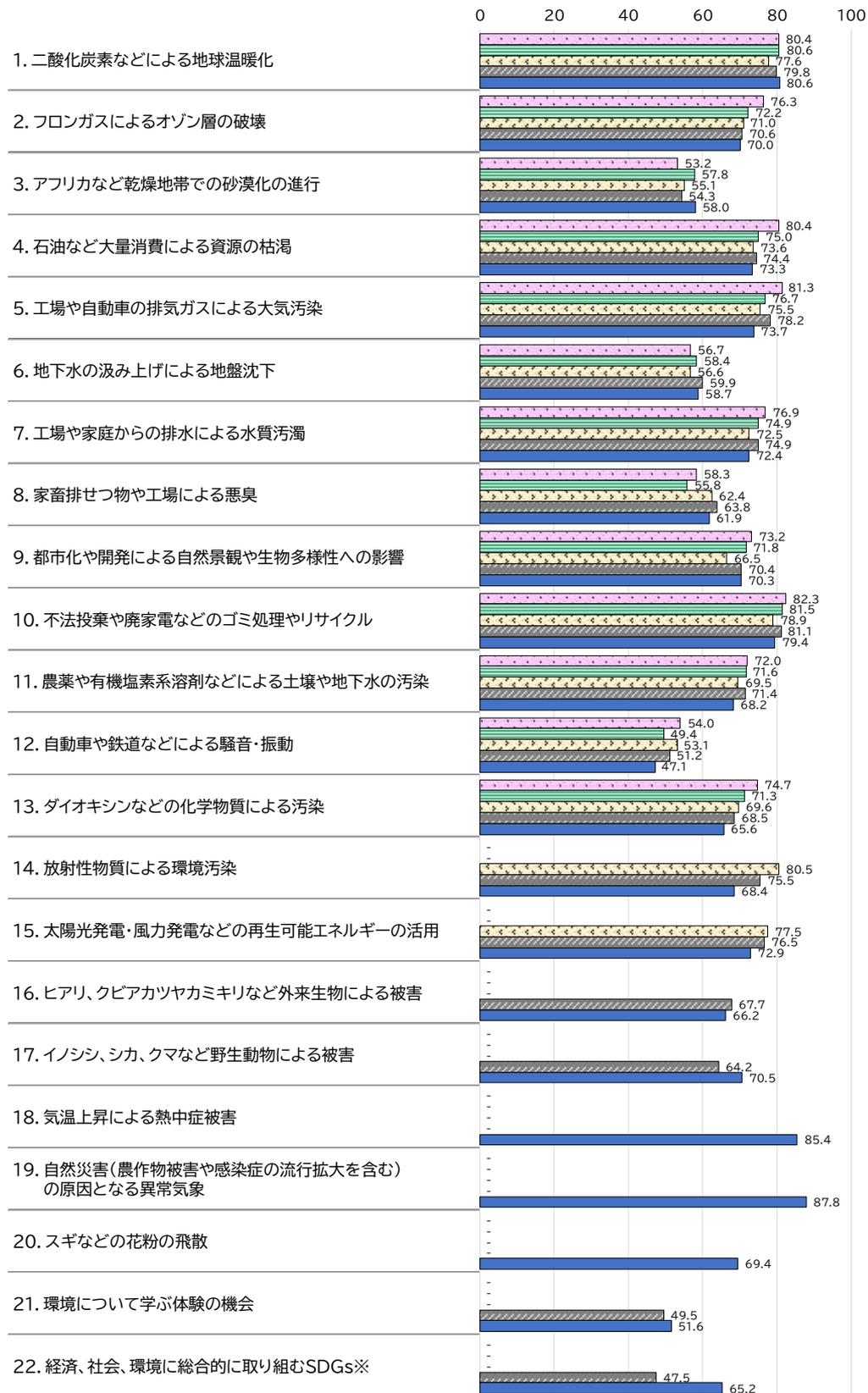
加重平均でみると、「19. 自然災害（農作物被害や感染症の流行拡大を含む）の原因となる異常気象（87.8）」「18. 気温上昇による熱中症被害（85.4）」「1. 二酸化炭素などによる地球温暖化（80.6）」がそれぞれ80点を超え、関心度が高くなっています。



◆経年推移（加重平均）

経年比較すると、「1. 二酸化炭素などによる地球温暖化」が変わらず高いものの今回新規の項目を除くとそれぞれやや減少傾向にあります。

一方、前回調査からの項目で「17. イノシシ、シカ、クマなど野生動物による被害」「22. 経済、社会、環境に総合的に取り組むSDGs」は、意識が高くなっています。



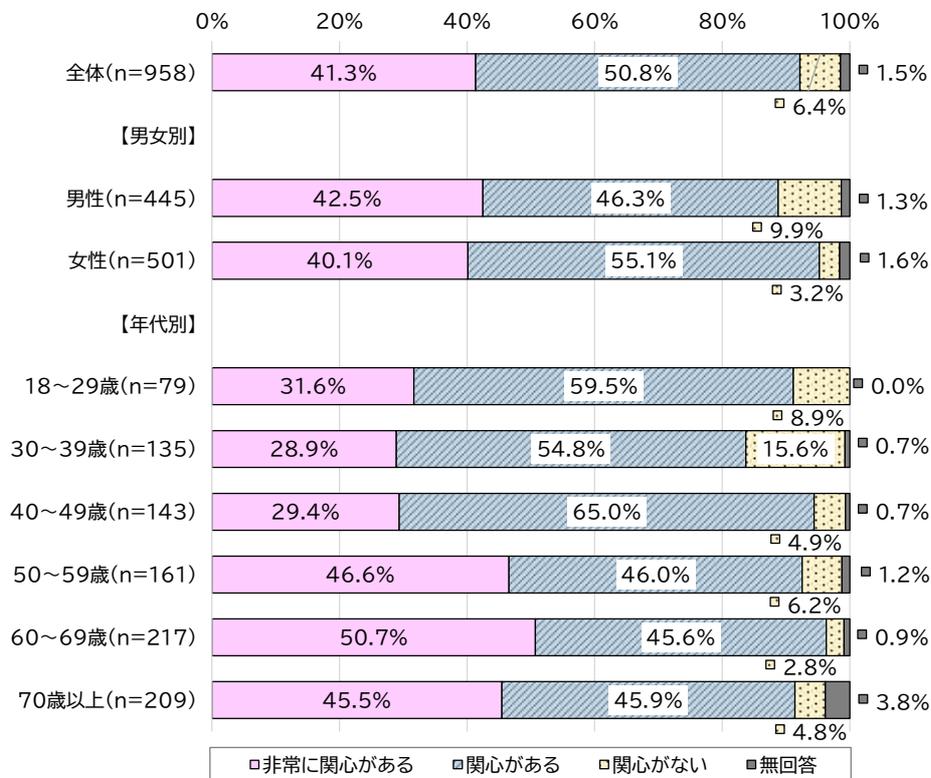
※グラフ内の「-」は、前回調査なし

□ H17年度 (n=593) □ H22年度 (n=527)
 □ H27年度 (n=1,057) □ H30年度 (n=992)
 ■ R6年度 (n=958)

1. 二酸化炭素などによる地球温暖化

◆男女別・年代別

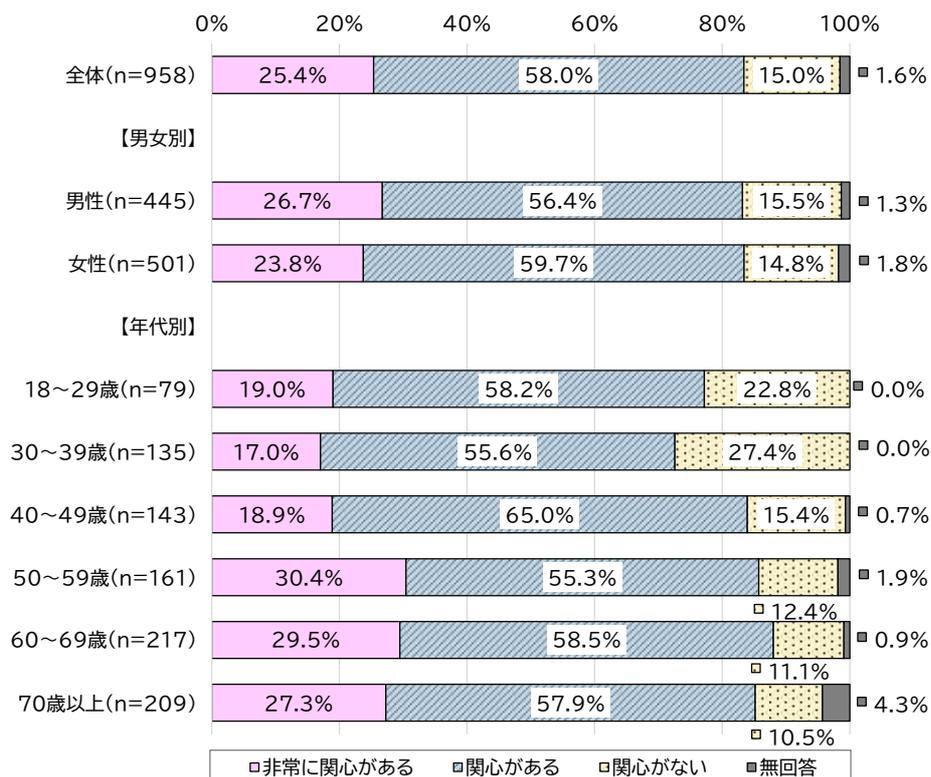
男女別でみると、『関心がある』は、男性よりも女性が6.4ポイント高くなっています。
年代別でみると、「非常に関心がある」は、『50代以上』で4割を超え高くなっています。



2. フロンガスによるオゾン層の破壊

◆男女別・年代別

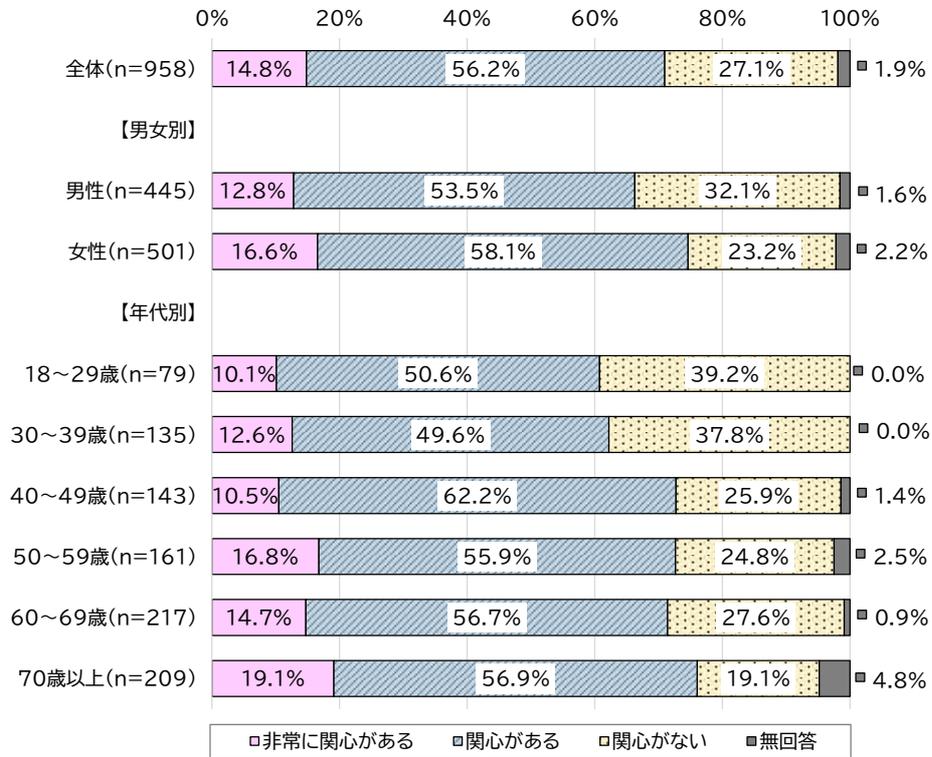
年代別でみると、「非常に関心がある」は、「50代以上」で約3割となっています。



3. アフリカなど乾燥地帯での砂漠化の進行

◆男女別・年代別

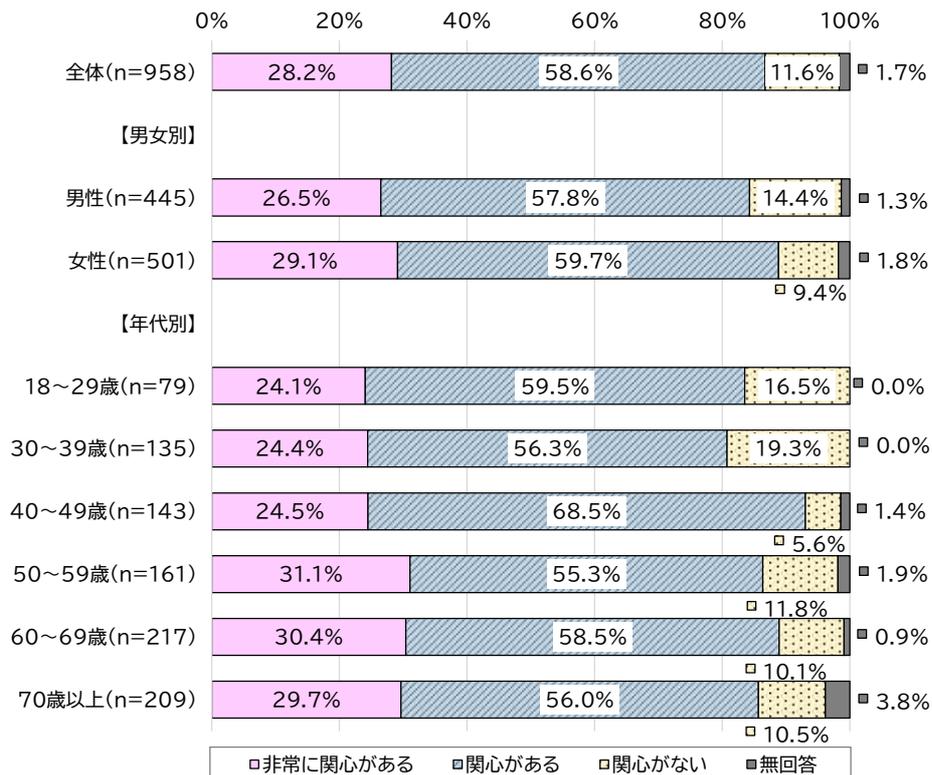
男女別で見ると、『関心がある』は、男性よりも女性が8.4ポイント高くなっています。



4. 石油など大量消費による資源の枯渇

◆男女別・年代別

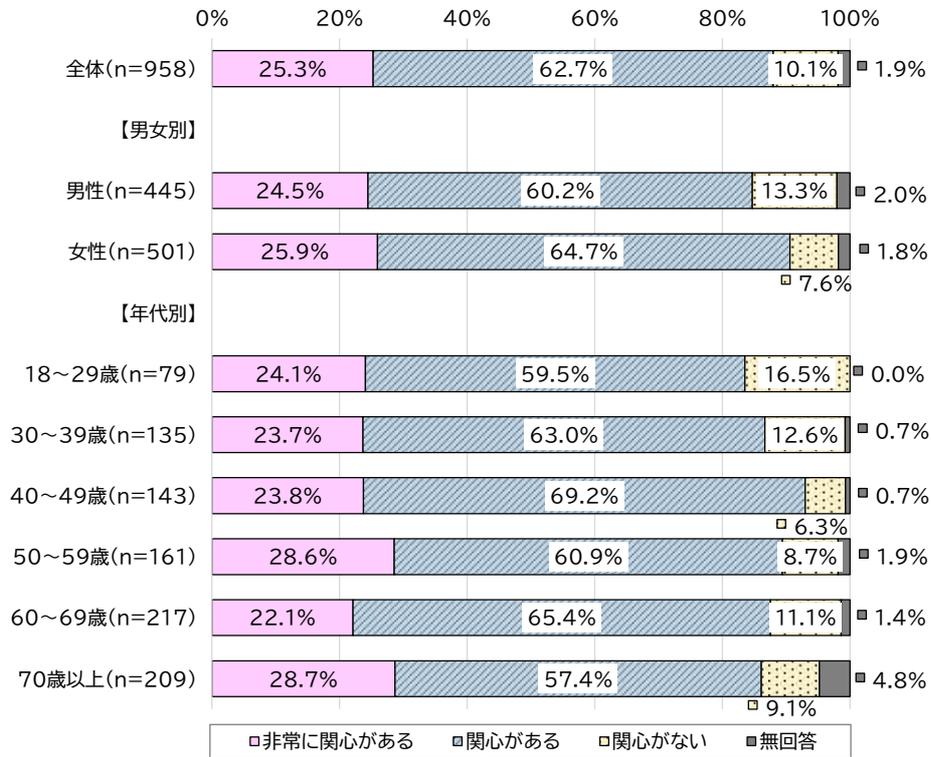
年代別で見ると、「非常に関心がある」は、『50代以上』で約3割となっています。



5. 工場や自動車の排気ガスによる大気汚染

◆男女別・年代別

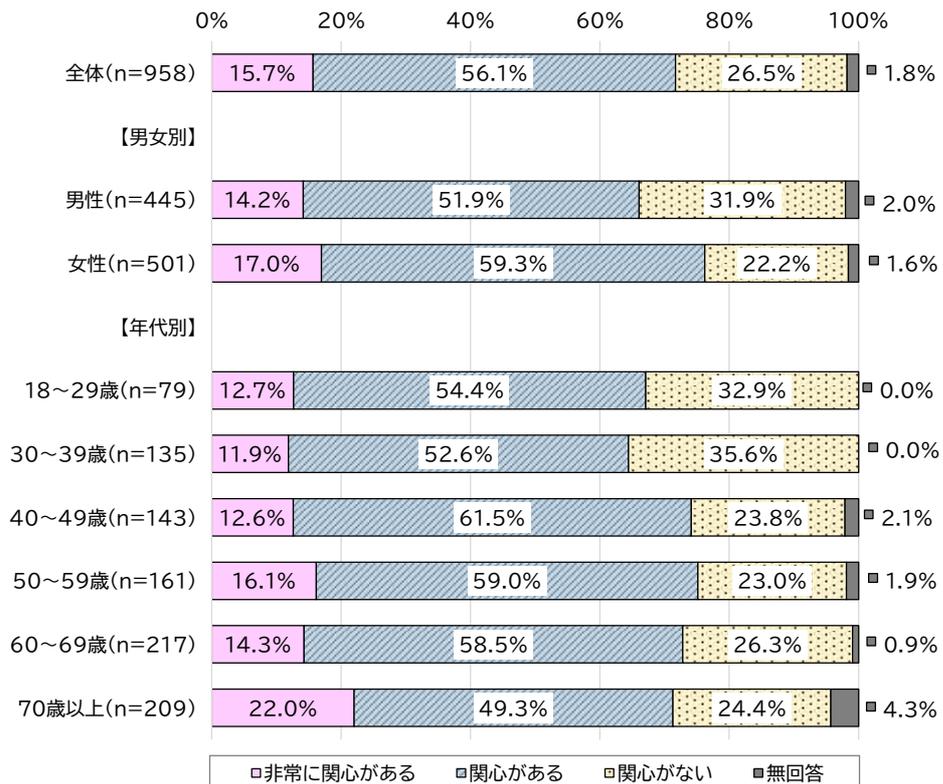
男女別で見ると、『関心がある』は、男性よりも女性が5.9ポイント高くなっています。



6. 地下水の汲み上げによる地盤沈下

◆男女別・年代別

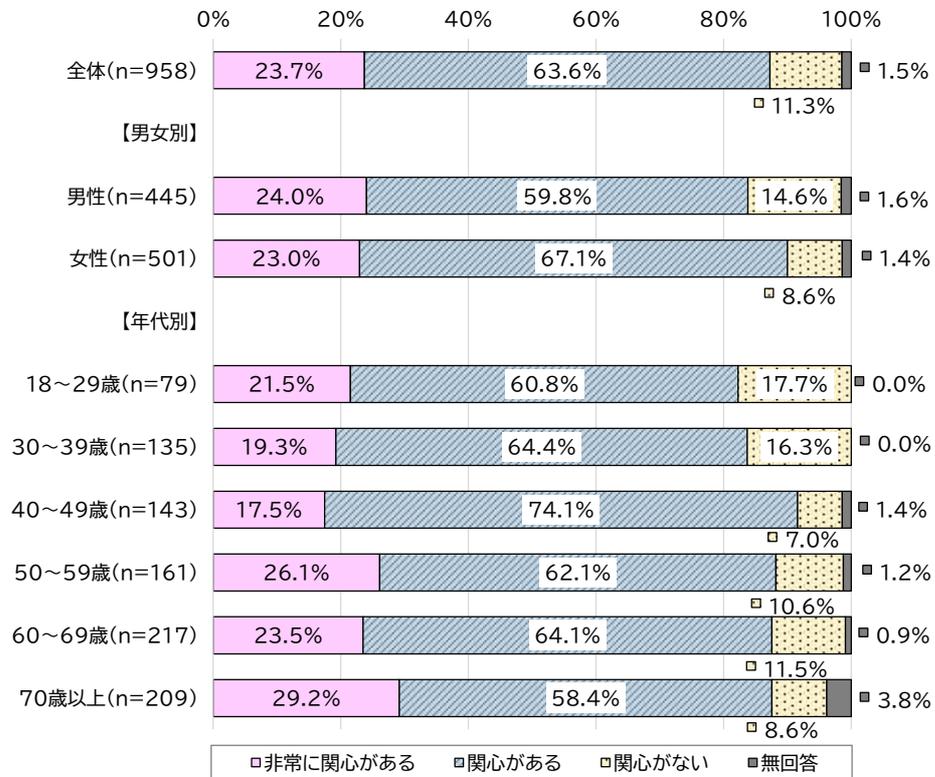
男女別で見ると、『関心がある』は、男性よりも女性が10.2ポイント高くなっています。



7. 工場や家庭からの排水による水質汚濁

◆男女別・年代別

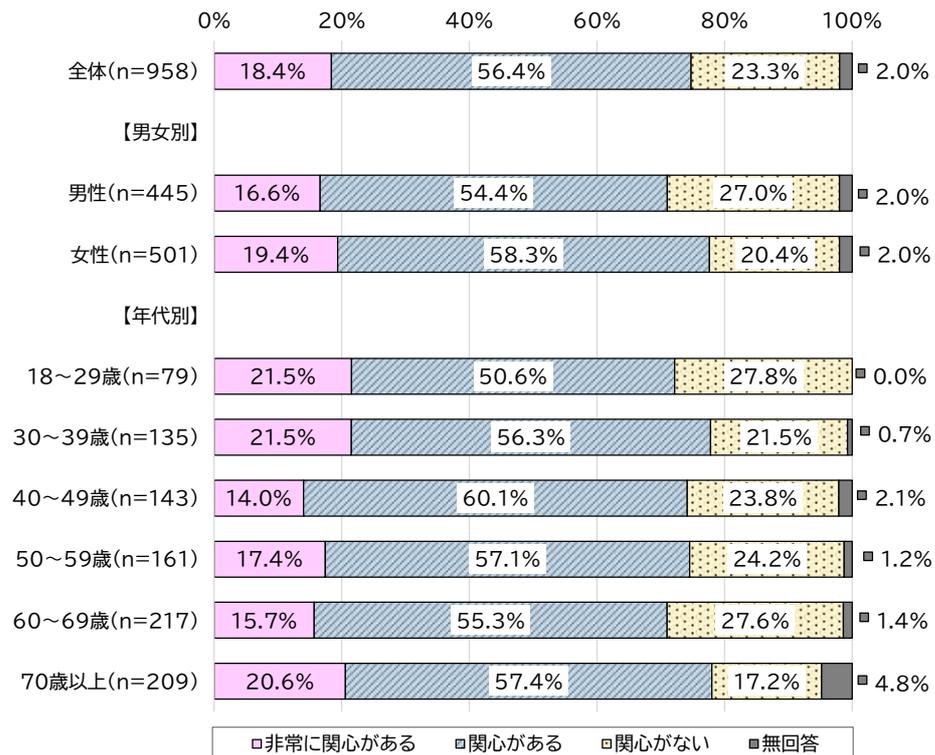
男女別で見ると、『関心がある』は、男性よりも女性が6.3ポイント高くなっています。



8. 家畜排せつ物や工場による悪臭

◆男女別・年代別

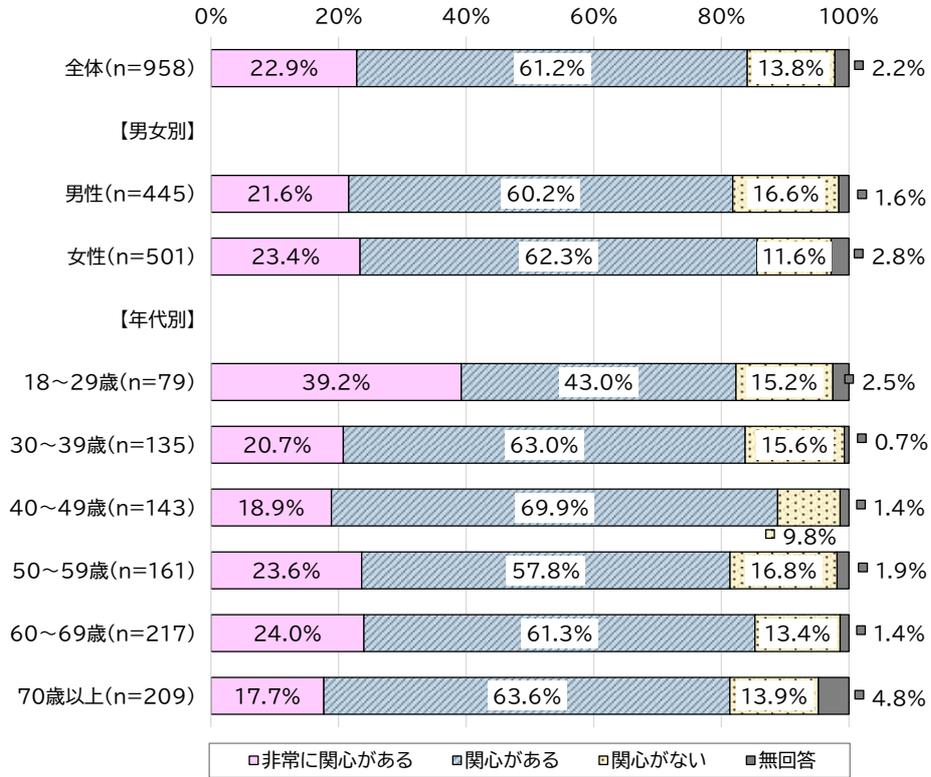
男女別で見ると、『関心がある』は、男性よりも女性が6.7ポイント高くなっています。



9. 都市化や開発による自然景観や生物多様性への影響

◆男女別・年代別

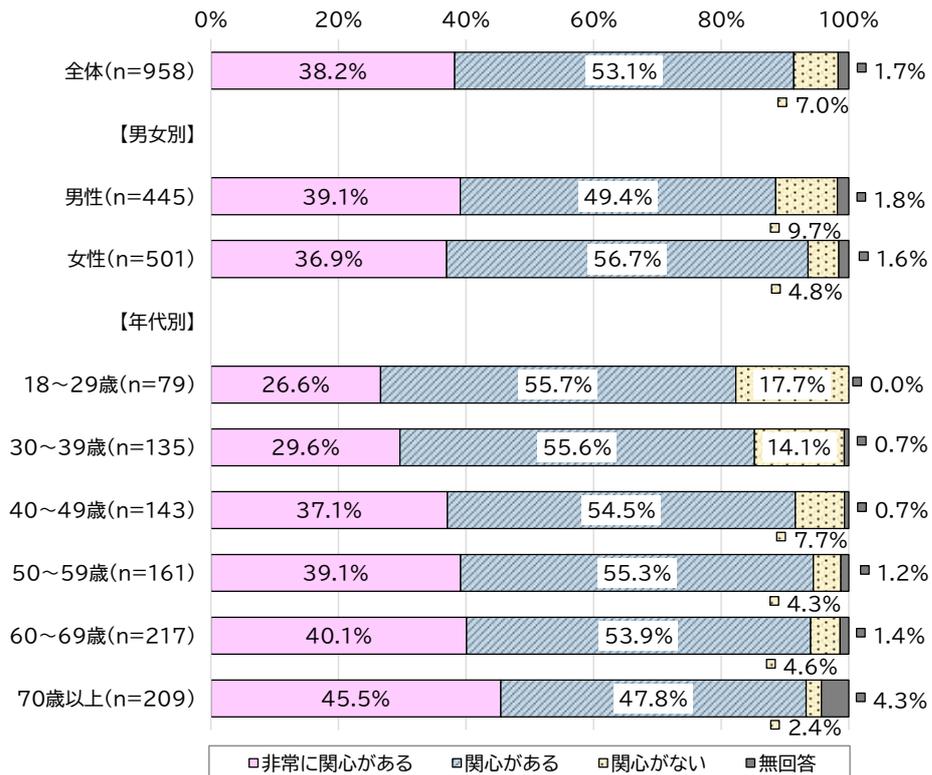
年代別でみると、「非常に興味がある」は、「18～20代」で約4割となっています。



10. 不法投棄や廃家電などのゴミ処理やリサイクル

◆男女別・年代別

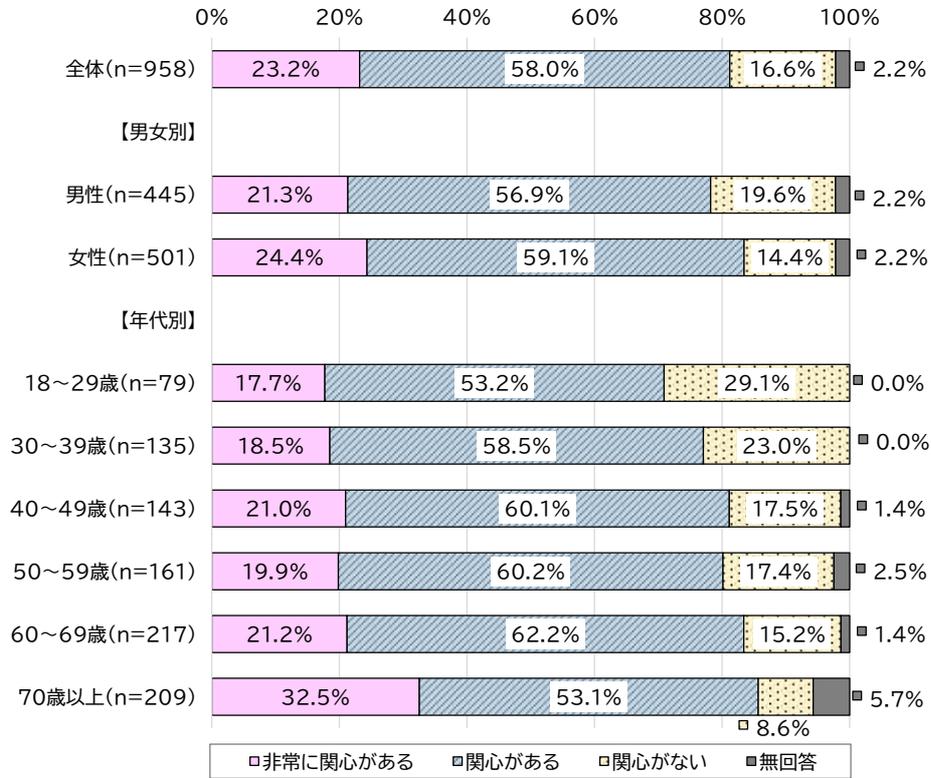
男女別でみると、『興味がある』は、男性よりも女性が5.1ポイント高くなっています。年代別でみると、「非常に興味がある」は、年代が上がるほど高い傾向となっています。



11. 農薬や有機塩素系溶剤などによる土壌や地下水の汚染

◆男女別・年代別

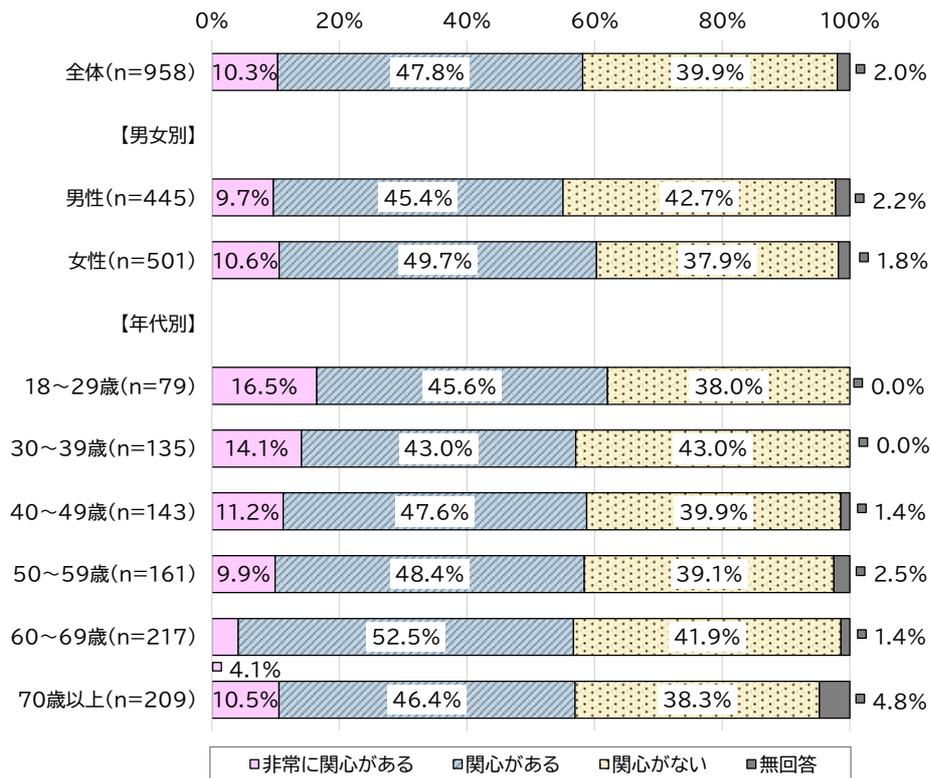
男女別で見ると、『関心がある』は、男性よりも女性が5.3ポイント高くなっています。
年代別で見ると、「非常に関心がある」は、「70歳以上」で3割を超えています。



12. 自動車や鉄道などによる騒音・振動

◆男女別・年代別

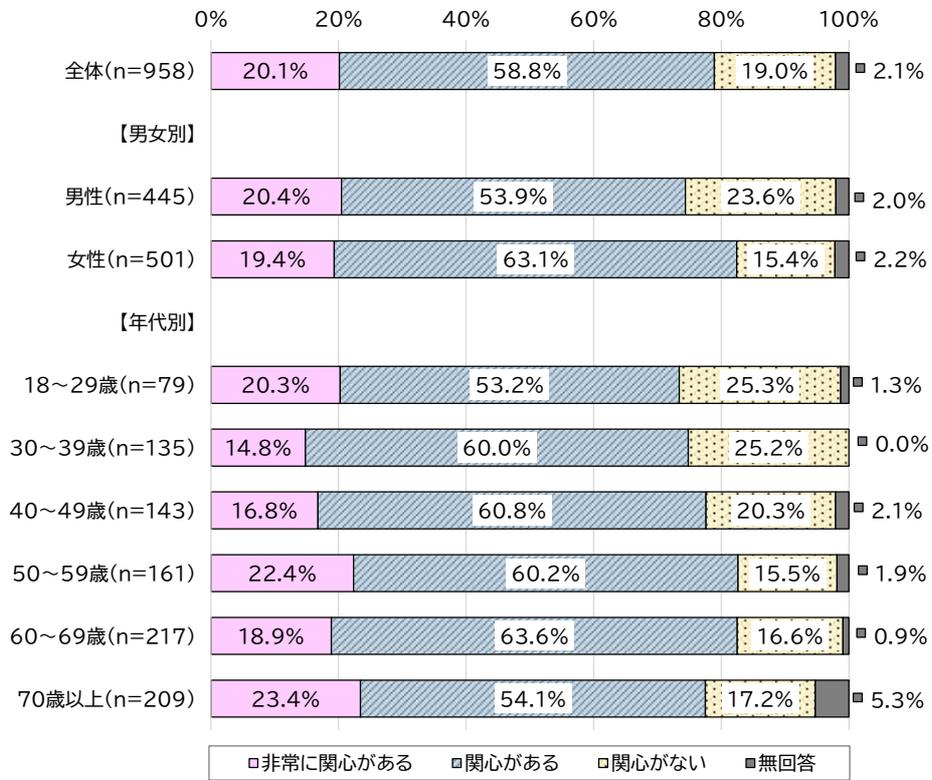
男女別で見ると、『関心がある』は、男性よりも女性が5.2ポイント高くなっています。



13. ダイオキシンなどの化学物質による汚染

◆男女別・年代別

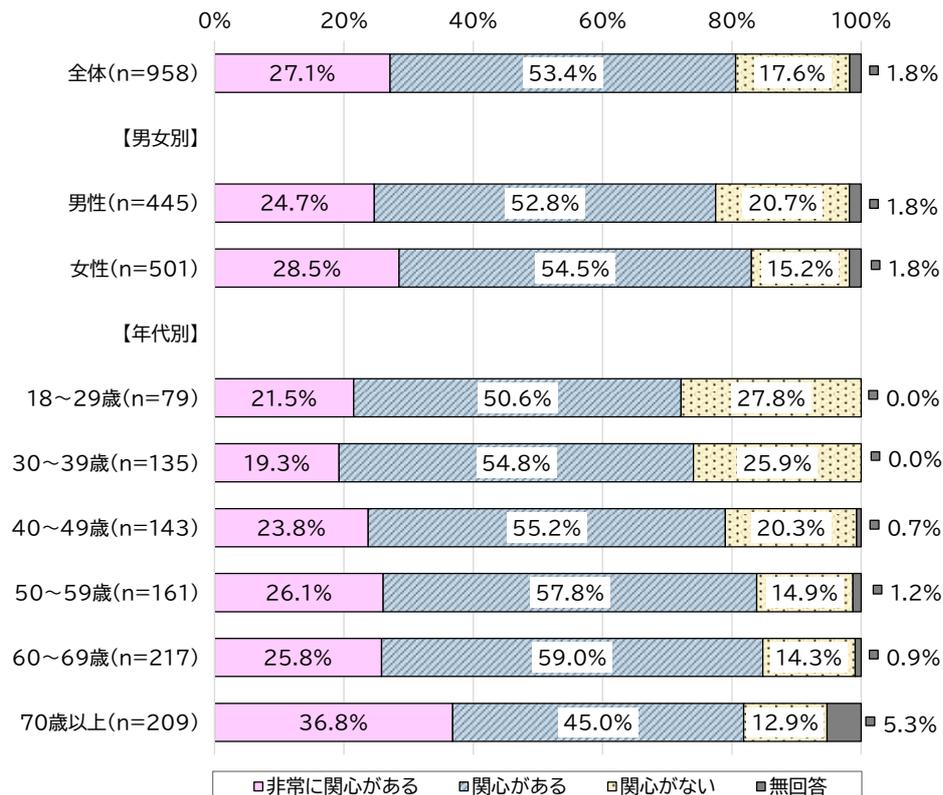
男女別で見ると、『関心がある』は、男性よりも女性が8.2ポイント高くなっています。
年代別で見ると、『関心がある』は、『50～60代』で8割を超え高くなっています。



14. 放射性物質による環境汚染

◆男女別・年代別

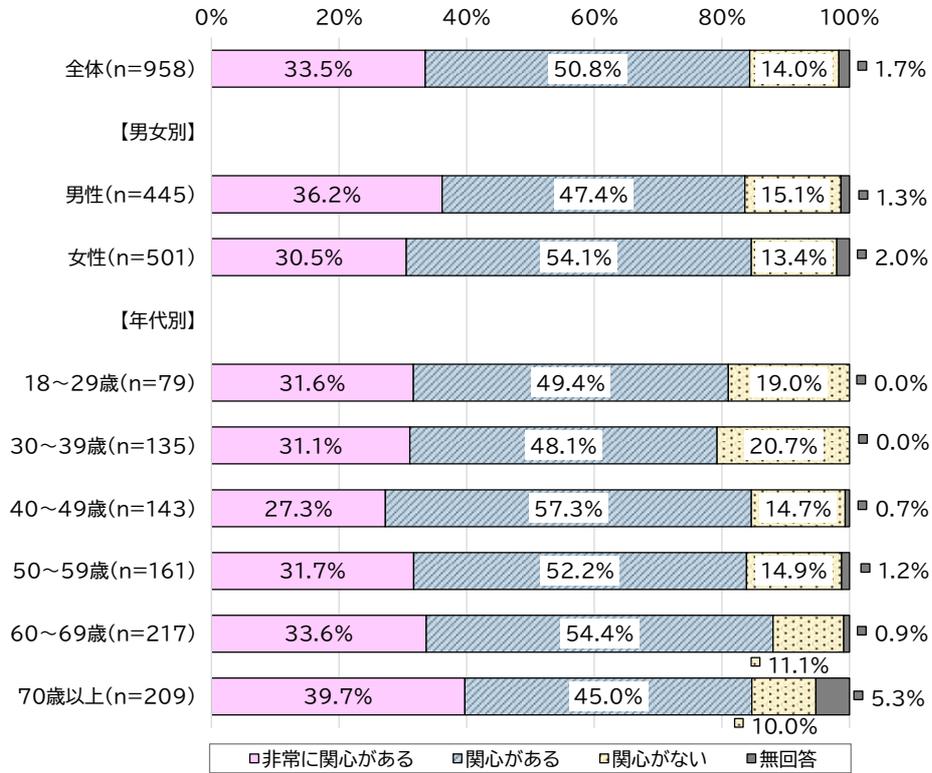
男女別で見ると、『関心がある』は、男性よりも女性が5.5ポイント高くなっています。
年代別で見ると、「非常に興味がある」は、「70歳以上」で3割を超えています。



15. 太陽光発電・風力発電などの再生可能エネルギーの活用

◆男女別・年代別

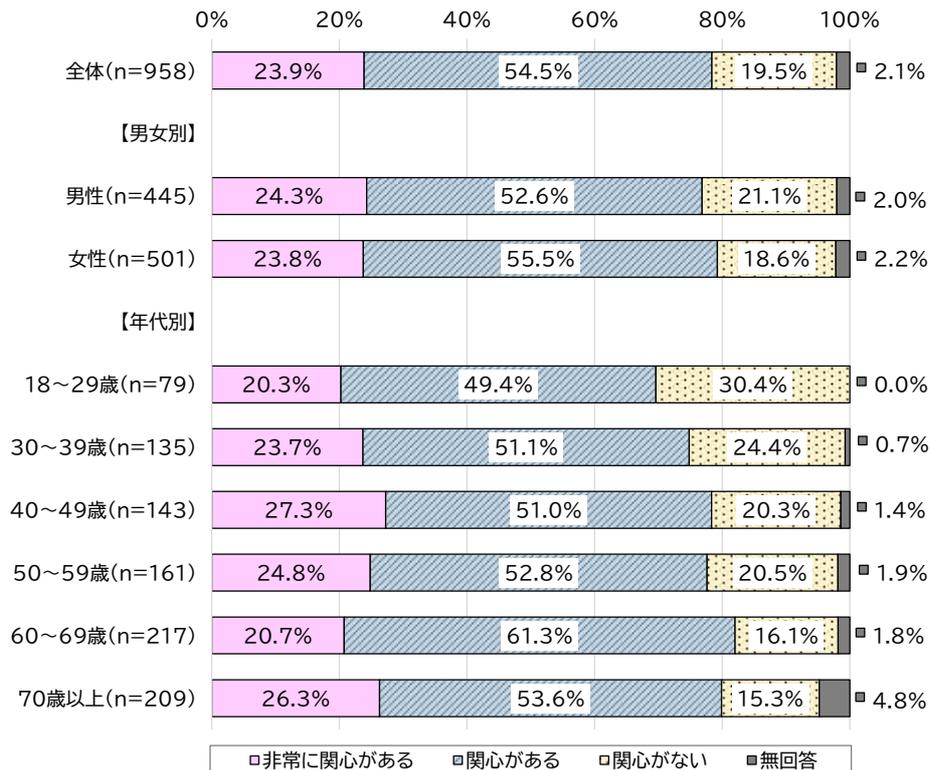
男女別で見ると、「非常に興味がある」は、女性よりも男性が5.7ポイント高くなっています。



16. ヒアリ、クビアカツヤカミキリなど外来生物による被害

◆男女別・年代別

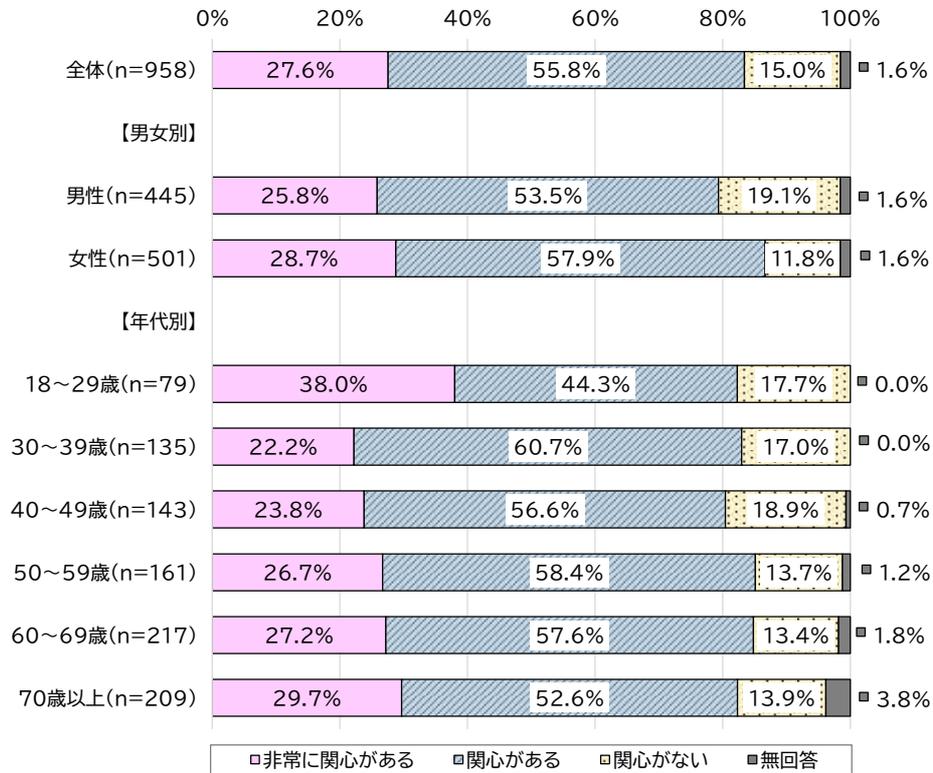
年代別で見ると、『興味がある』は、年代が上がるほど高い傾向となっています。



17. イノシシ、シカ、クマなど野生動物による被害

◆男女別・年代別

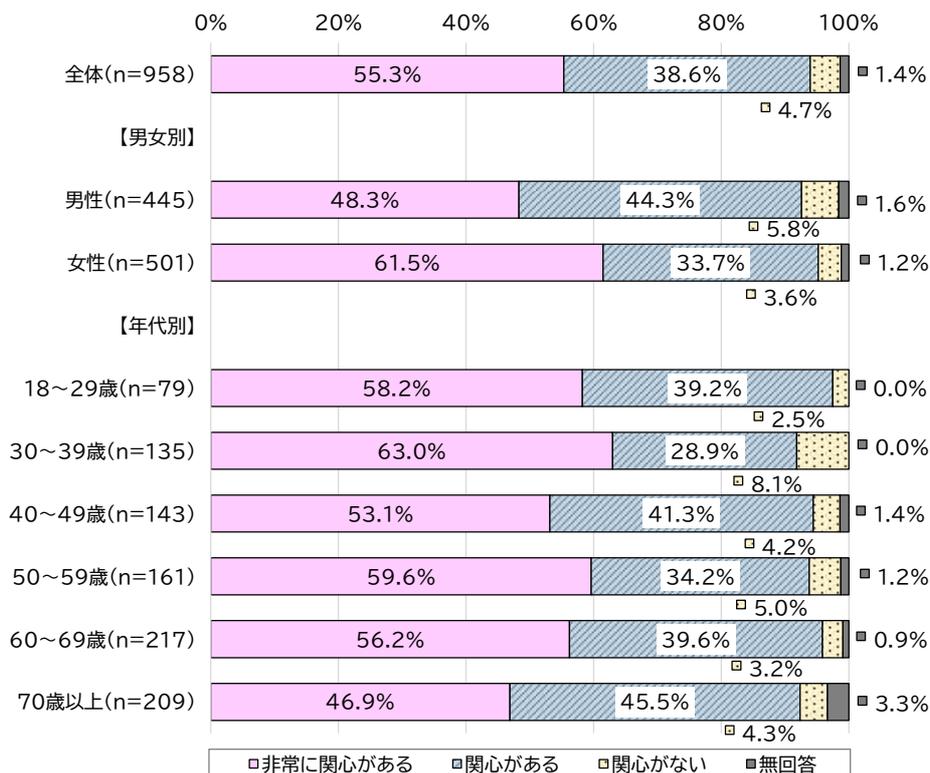
男女別で見ると、『関心がある』は、男性よりも女性が7.3ポイント高くなっています。



18. 気温上昇による熱中症被害

◆男女別・年代別

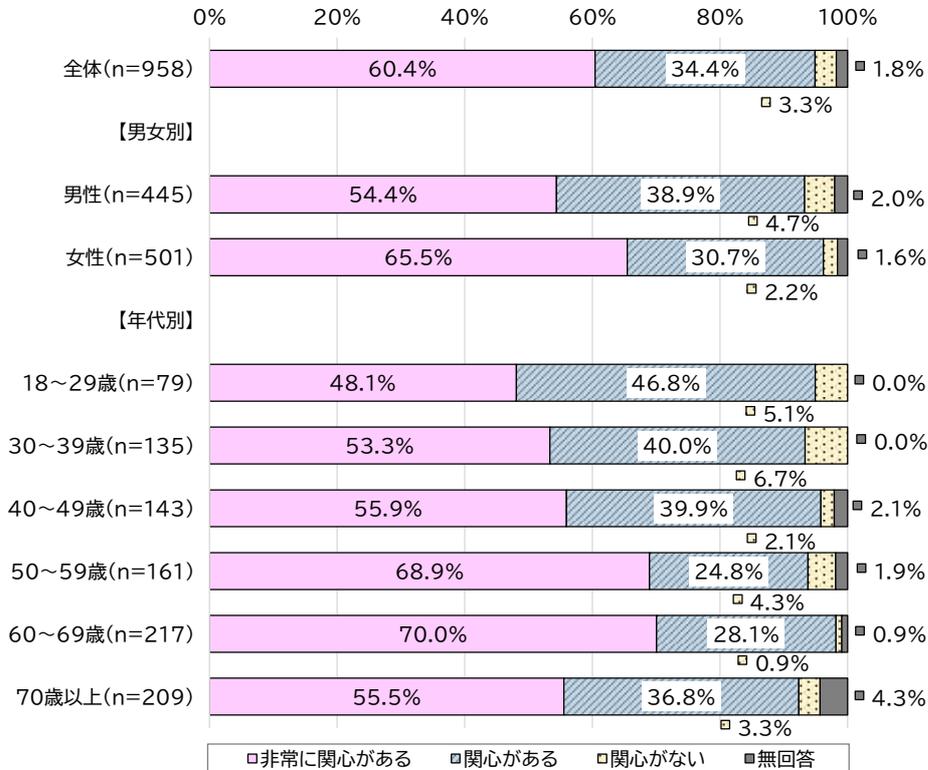
男女別で見ると、「非常に興味がある」は、男性よりも女性が13.2ポイント高くなっています。



19. 自然災害（農作物被害や感染症の流行拡大を含む）の原因となる異常気象

◆男女別・年代別

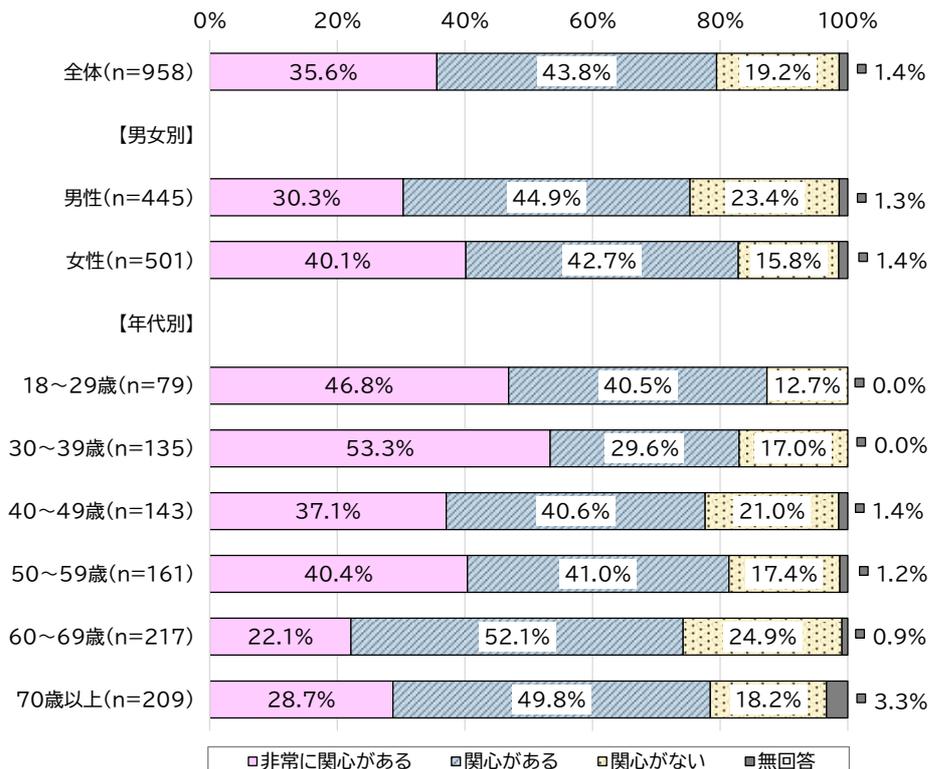
男女別で見ると、「非常に興味がある」は、男性よりも女性が 11.1 ポイント高くなっています。
年代別で見ると、「非常に興味がある」は、『50～60代』で約7割となっています。



20. スギなどの花粉の飛散

◆男女別・年代別

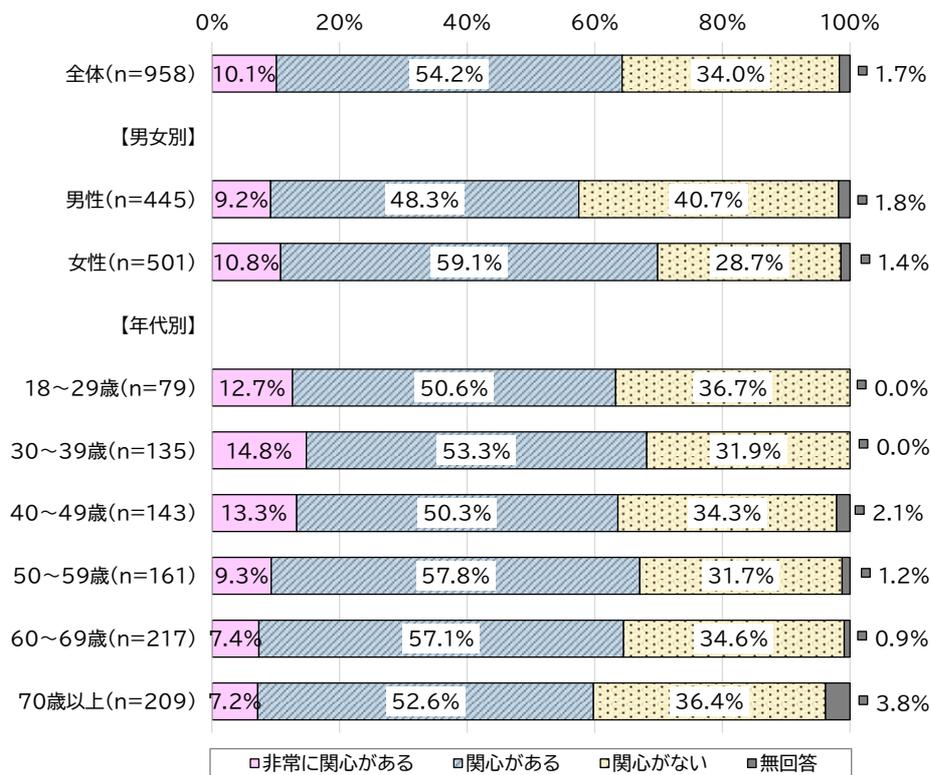
男女別で見ると、『興味がある』は、男性よりも女性が 7.6 ポイント高くなっています。
年代別で見ると、「非常に興味がある」は、「30代」で5割を超えています。



21. 環境について学ぶ体験の機会

◆男女別・年代別

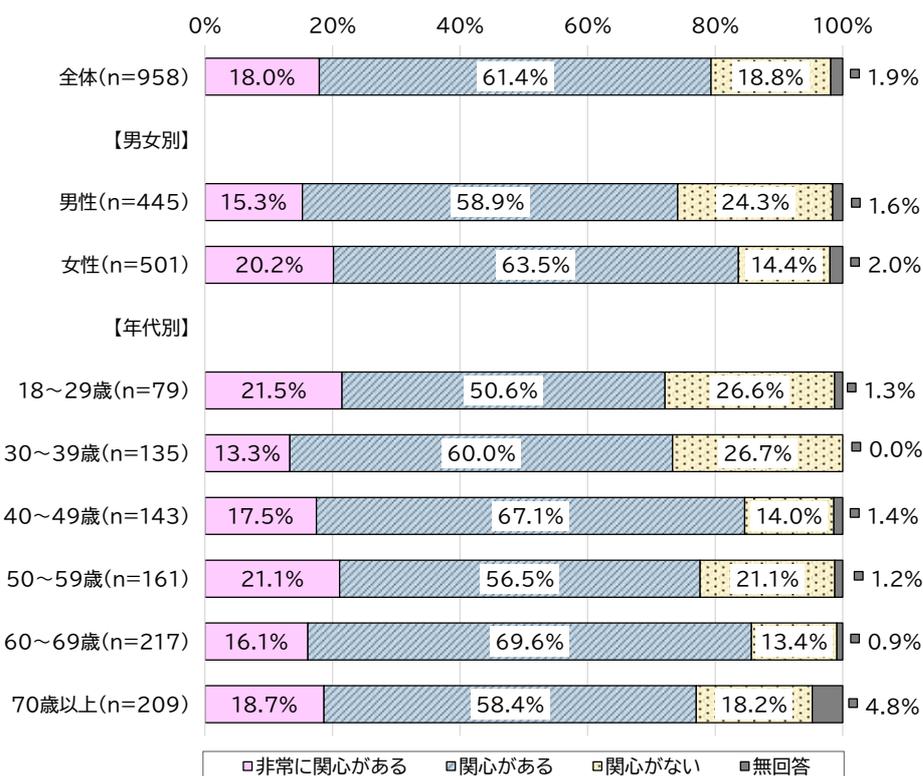
男女別で見ると、『関心がある』は、男性よりも女性が12.4ポイント高くなっています。



22. 経済、社会、環境に総合的に取り組むSDGs

◆男女別・年代別

男女別で見ると、『関心がある』は、男性よりも女性が9.5ポイント高くなっています。



3-3 身のまわりの環境

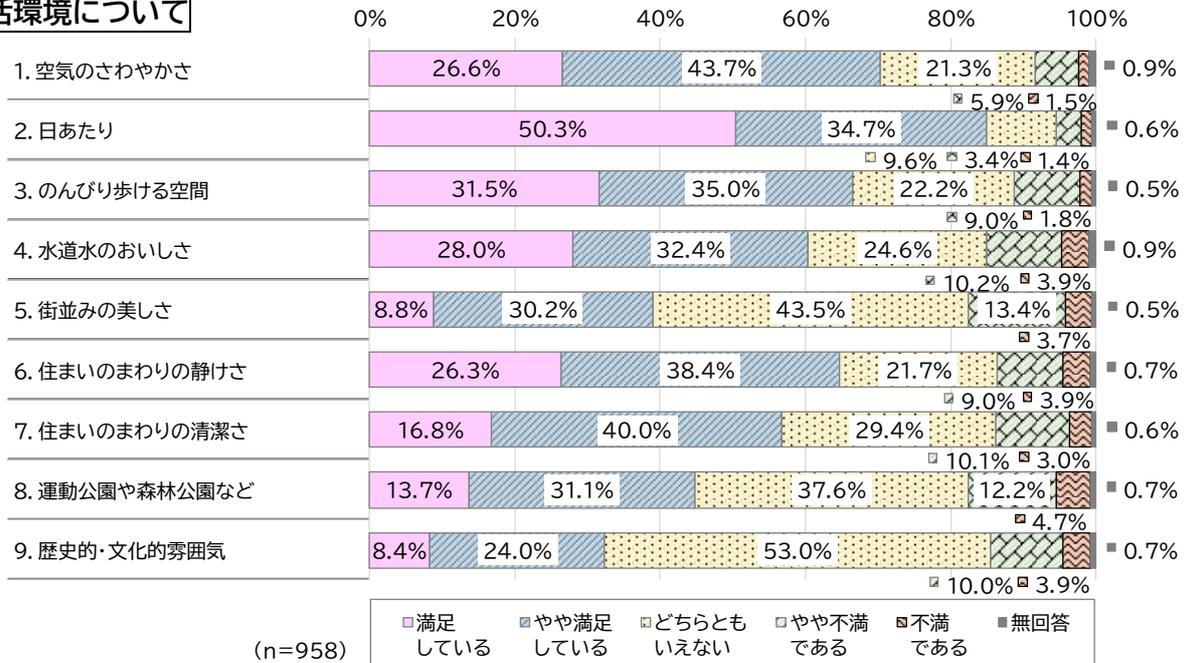
3-3-1 身のまわりの環境の満足度

問2 身のまわりの環境に対する満足度をお聞きします。

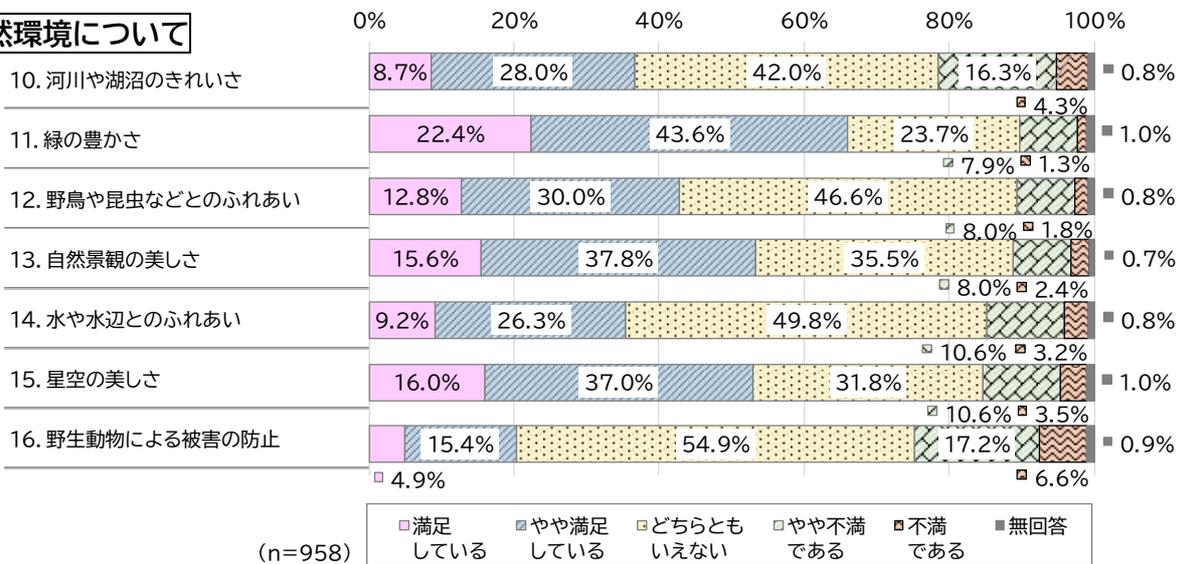
(1)あなたは、次の項目について満足していますか。各項目について、「満足」～「不満」の中から、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

◆R6年度傾向

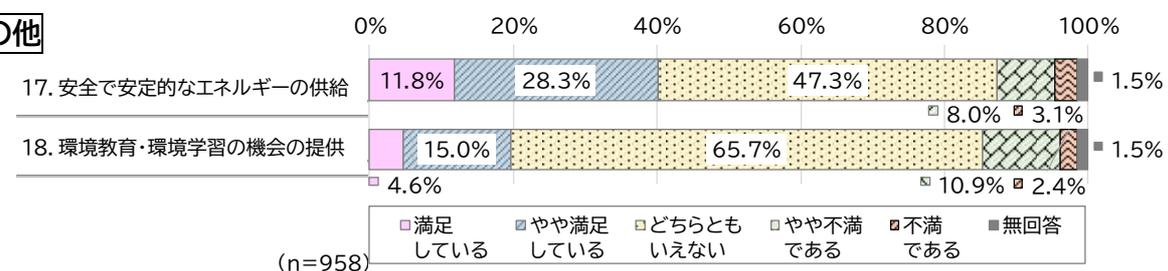
生活環境について



自然環境について



その他

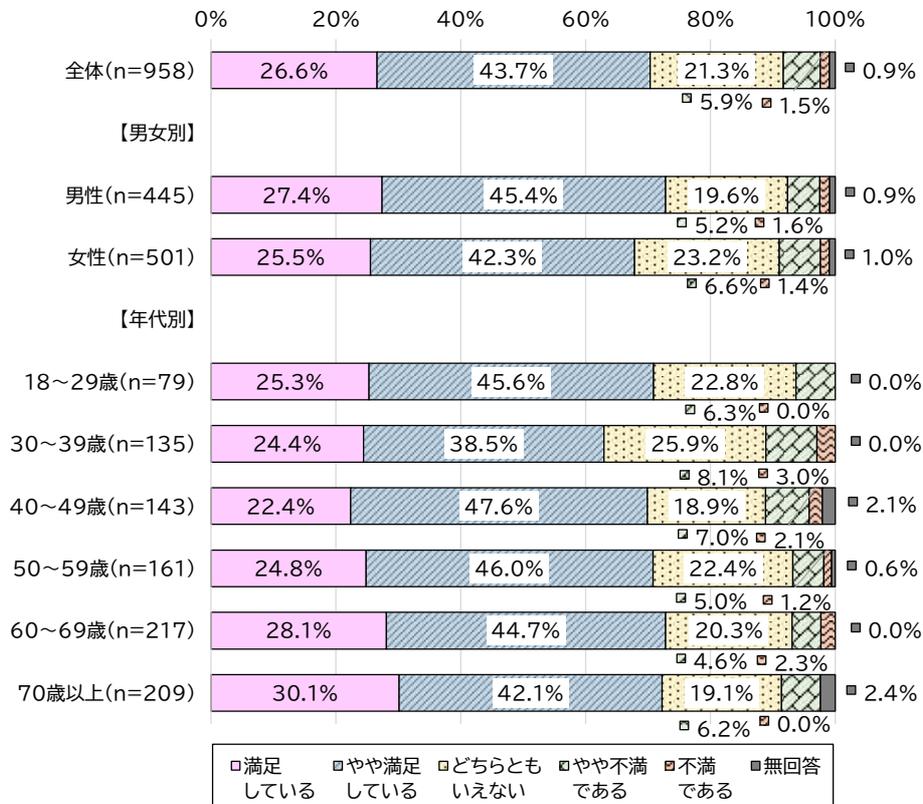


生活環境について

1. 空気のさわやかさ

◆男女別・年代別

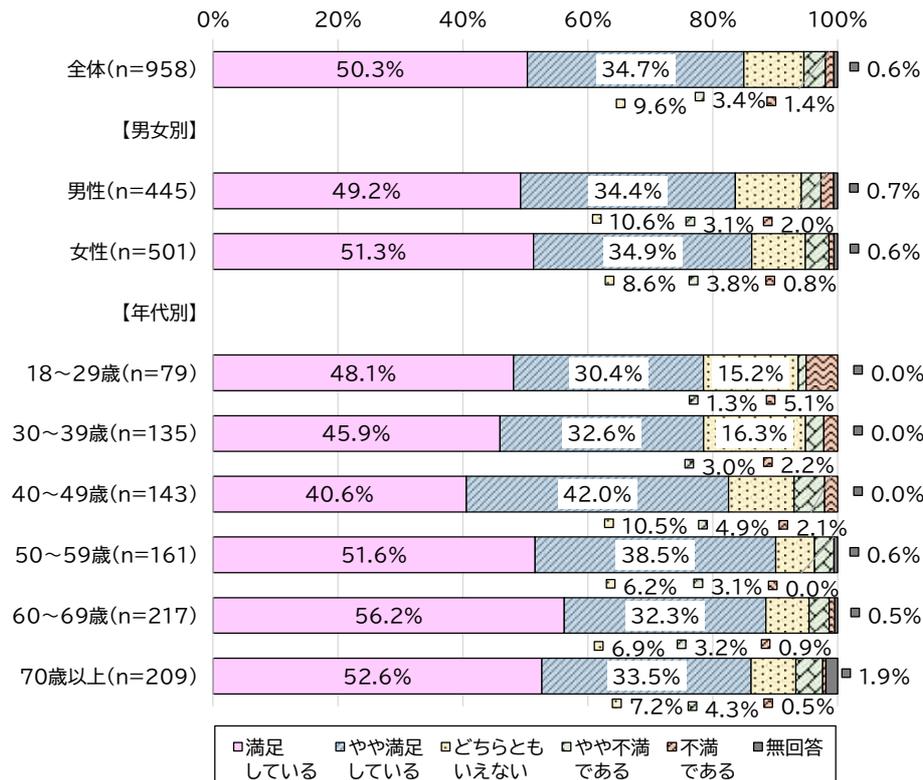
男女別でみると、『満足している』は、女性よりも男性が5ポイント高くなっています。



2. 日あたり

◆男女別・年代別

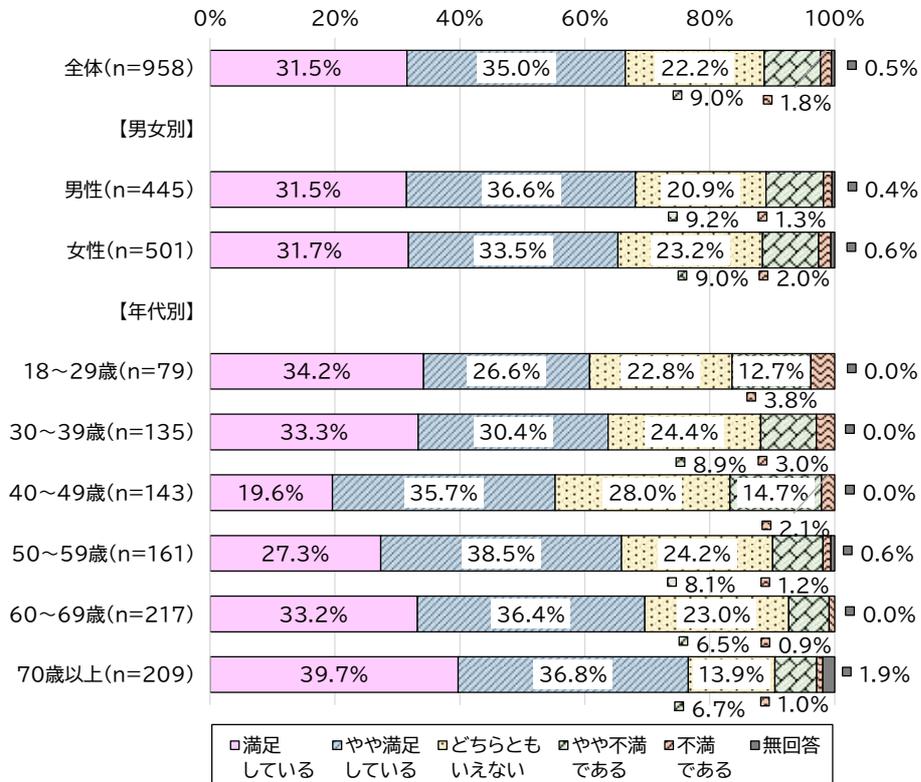
年代別でみると、「満足している」は、『50代以上』で5割を超えています。



3. のんびり歩ける空間

◆男女別・年代別

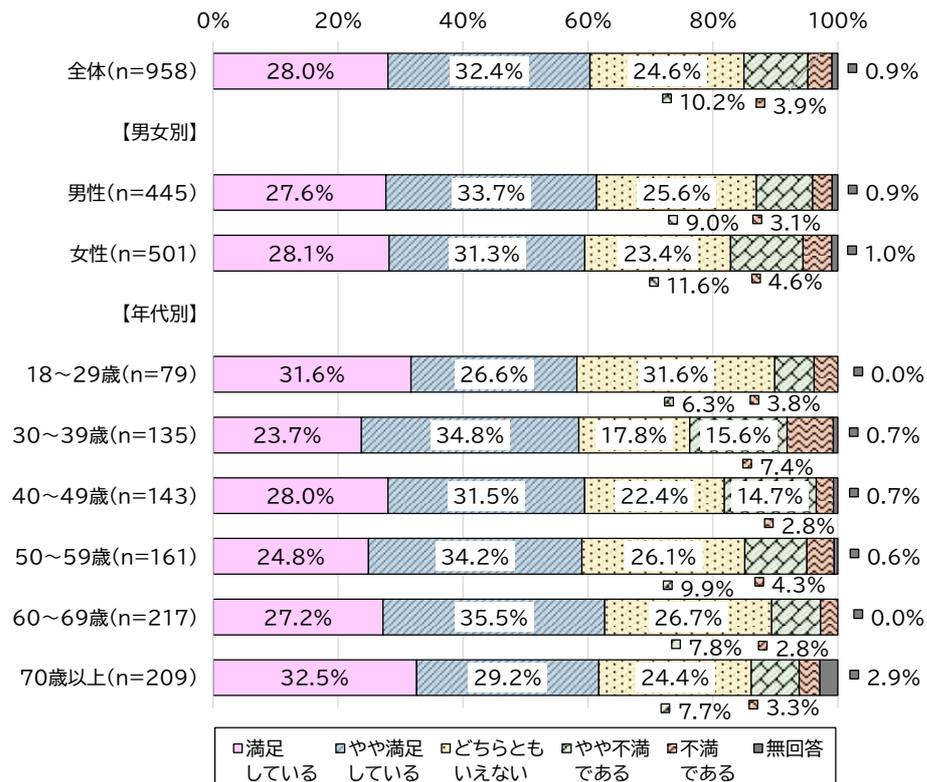
年代別で見ると、『満足している』は、「40代」を除いて、年代が上がるほど高くなっています。



4. 水道水のおいしさ

◆男女別・年代別

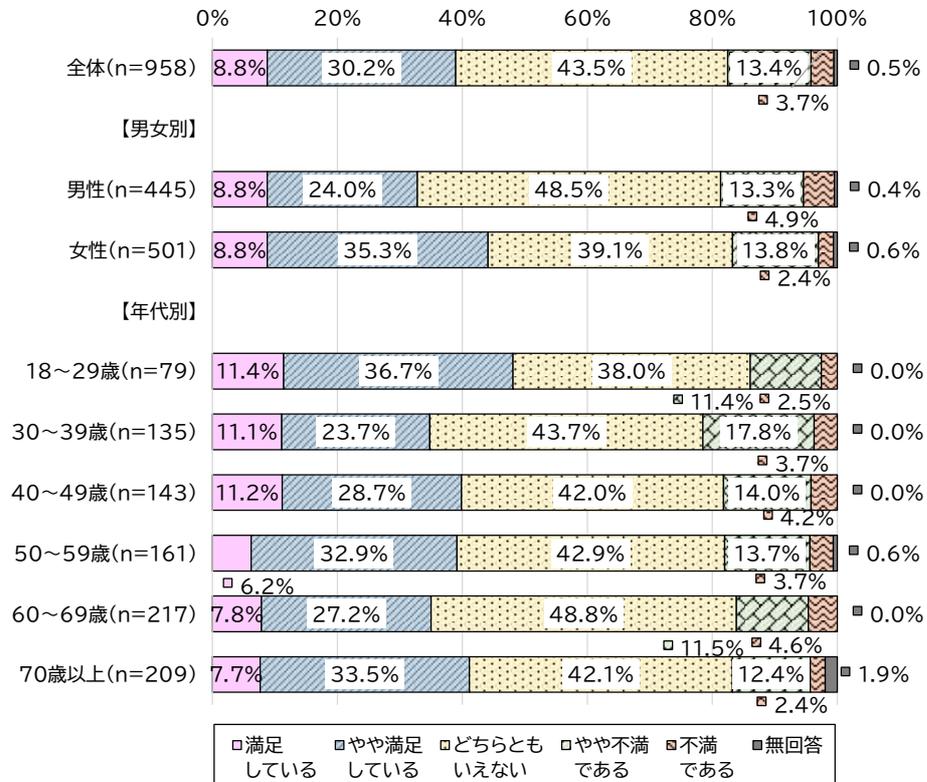
年代別で見ると、『不満である』は、「30代」で他の年代に比べやや高くなっています。



5. 街並みの美しさ

◆男女別・年代別

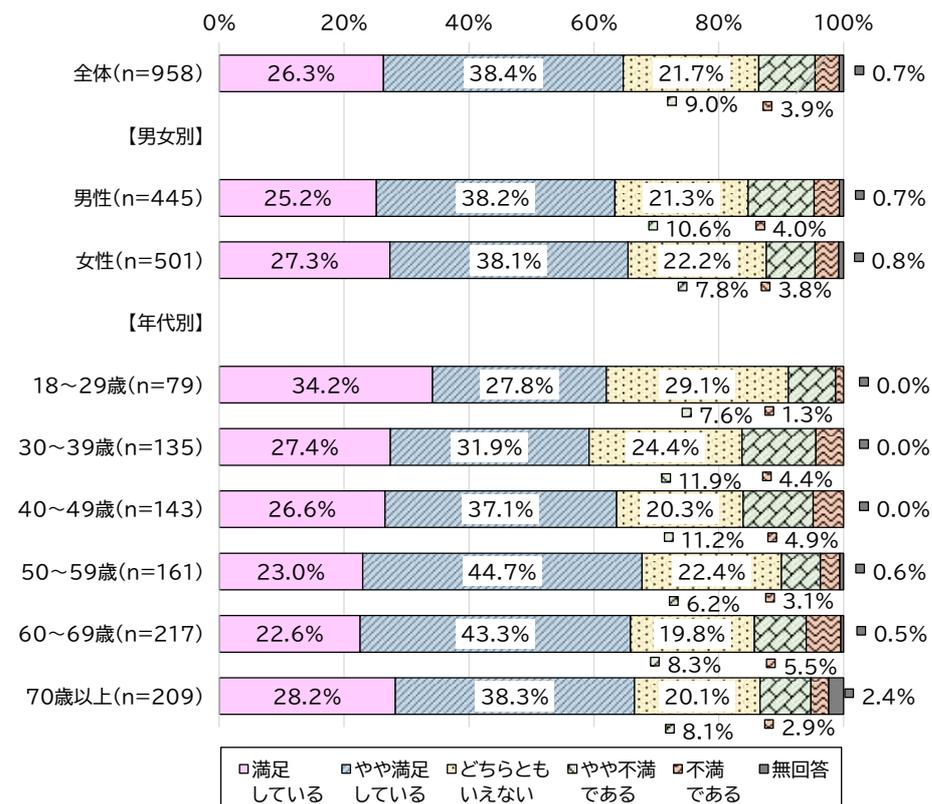
男女別でみると、『満足している』は、男性よりも女性が11.3ポイント高くなっています。
 年代別でみると、『満足している』は、「18～20代」で約5割となっています。



6. 住まいのまわりの静けさ

◆男女別・年代別

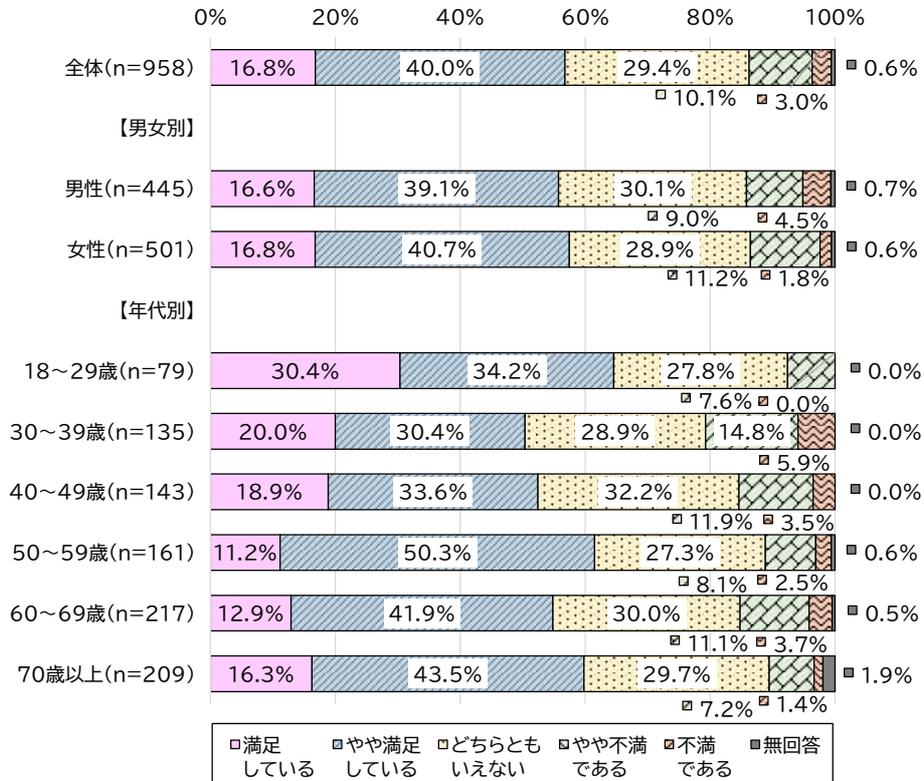
年代別でみると、『満足している』は、『50代以上』でやや高くなっています。



7. 住まいのまわりの清潔さ

◆男女別・年代別

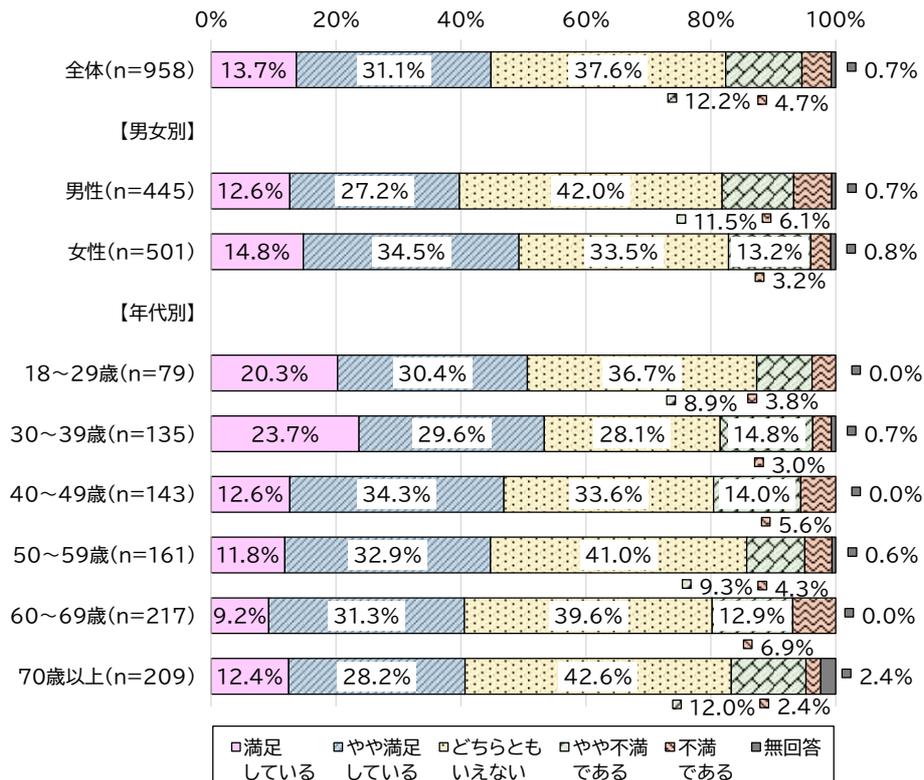
年代別でみると、『満足している』は、「18～20代」「50代」で6割を超えています。



8. 運動公園や森林公園など

◆男女別・年代別

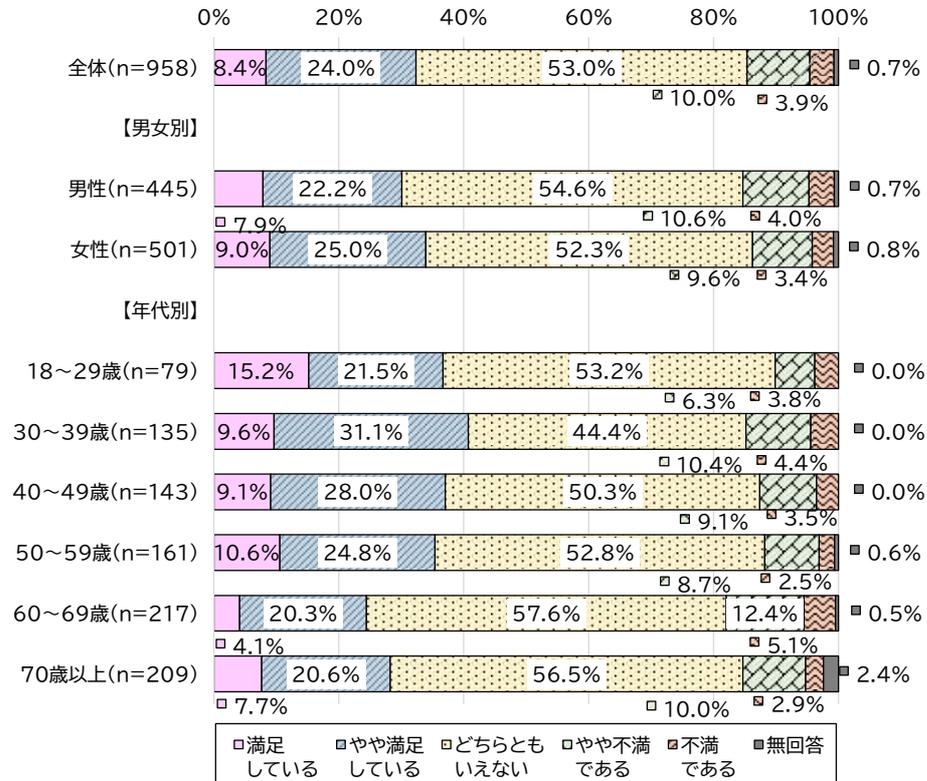
男女別でみると、『満足している』は、男性よりも女性が9.5ポイント高くなっています。年代別でみると、『満足している』は、『30代以下』で5割を超えています。



9. 歴史的・文化的雰囲気

◆男女別・年代別

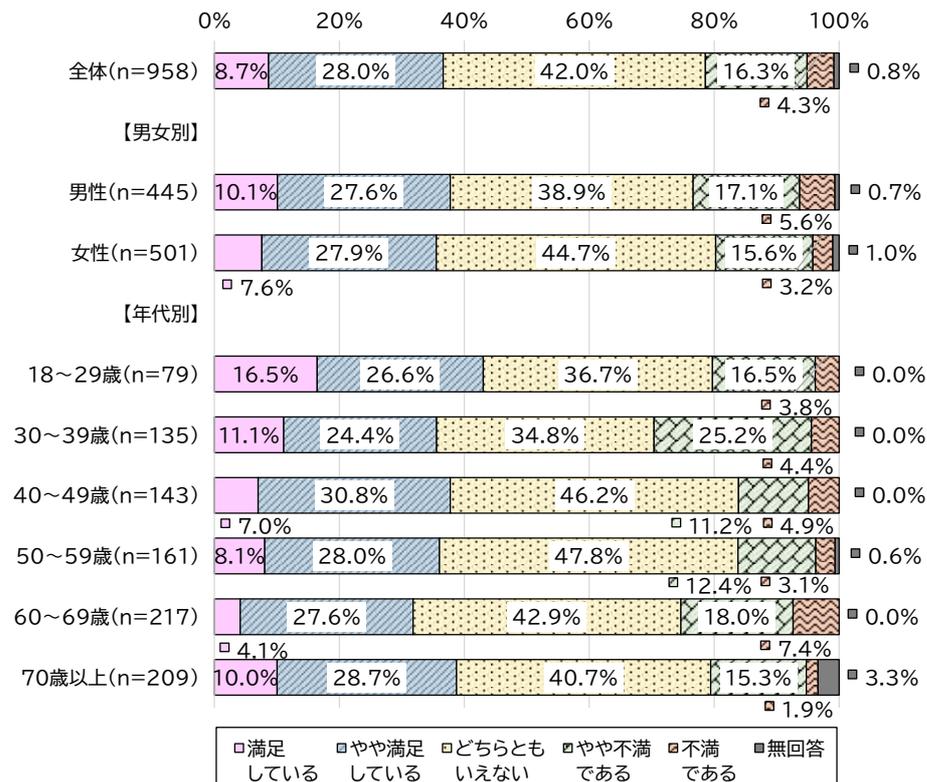
年代別でみると、『満足している』は、「30代」で4割を超えています。



10. 河川や湖沼のきれいさ

◆男女別・年代別

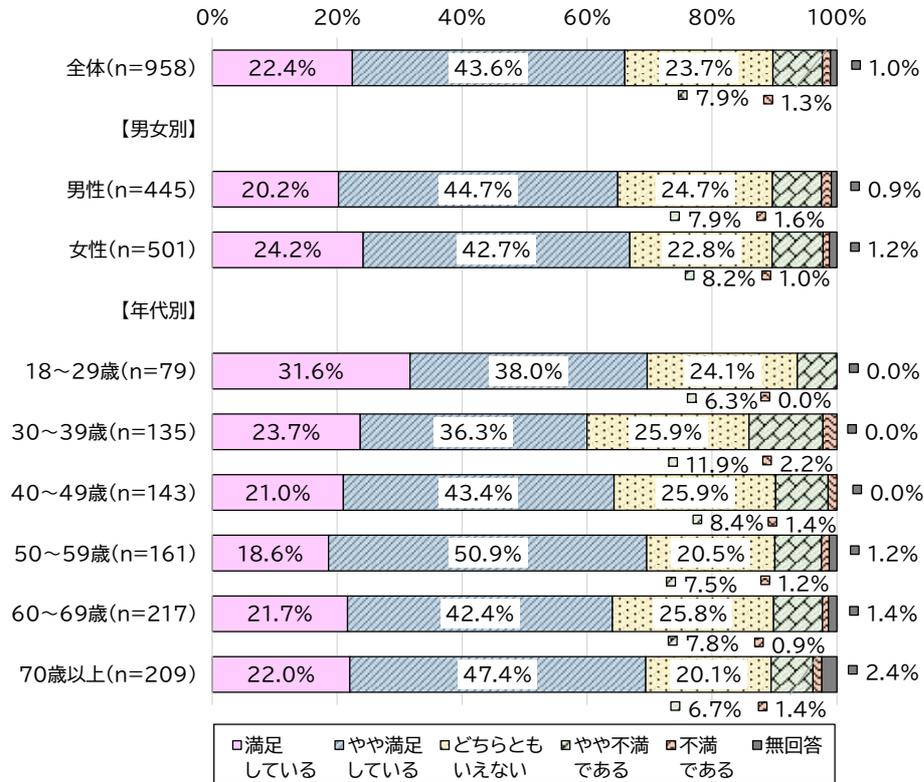
年代別でみると、『満足している』は、「18~20代」で4割を超えています。



11. 緑の豊かさ

◆男女別・年代別

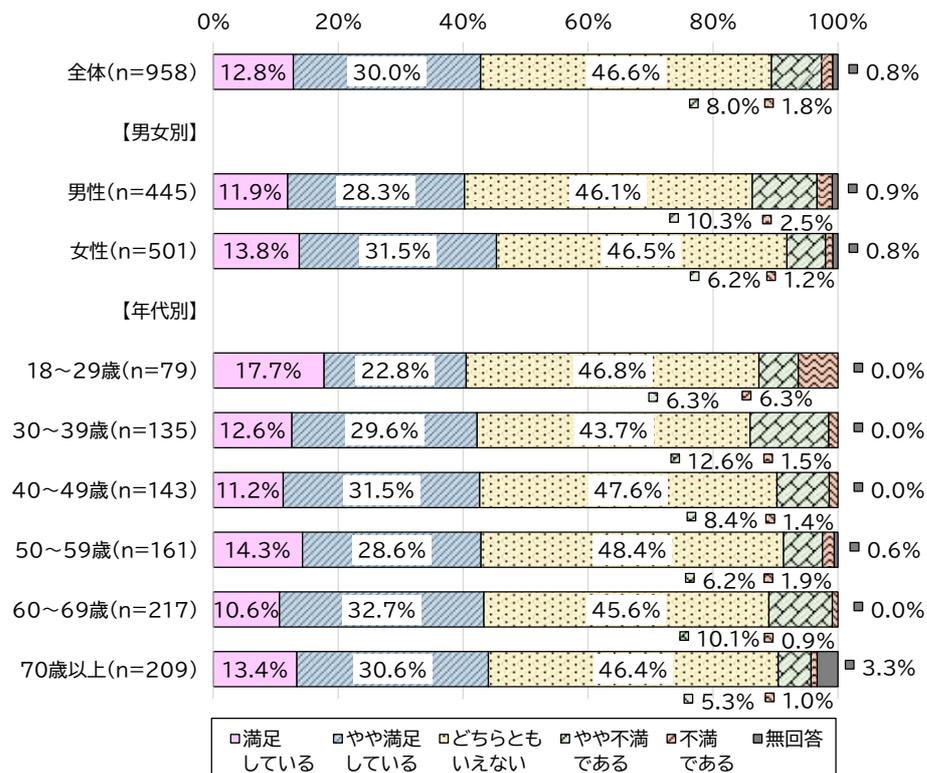
年代別で見ると、「満足している」は、「18～20代」で3割を超えています。



12. 野鳥や昆虫などとのふれあい

◆男女別・年代別

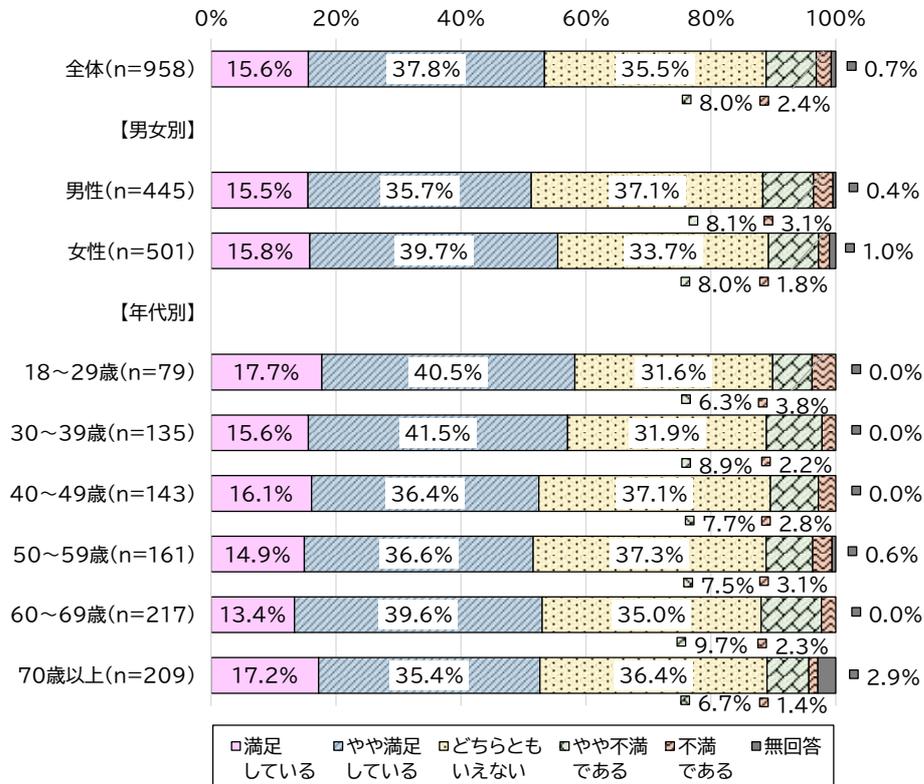
男女別で見ると、『満足している』は、男性よりも女性が5.1ポイント高くなっています。



13. 自然景観の美しさ

◆男女別・年代別

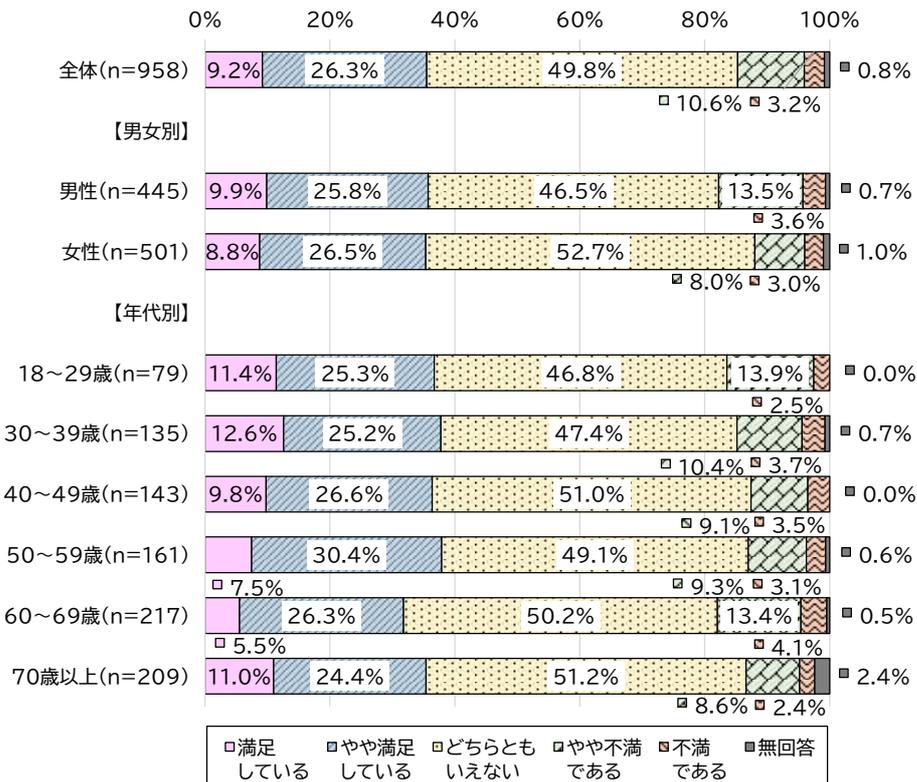
男女別で見ると、『満足している』は、男性よりも女性が4.3ポイント高くなっています。



14. 水や水辺とのふれあい

◆男女別・年代別

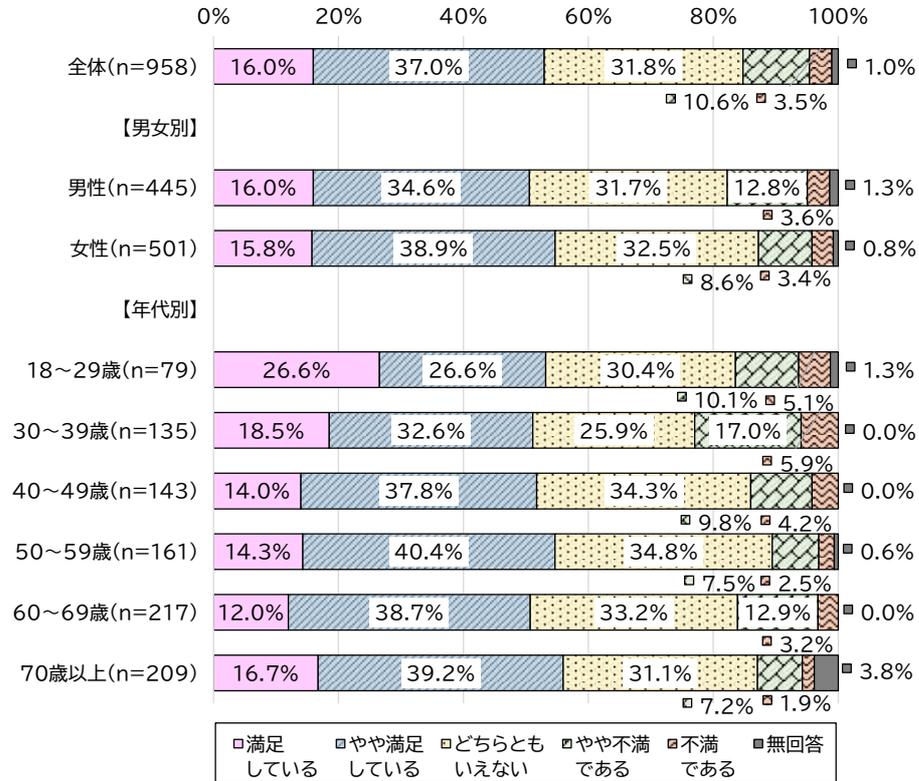
年代別で見ると、『満足している』は、「60代」で他の年代に比べやや低くなっています。



15. 星空の美しさ

◆男女別・年代別

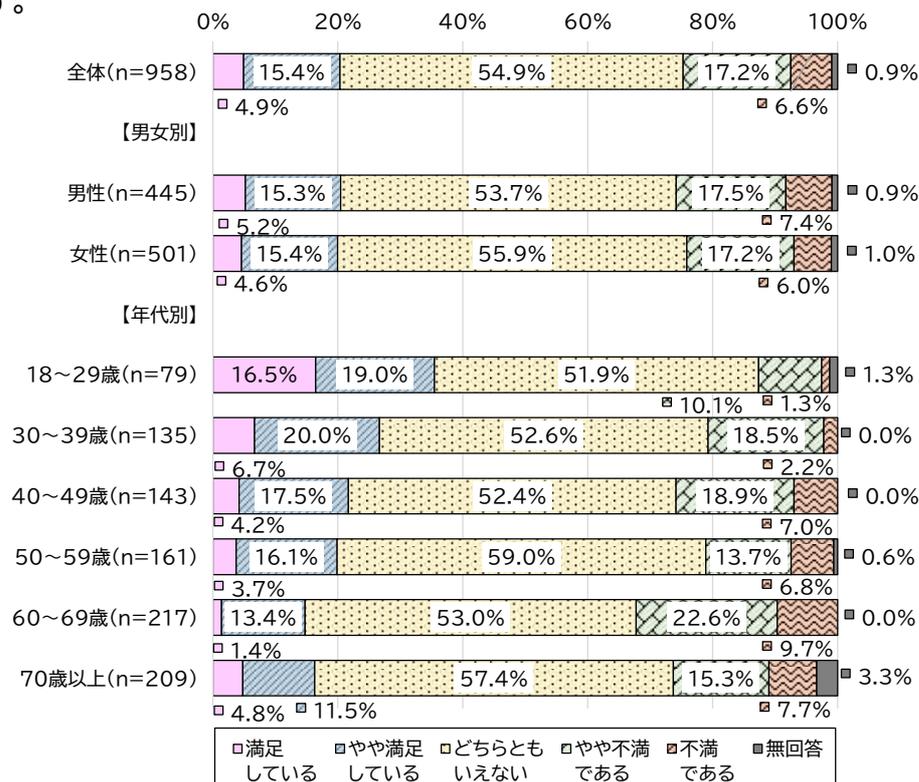
年代別で見ると、『不満である』は、「30代」で他の年代に比べやや高くなっています。



16. 野生動物による被害の防止

◆男女別・年代別

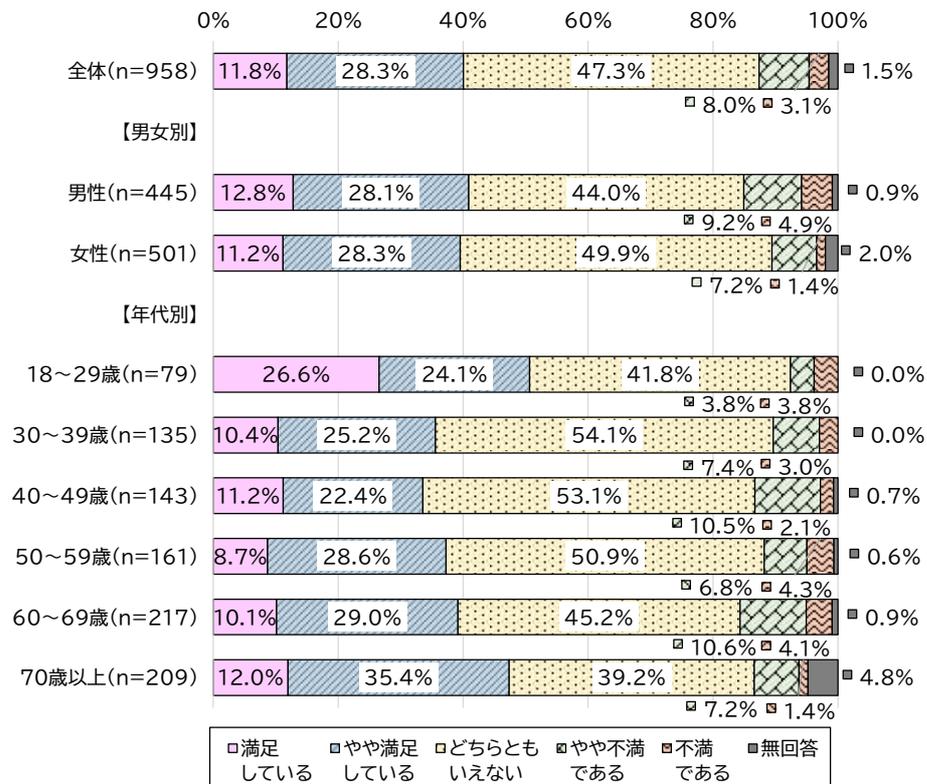
年代別で見ると、『満足している』は、「18~20代」で3割を超えており、年代の若いほど高い傾向となっています。



17. 安全で安定的なエネルギーの供給

◆男女別・年代別

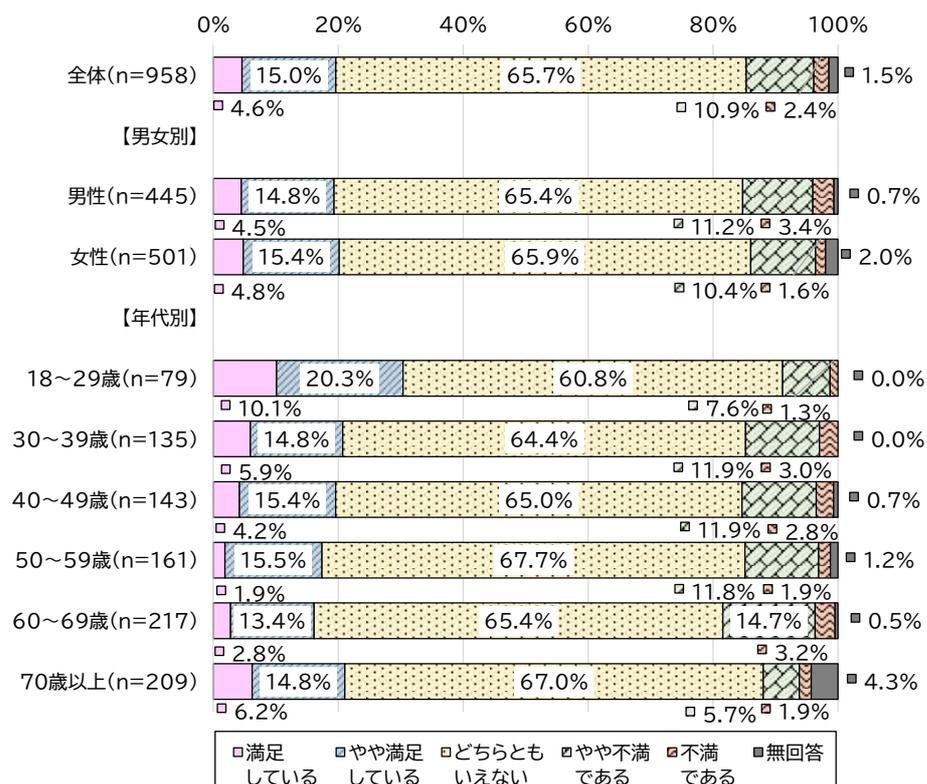
年代別でみると、『満足している』は、「18～20代」「70歳以上」で約5割となっています。



18. 環境教育・環境学習の機会の提供

◆男女別・年代別

年代別でみると、『満足している』は、「18～20代」で3割を超えています。

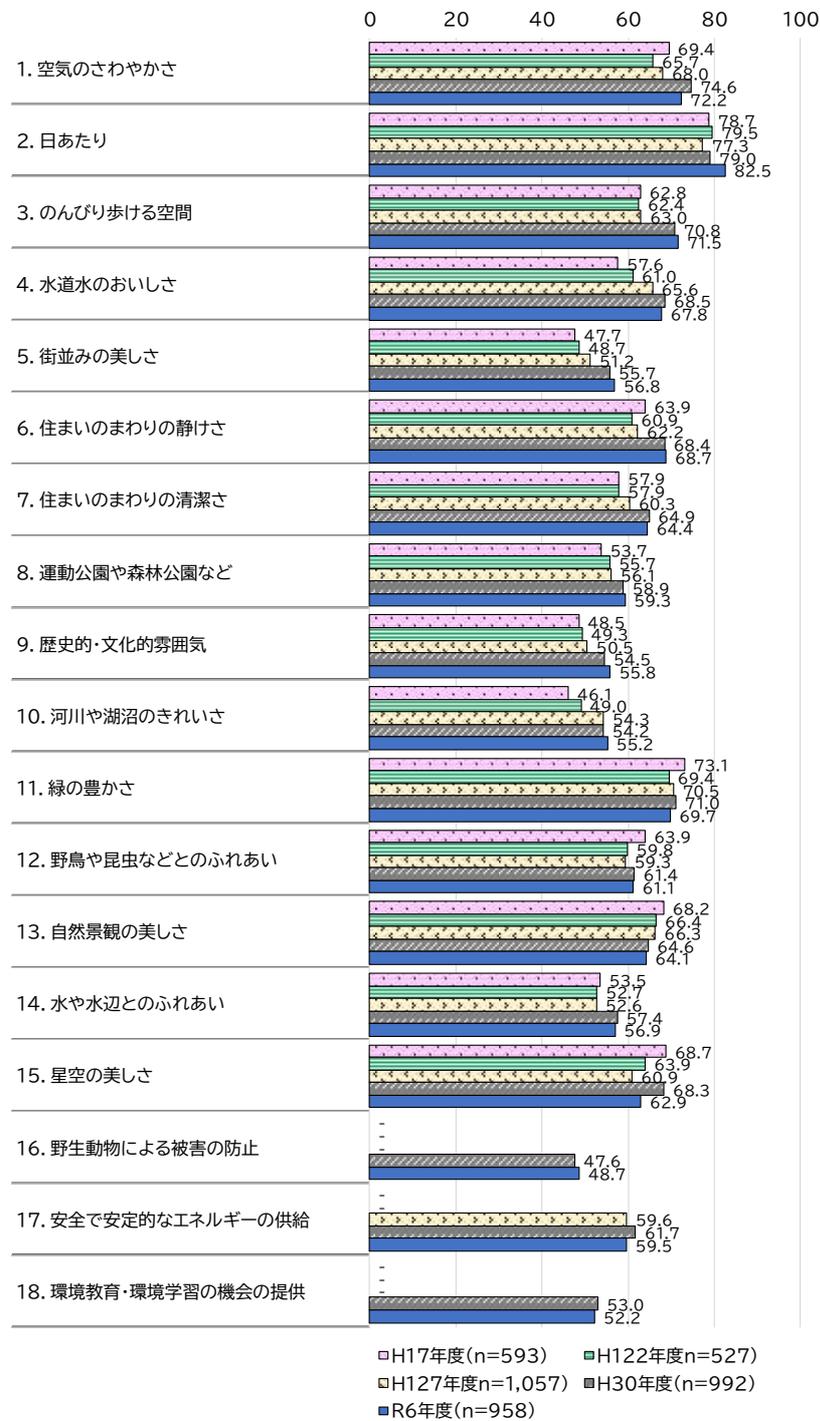


◆経年推移（加重平均）

加重平均の求め方

「満足」=100点、「やや満足」=75点、「どちらともいえない」=50点、「やや不満」=25点、「不満」=0点とし加重を与え、指標化

経年比較すると、満足度は全体的に増加傾向となっておりますが、「11. 緑の豊かさ」「13. 自然景観の美しさ」「15. 星空の美しさ」はやや減少傾向にあります。

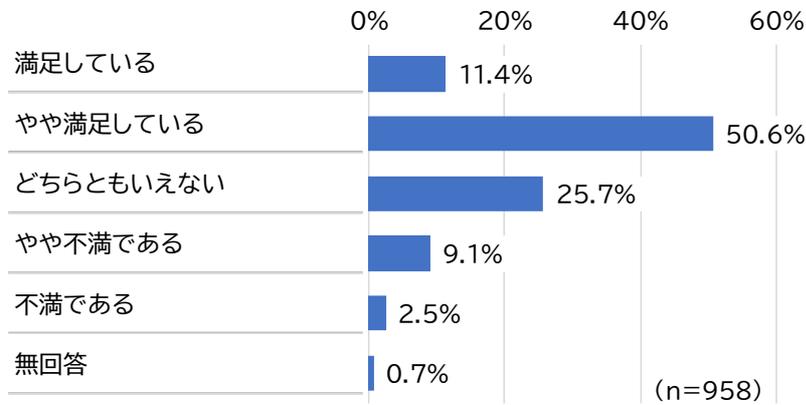


※グラフ内の「-」は、前回調査なし

3-3-2 身のまわりの生活環境全般の満足度

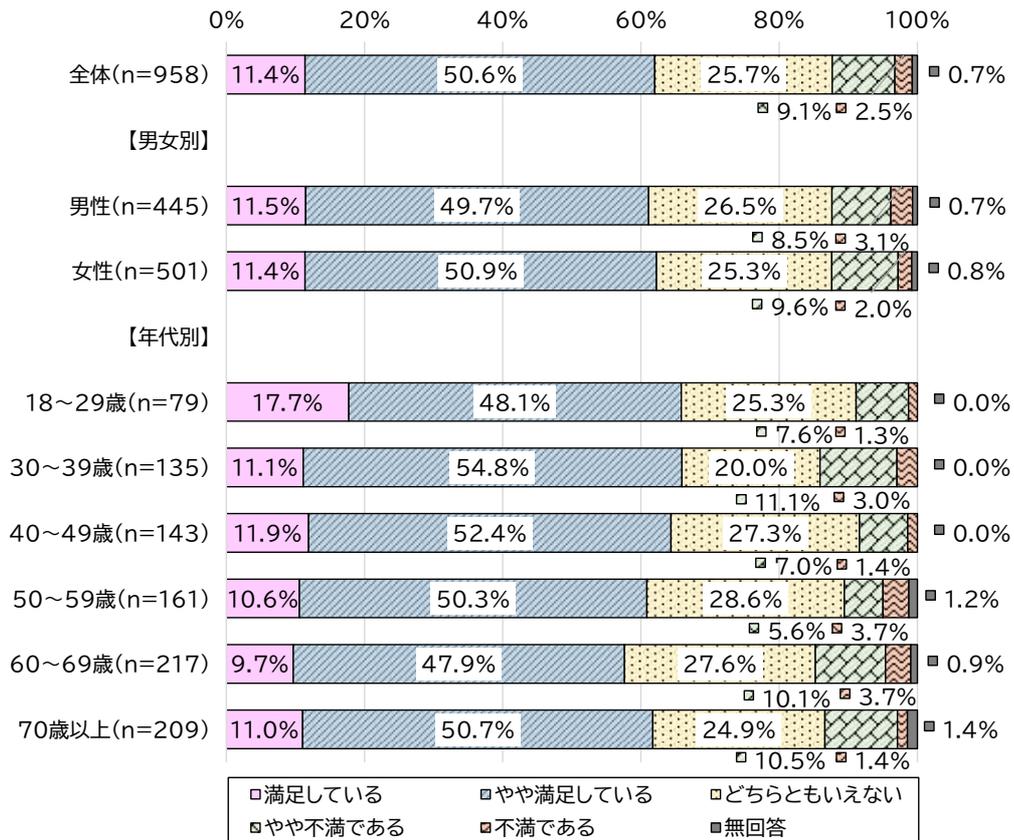
(2)あなたは、身のまわりの生活環境全般に満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

◆R6年度傾向



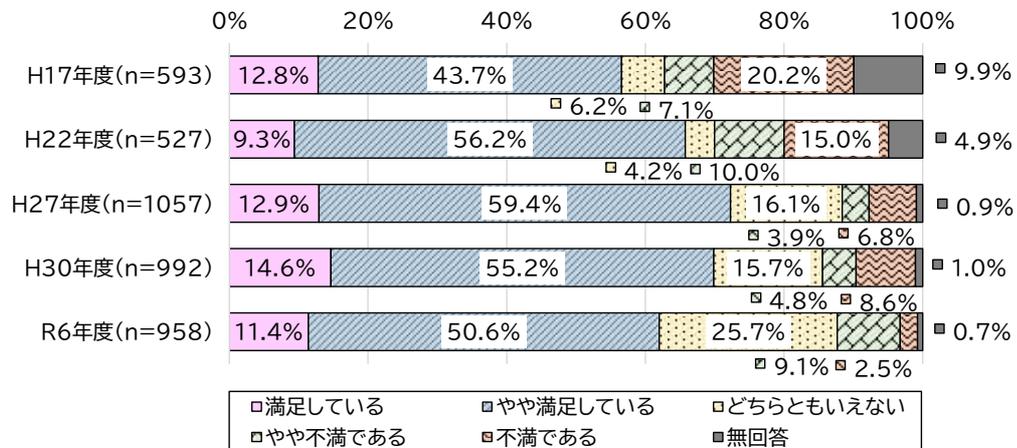
◆男女別・年代別

年代別でみると、『満足している』は、『40代以下』でやや高くなっています。



◆経年推移

経年比較すると、『満足している』は、H27年調査までは増加していましたが、その後減少傾向となっています。

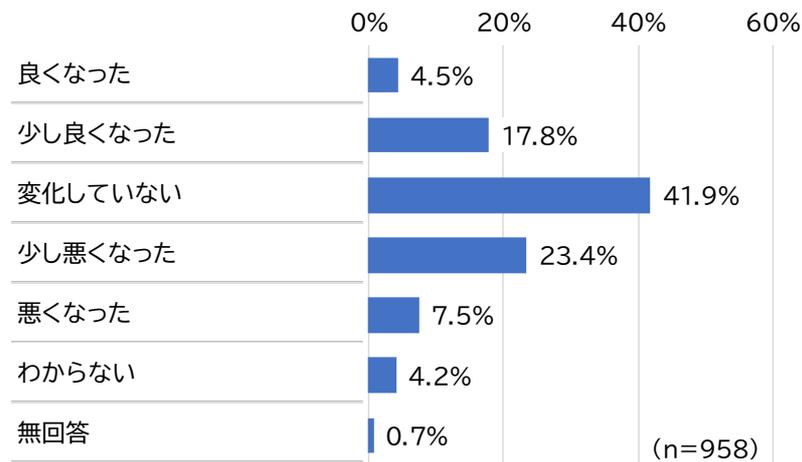


3-3-3 身のまわりの環境の5、6年前との変化

問3

(1)あなたの身のまわりの環境は、全体的に5、6年前と比べて、どのように変化していると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

◆R6年度傾向

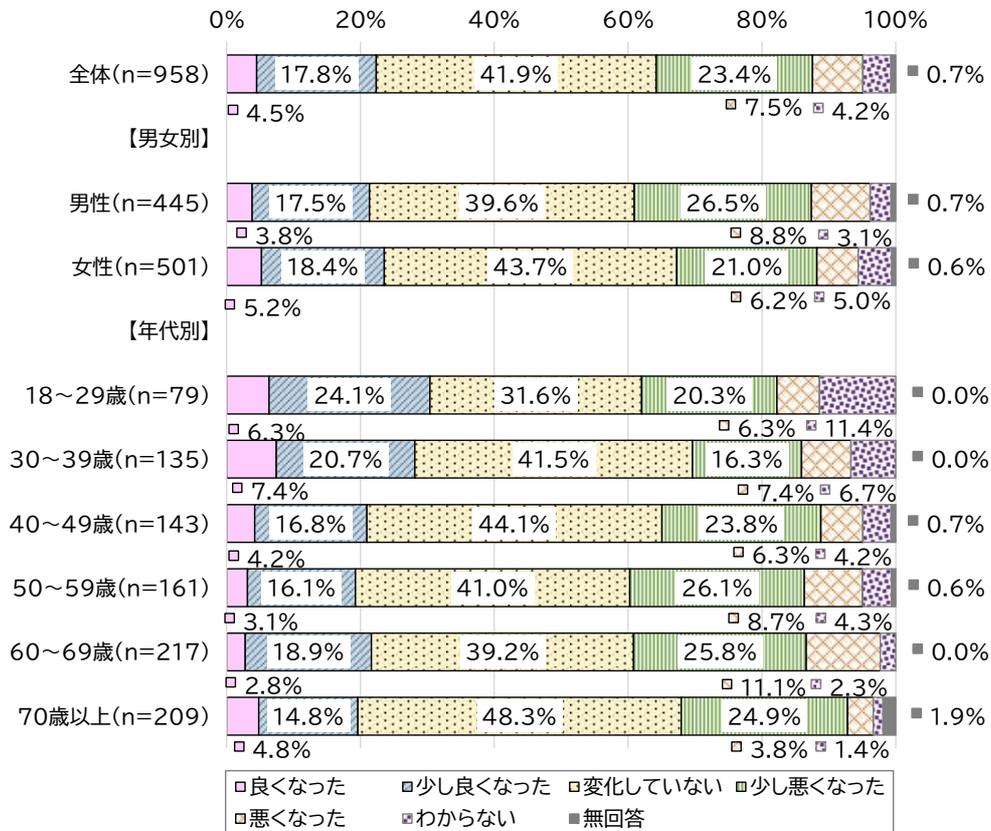


3 調査結果

◆男女別・年代別

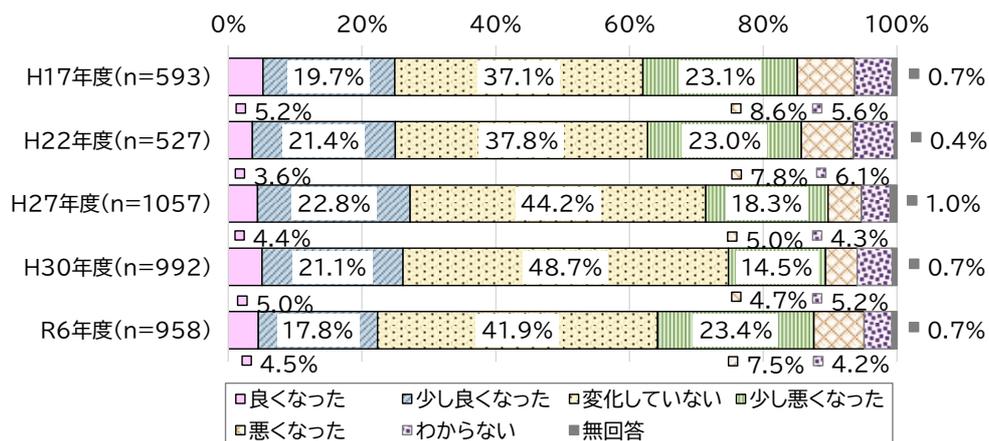
男女別で見ると、『悪くなった』は、女性より男性が8.1ポイント高くなっています。

年代別で見ると、『良くなった』は、「18～20代」で3割を超えています。また、『悪くなった』は、『50～60代』で高くなっています。



◆経年推移

経年比較すると、近年『良くなった』は減少傾向、『悪くなった』は増加となっています。

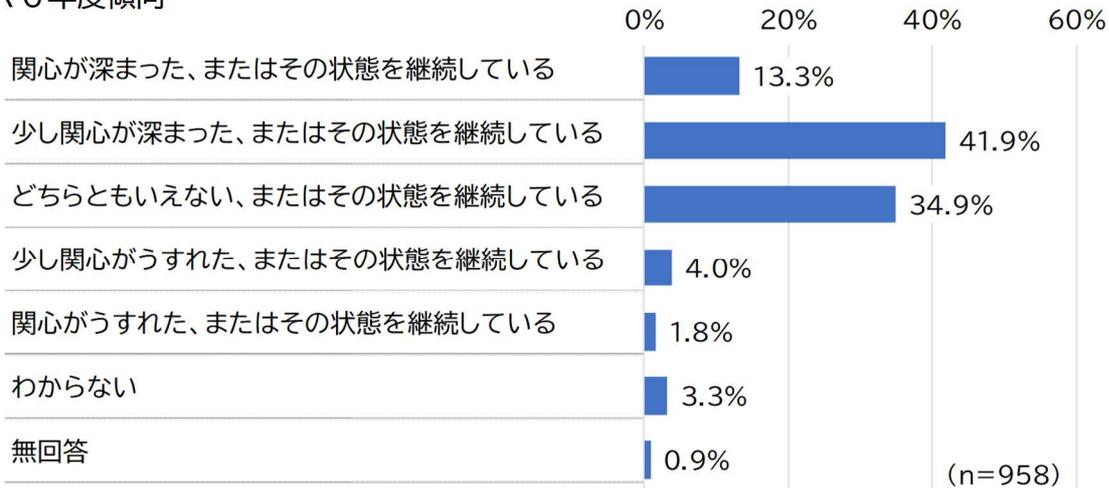


3-3-4 5、6年前と比較した意識・行動の変化

(2)あなた自身の環境に対する意識や行動は、5、6年前と比べて、どのように変化していると思いますか。《意識》、《行動》のそれぞれから、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○は1つずつ)

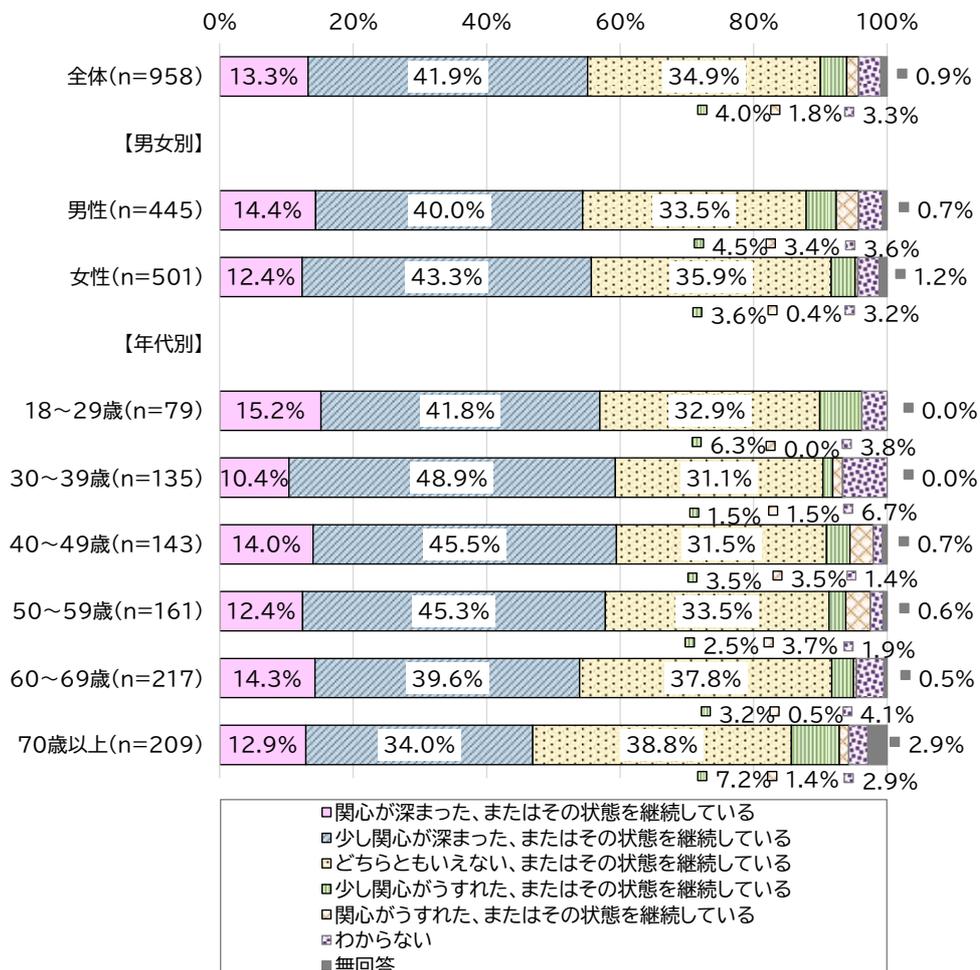
意識

◆R6年度傾向



◆男女別・年代別

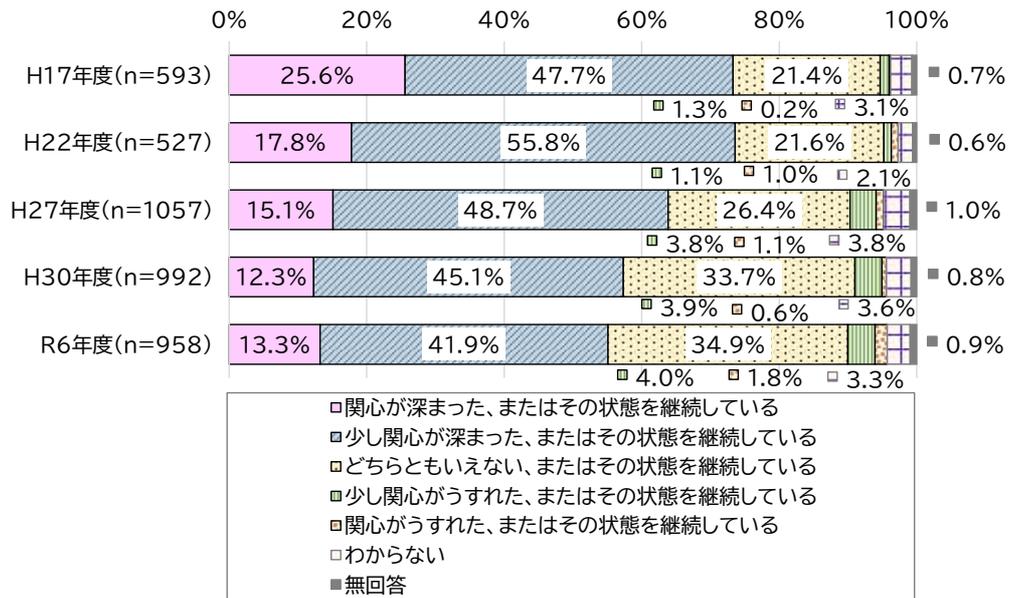
年代別でみると、「関心が深まった、またはその状態を継続している」「少し関心が深まった、またはその状態を継続している」を合わせた『関心が深まった』(以下同様)は『30～40代』で約6割と高くなっています。



3 調査結果

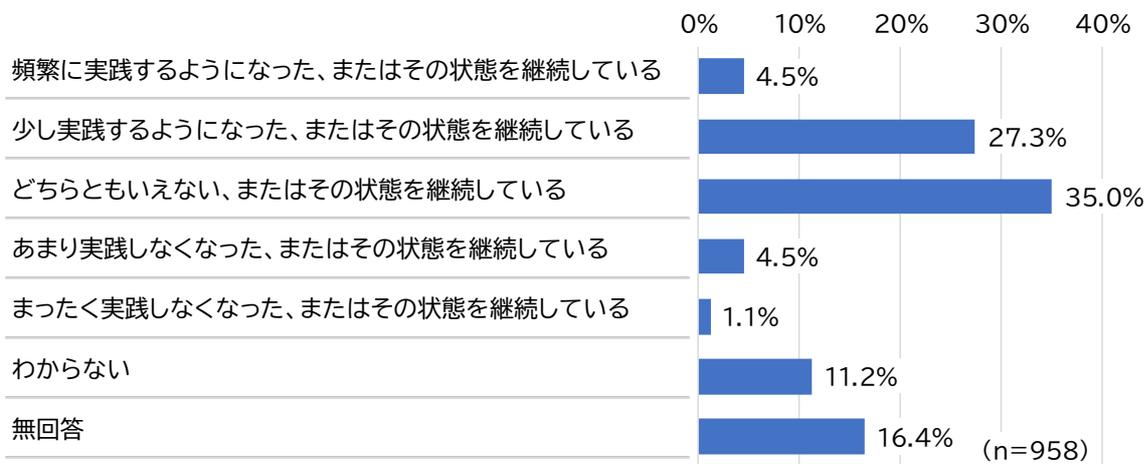
◆経年推移

経年比較すると、『関心が深まった』は調査ごとに減少傾向となっています。



行動

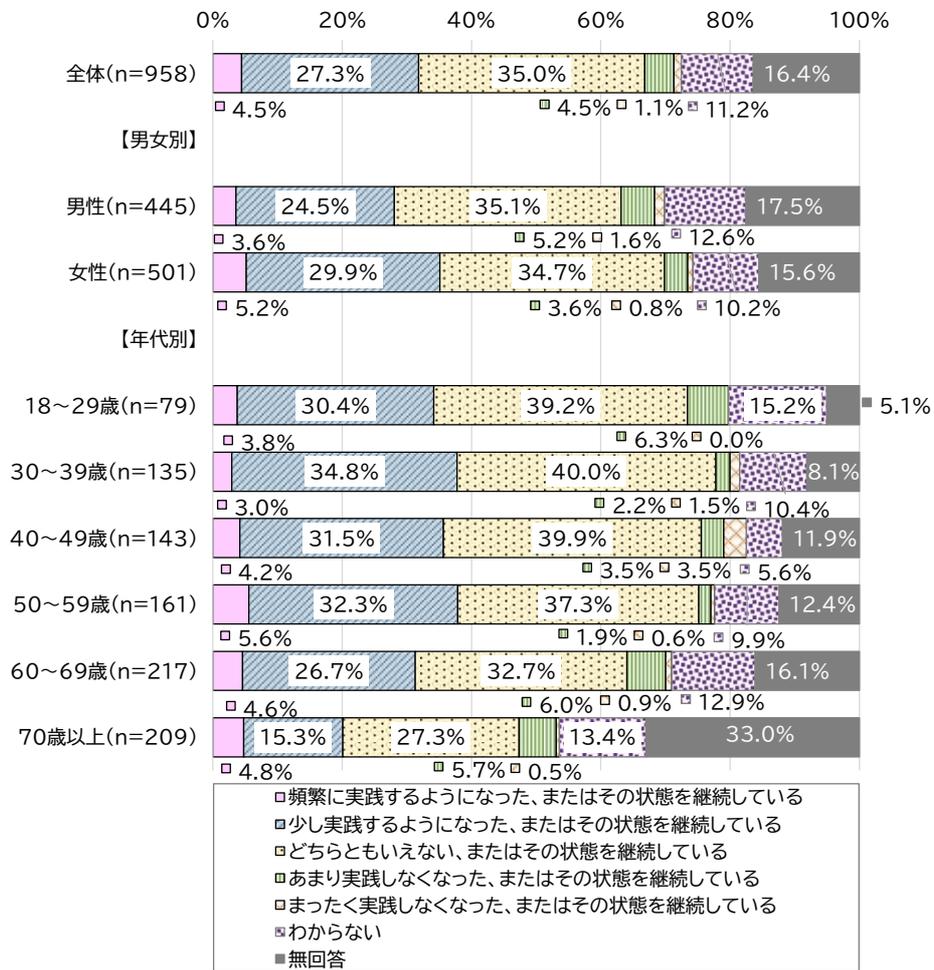
◆R6年度傾向



◆男女別・年代別

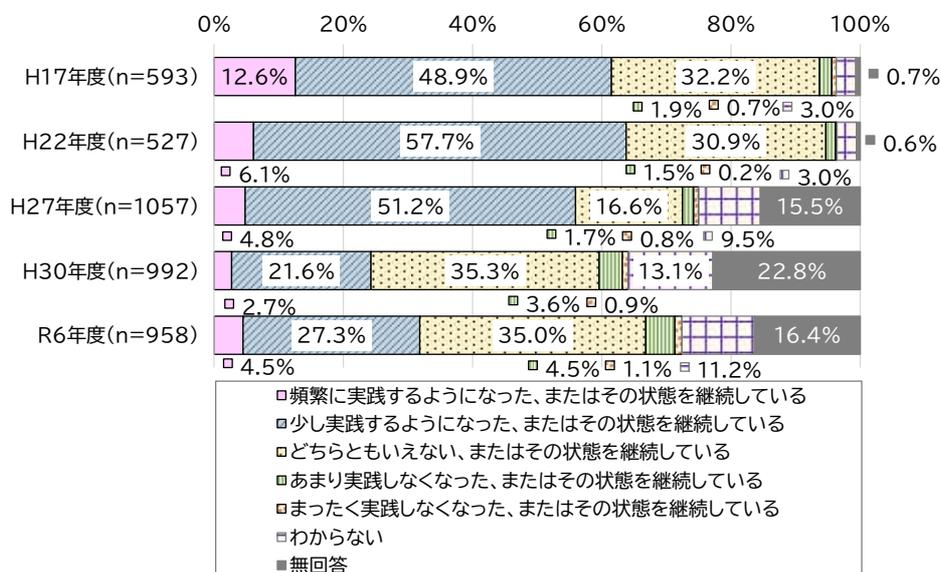
男女別で見ると、「頻繁に実践するようになった、またはその状態を継続している」「少し実践するようになった、またはその状態を継続している」を合わせた『実践するようになった』(以下同様)は、男性よりも女性が7ポイント高くなっています。

年代別で見ると、『実践するようになった』は、『30代～50代』でやや高くなっています。



◆経年推移

経年比較すると、『実践するようになった』はH27年調査までは半数を超えていますが、H30年調査で約2割と減少し、今回調査でやや増加し3割を超えています。



(3)上記(2)《行動》で「頻繁に実践するようになった、またはその状態を継続している」、「少し実践するようになった、またはその状態を継続している」と回答した方におうかがいします。実践するようになったきっかけは何ですか。(自由回答)

記述が 255 件あり 13 のカテゴリーに分け集計しました。

カテゴリー	頻繁に実践するようになった、またはその状態を継続している	少し実践するようになった、またはその状態を継続している	計
SNS等	3	7	10
テレビ・メディア・報道等	9	83	92
イベント	1	5	7
環境問題	10	55	68
SDGS	1	5	2
自治体	3	10	13
地域・町内会	4	14	18
学校	0	1	1
子ども	0	13	13
ボランティア	0	2	2
健康	1	4	5
仕事	2	4	6
その他	4	14	18
計	38	217	255

《記述の一部抜粋》

■頻繁に実践するようになった、またはその状態を継続している■

SNS等

- SNS. 自分の信頼をおけるコミュニティーの人々からの情報
- YouTube、インターネットニュース、家庭排水、プラゴミになるものは使わなくする。
- SNS、時代の流れ

テレビ・メディア・報道等

- テレビの報道、情報番組を見て
- ぐんま広報やテレビなどの報道を見て
- テレビの報道など 生活に時間ができ余裕ができた。
- 報道や、環境関連の本を読んで

等

イベント

- 広報やイベント案内。後期高齢者になり時間ができていろいろなイベントに興味が出た。

環境問題

- 環境の変化を実感しているから(町内のゴミのポイ捨てが増えたり、騒音もひどくなっている)
- 太陽光発電の活用、ガソリン車→EV への変更
- 気候変動の原因、温暖化の急速化、食品廃棄
- 地震や豪雨など猛暑が多いのでゴミを減らす。水の節約などテレビやネットで調べている。

等

SDGs

- SDGs のリサイクル

自治体

- 自治体の環境イベントへの参加等です。
- 仕事や自治体のイベント等や新聞・テレビ等やスマホ等
- 報道等と自治体からの情報や提案による。

地域・町内会

- 町内の役員になってからゴミの収集や地域の環境に関心を持つようになった。
- 町内の廃品回収
- 育成会等の活動
- 区長代理になった。

健康

- 化学物質過敏症などを訴える方々との交流、勉強会に参加して

仕事

- 近所迷惑の方が目上の人のお客を考えると庭をきれいにしたいです。しかし1人ではできません。市の支援職員を応援によこして相談してやっていきたいです。
- 教師として重視してきたから

その他

- 人とのつながり
- 個人的な学習
- グループホームに住居を変えたから
- 大学の授業から

■少し実践するようになった、またはその状態を継続している■**SNS等**

- WEB など
- YouTube
- SNS の投稿や動画

テレビ・メディア・報道等

- テレビなどの報道
- 新聞、テレビ等の報道
- ニュースや周りの人の実践を聞いて
- 新聞、テレビ、雑誌の報道やコラム投稿など、関連書籍 等

イベント

- 環境問題の新聞、テレビ報道。自分自身で関心を持って調べた。意識付けにつながるイベント（自治体）への参加
- 町の環境のイベント
- 各種報道、イベントへの参加、我家、畑の整理、草刈り
- 環境イベントの参加
- 自分の時間が持てるようになったので、イベント等に参加できるようになった。

環境問題

- 世界全体の環境の変化、悪化が著しいため。無関心ではいけない。
- ゴミの分別やリサイクルなど
- 太陽光発電装置を設置した。

3 調査結果

- 体感で温暖化を肌で感じるため
- 海洋ゴミ
- 異常気象

等

SDGs

- テレビや職場で SDGs をよく耳にする。
- SDGs をしらべて、行動にうつしてみた。
- 職場での SDGs の取り組み
- 孫が SDGs に関心を持ち始め 一緒にイベントに参加したりして
- 職場での ISO 関係の業務に携わり

自治体

- 自治体のイベントへの参加や各種団体での環境美化等の活動に参加して
- 自治体の指導
- テレビ、SNS、自治体の広報、イベント参加
- 自治体へのイベント参加

等

地域・町内会

- 町内会の役員になった為、公園の除草や町内の清掃に参加
- 地域や広報などのお知らせにより
- 区役員からの情報
- 地域の農家さんとの交流

等

学校

- 学校での授業を通して考えた(元教員)

子ども

- 子どもに対し、親の環境への関心を行動で見せなくてはと思い
- 子どもが学校で環境について学んだり、意見交換をしたり、講演会などに参加したりすることで、身近にできることを継続していきたいと思った。
- 子供が生まれ幼稚園や地域で廃品回収などの機会があるため
- 子供が未来の環境のことを考えるようになったため

等

ボランティア

- 自治会地区内ボランティアでサイクリングロードや遊歩道の清掃、花植え等の美化活動に参加
自家用車買換えの時にガソリン車からハイブリッド車へ変更
- 災害ボランティアへの参加

健康

- 家族の話や関心、病気などで
- 自身の健康の為、一人だから
- 気持の問題
- コロナや年齢で何かと考える時間が増えたので

仕事

- 自分自身の仕事での活用
- ごみの分別の徹底を職場の取り組みから日常のクセになった。
- 新聞、テレビなどの報道、職場での取り組み
- 勤務先の会社で廃棄物削減等 3R 活動に取り組んでいるため。私生活でも意識するようになった。

その他

- 自分の生活のゆとりができた為
- 生活をしていて、不快だと思ふことが多いため、自分は正しく実践しようという気持ちになった。
- 自発的に
- 実践とは表現出来ないがそうありたいと思えるように行動するようになりました。
- なんとなく
- 社会問題とこれからを意識して
- 日常を過ごす中で、気がついた事を少し

等

(4)上記(2)《行動》で「どちらともいえない、またはその状態を継続している」～「まったく実践しなくなった、またはその状態を継続している」と回答した方におうかがいします。あまり実践に結びつかないのは、どのような理由によるものですか。(自由回答)

自由記述が 229 件あり 11 のカテゴリーに分け集計しました。

カテゴリー	どちらともいえない、またはその状態を継続している	あまり実践しなくなった、またはその状態を継続している	まったく実践しなくなった、またはその状態を継続している	計
夫婦共働き	7	2	0	9
介護のため	3	1	1	5
障害者のため	2	1	0	3
高齢のため	12	3	0	15
健康問題	4	8	1	13
環境問題	26	3	1	30
子育てのため	7	2	1	10
家庭・金銭の問題	6	2	0	8
興味・関心がない	15	1	2	18
地域活動にて	5	2	1	8
忙しい・時間がない	33	5	2	40
面倒・わからない・機会がない	27	6	1	34
その他	35	1	0	36
計	182	37	10	229

《記述の一部抜粋》

■どちらともいえない、またはその状態を継続している■

夫婦共働き

- 夫婦共稼ぎで、手間のかからない行動をせざるを得ない
- 夫婦共稼ぎなので行動に移すほど関心がない
- 夫婦共稼ぎなため、時間が持てない

等

介護のため

- 仕事、親の介護で時間に余裕が無い
- 夫婦共稼ぎで介護もあり、何かをする時間が無いため
- 親の介護と仕事で忙しい
-

障害者のため

- 75 才で障害者のため自身のことが精一杯で皆様のお役に立てない状況
- 身体障害持ちなので関心はあるが行動を起こす事が難しい

高齢のため

- 高齢化に伴い体を動かすのがむずかしい
 - 高齢であるが二人とも働いており、なかなか実践できない。関心は有る。
 - 高齢になり買物、通院が不便。車に乗れなくなった時など不安
- 等

健康問題

- コロナ後体力↓↓。家にいる事多くなった。
- 少しずつ自分の出来る事を体力の都合で行います。
- 体調面
- 体力の低下

環境問題について

- 水害も災害もそれほど起きず殆ど体験せず済んでいる。2011年の東北大震災の時には、地盤が少し柔らかいので瓦がズレたが自力で直せた。畑の跡地で少し固めただけの小砂を入れて30m位、50坪位埋めただけで他にはやっていなかった為に部分的な揺れで起きてしまったのか知れないが、凡夫下郎としては実にやり様が無い為の上の人の活躍を待つしかないのです。
- 自宅周りの清掃は常日頃しているが、他の人と環境問題について共に意識を高め合う場があればいいと思う。移住して、温泉が大好きになりました。しかし同時に、地球の環境が悪くなってしまったら、自然の恵みである温泉はどうなってしまうのだろうと心配になる時があります。群馬の温泉、山の幸、長く続くようにみんなで意識を高められたらいいなと思います。
- 自宅前にある雨水調整池に度々ゴミ捨てがあり、ゴミ拾いを行うが綺麗にならない。また、雑草が酷く道路まで、草が茂って仕舞い通行の妨げになっている。
- 分別ゴミの出せる日が、以前の居住地より減った。

子育てのため

- 子育てに時間をかけている。
 - 仕事、子育て中で生活するので手いっぱい
 - なるべく育児に参加し子供中心の生活の為時間が無い
 - まだ子供が小さく夫も長期出張があるため家のことで手一杯
 - 子育てや仕事など日常生活にかかる時間が多くなってきているから
- 等

家庭・金銭の問題

- 家庭環境の変化でそこまで追いついていない
 - 金銭的に余裕がない
 - 日々の忙しさ及び実質賃金の低下
 - 子供も小さいし、経済的にも気持ち的にも余裕がないから関心も行動も向けられない
- 等

興味・関心がない

- あまり関心が無いから
 - 改めて、参加しようという意欲がわからない
 - 興味が無い
 - 行動を変えるほど、情報や意識の変化がなかった。
- 等

地域活動にて

- 団体での活動はできないが個人の生活でできることを継続して行っている。その方向に変わりはない。
- 近所に廃屋が多く自分一人の力ではどうにもならない。危険です。
- 公民館などの環境や地域の催しなどは時々出席しています。

- 地域の不燃物分別ルールに従ったゴミ処理をする程度 等

忙しい・時間がない

- 仕事の時間が長く行動を起こす時間がない
- 仕事や生活に重点を置いているので、意識的にあまり考えられない状況です。
- 自宅での対応で外での活動はむずかしい
- 生活に追われて心に余裕がない
- 日々の生活で手一杯なのでそこまでの余裕がない 等

面倒・わからない・機会がない

- きっかけや機会が特に無いから
- どのようにしていいかわからない
- なんにも変わったと感じない、活性化してるとも劣化してるとも言えない
- 忙しかったり面倒くさかったりして、最低限の取り組みに留まっています。 等

その他

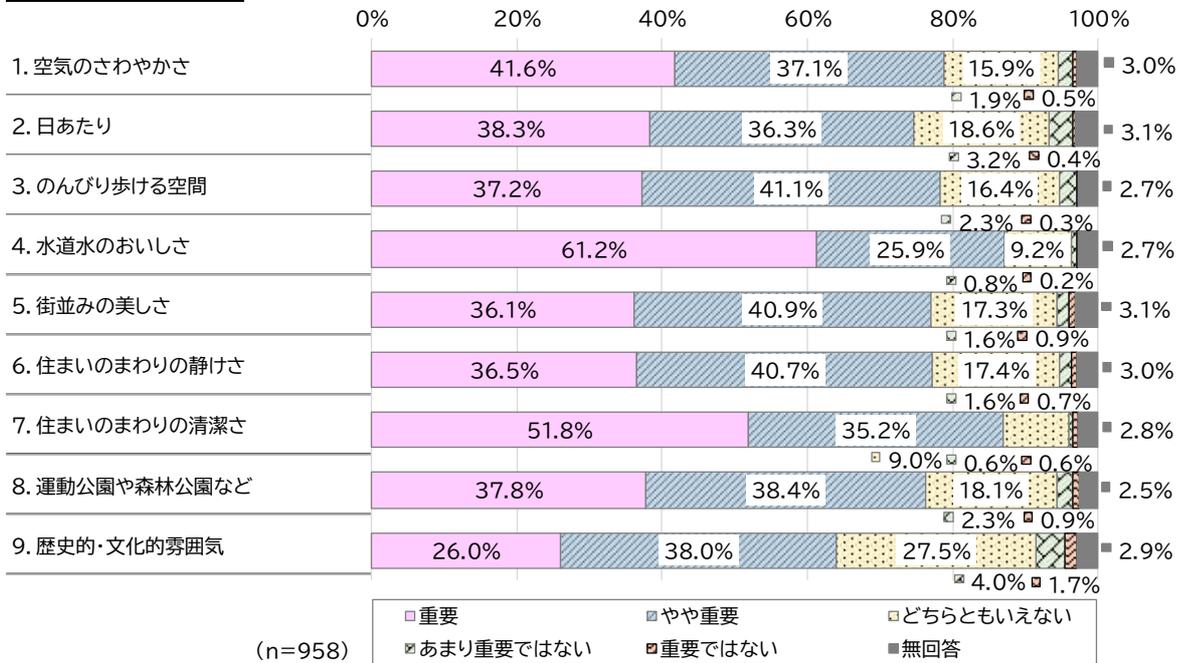
- 切迫感が足りないから
- 1人暮らしで、年齢的にもどのようにしていいものか？身の回りで出来る事位しか出来ない。ゴミの分別とか家の回りをきれいにする事位です。
- 基本的に決められた行動はしています。何かに影響を受けて行動が増えたりはしていません。
- 決まりごとは行動をしているが進んではしていないと思う。
- 行政等の対応にあまり変化がなく個人の変化に結びついてこない
- 個人で出来る事があまりないから
- 仕方がない
- できることはやってきたからあまり変わらない
- 出来る範囲内で実践
- 都市部に比べ景観に対する行政の取り組み姿勢が希薄に感じる。
- 当たり前のことなので、10年以上前から行動している。
- 不満が無い

3-3-5 快適環境確保のために県に求められる取組

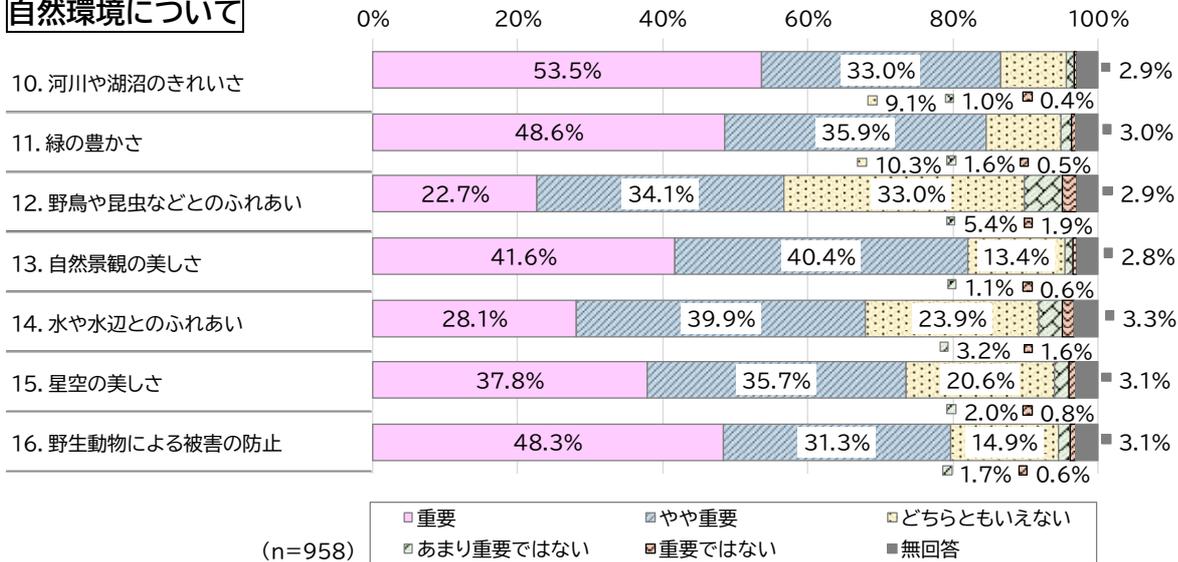
問4 あなたは、快適で住みよい環境を確保していくために、群馬県としてどのような取組をしていくことが重要だと思いますか。それぞれの項目について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

◆R6年度傾向

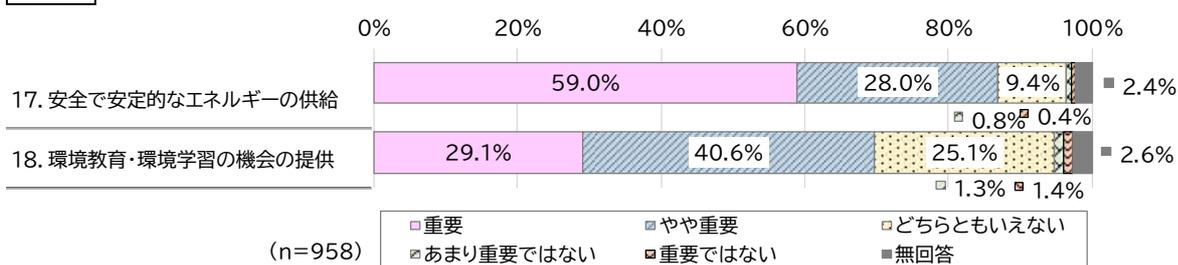
生活環境について



自然環境について



その他

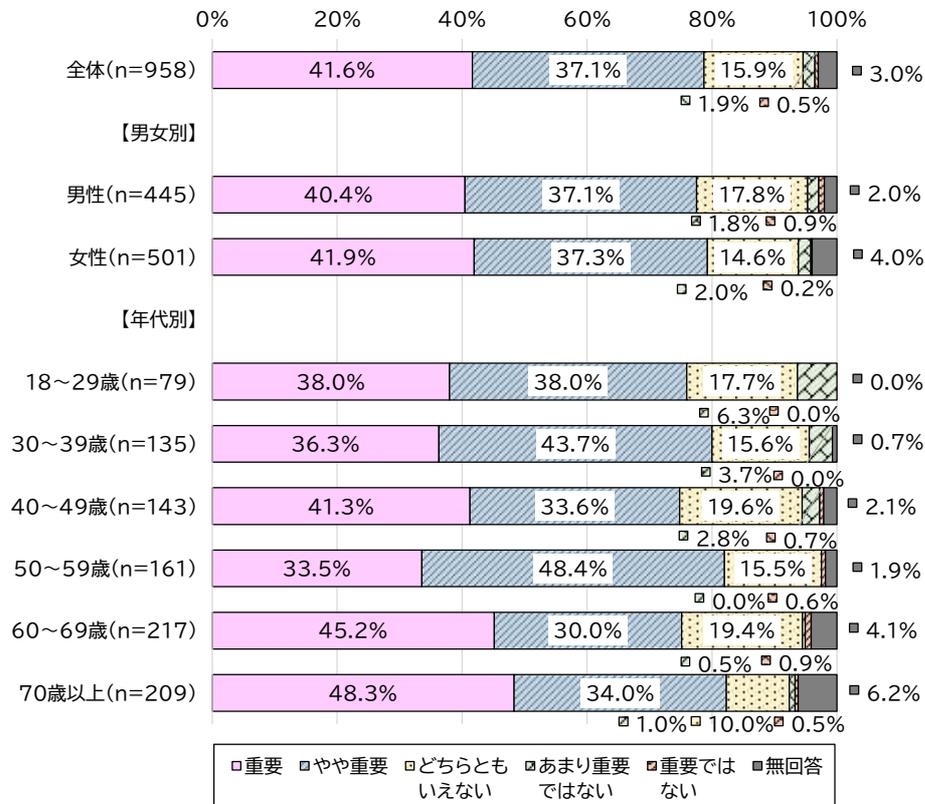


□生活環境について□

1. 空気のさわやかさ

◆男女別・年代別

年代別でみると、「重要」は、「40代」「60代以上」で4割を超えてやや高くなっています。

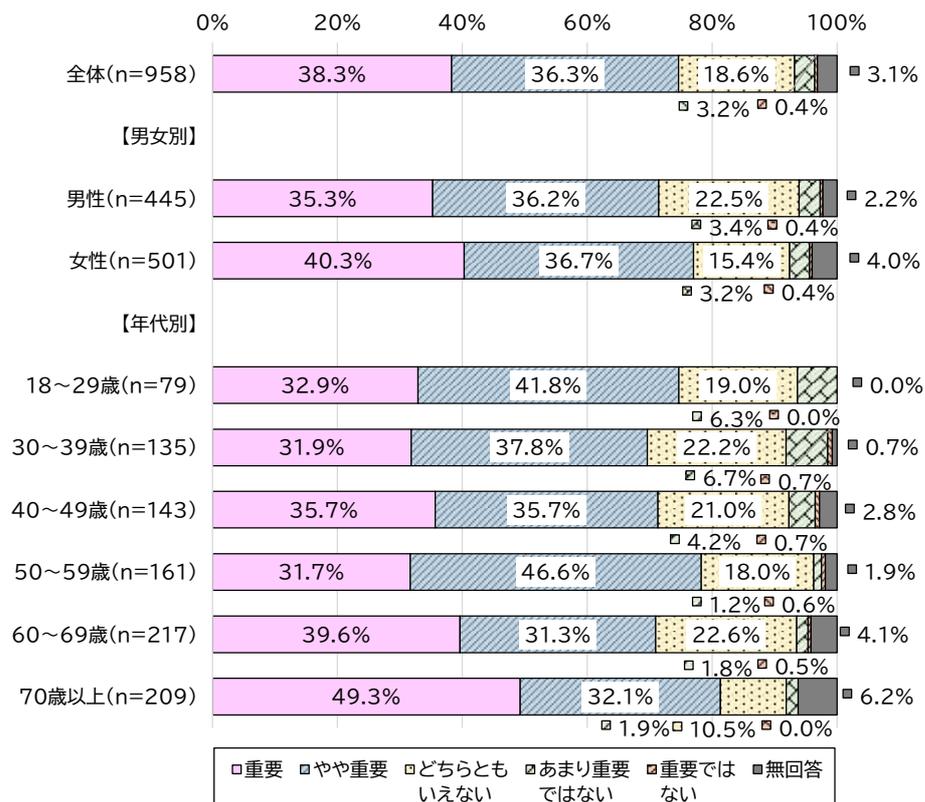


2. 日あたり

◆男女別・年代別

男女別でみると、『重要』は、男性よりも女性が5.6ポイント高くなっています。

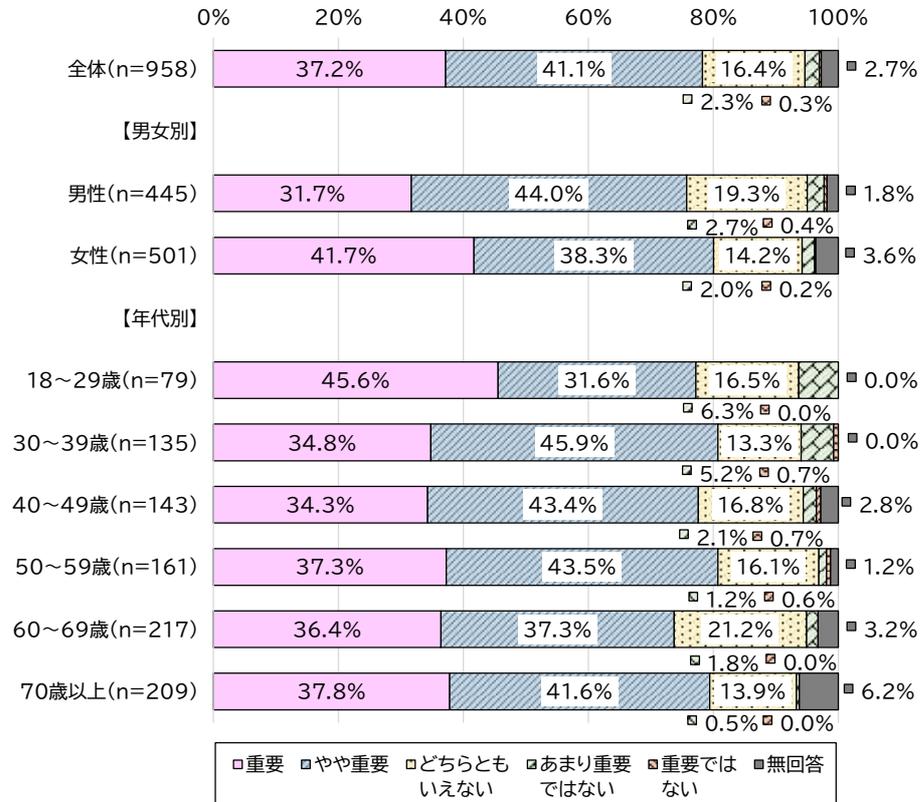
年代別でみると、『重要』は、「70歳以上」で8割を超えています。



3. のんびり歩ける空間

◆男女別・年代別

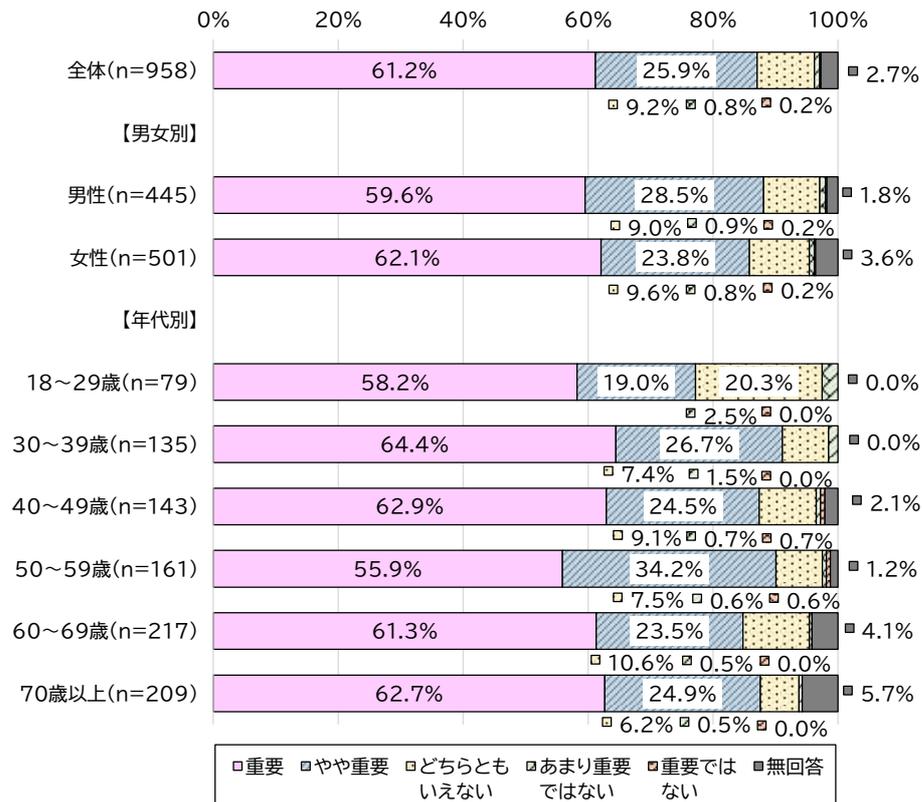
男女別で見ると、「重要」は、男性よりも女性が10ポイント高くなっています。



4. 水道水のおいしさ

◆男女別・年代別

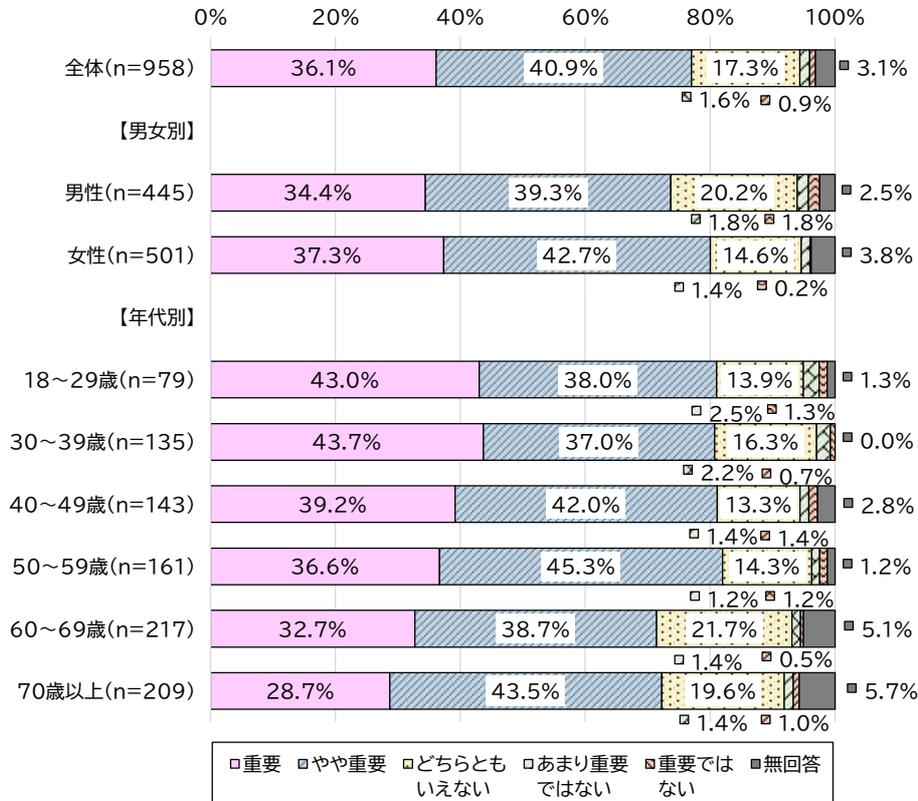
年代別で見ると、『重要』は、「30代」「50代」で9割を超えています。



5. 街並みの美しさ

◆男女別・年代別

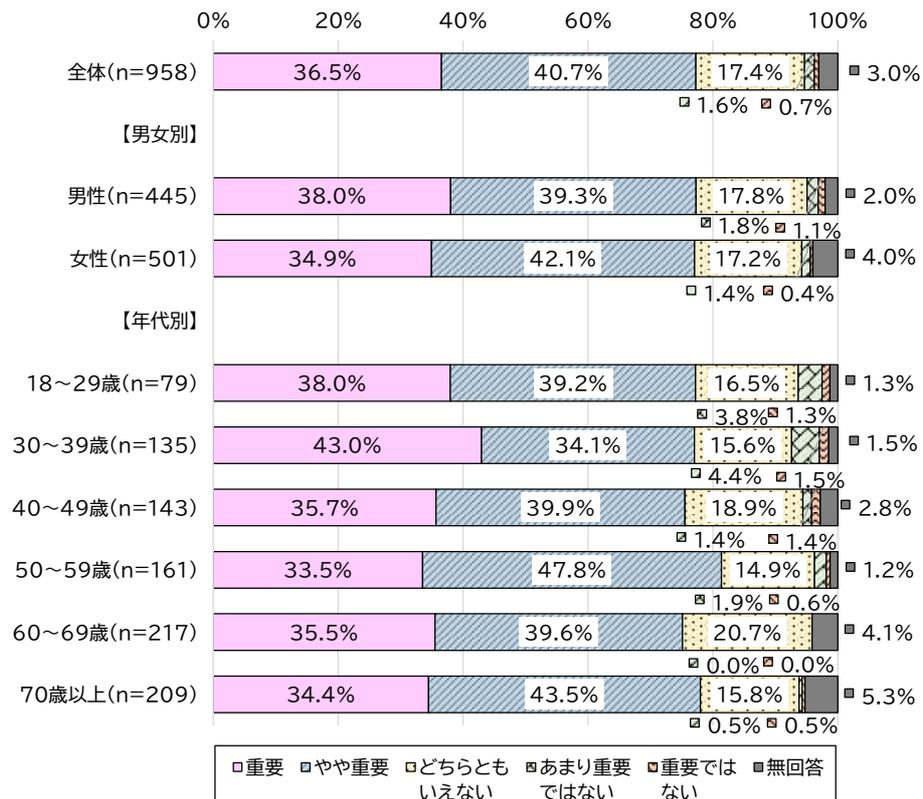
男女別でみると、『重要』は、男性よりも女性が6.3ポイント高くなっています。
年代別でみると、『重要』は、『18～50代』で8割を超えています。



6. 住まいのまわりの静けさ

◆男女別・年代別

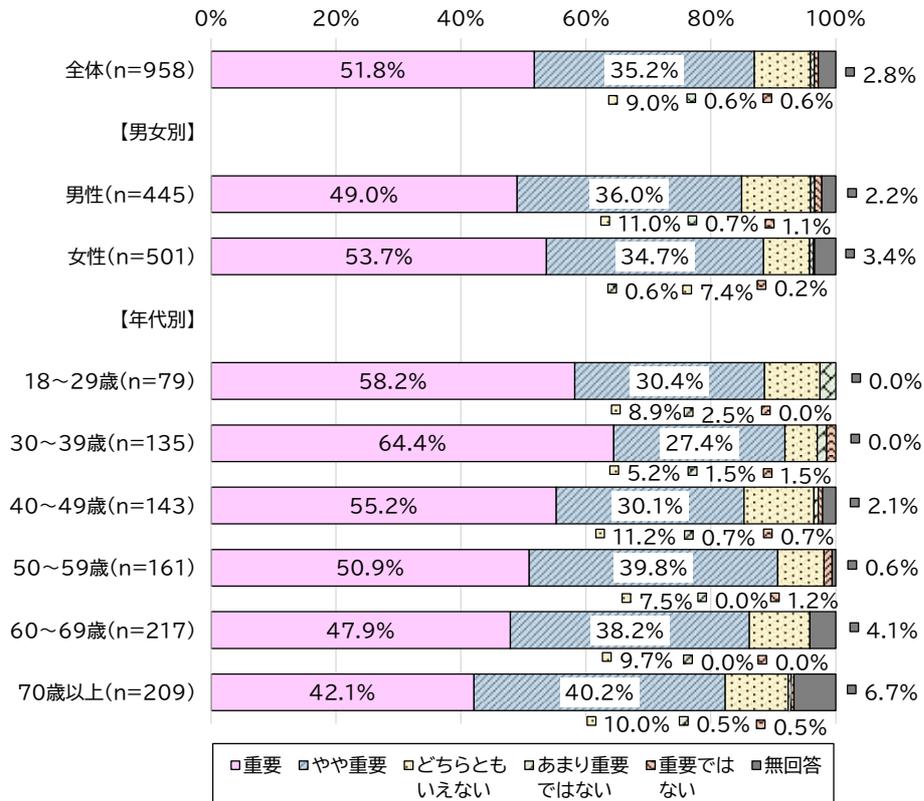
年代別でみると、『重要』は、「50代」で8割を超えています。



7. 住まいのまわりの清潔さ

◆男女別・年代別

年代別でみると、「重要」は、「30代」で6割を超え最も高く、年代が上がるほど減少しています。

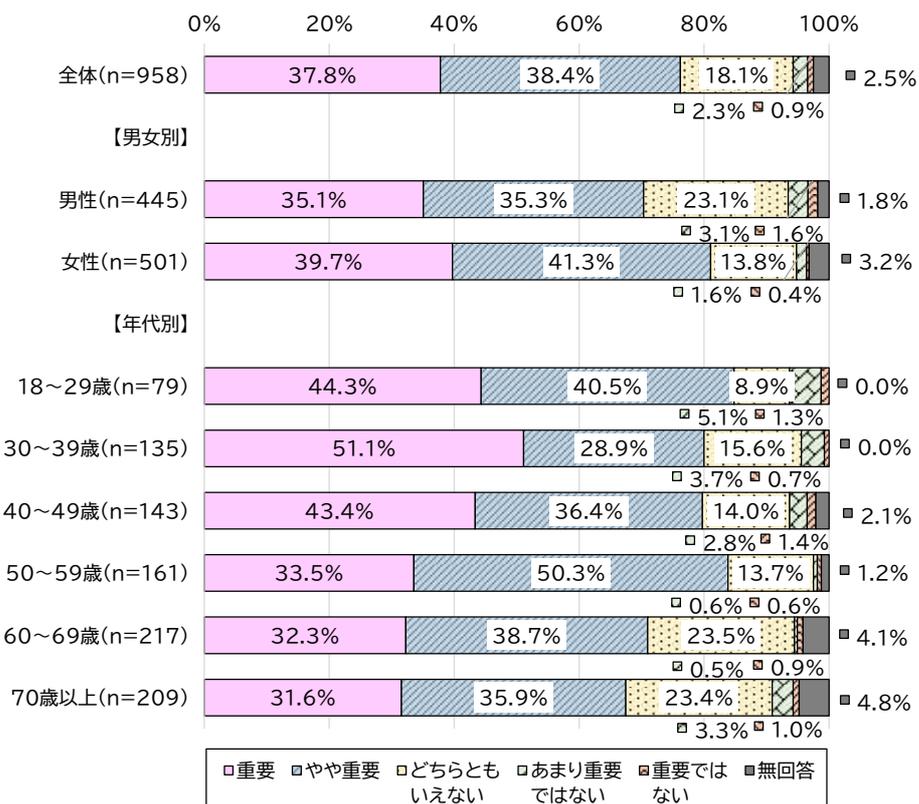


8. 運動公園や森林公園など

◆男女別・年代別

男女別でみると、『重要』は、男性よりも女性が10.6ポイント高くなっています。

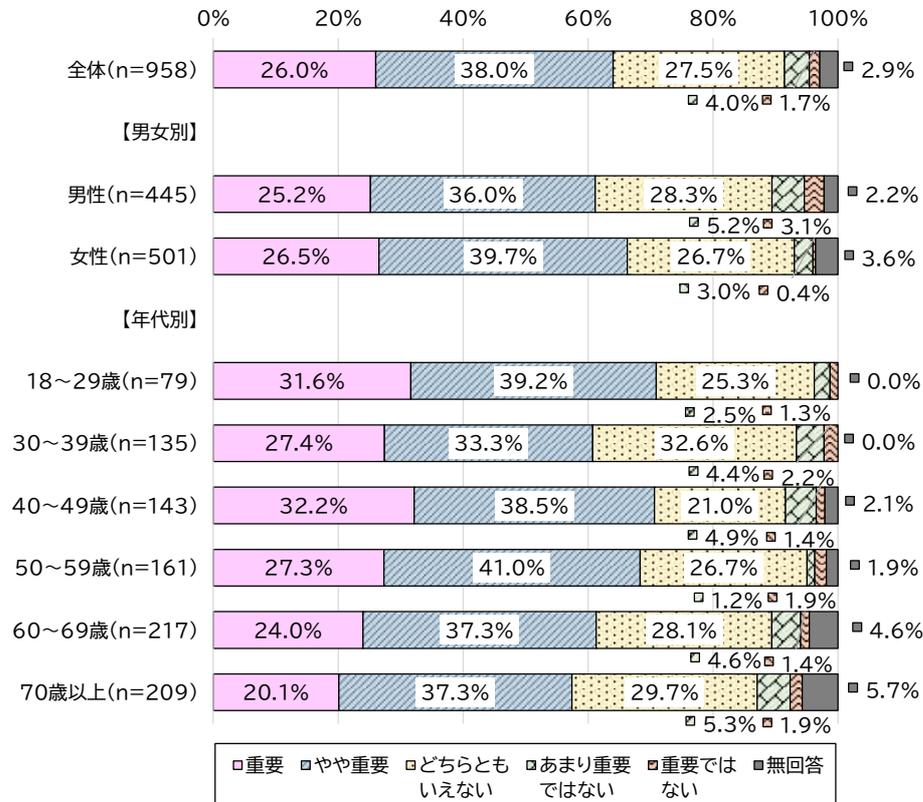
年代別でみると、「重要」は、「30代」で5割を超えています。



9. 歴史的・文化的雰囲気

◆男女別・年代別

男女別で見ると、『重要』は、男性よりも女性が5ポイント高くなっています。

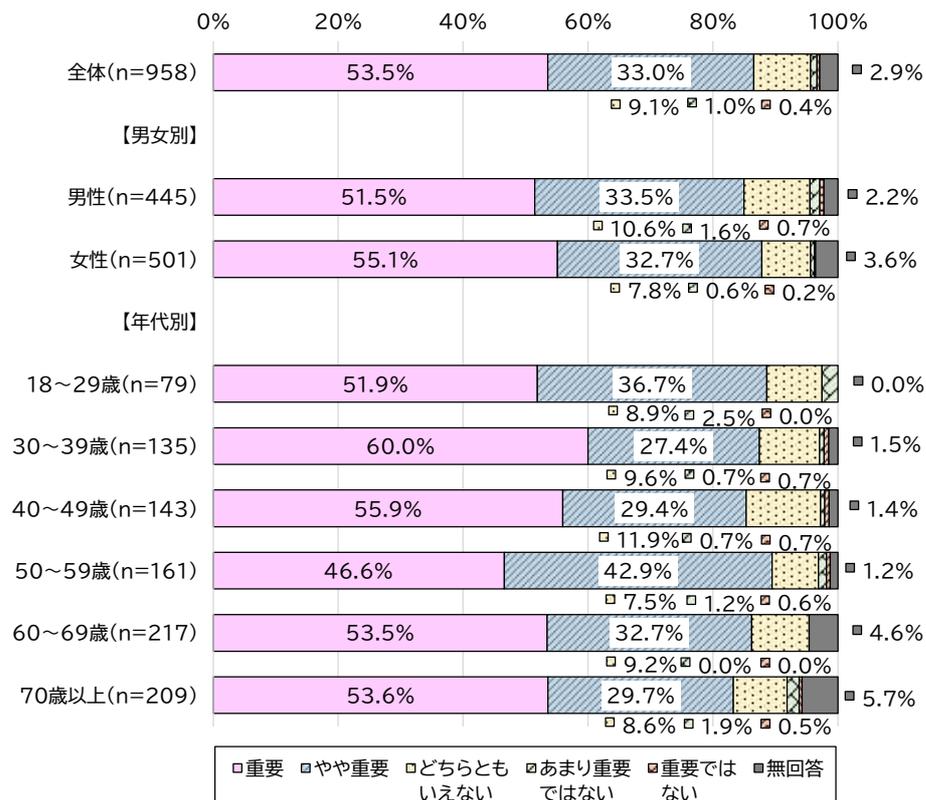


□自然環境について□

10. 河川や湖沼のきれいさ

◆男女別・年代別

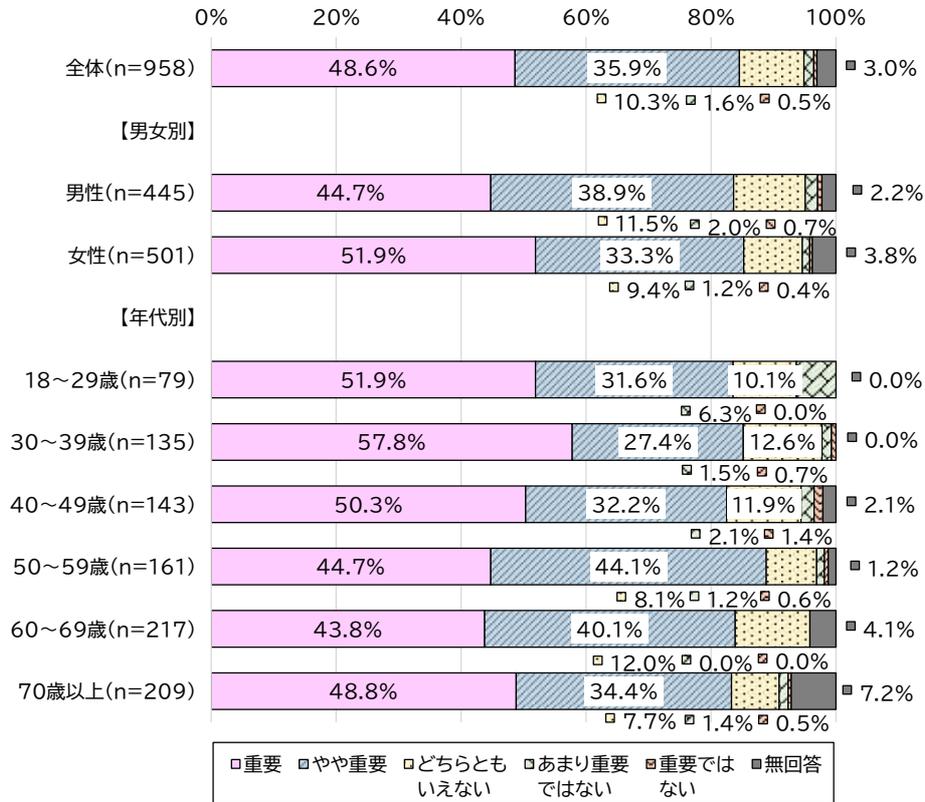
年代別で見ると、「重要」は、「30代」で6割となっています。



11. 緑の豊かさ

◆男女別・年代別

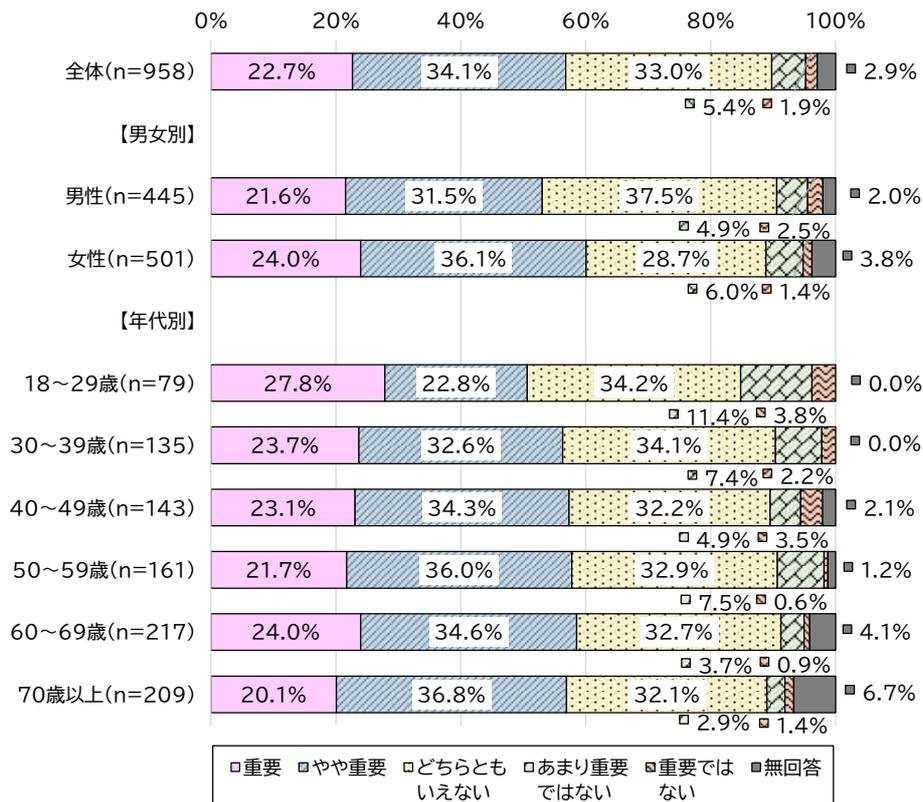
年代別で見ると、「重要」は、「30代」で約6割となっています。



12. 野鳥や昆虫などとのふれあい

◆男女別・年代別

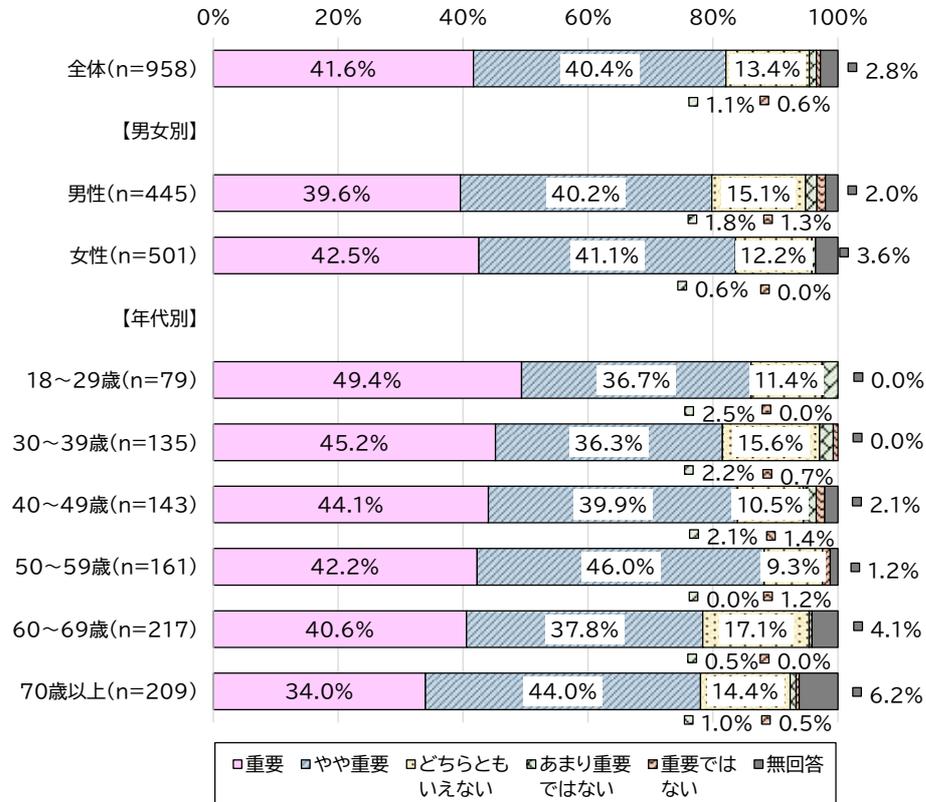
男女別で見ると、『重要』は、男性よりも女性が7ポイント高くなっています。



13. 自然景観の美しさ

◆男女別・年代別

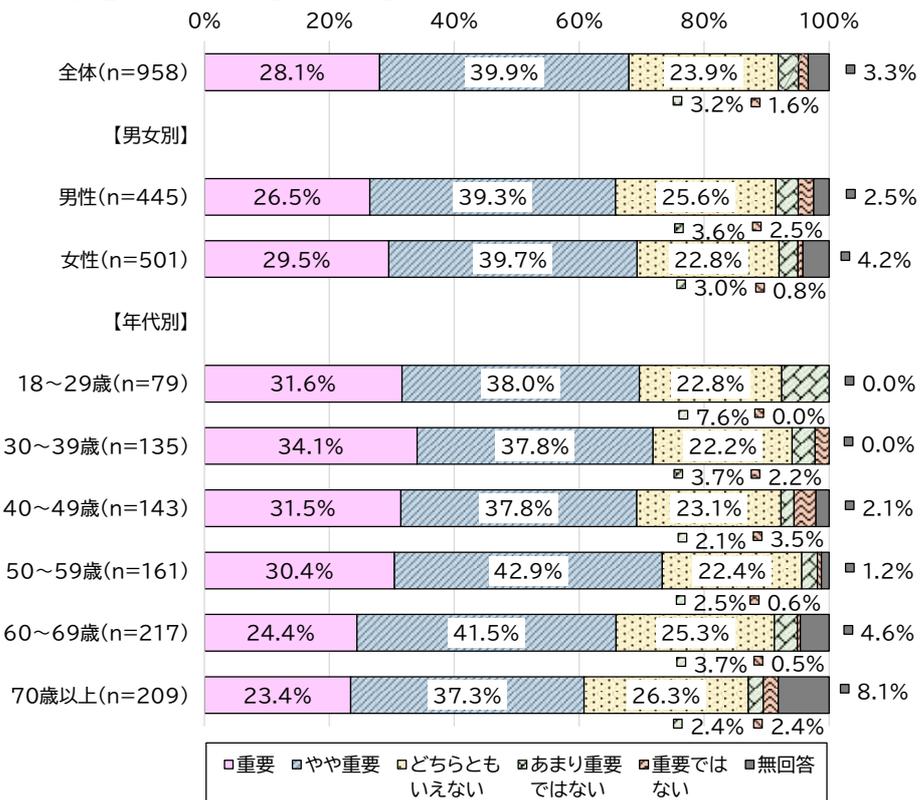
年代別で見ると、「重要」は、若いほど高く「18～20代」で約5割となっています。



14. 水や水辺とのふれあい

◆男女別・年代別

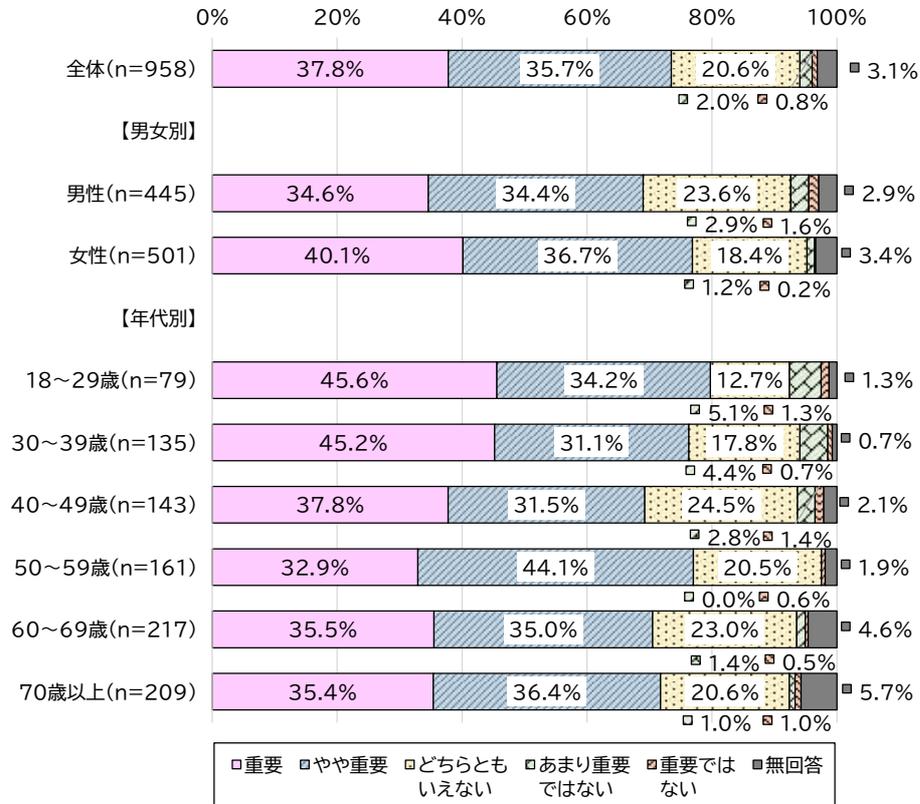
年代別で見ると、『重要』は、「30代」「50代」で7割を超えています。



15. 星空の美しさ

◆男女別・年代別

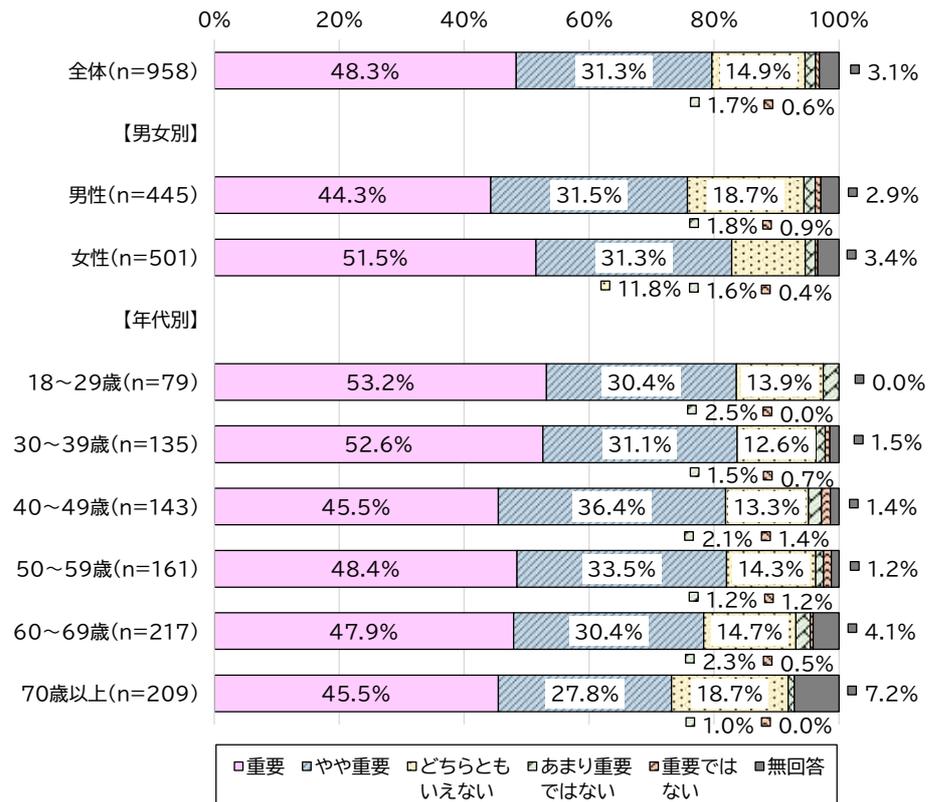
男女別で見ると、『重要』は、男性よりも女性が7.8ポイント高くなっています。



16. 野生動物による被害の防止

◆男女別・年代別

男女別で見ると、『重要』は、男性よりも女性が7ポイント高くなっています。

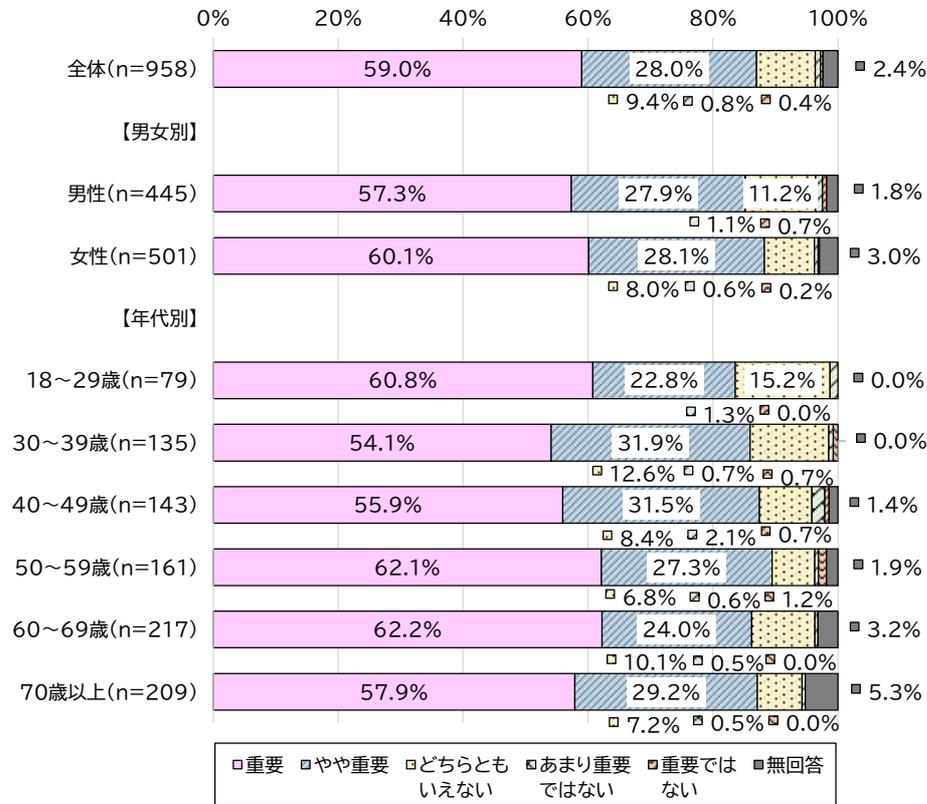


□その他□

17. 安全で安定的なエネルギーの供給

◆男女別・年代別

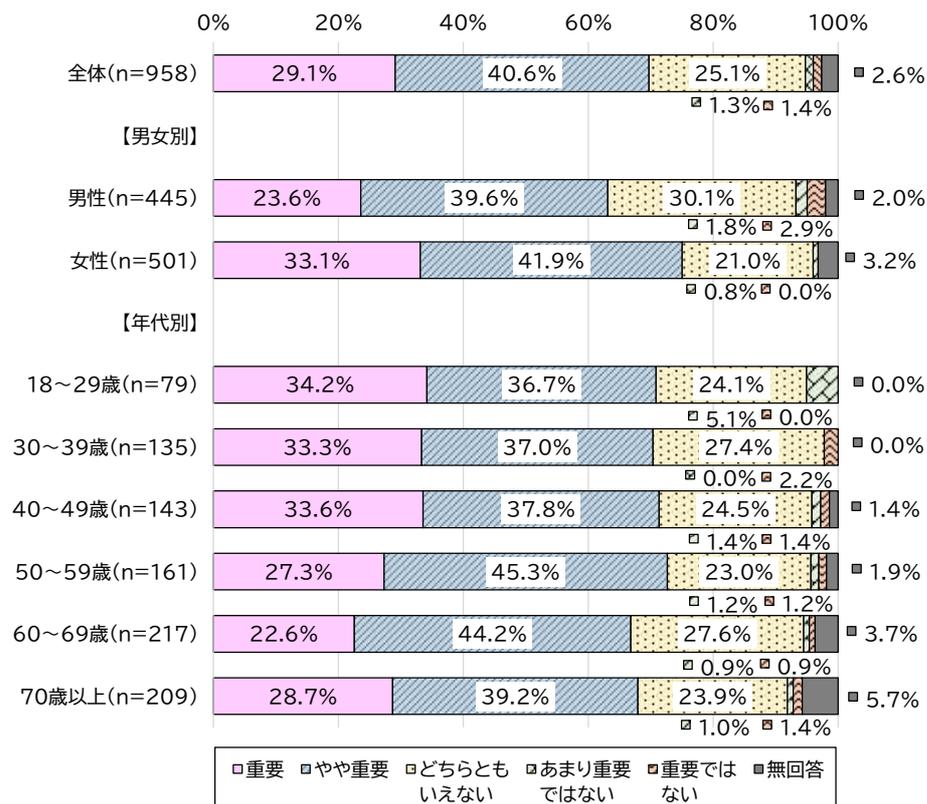
年代別でみると、『重要』は、「50代」で約9割となっています。



18. 環境教育・環境学習の機会の提供

◆男女別・年代別

男女別でみると、『重要』は、男性よりも女性が11.8ポイント高くなっています。

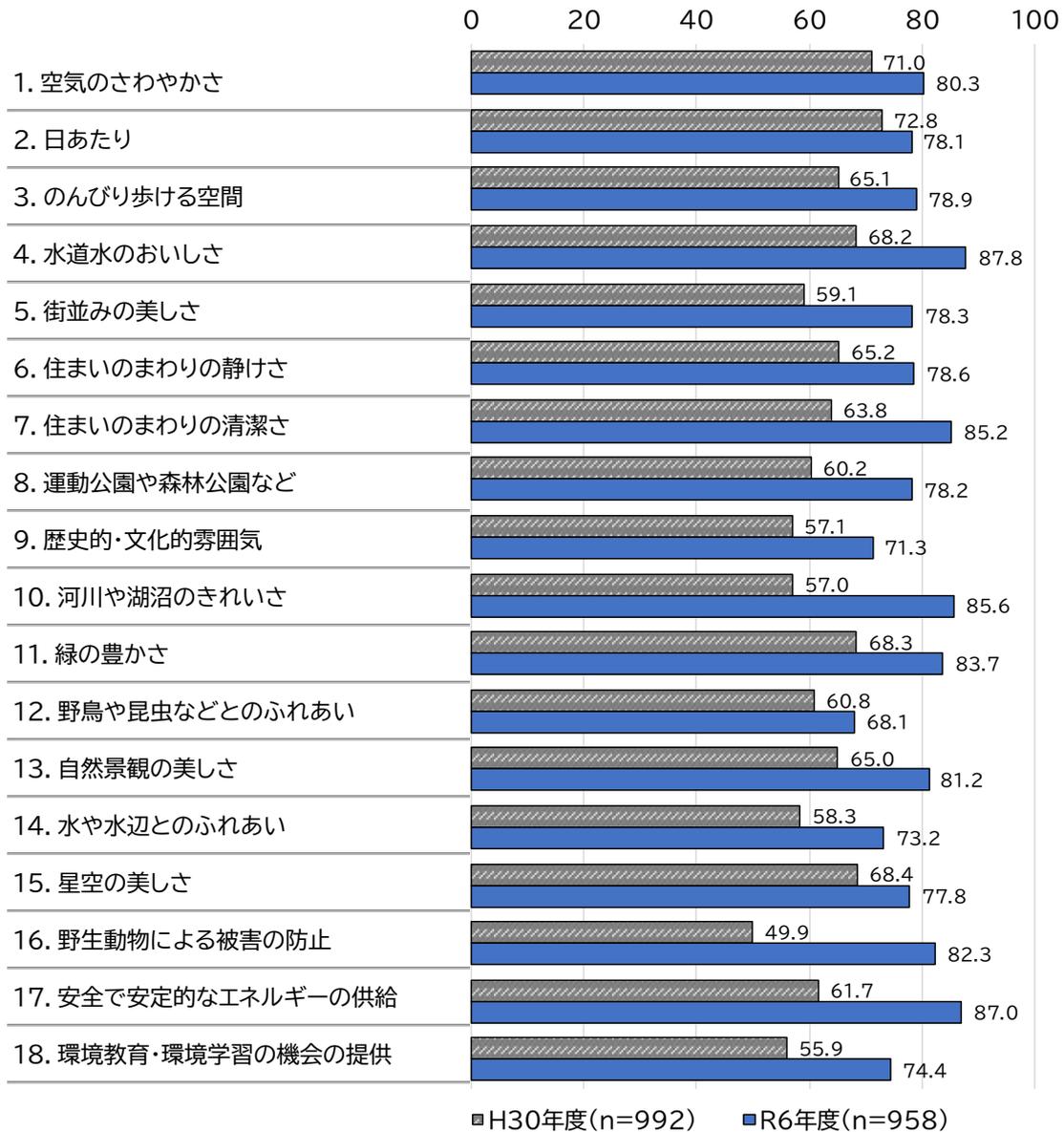


◆経年推移（加重平均）

加重平均の求め方

「重要」=100点、「やや重要」=75点、「どちらともいえない」=50点、
「あまり重要ではない」=25点、「重要ではない」=0点とし加重を与え、指標化

経年比較すると、すべての項目で重要度が上がっており、「16. 野生動物による被害の防止」が32.4ポイント、「10. 河川や湖沼のきれいさ」が28.6ポイント高くなっています。

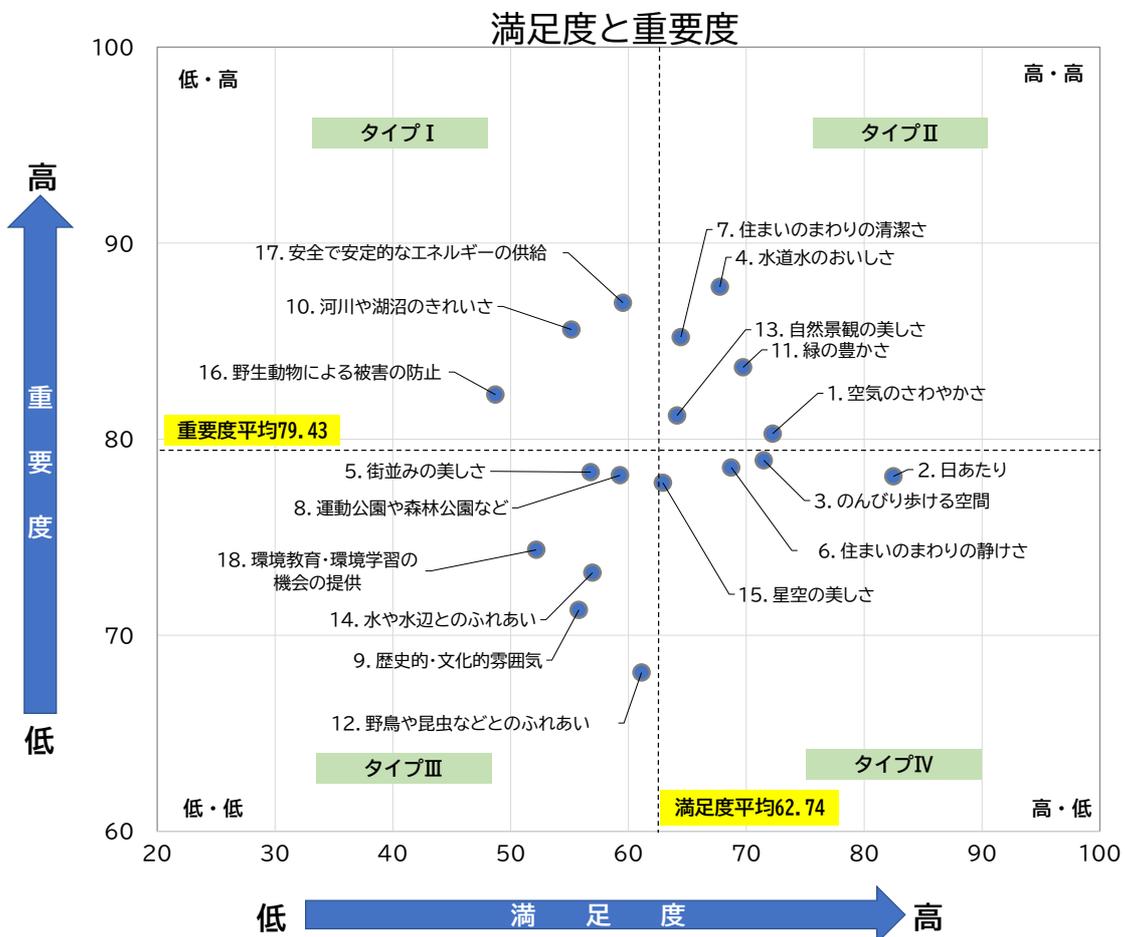


※H17年度、H22年度、H27年度調査はありません。

◆満足度（問2）と重要度（問4）の加重平均によるタイプ分類

分類	説明
タイプⅠ	満足度が低く、重要度が高い 県民のニーズが高く、今後の取組が特に求められている施策
タイプⅡ	満足度が高く、重要度も高い 現在の水準が維持できるよう、継続的に推進することが求められている施策
タイプⅢ	満足度が低く、重要度も低い 実施・継続の必要性について検証するとともに、必要に応じて県民への周知が求められる施策
タイプⅣ	満足度が高いが、重要度は低い 水準の維持が求められますが、県民からみた優先度は高くない施策

満足度と重要度で、タイプ分類をすると、タイプⅠは3項目、タイプⅡは5項目、タイプⅢは6項目、タイプⅣは4項目となっています。



3 調査結果

タイプ別にみると、県民のニーズが高く、今後の取組が特に求められている施策のタイプⅠは、「10. 河川や湖沼のきれいさ」「16. 野生動物による被害の防止」「17. 安全で安定的なエネルギーの供給」となっています。

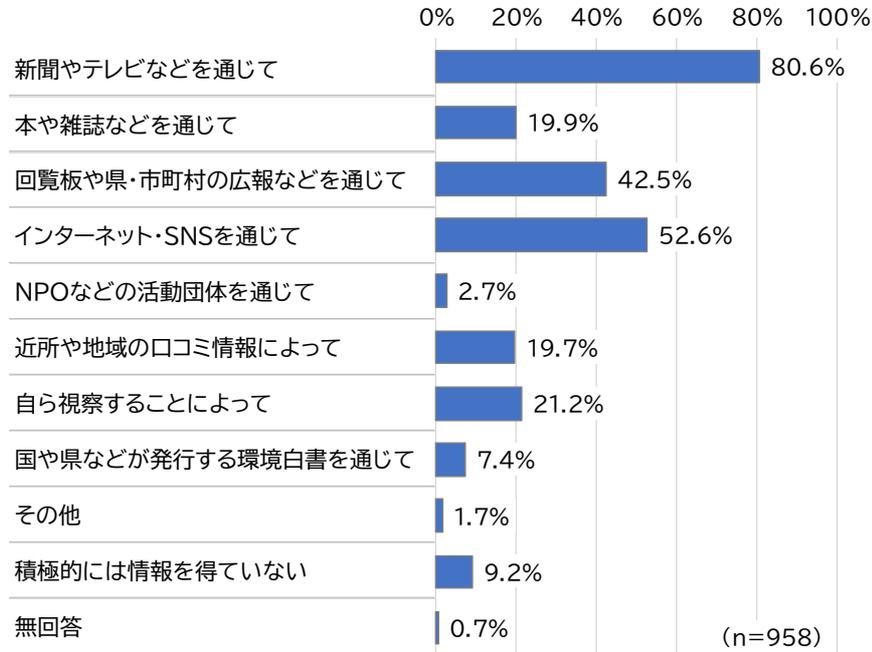
基本目標	満足	重要	満足・重要
タイプⅠ			
10. 河川や湖沼のきれいさ	55.16	85.59	低・高
16. 野生動物による被害の防止	48.71	82.27	低・高
17. 安全で安定的なエネルギーの供給	59.53	86.95	低・高
タイプⅡ			
1. 空気のさわやかさ	72.23	80.27	高・高
4. 水道水のおいしさ	67.76	87.77	高・高
7. 住まいのまわりの清潔さ	64.44	85.20	高・高
11. 緑の豊かさ	69.73	83.67	高・高
13. 自然景観の美しさ	64.12	81.20	高・高
タイプⅢ			
5. 街並みの美しさ	56.79	78.31	低・低
8. 運動公園や森林公園など	59.28	78.16	低・低
9. 歴史的・文化的雰囲気	55.78	71.29	低・低
12. 野鳥や昆虫などのふれあい	61.11	68.09	低・低
14. 水や水辺とのふれあい	56.95	73.19	低・低
18. 環境教育・環境学習の機会の提供	52.17	74.36	低・低
タイプⅣ			
2. 日あたり	82.48	78.10	高・低
3. のんびり歩ける空間	71.48	78.92	高・低
6. 住まいのまわりの静けさ	68.72	78.55	高・低
15. 星空の美しさ	62.92	77.77	高・低
平均	62.74	79.43	

3-4 環境問題に関する情報源

3-4-1 環境問題に関する情報源

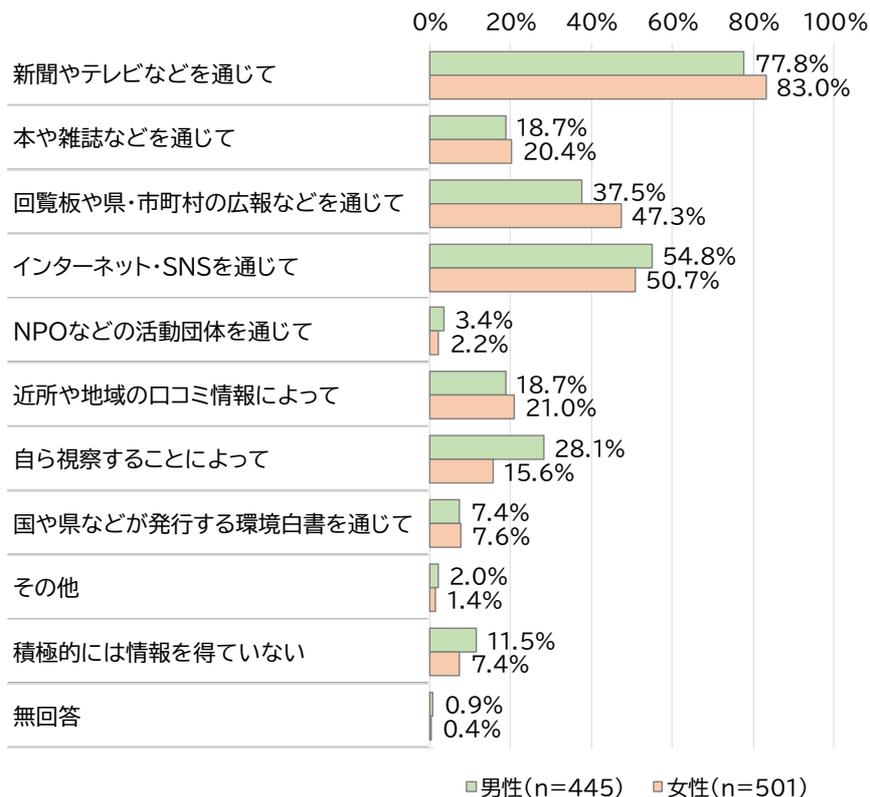
問5 あなたは、どのようにして、自然環境や身近な生活環境についての情報を得ていますか。
あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

◆令和6年度傾向



◆男女別

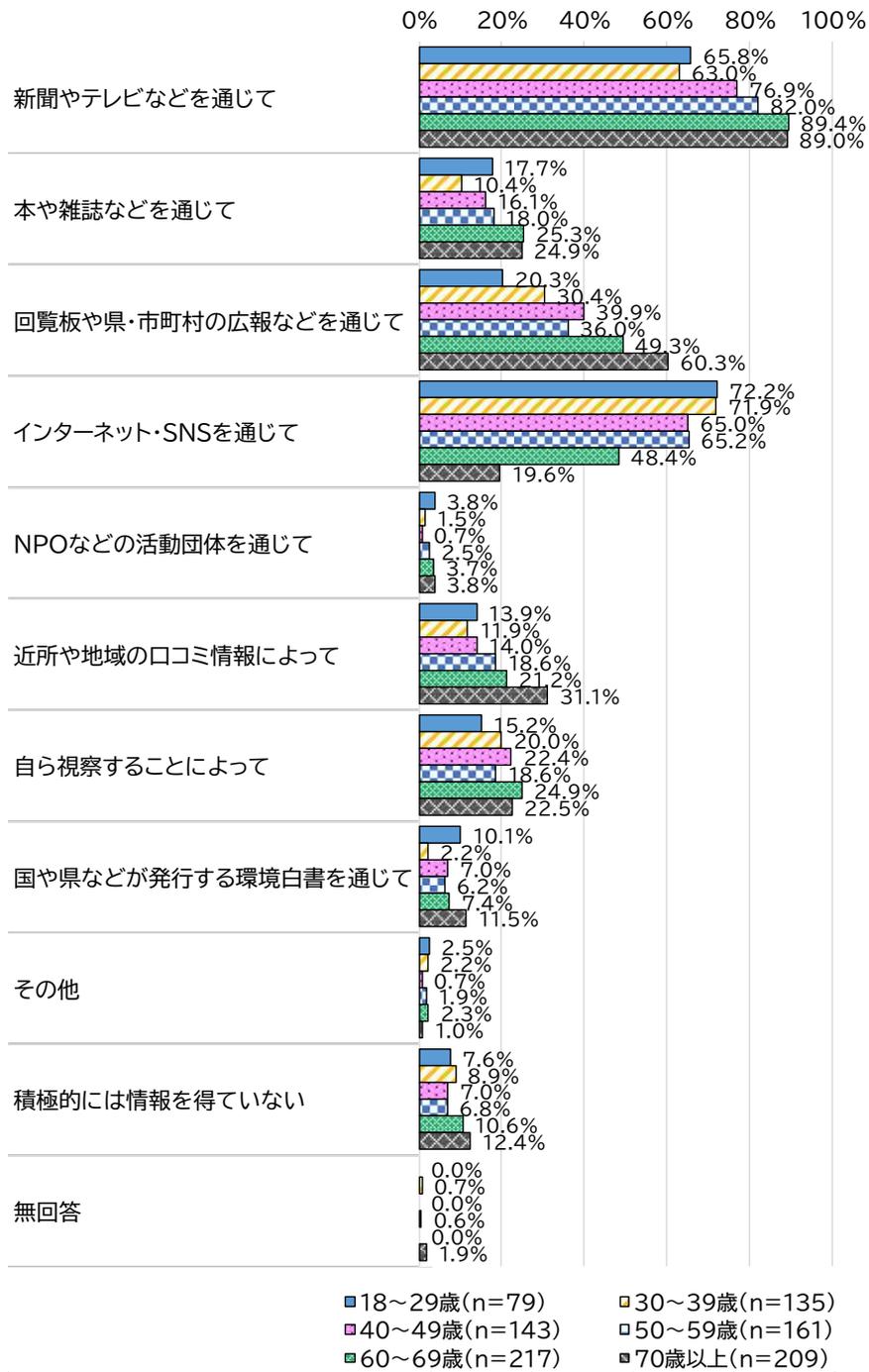
男女別でみると、「自ら視察することによって」は、女性よりも男性が12.5ポイント高くなっています。一方、「回覧板や県・市町村の広報などを通じて」は、男性よりも女性が9.8ポイント高くなっています。



3 調査結果

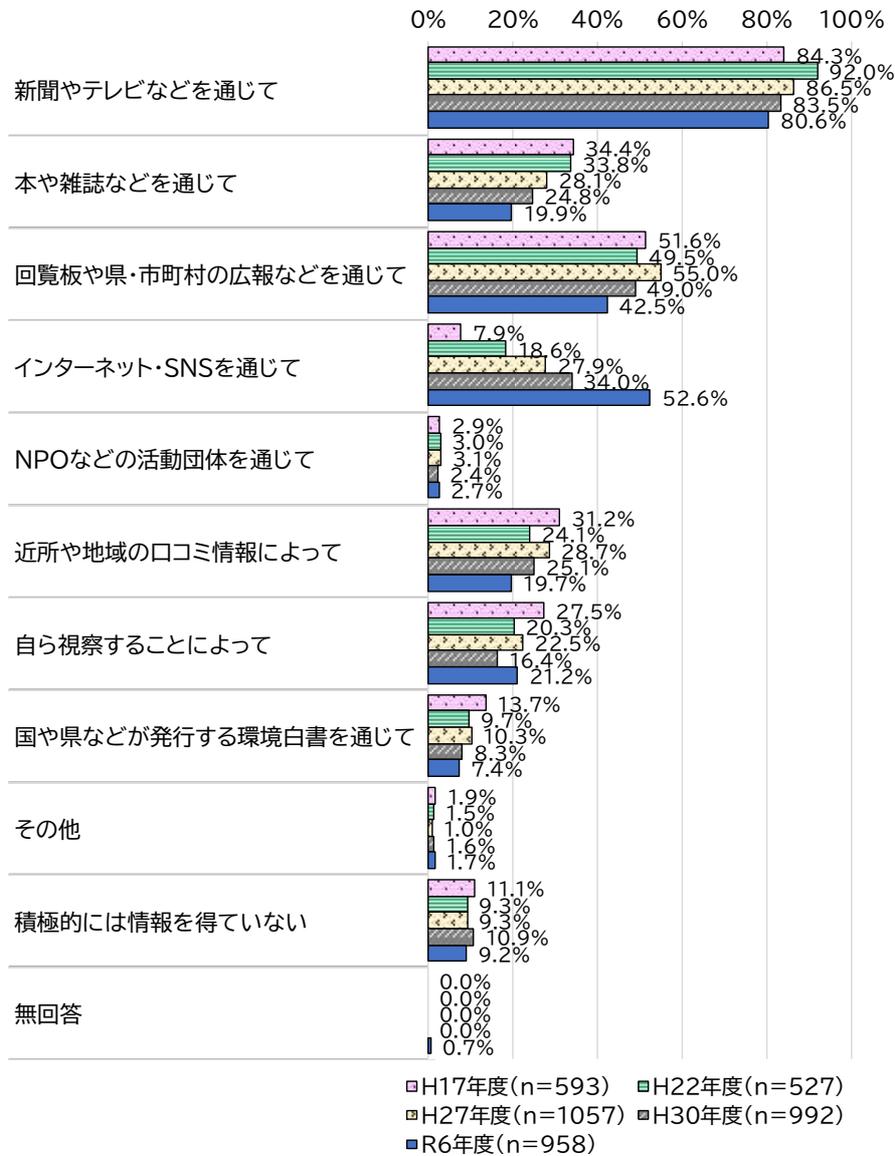
◆年代別

年代別でみると、「新聞やテレビなどを通じて」「回覧板や県・市町村の広報などを通じて」は、年代が上がるほど高く、「インターネット・SNSを通じて」は、若くなるほど高い傾向となっています。



◆経年推移

経年比較すると、「インターネット・SNSを通じて」は、H30年度調査より今回調査で18.6ポイント高く増加傾向、その他の項目はやや減少傾向となっています。

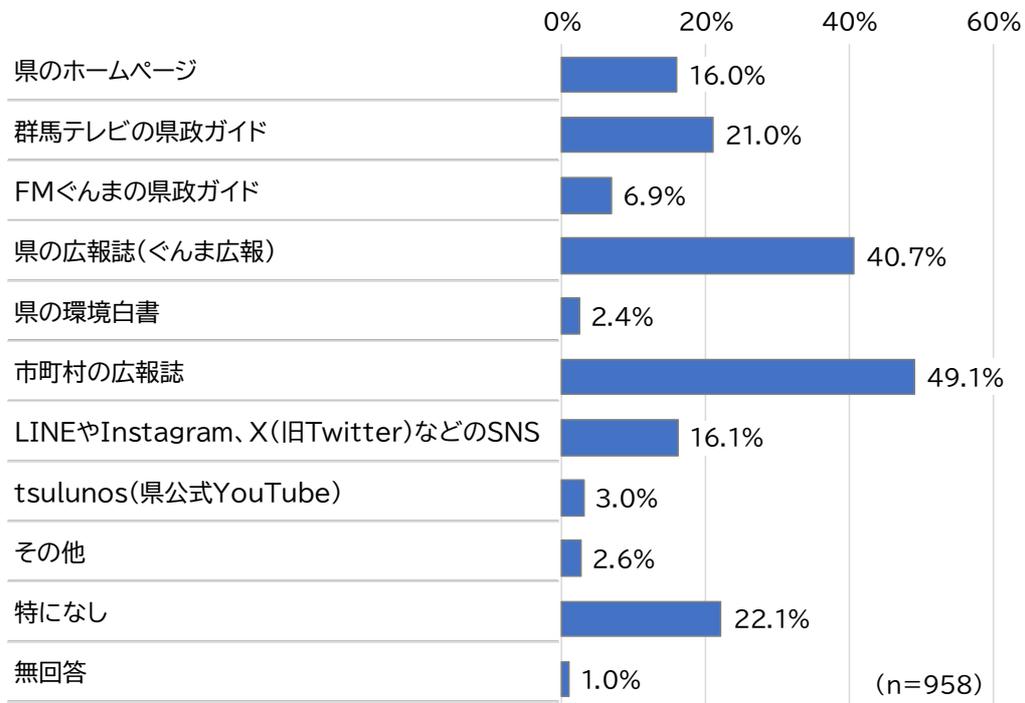


3-4-2-1 群馬県の発信する環境情報をどこから得ているか

問6 群馬県の発信する環境情報について、お聞きします。

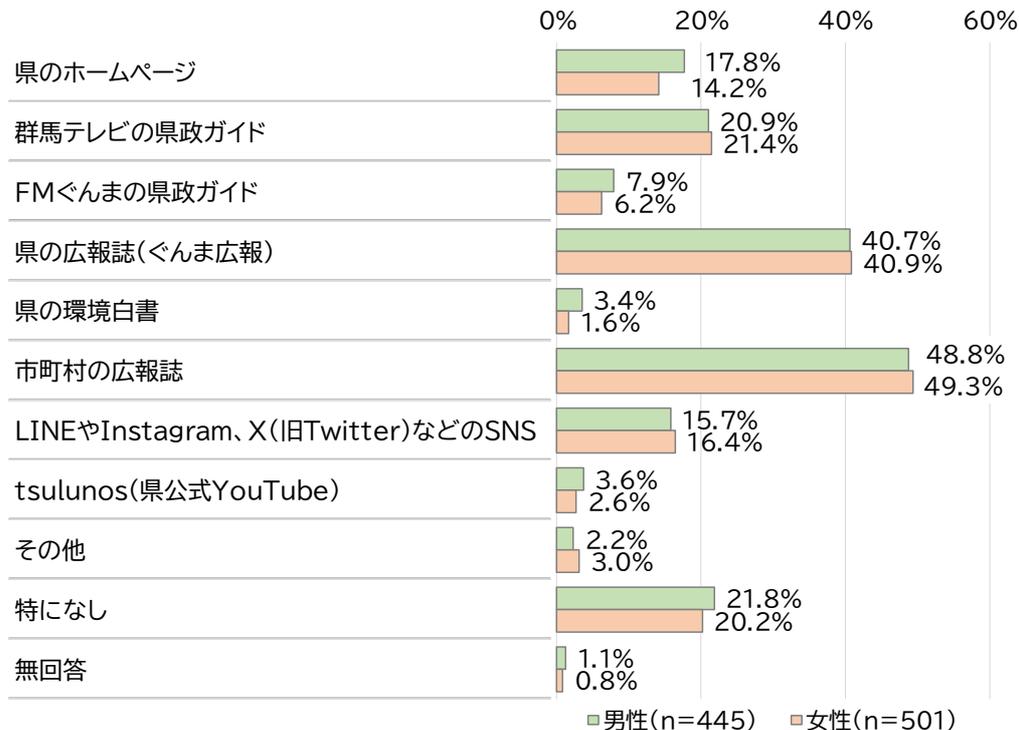
(1)あなたは、県の環境に関する情報をどこから得たことがありますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

◆令和6年度傾向



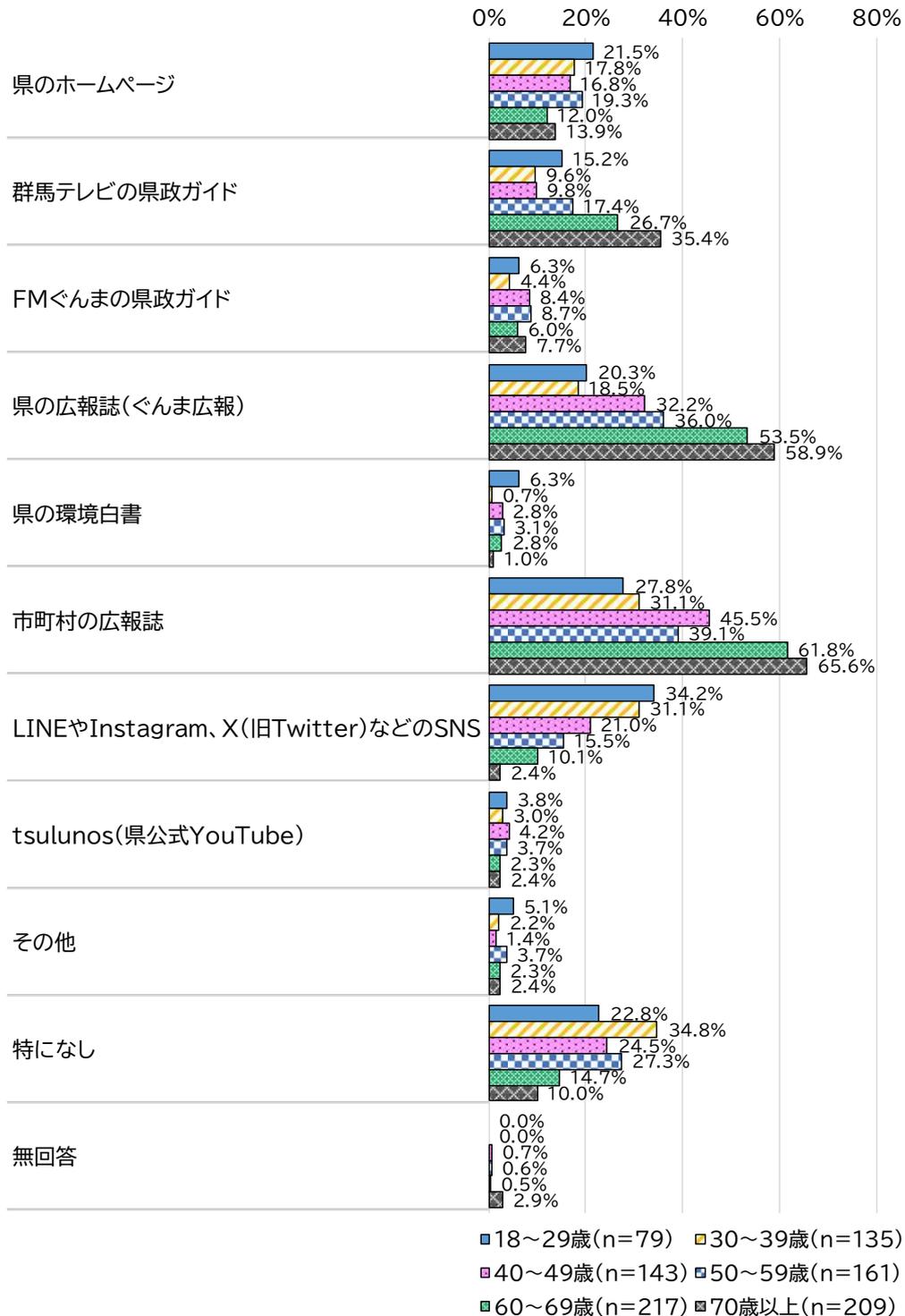
◆男女別

男女別でみると、「県のホームページ」は女性より男性が3.6ポイント高くなっています。



◆年代別

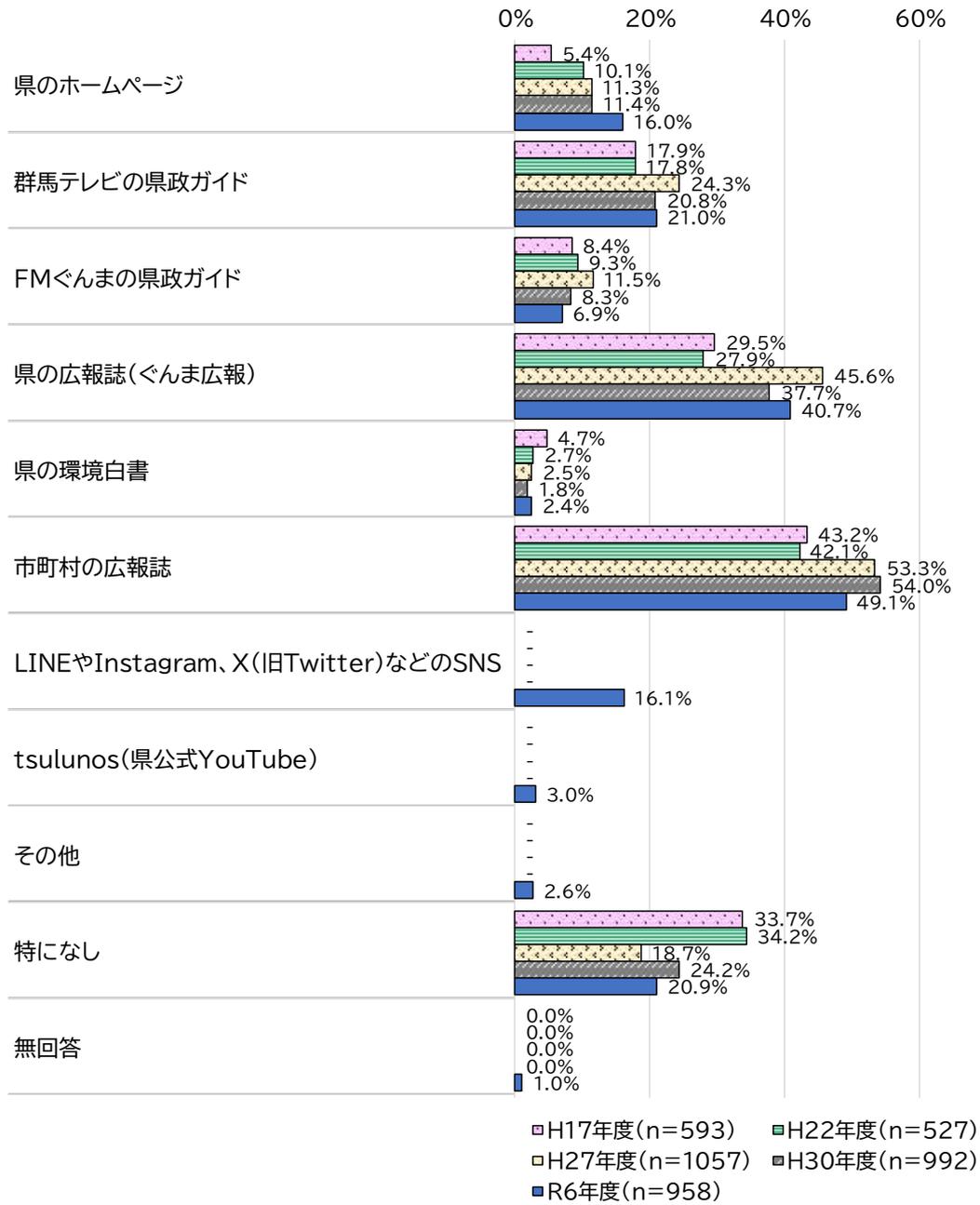
年代別で見ると、「県の広報誌（ぐんま広報）」「市町村の広報誌」は、年代が上がるほど高くなっています。また、「LINE や Instagram、X(旧 Twitter)などの SNS」は、若いほど高い傾向となっています。



3 調査結果

◆経年推移

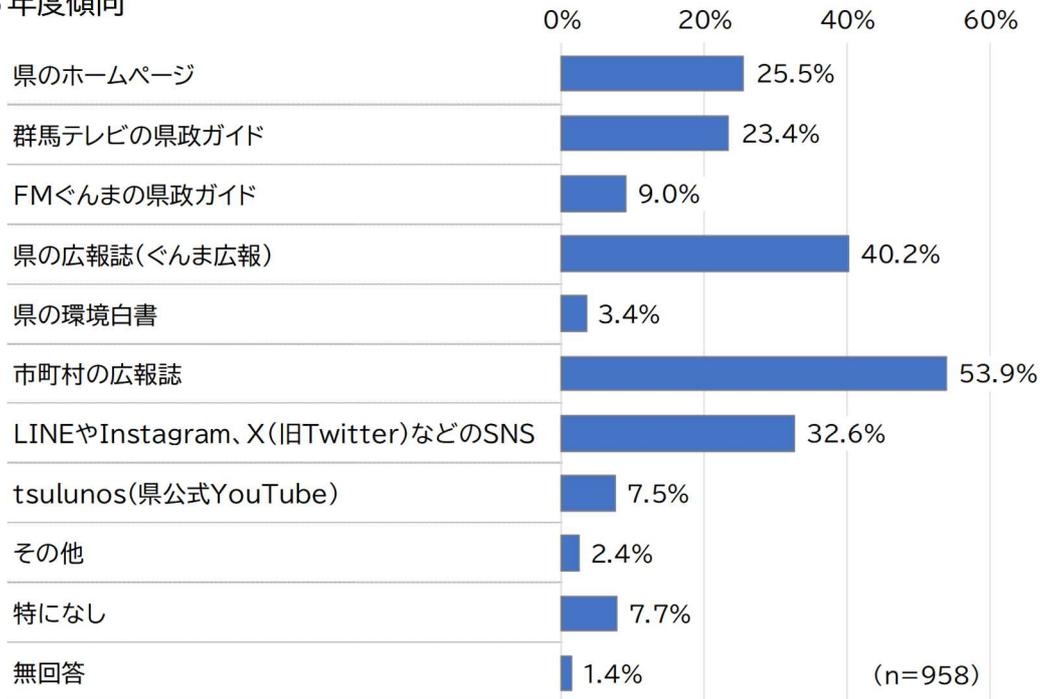
経年比較すると、「県のホームページ」は増加傾向、その他の項目は減少もしくは、ほぼ同様の傾向となっています。



3-4-2-2 群馬県の発信する環境情報を今後どこから得たいか

(2)あなたは、県の環境に関する情報を今後どこから得たいと思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

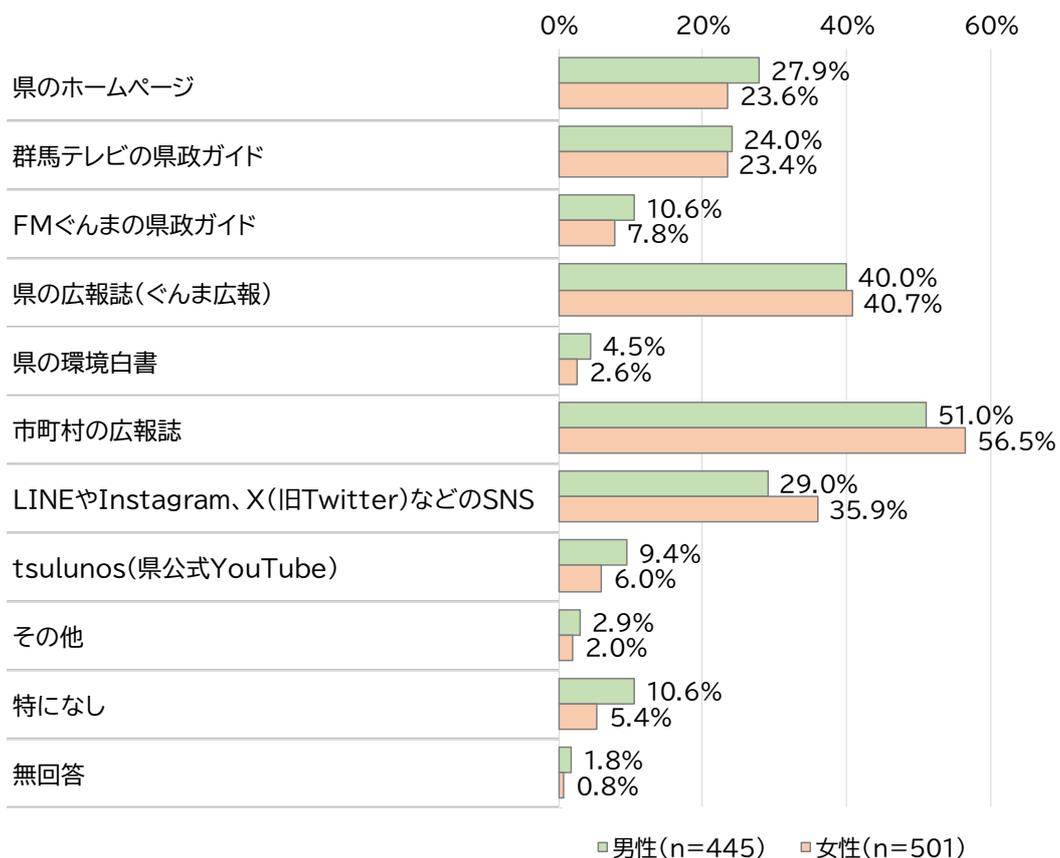
◆令和6年度傾向



◆男女別

男女別で見ると、「LINE や Instagram、X(旧 Twitter)などの SNS」は 6.9 ポイント、「市町村の広報誌」は 5.5 ポイント男性よりも女性がそれぞれ高くなっています。

また、「県のホームページ」は女性よりも男性が 4.3 ポイント高くなっています。

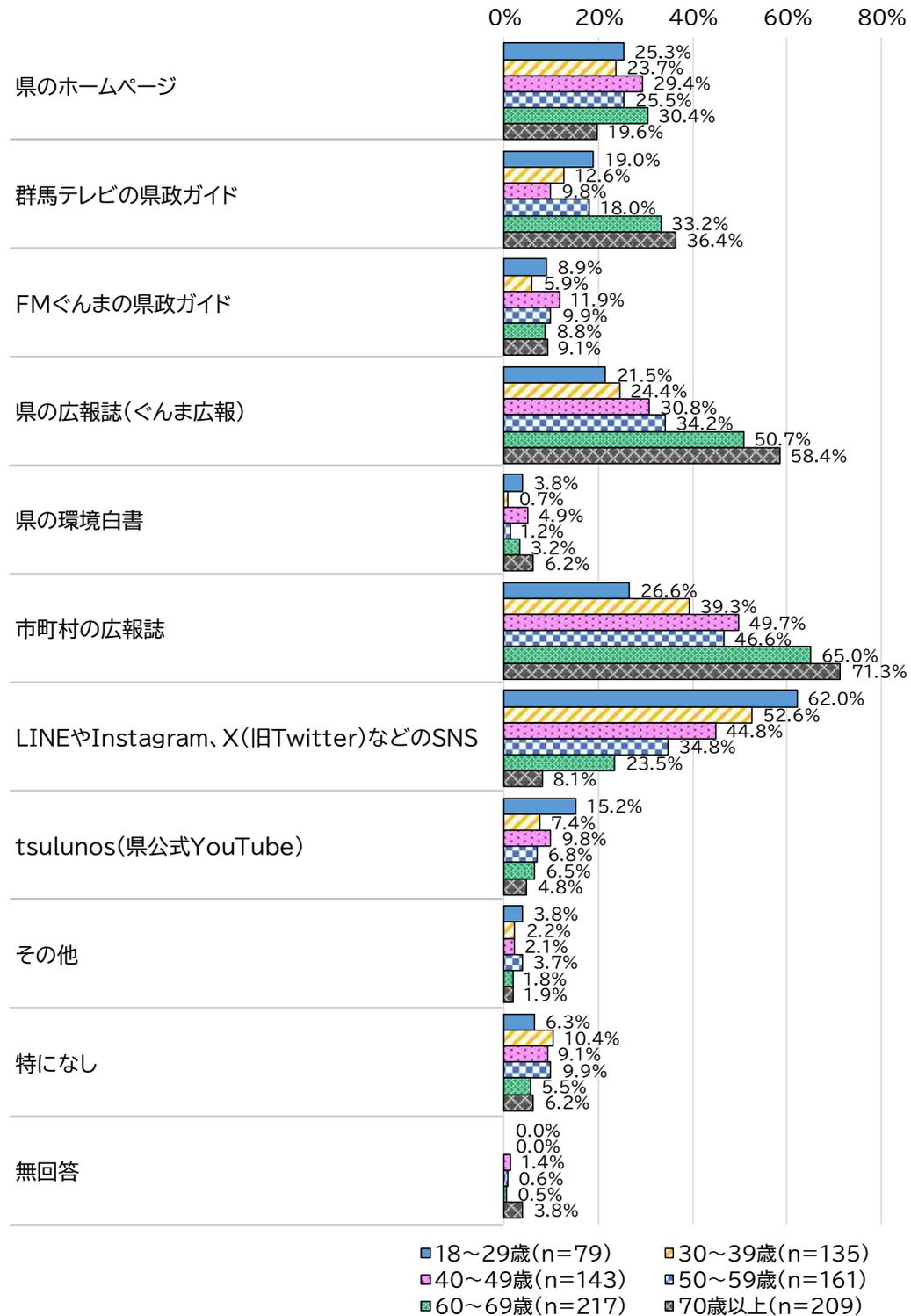


3 調査結果

◆年代別

年代別で見ると、「LINE や Instagram、X(旧 Twitter)などの SNS」は、若いほど高い傾向となっています。

また、「群馬テレビの県政ガイド」「県の広報誌（ぐんま広報）」「市町村の広報誌」は、年代が上がるほど高くなっています。

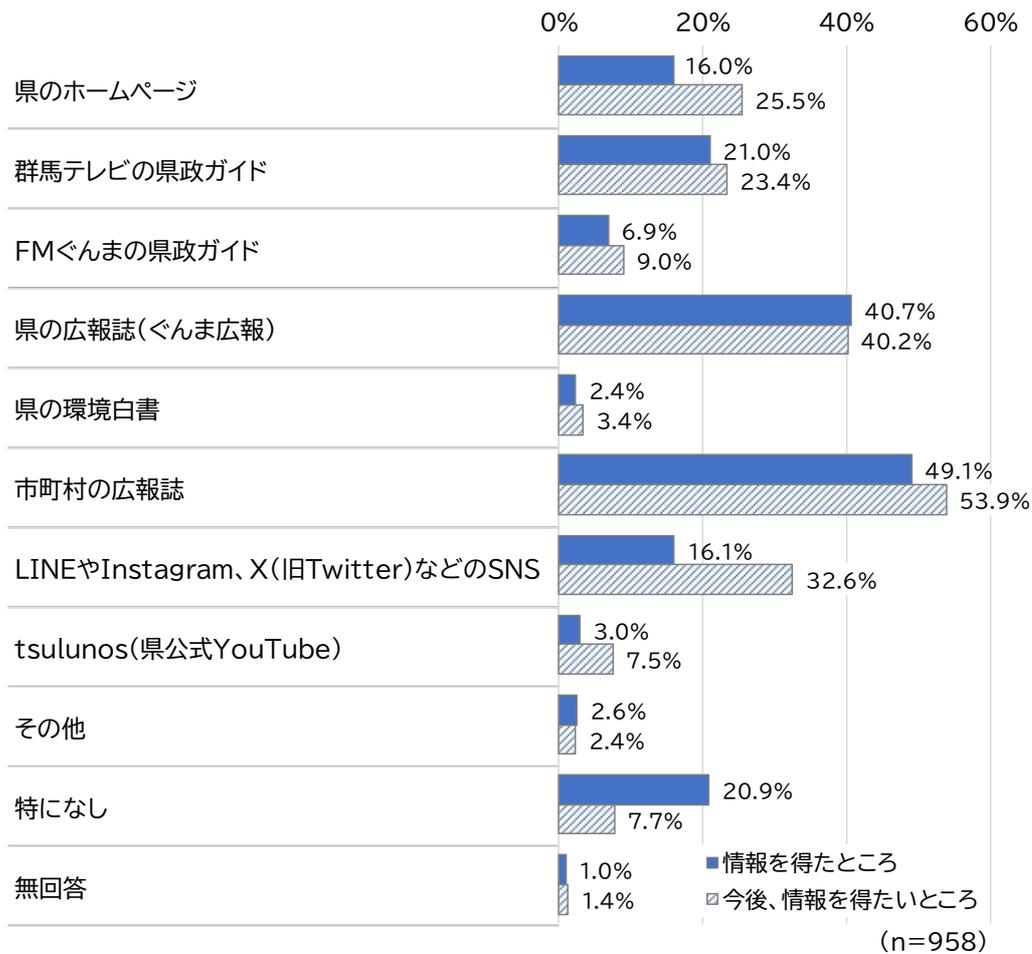


◆県の環境に関する(1)情報を得たところ、(2)今後、得たいところの比較

県の情報発信について、現在と今後を比較することで、県民が今後の情報発信手段として何を求めているかを分析しました。

情報発信先として現在よりも今後が高い項目は「LINE や Instagram、X (旧 Twitter) などの SNS」(16.5 ポイント)、「県のホームページ」(9.5 ポイント)、「tsulunos (県の公式 YouTube)」(4.5 ポイント)となっています。

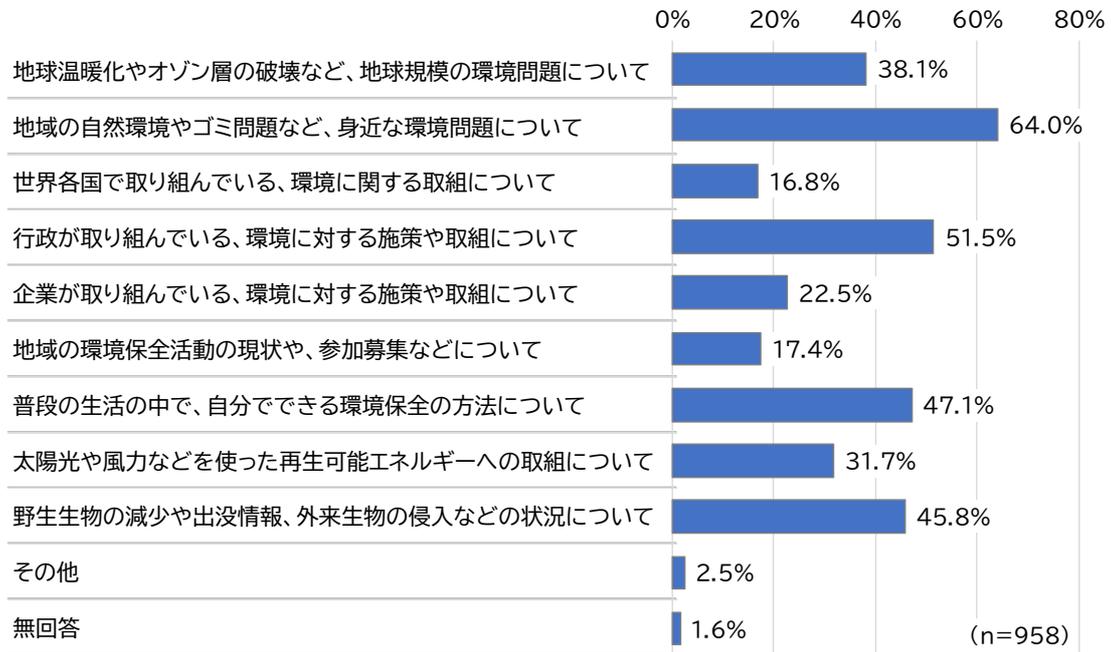
その結果、今後もネットを通じた情報発信を強化し、より多くの県民に県の情報が届くよう、わかりやすい情報発信に努める必要があることがわかります。



3-4-3 今後、環境に関するどのような情報を知りたいか

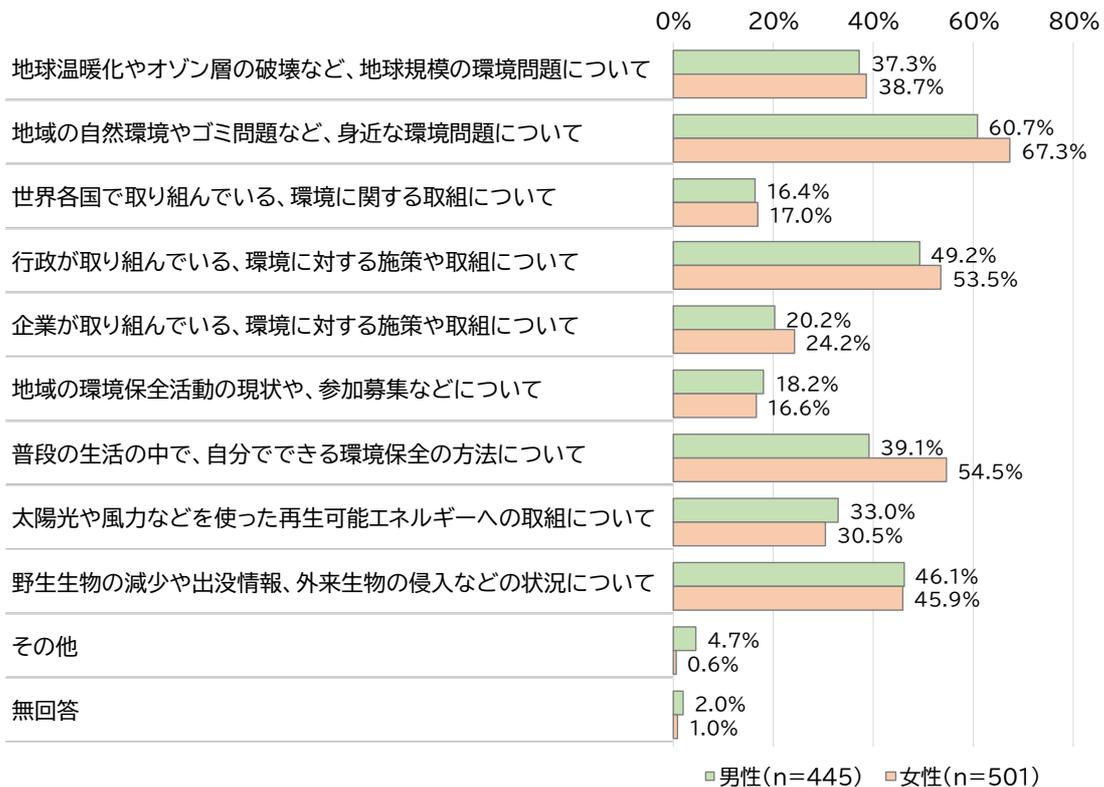
問7 あなたは、今後、環境に関するどのような情報を知りたいですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

◆R6年度傾向



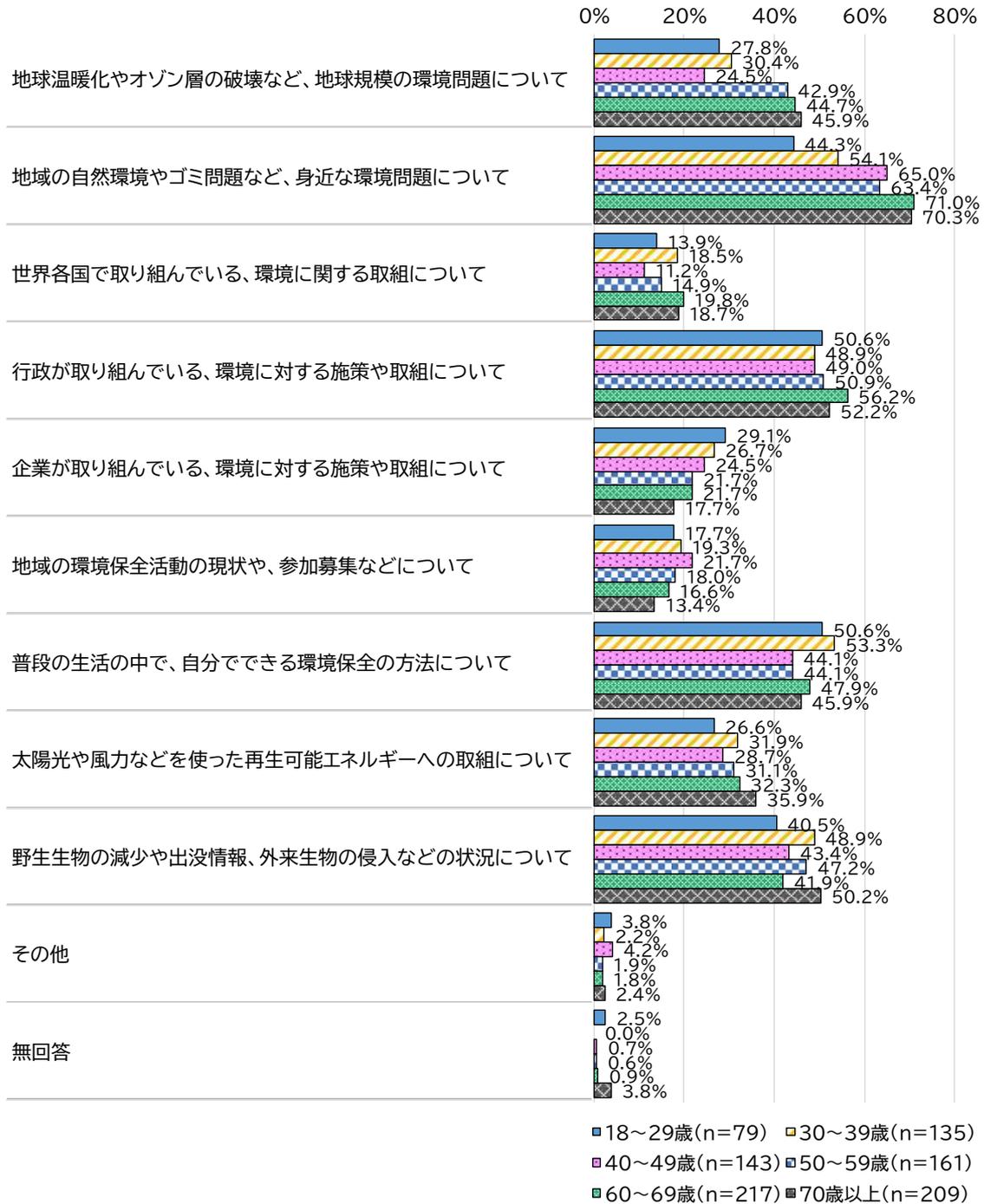
◆男女別

男女別でみると、「普段の生活の中で、自分でできる環境保全の方法について」は、男性よりも女性が 15.4 ポイント高くなっています。



◆年代別

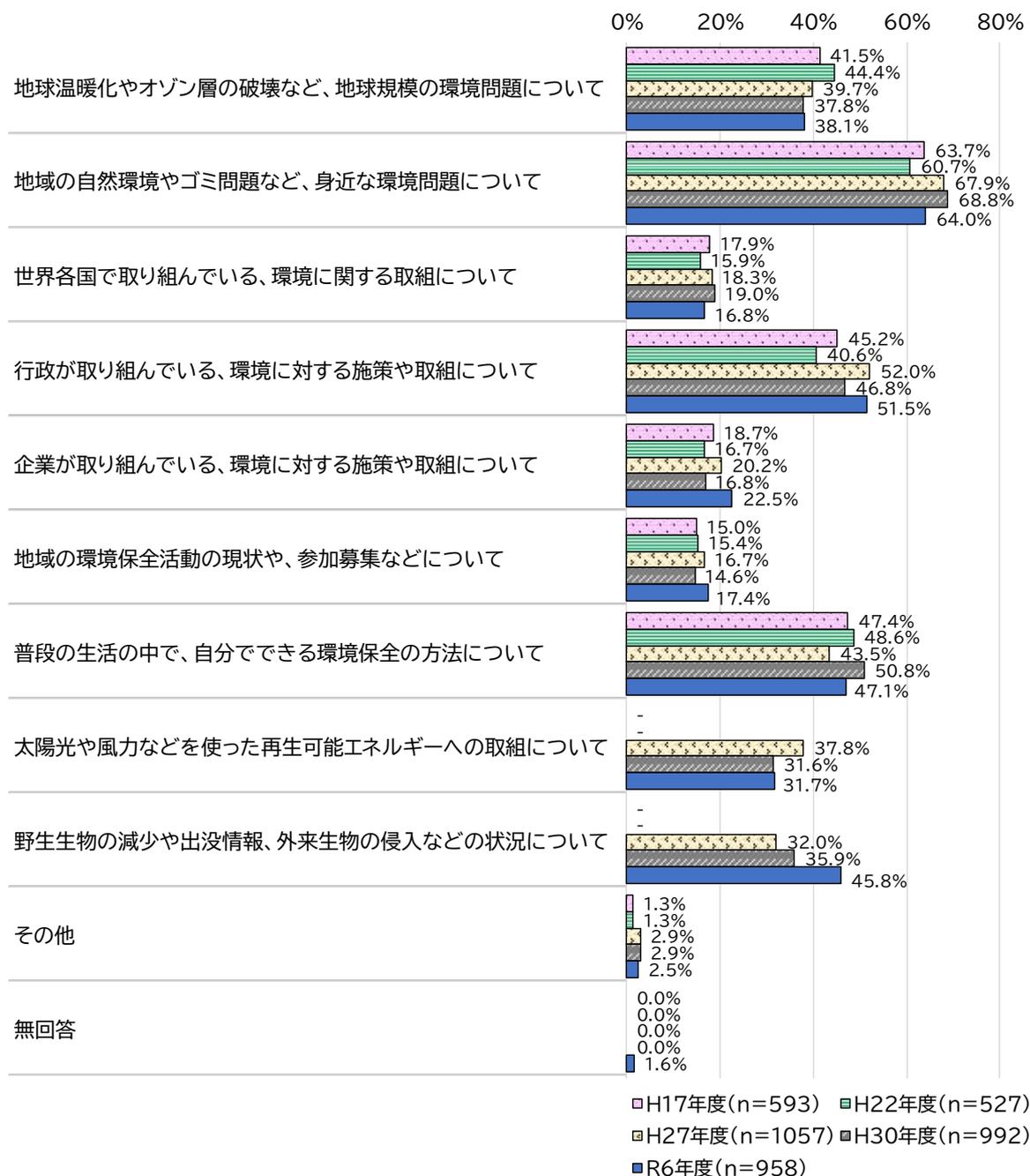
年代別でみると、「地域の自然環境やゴミ問題など、身近な環境問題について」は、『60代以上』で7割を超えています。



3 調査結果

◆経年推移

経年比較すると、「野生生物の減少や出没、外来生物の侵入などの状況について」は 9.9 ポイント、「企業が取り組んでいる、環境に対する施策や取組について」は 5.7 ポイント H30 年調査より今回調査が高くなっています。



※グラフ内の「-」は、前回調査なし

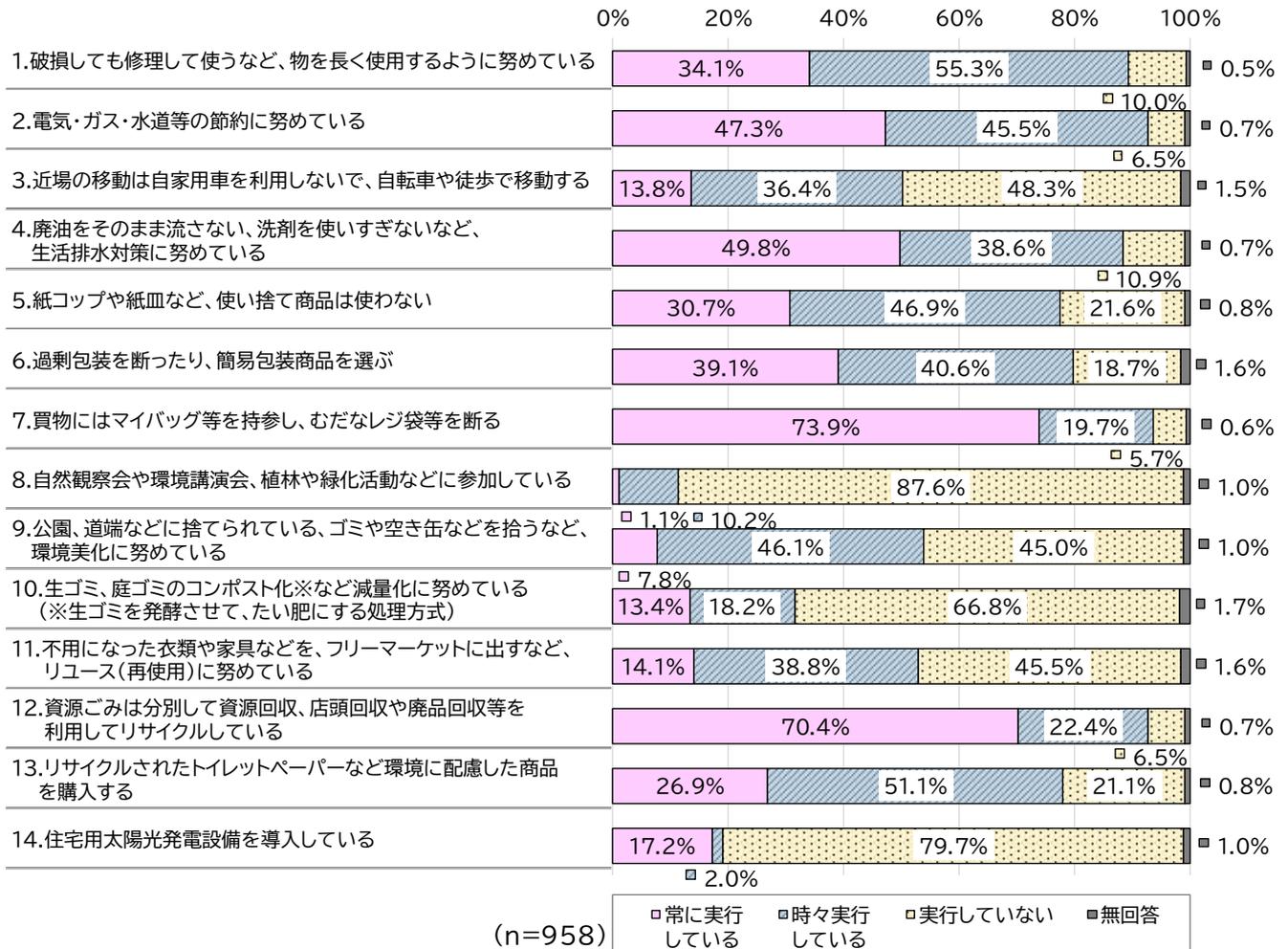
3-5 取組

3-5-1 環境保全のための現在の取組状況と今後の取組意向

問8 あなたは、環境保全のために、現在どのようなことを心がけていますか。また、今後どのような取組を行っていきたいですか。以下のそれぞれの項目について、「A. 現在」「B. 今後」から、あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。(○はA, Bそれぞれ1つずつ)

A. 現在

◆R6年度傾向

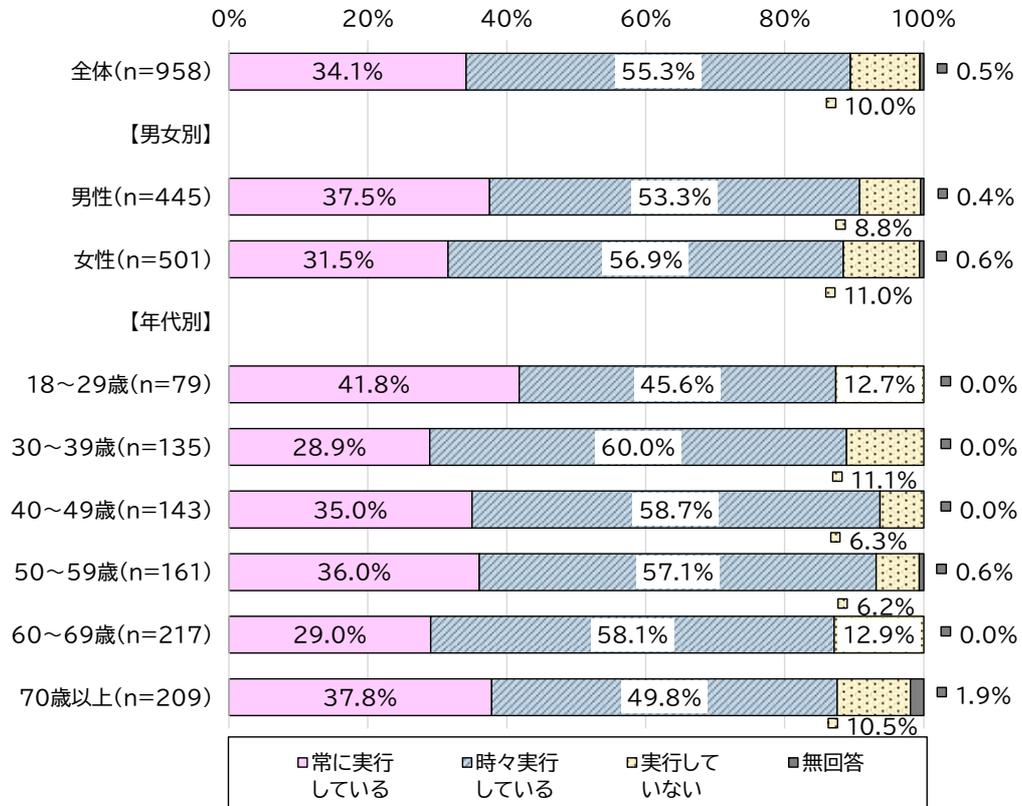


3 調査結果

1. 破損しても修理して使うなど、物を長く使用するように努めている

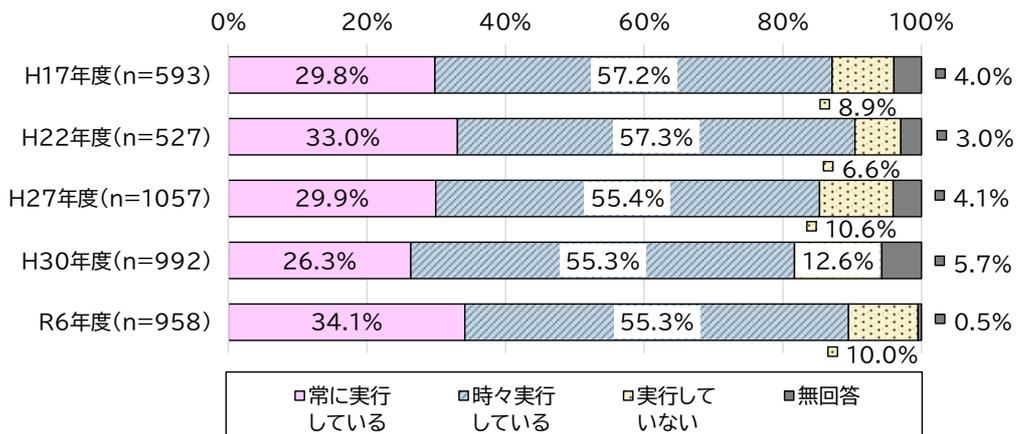
◆男女別・年代別

男女別でみると、「常に実行している」は、女性よりも男性が6ポイント高くなっています。



◆経年推移

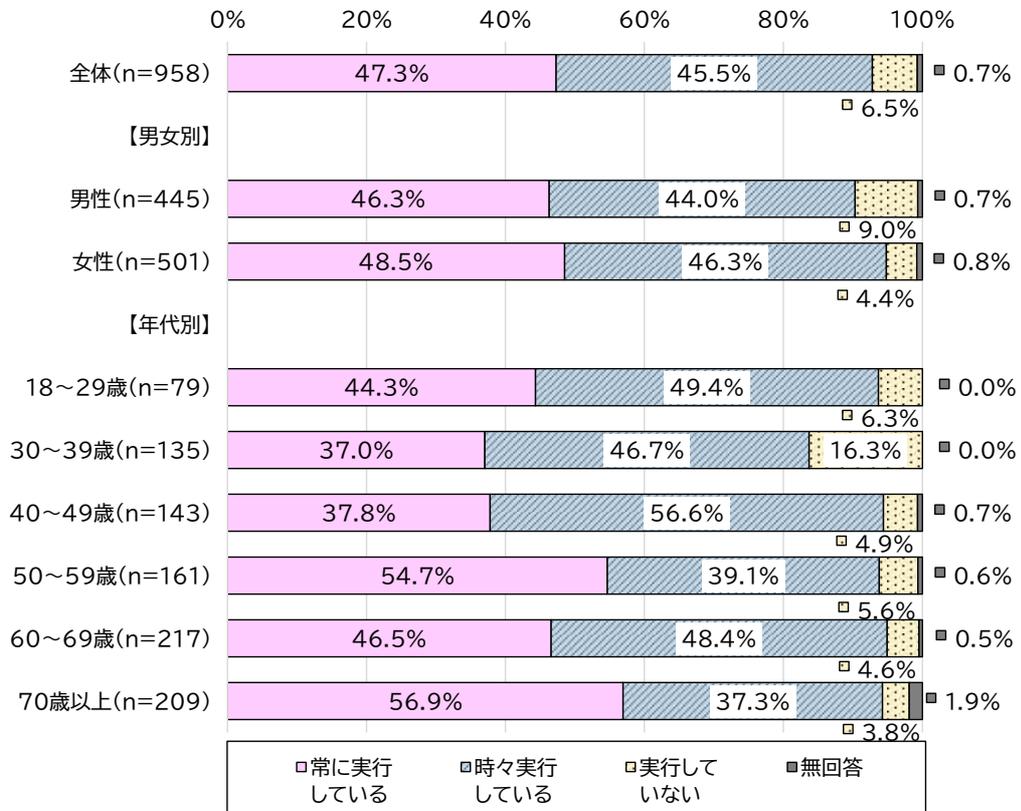
経年比較すると、「常に実行している」は、H30年度調査より今回調査は7.8ポイント高くなっています。



2. 電気・ガス・水道等の節約に努めている

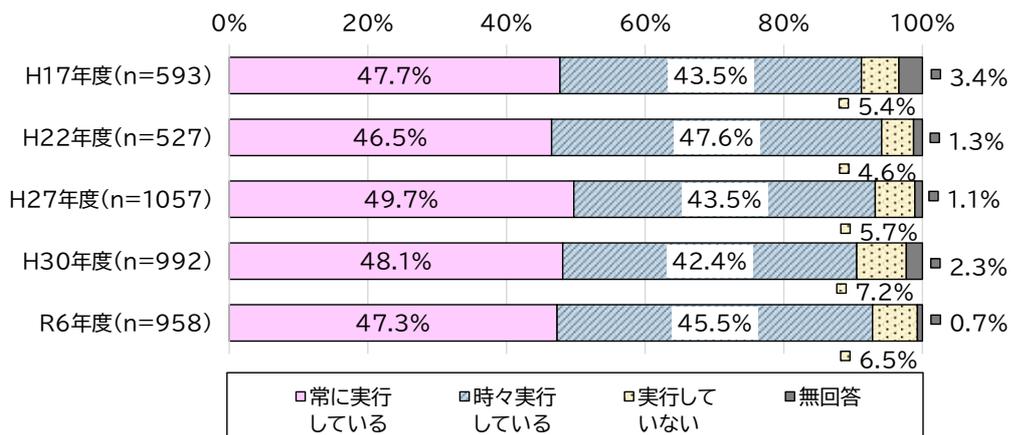
◆男女別・年代別

男女別でみると、『実行している』は、男性よりも女性が4.5ポイント高くなっています。
年代別でみると、「常に実行している」は、「50代」「70歳以上」で5割を超えています。



◆経年推移

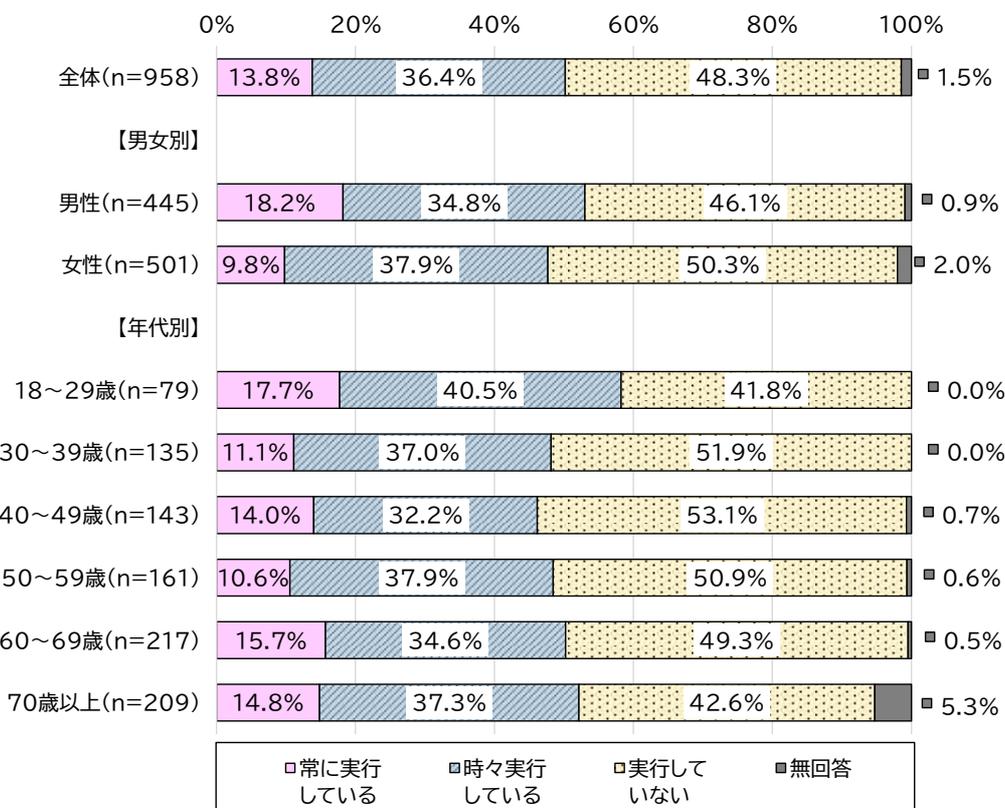
経年比較では、あまり傾向はみられませんでした。



3. 近場の移動は自家用車を利用しないで、自転車や徒歩で移動する

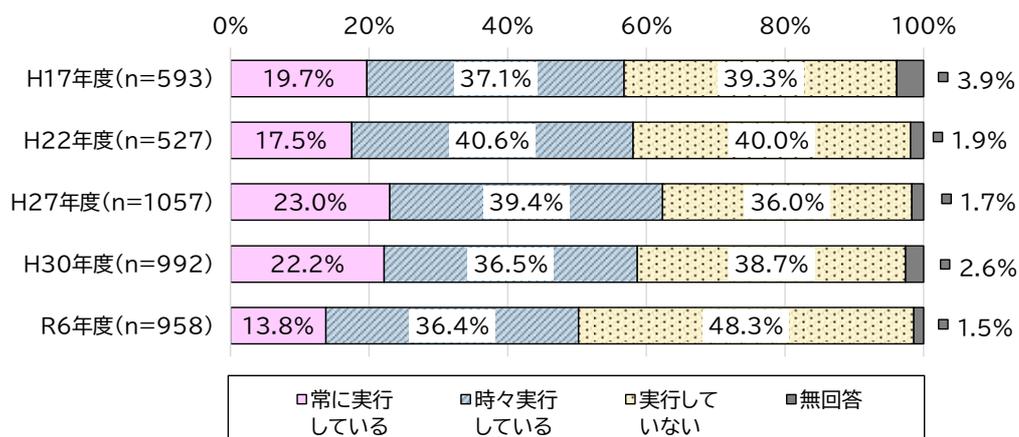
◆男女別・年代別

男女別でみると、『実行している』は、女性よりも男性が5.3ポイント高くなっています。
年代別でみると、『実行している』は、「18～20代」で約6割となっています。



◆経年推移

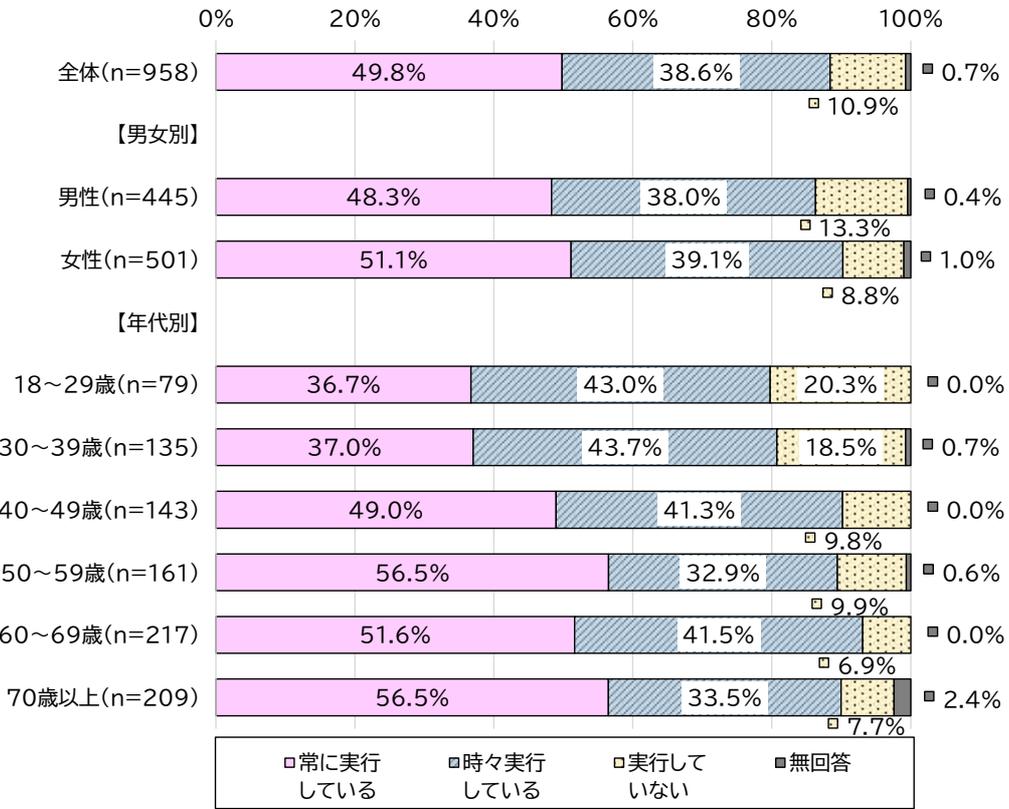
経年比較すると、『実行している』は、H30年度調査より今回調査は8.5ポイント低く、H27年度調査から減少傾向となっています。



4. 廃油をそのまま流さない、洗剤を使いすぎないなど、生活排水対策に努めている

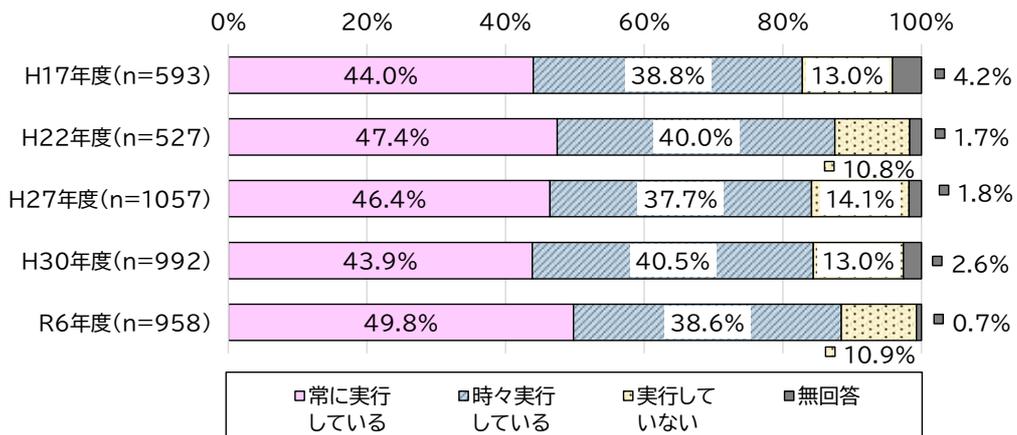
◆男女別・年代別

年代別で見ると、『実行している』は、『40代以上』で約9割となっています。



◆経年推移

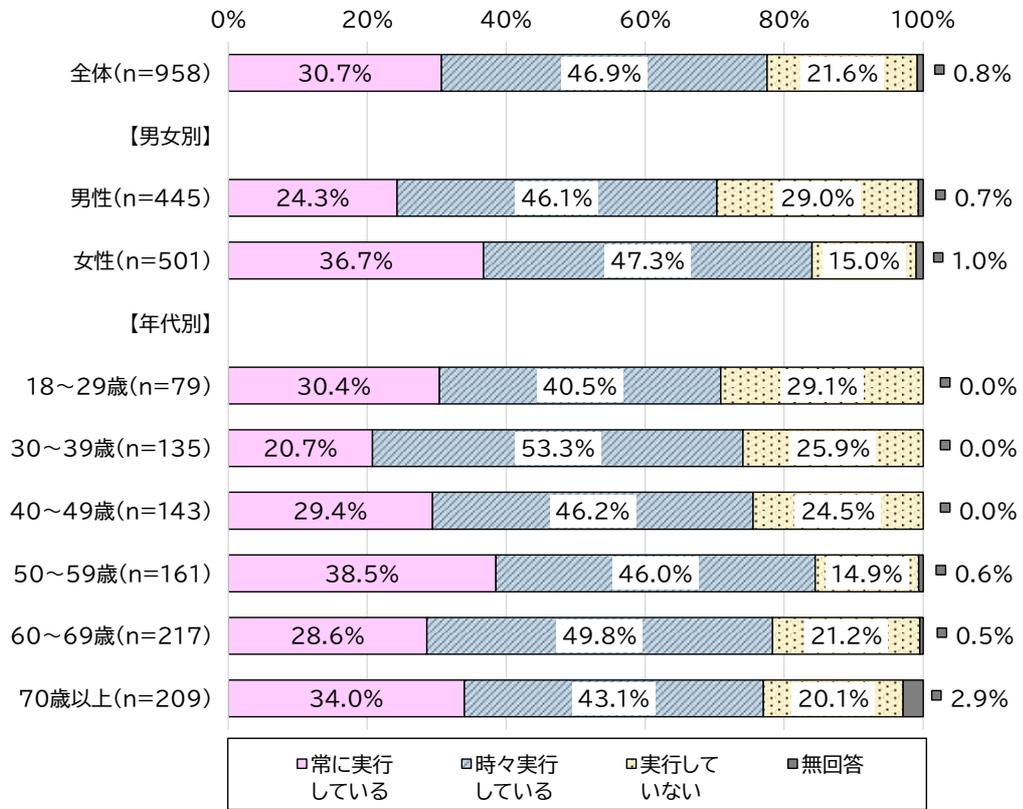
経年比較すると、『実行している』は、H30年度調査より今回調査は4ポイント高くなっています。



5. 紙カップや紙皿など、使い捨て商品は使わない

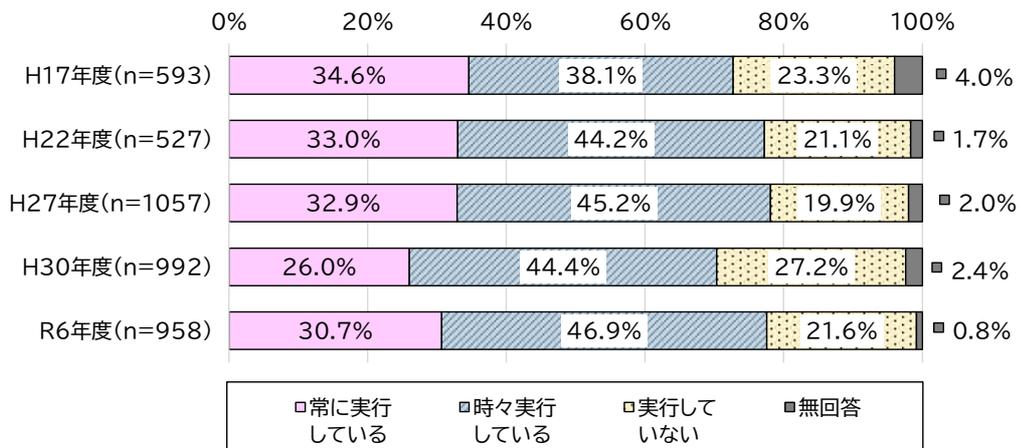
◆男女別・年代別

男女別でみると、『実行している』は、男性よりも女性が13.6ポイント高くなっています。年代別でみると、『実行している』は、「50代」で8割を超えています。



◆経年推移

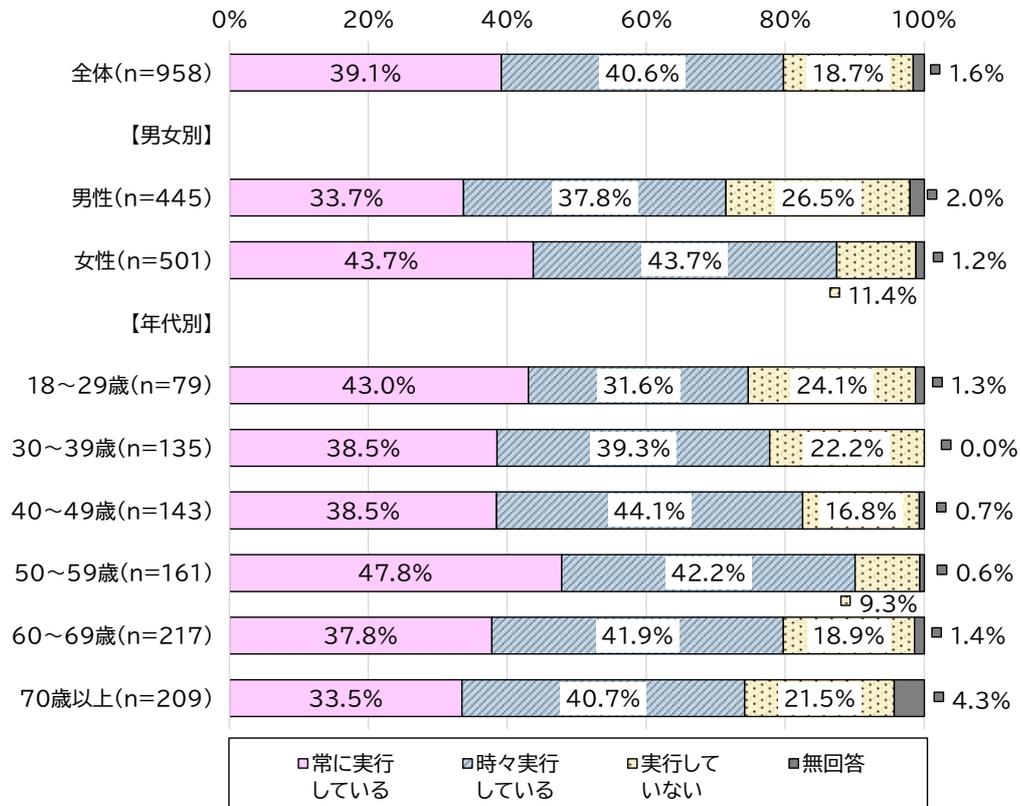
経年比較すると、『実行している』は、H30年度調査より今回調査は7.2ポイント高くなっています。



6. 過剰包装を断ったり、簡易包装商品を選ぶ

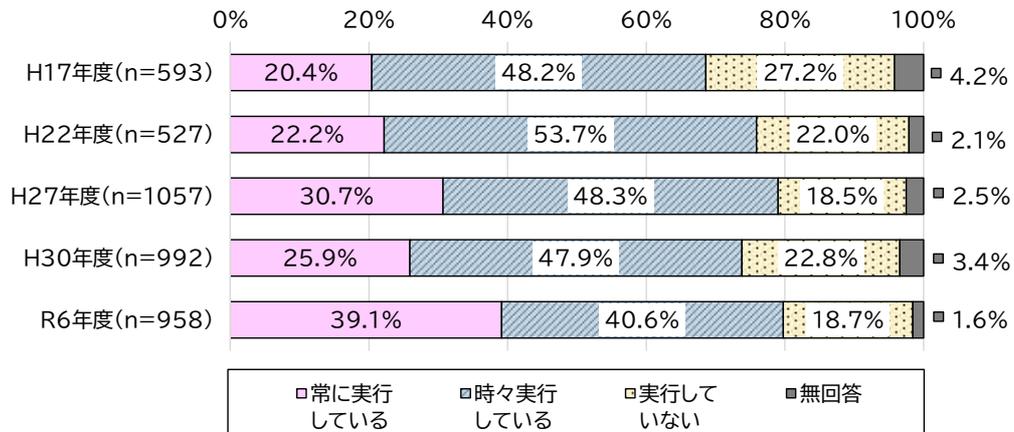
◆男女別・年代別

男女別でみると、『実行している』は、男性よりも女性が15.9ポイント高くなっています。
年代別でみると、『実行している』は、「50代」で9割を超えています。



◆経年推移

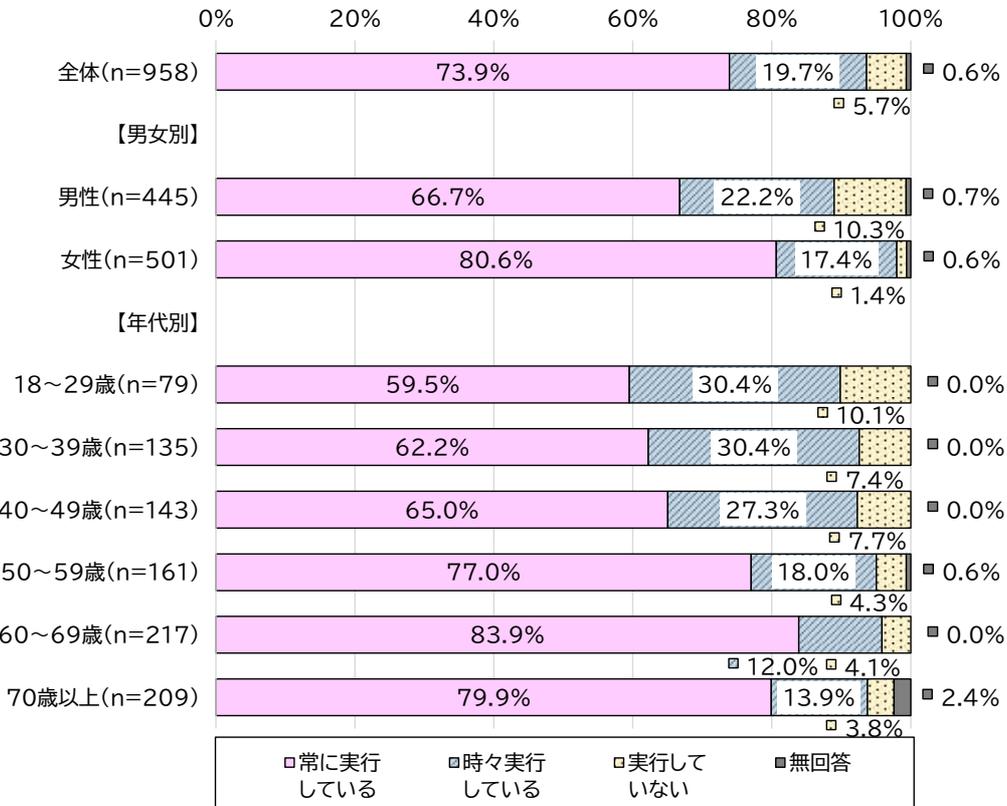
経年比較すると、『実行している』は、H30年度調査より今回調査は5.9ポイント高くなっています。



7. 買物にはマイバッグ等を持参し、むだなレジ袋等を断る

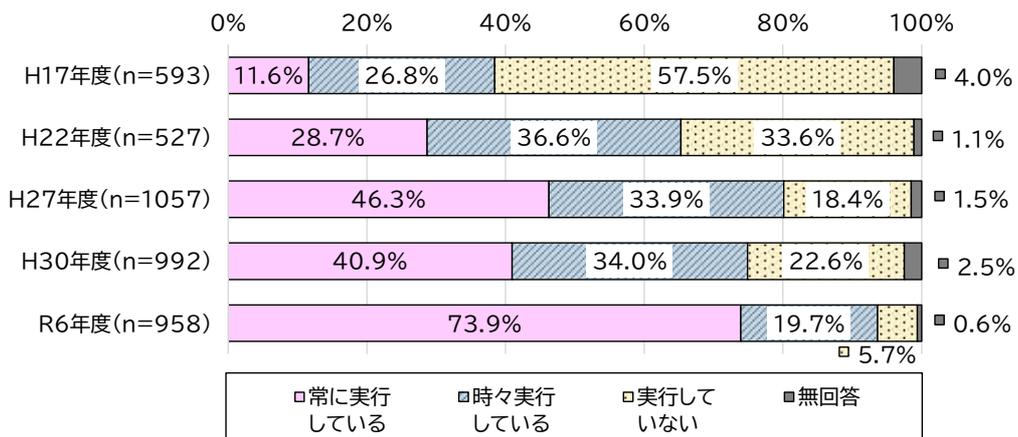
◆男女別・年代別

男女別で見ると、「常に実行している」は、男性よりも女性が 13.9 ポイント高くなっています。年代別で見ると、『実行している』は、『50 代以上』で 9 割を超えています。



◆経年推移

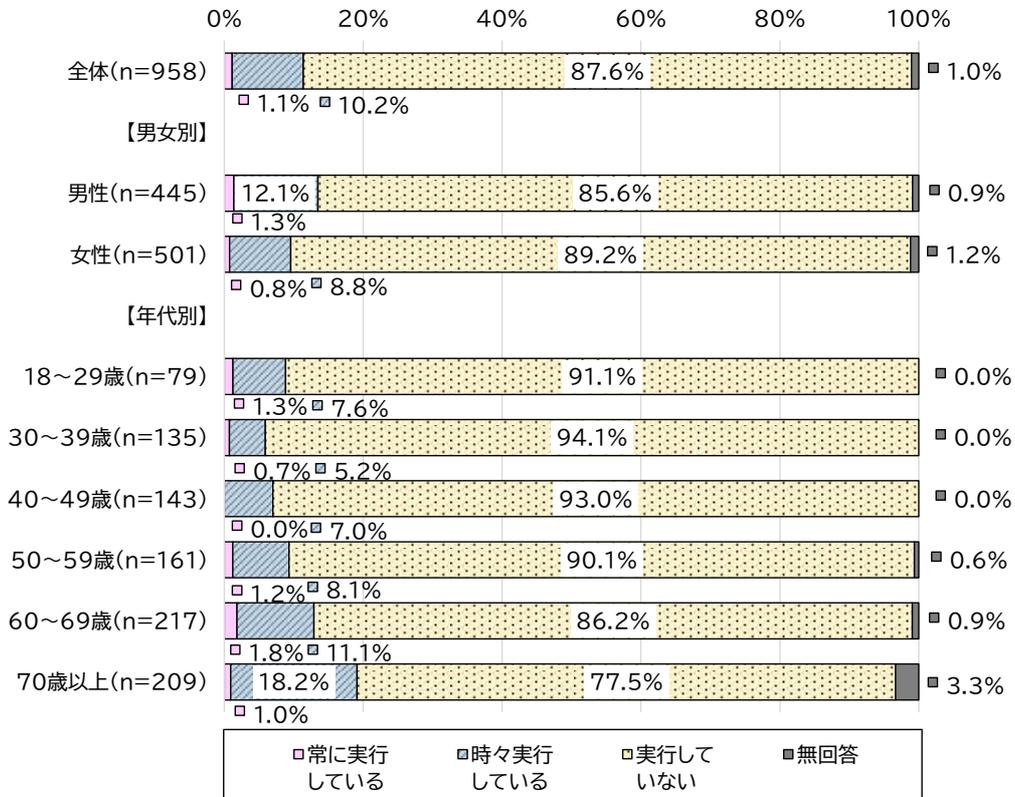
経年比較すると、「常に実行している」は、H30 年度調査より今回調査は 33 ポイント高くなっています。



8. 自然観察会や環境講演会、植林や緑化活動などに参加している

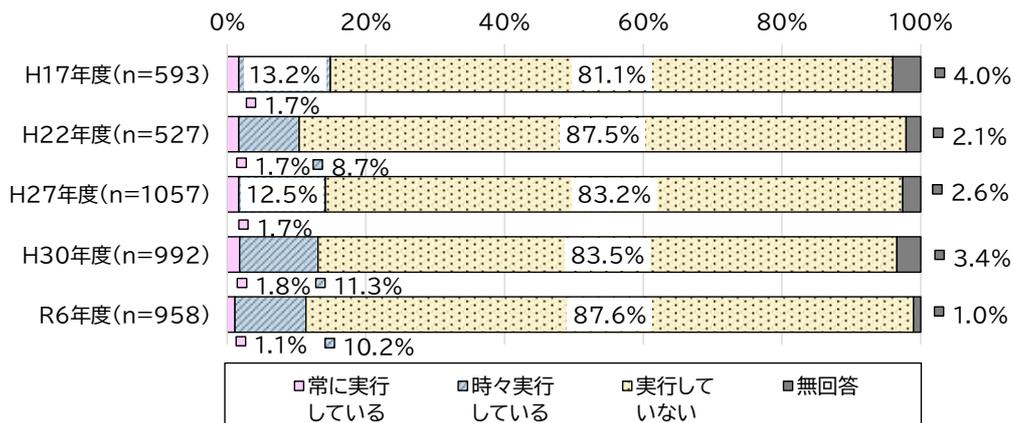
◆男女別・年代別

年代別で見ると、「時々実行している」は、「18～20代」を除いて年代が上がるほどやや高くなっています。



◆経年推移

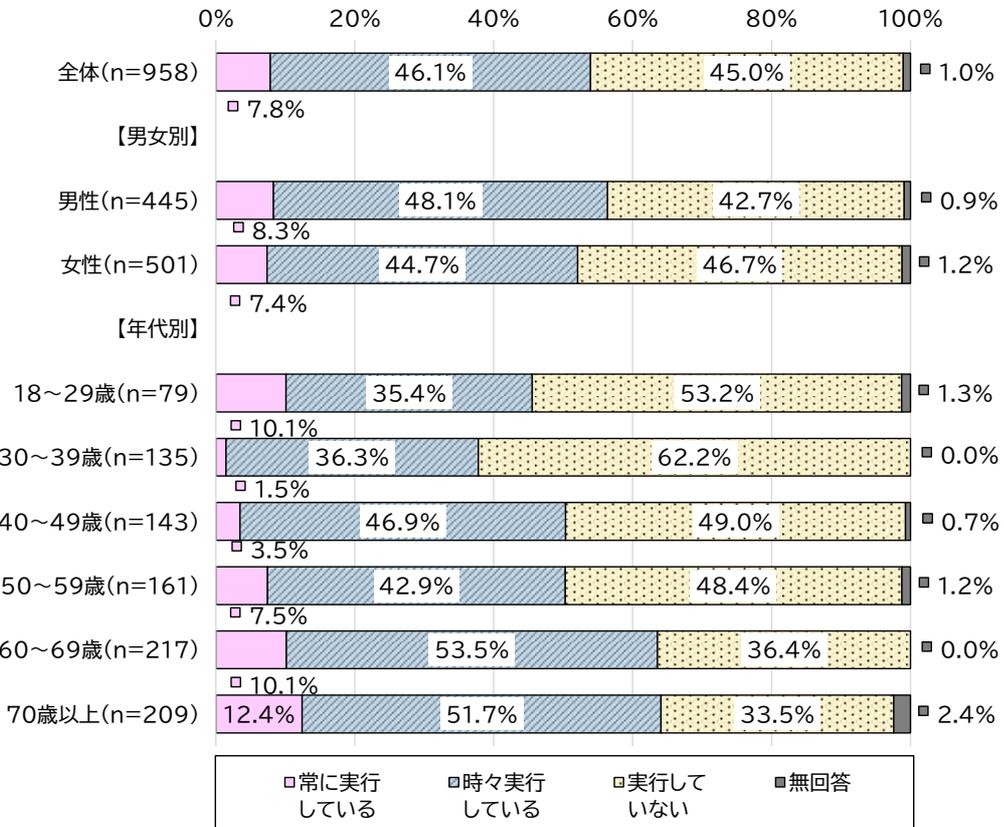
経年比較では、あまり傾向はみられませんでした。



9. 公園、道端などに捨てられている、ゴミや空き缶などを拾うなど、環境美化に努めている

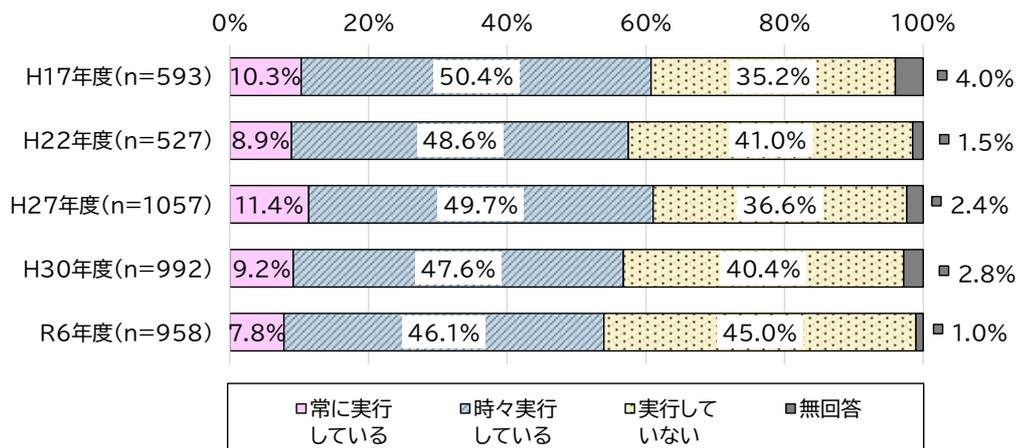
◆男女別・年代別

男女別で見ると、『実行している』は、女性よりも男性が4.3ポイント高くなっています。
年代別で見ると、『実行している』は、『60代以上』で6割を超えています。



◆経年推移

経年比較すると、『実行している』は、減少傾向となっています。



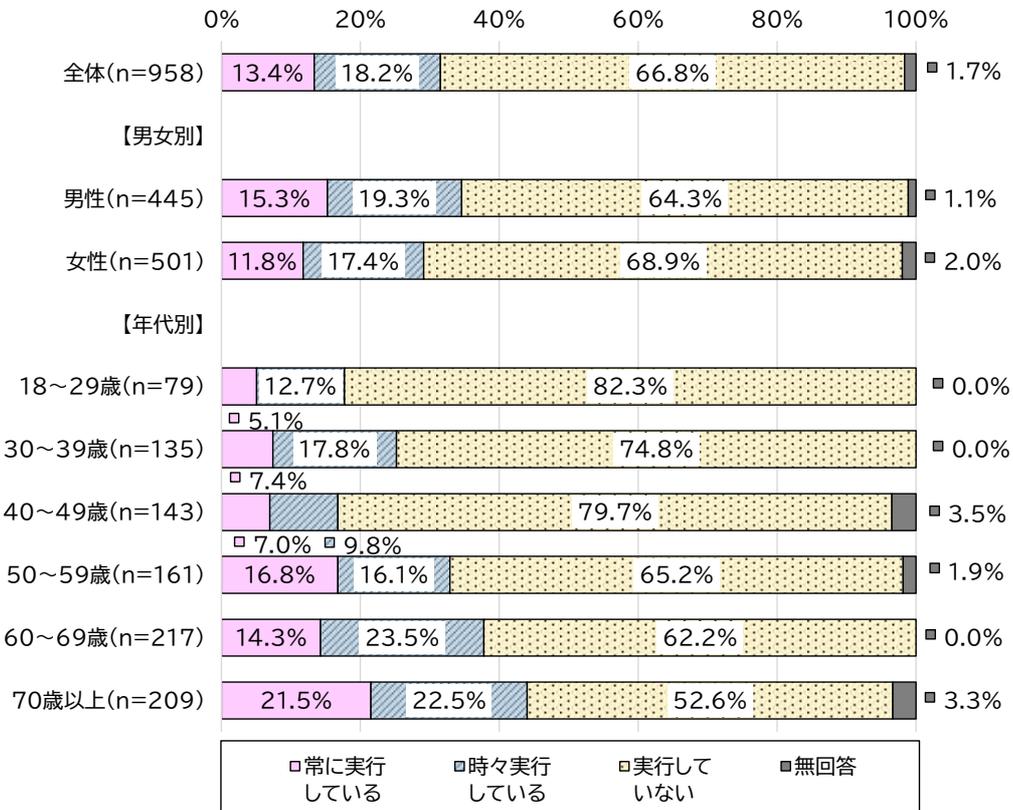
10. 生ゴミ、庭ゴミのコンポスト化※など減量化に努めている

(※生ゴミを発酵させて、たい肥にする処理方式)

◆男女別・年代別

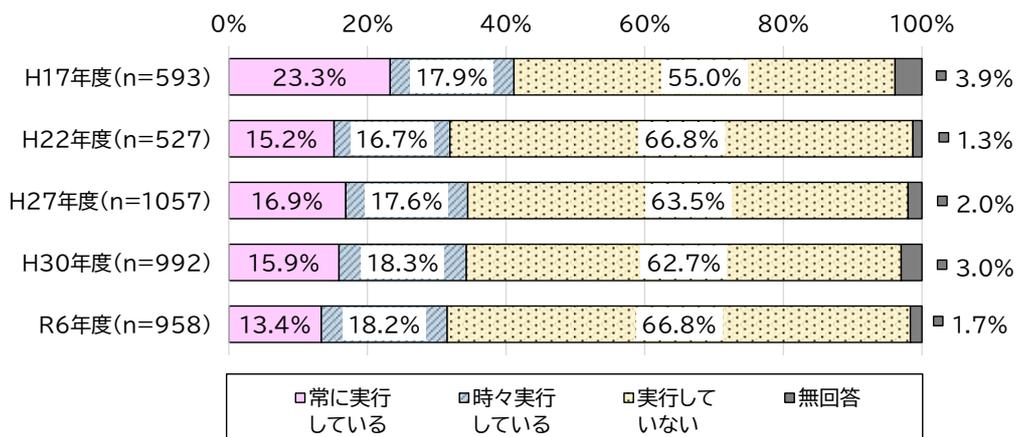
男女別で見ると、『実行している』は、女性よりも男性が5.4ポイント高くなっています。

年代別で見ると、『実行している』は、「70歳以上」で4割を超えており、「40代」を除いて年代が上がるほど高い傾向となっています。



◆経年推移

経年比較すると、『実行している』は、減少傾向となっています。

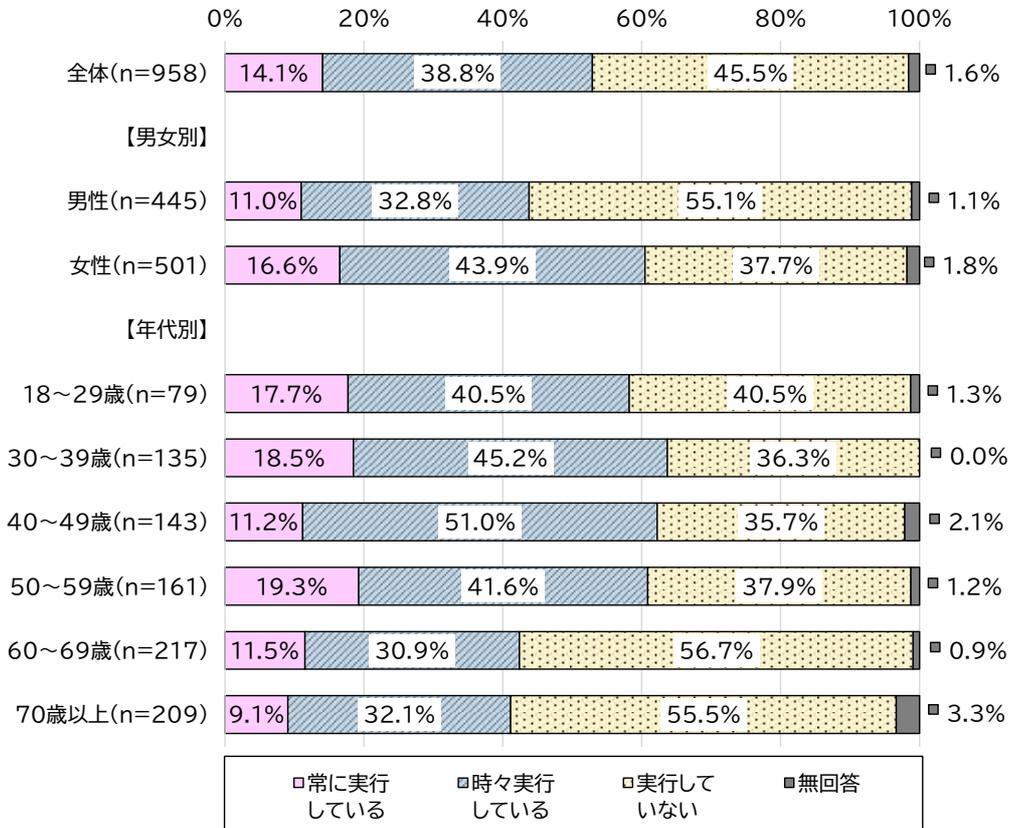


3 調査結果

11. 不用になった衣類や家具などを、フリーマーケットに出すなど、リユース（再使用）に努めている

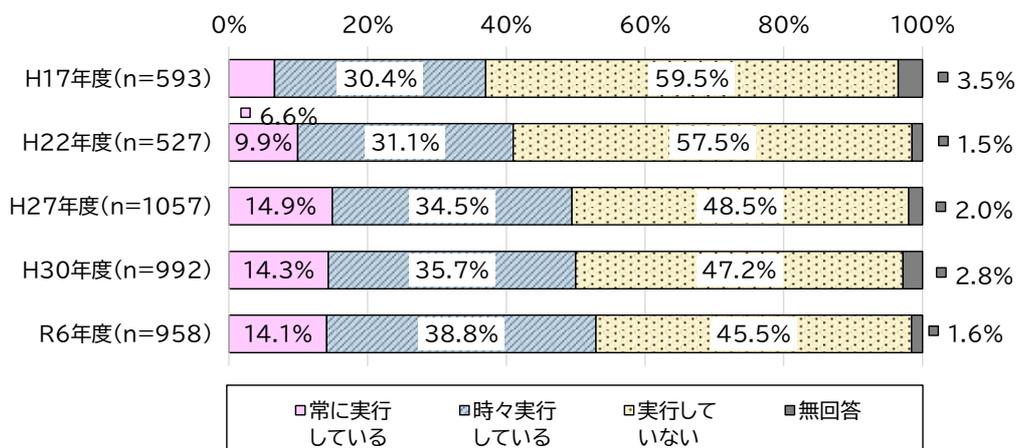
◆男女別・年代別

男女別で見ると、『実行している』は、男性よりも女性が16.7ポイント高くなっています。年代別で見ると、『実行している』は、『50代以下』で約6割となっています。



◆経年推移

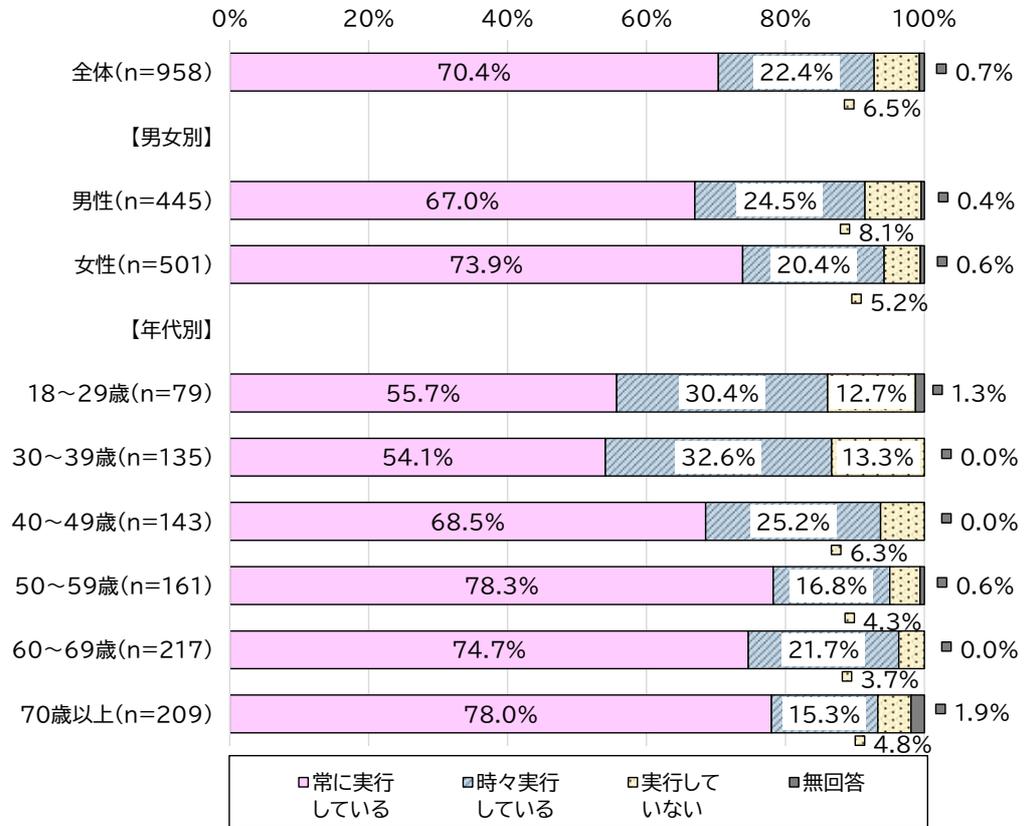
経年比較すると、『実行している』は、増加傾向となっています。



12. 資源ごみは分別して資源回収、店頭回収や廃品回収等を利用してリサイクルしている

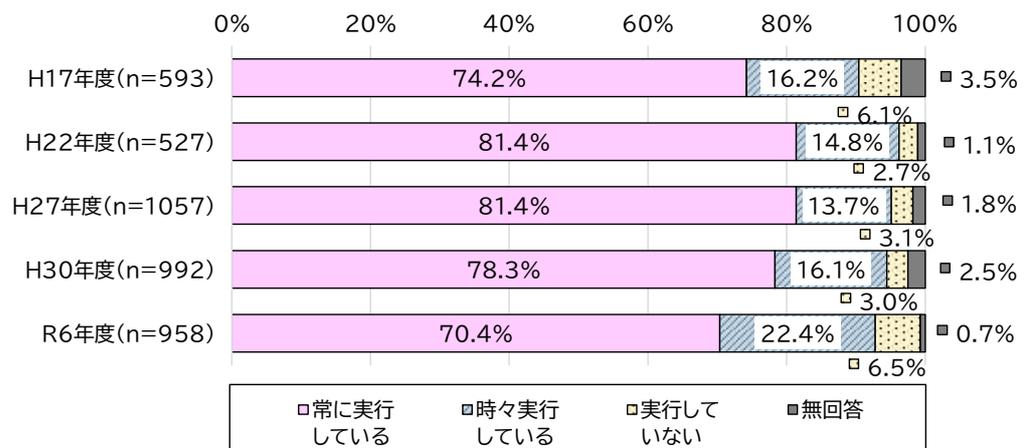
◆男女別・年代別

男女別で見ると、「常に実行している」は、男性よりも女性が6.9ポイント高くなっています。
年代別で見ると、「常に実行している」は、『50代以上』で7割を超えています。



◆経年推移

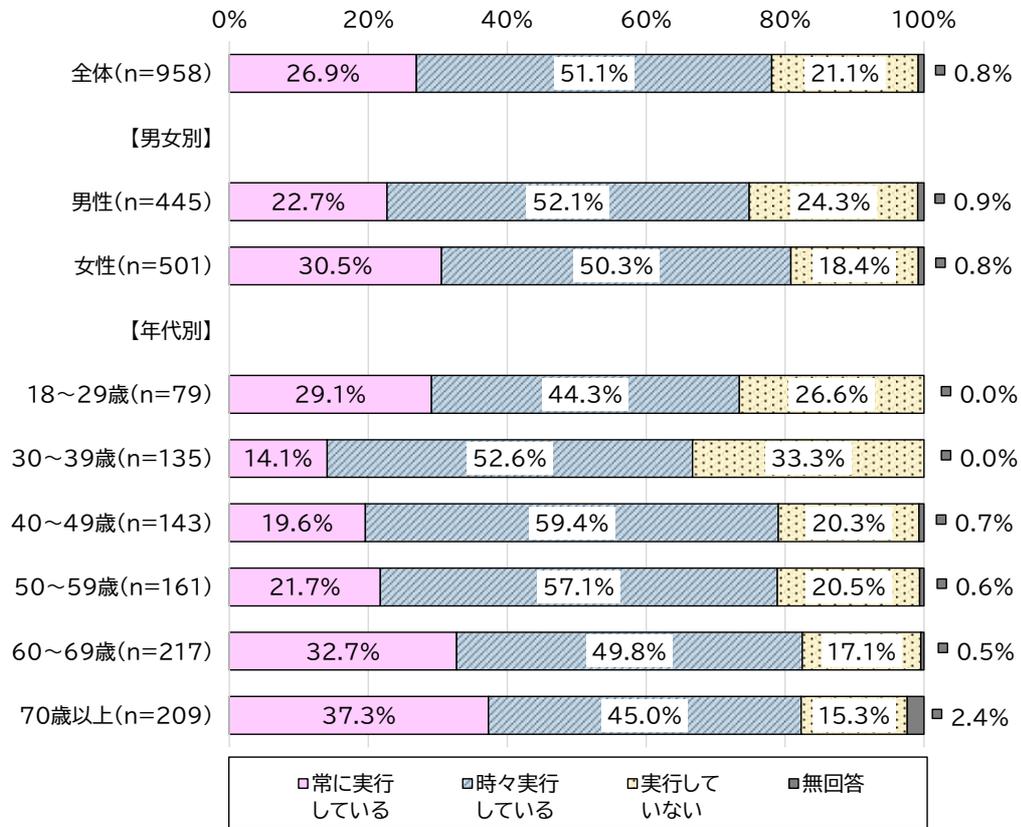
経年比較すると、「常に実行している」は、H22年度調査以降、減少傾向となっています。



13. リサイクルされたトイレットペーパーなど環境に配慮した商品を購入する

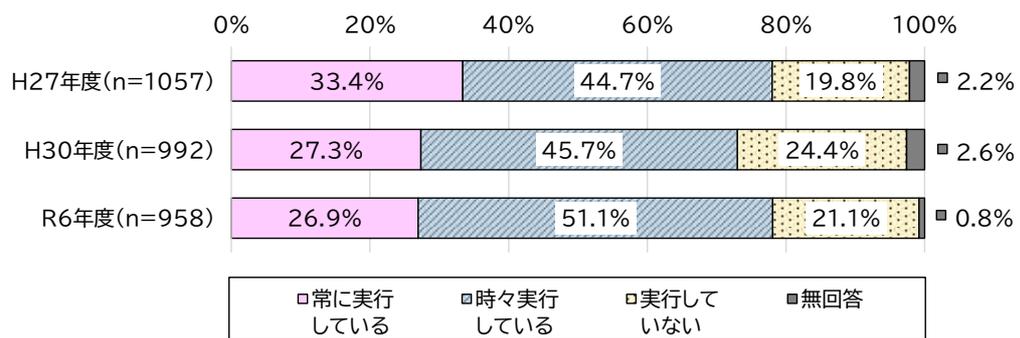
◆男女別・年代別

男女別でみると、「常に実行している」は、男性よりも女性が7.8ポイント高くなっています。
年代別でみると、「常に実行している」は、『30代以上』で年代が上がるほど高くなっています。



◆経年推移

経年比較すると、『実行している』は、H30年度調査より今回調査は5ポイント高くなっています。

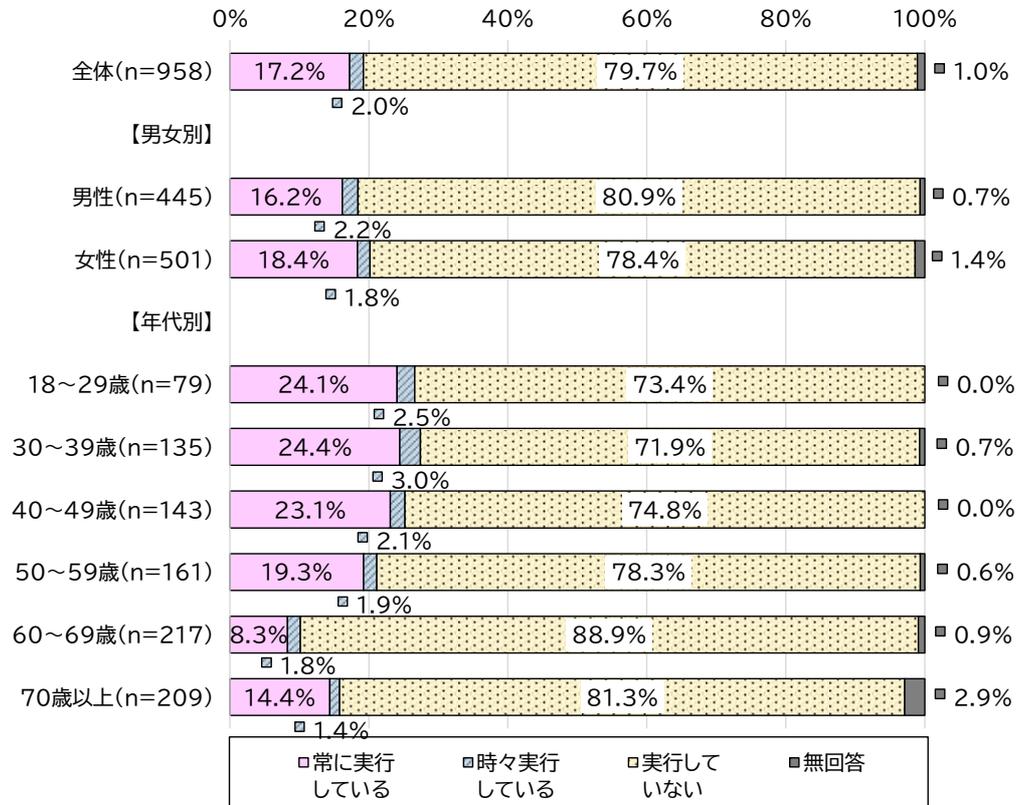


※H17、H22年度調査はありません。

14. 住宅用太陽光発電設備を導入している

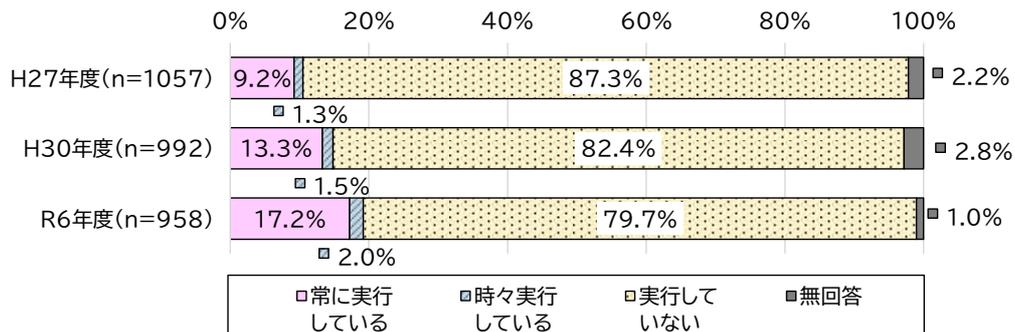
◆男女別・年代別

年代別でみると、「常に実行している」は、『40代以下』で2割を超えています。



◆経年推移

経年比較すると、『実行している』は、増加傾向となっています。

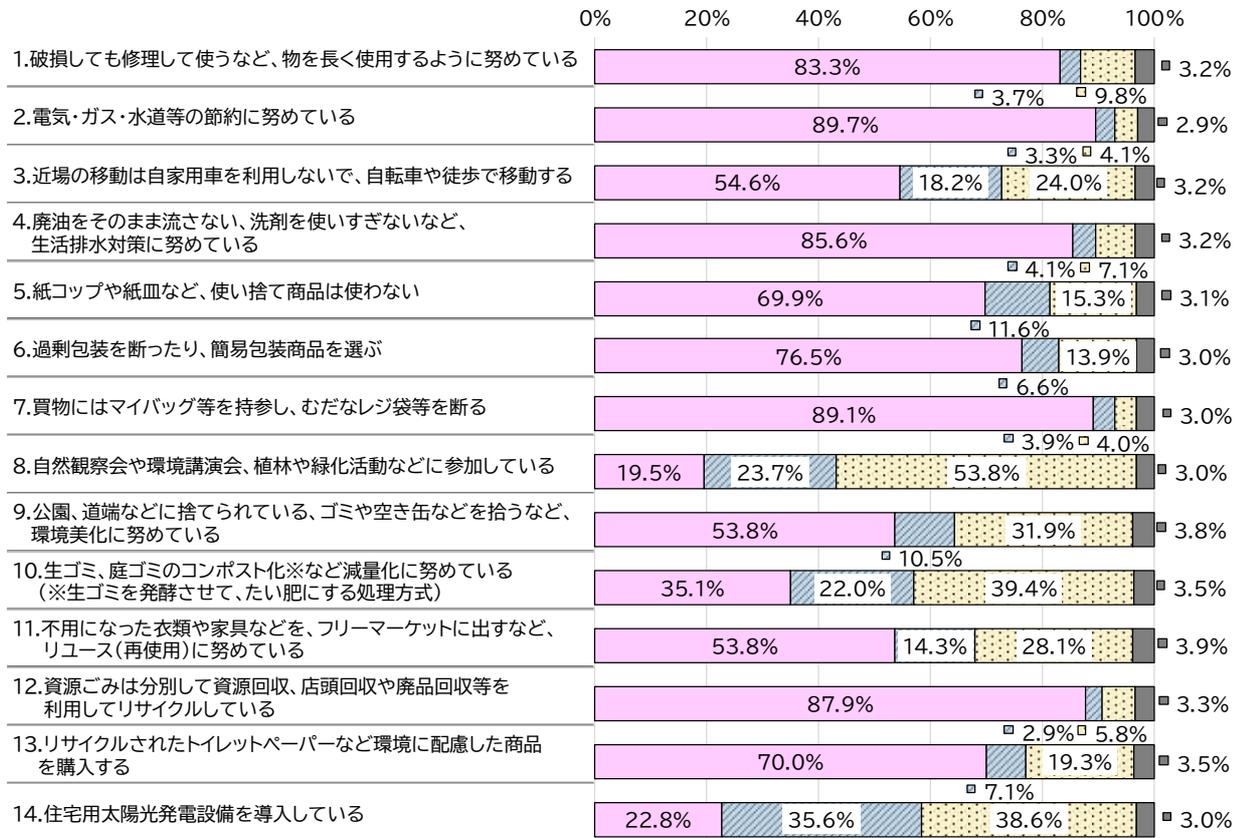


※H17、H22年度調査はありません。

3 調査結果

B. 今後

◆R6年度傾向



(n=958)

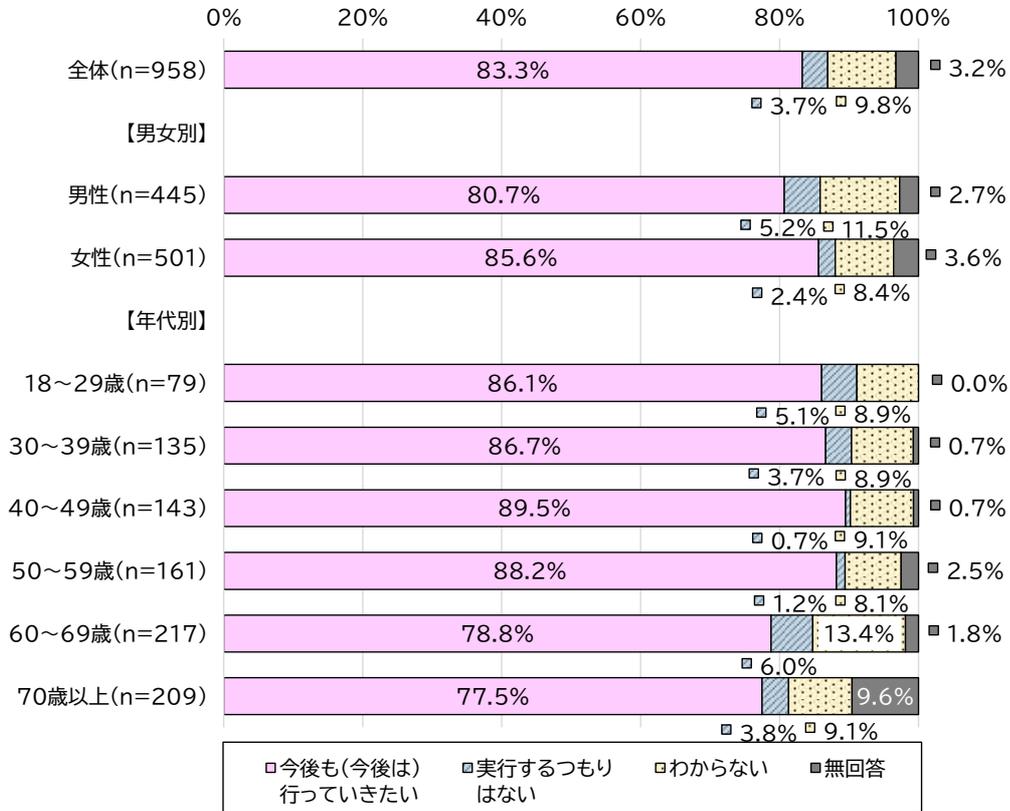
□ 今後も(今後は)行っていきたい □ 実行するつもりはない □ わからない □ 無回答

1. 破損しても修理して使うなど、物を長く使用するように努めている

◆男女別・年代別

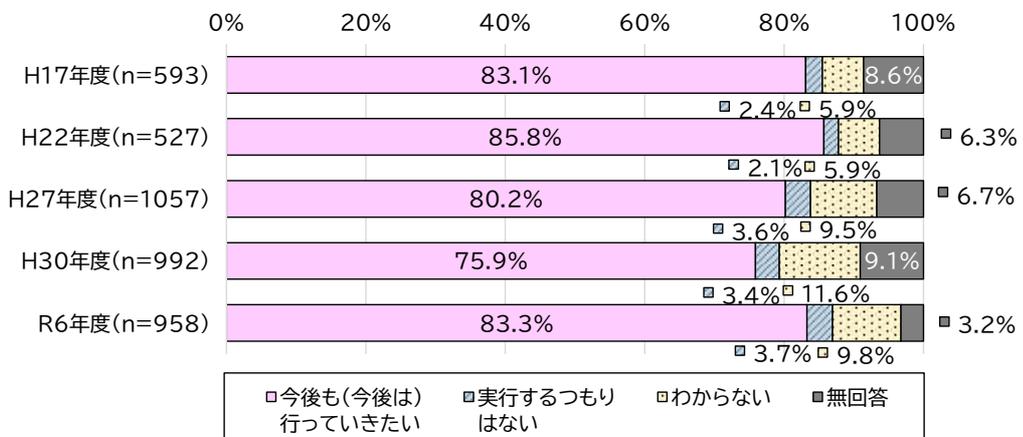
男女別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、男性よりも女性が 4.9 ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、「40代」で 89.5%と最も高くなっています。



◆経年推移

経年比較すると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、H30年度調査より今回調査は 7.4 ポイント高くなっています。

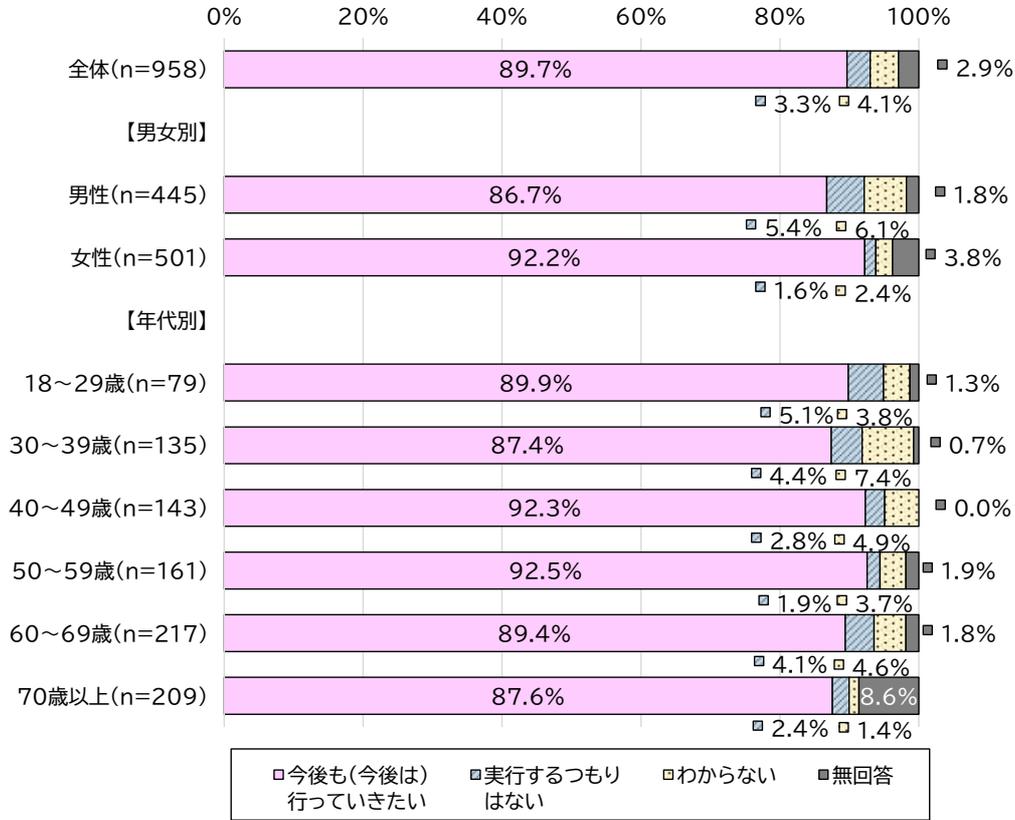


2. 電気・ガス・水道等の節約に努めている

◆男女別・年代別

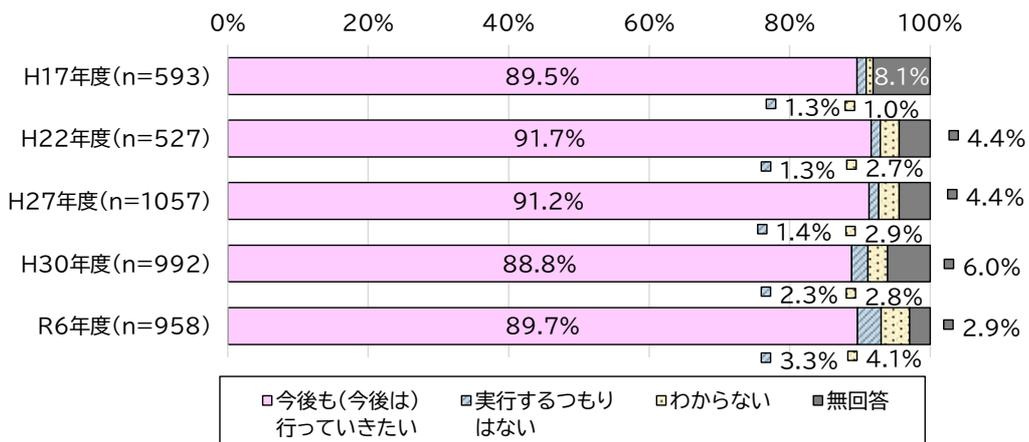
男女別で見ると、「今後も(今後)行っていきたい」は、男性よりも女性が 5.5 ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「今後も(今後)行っていきたい」は、『40代～50代』で9割を超えています。



◆経年推移

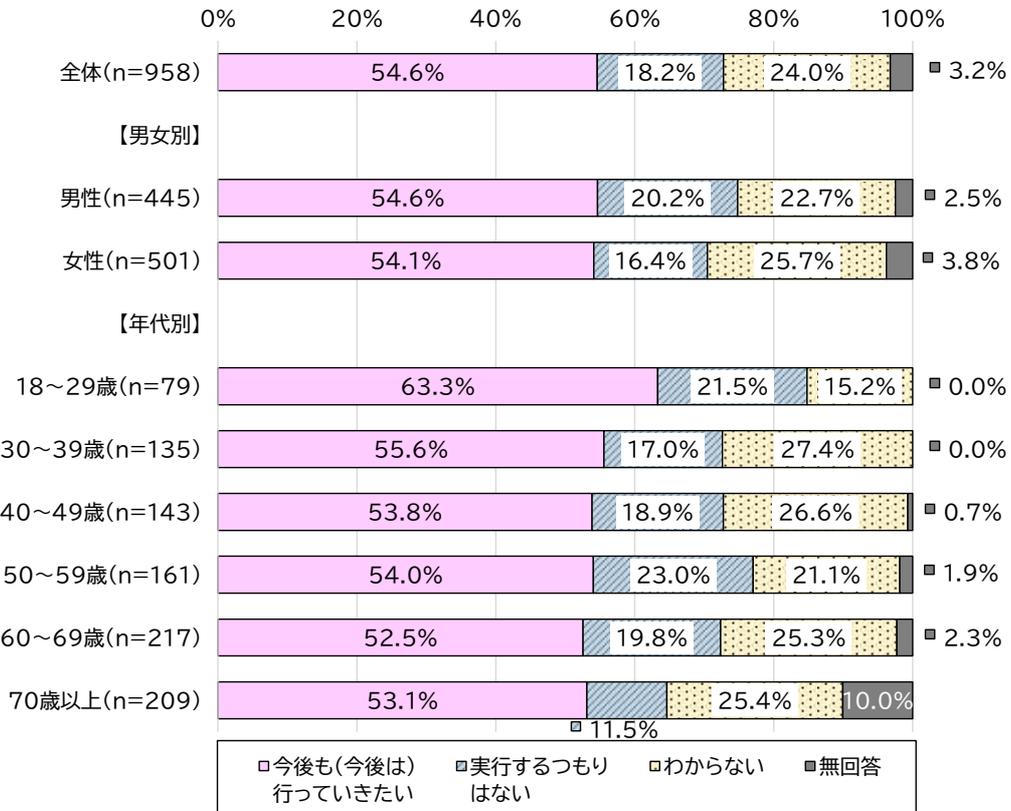
経年比較では、あまり傾向はみられませんでした。



3. 近場の移動は自家用車を利用しないで、自転車や徒歩で移動する

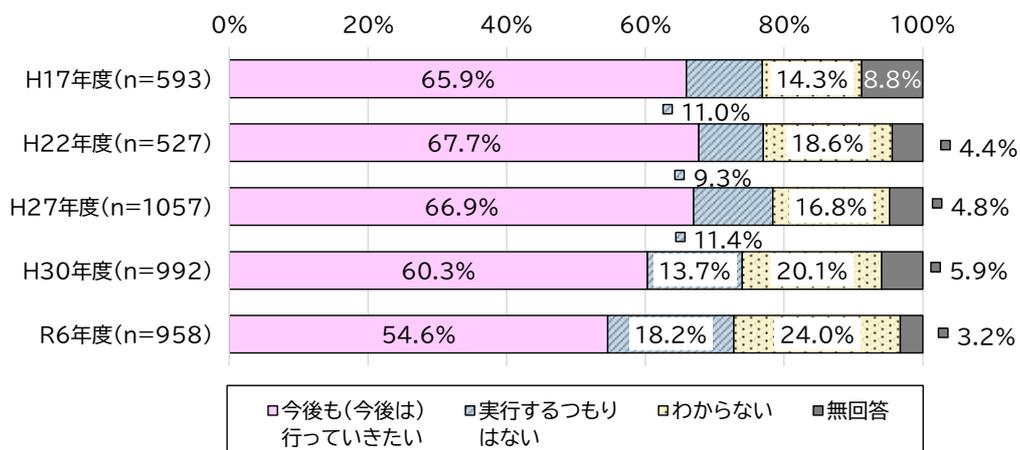
◆男女別・年代別

年代別で見ると、「今後も(今後は)行ってきたい」は、「18～20代」で6割を超えています。



◆経年推移

経年比較すると、「今後も(今後は)行ってきたい」は、H30年度調査より今回調査は5.7ポイント高くなっています。

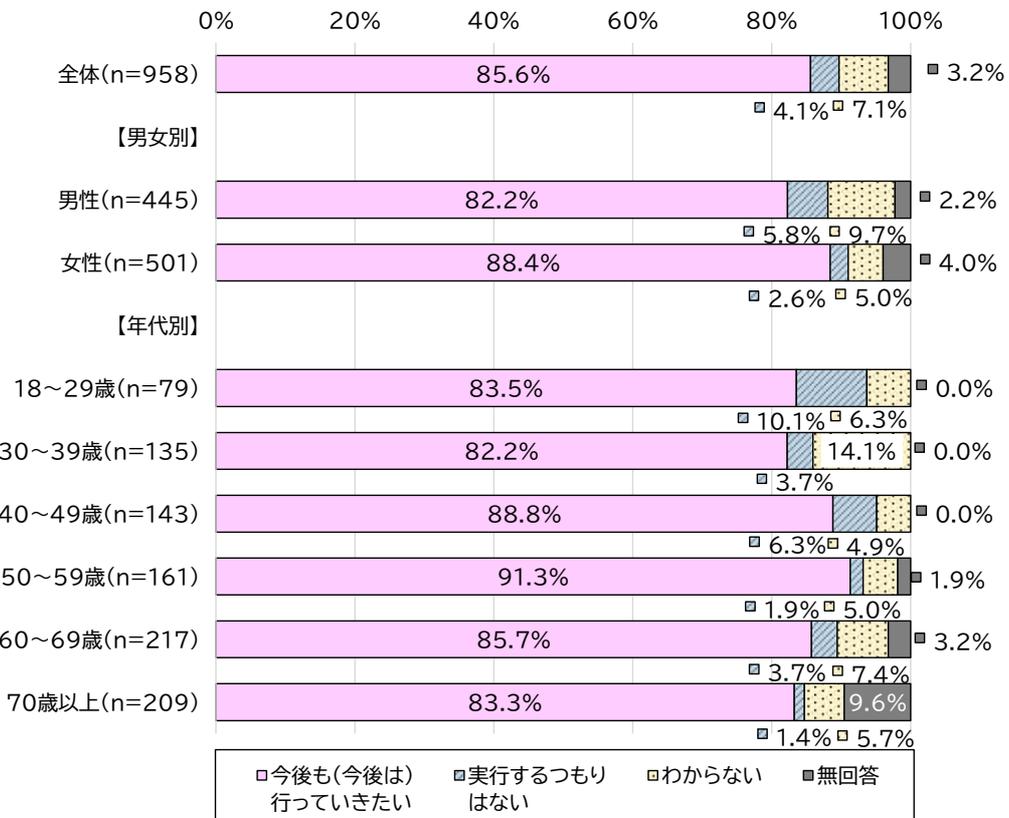


3 調査結果

4. 廃油をそのまま流さない、洗剤を使いすぎないなど、生活排水対策に努めている

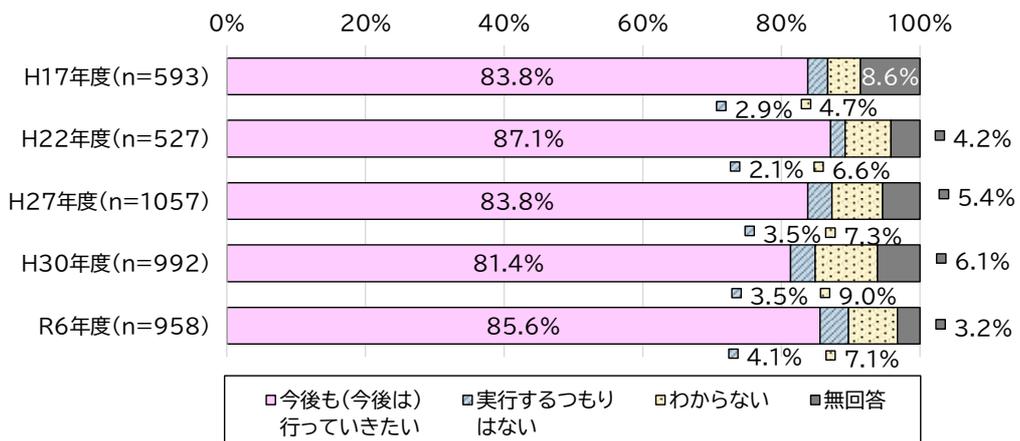
◆男女別・年代別

年代別でみると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、「50代」で9割を超えています。



◆経年推移

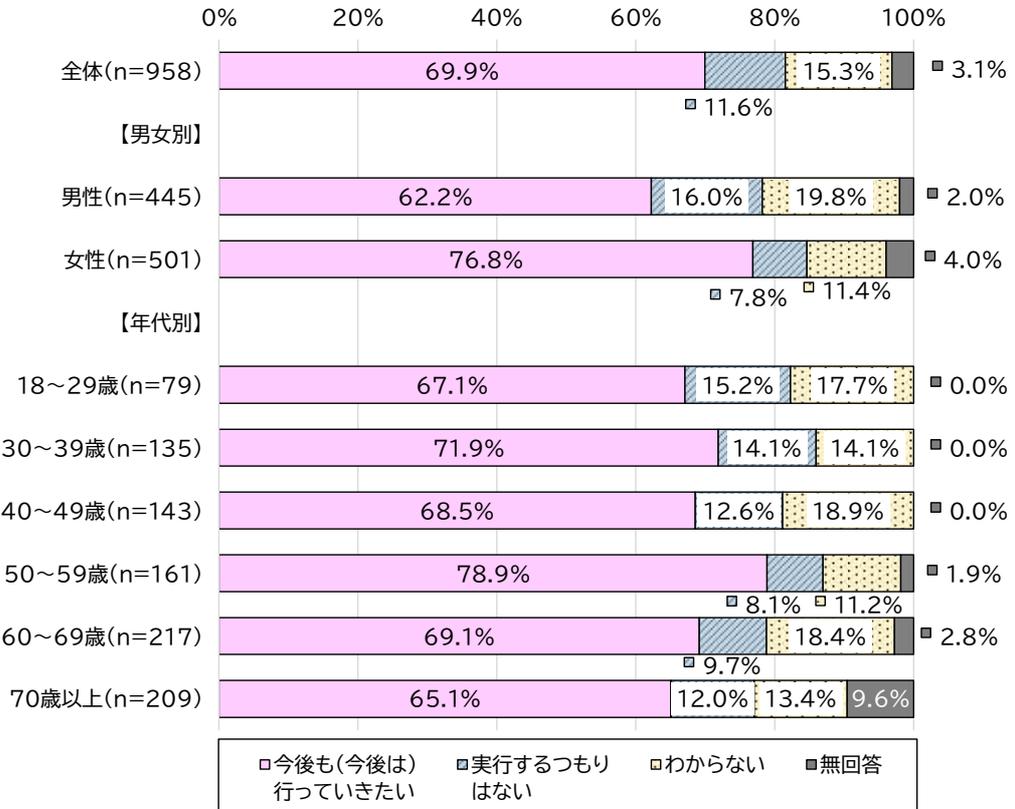
経年比較では、あまり傾向はみられませんでした。



5. 紙コップや紙皿など、使い捨て商品は使わない

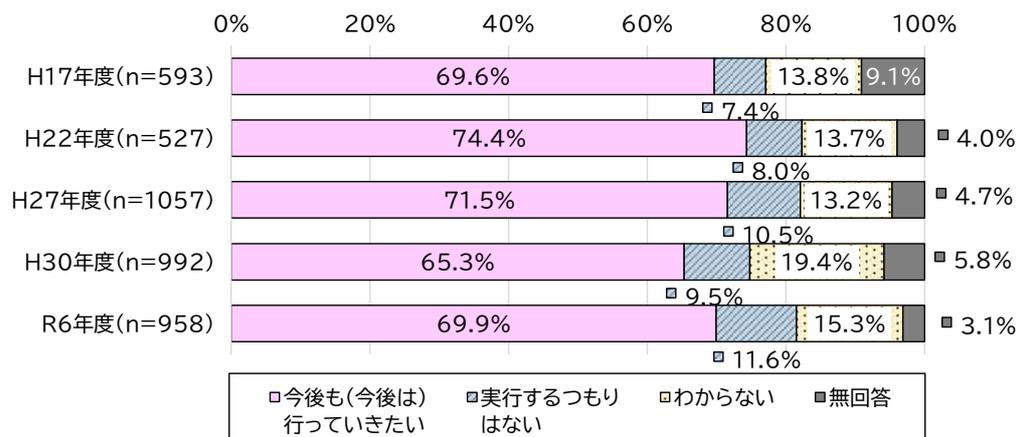
◆男女別・年代別

男女別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、男性よりも女性が14.6ポイント高くなっています。



◆経年推移

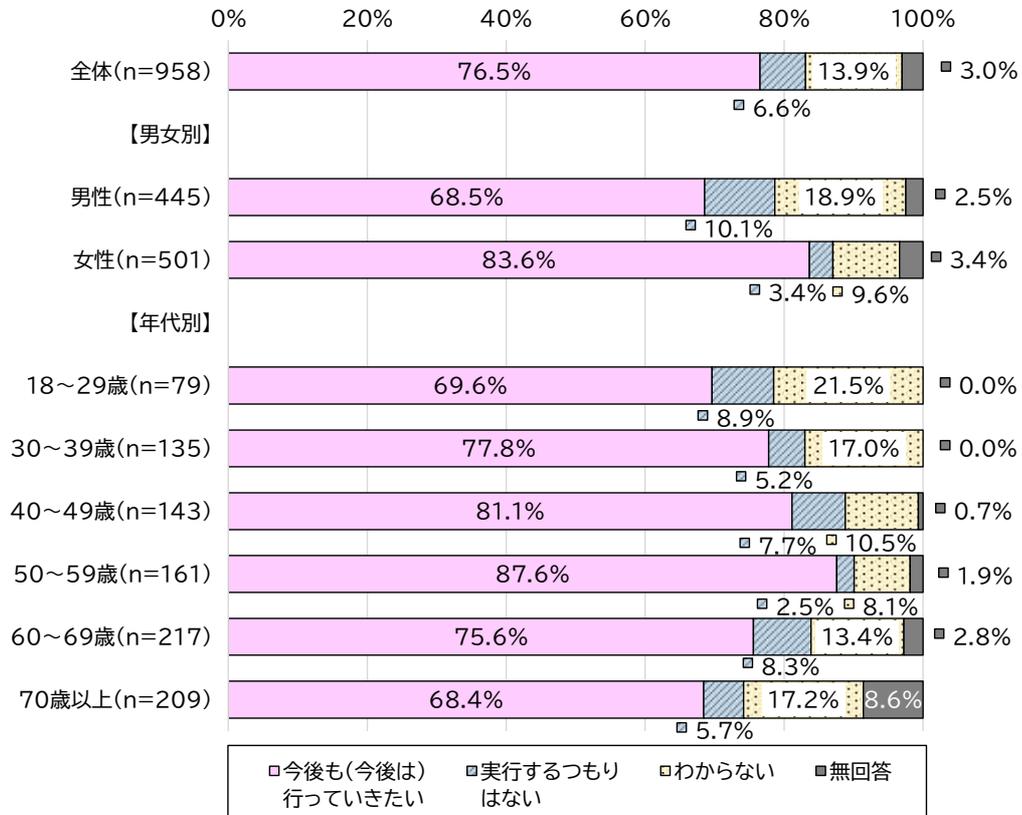
経年比較すると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、H30年度調査より今回調査は4.6ポイント高くなっています。



6. 過剰包装を断ったり、簡易包装商品を選ぶ

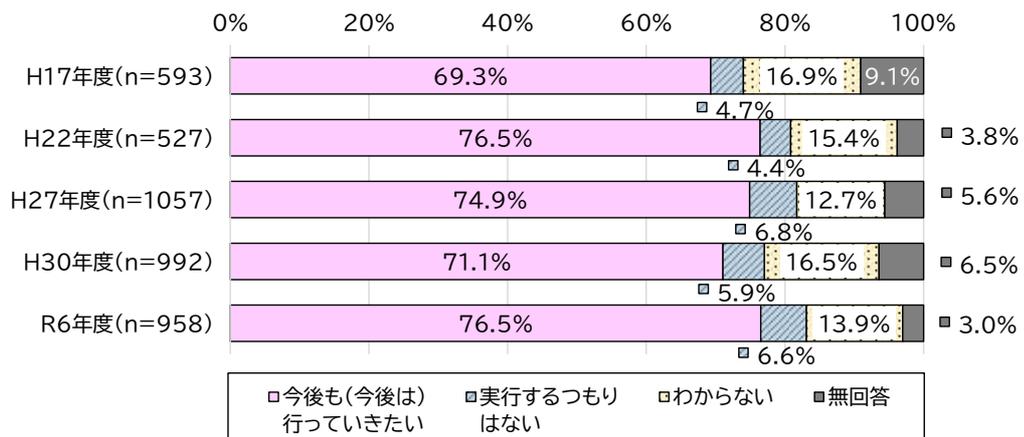
◆男女別・年代別

男女別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、男性よりも女性が15.1ポイント高くなっています。



◆経年推移

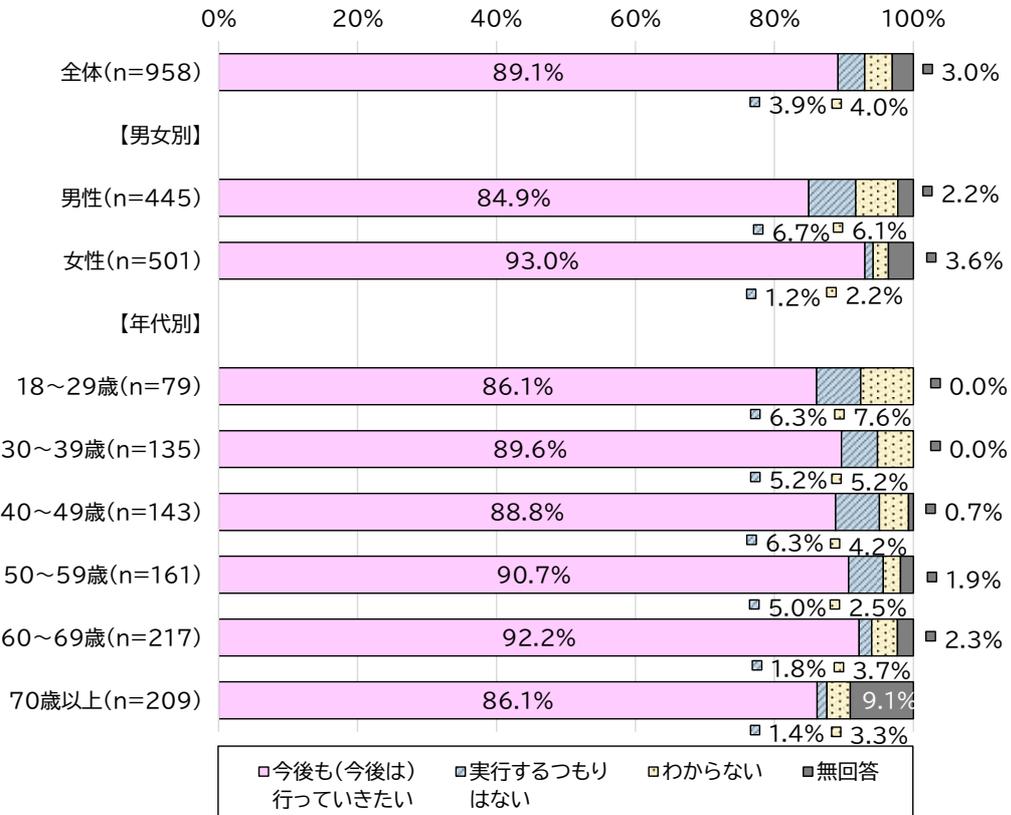
経年比較すると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、H30年度調査より今回調査は5.4ポイント高くなっています。また、H17年度調査と比較すると7.2ポイント高くなっています。



7. 買物にはマイバッグ等を持参し、むだなレジ袋等を断る

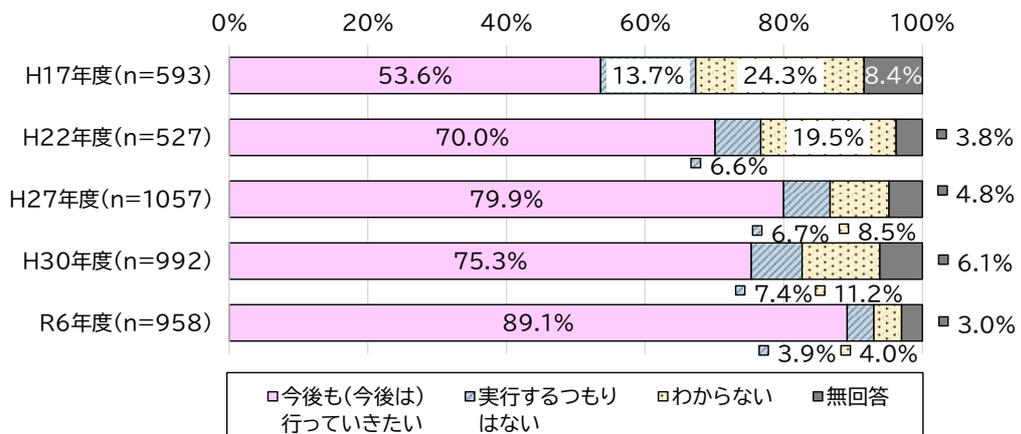
◆男女別・年代別

男女別で見ると、「今後も(今後は)行ってきたい」は、男性よりも女性が 8.1 ポイント高くなっています。



◆経年推移

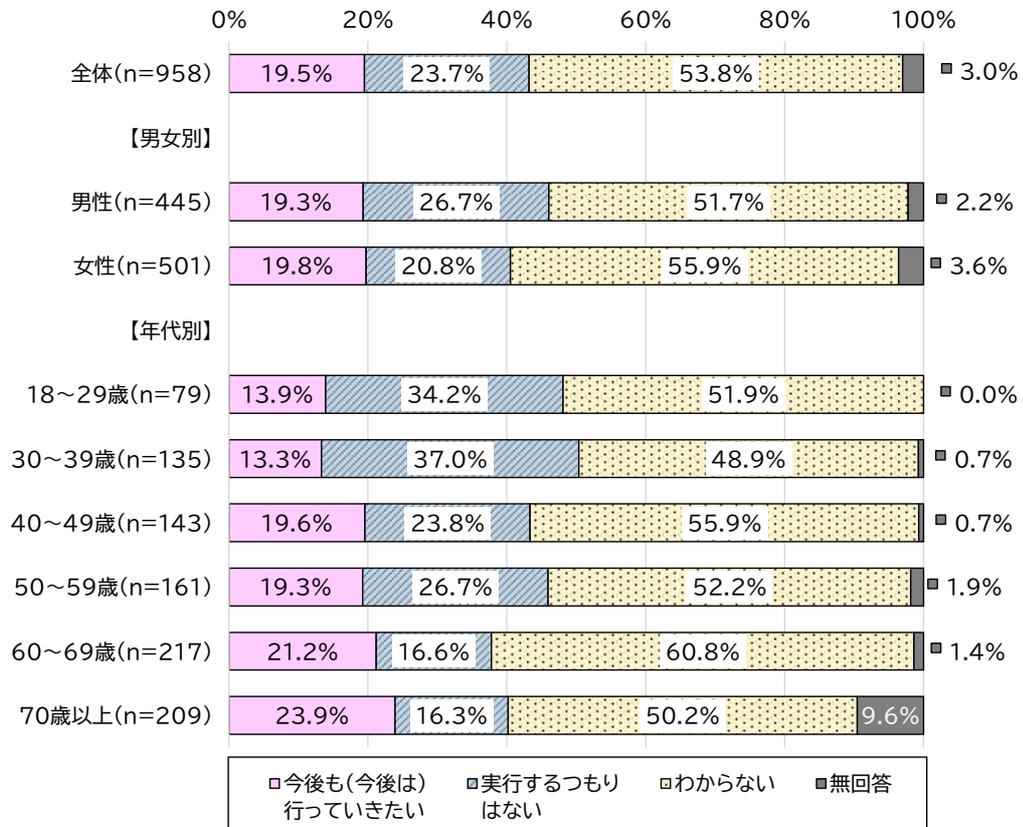
経年比較すると、「今後も(今後は)行ってきたい」は、H30年度調査より今回調査は 13.8 ポイント高くなっています。また、H17年度調査と比較すると 35.5 ポイント高くなっています。



8. 自然観察会や環境講演会、植林や緑化活動などに参加している

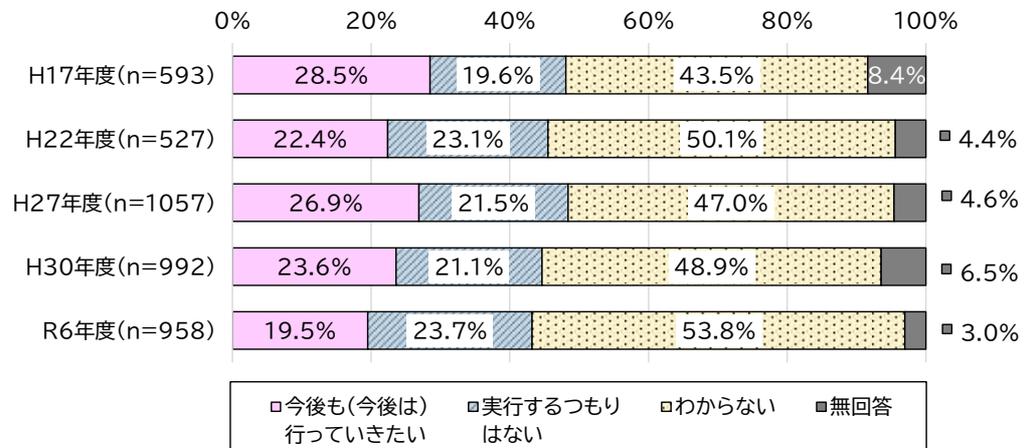
◆男女別・年代別

年代別でみると、「今後も(今後は)行ってきたい」は、年代が上がるほど高くなっています。



◆経年推移

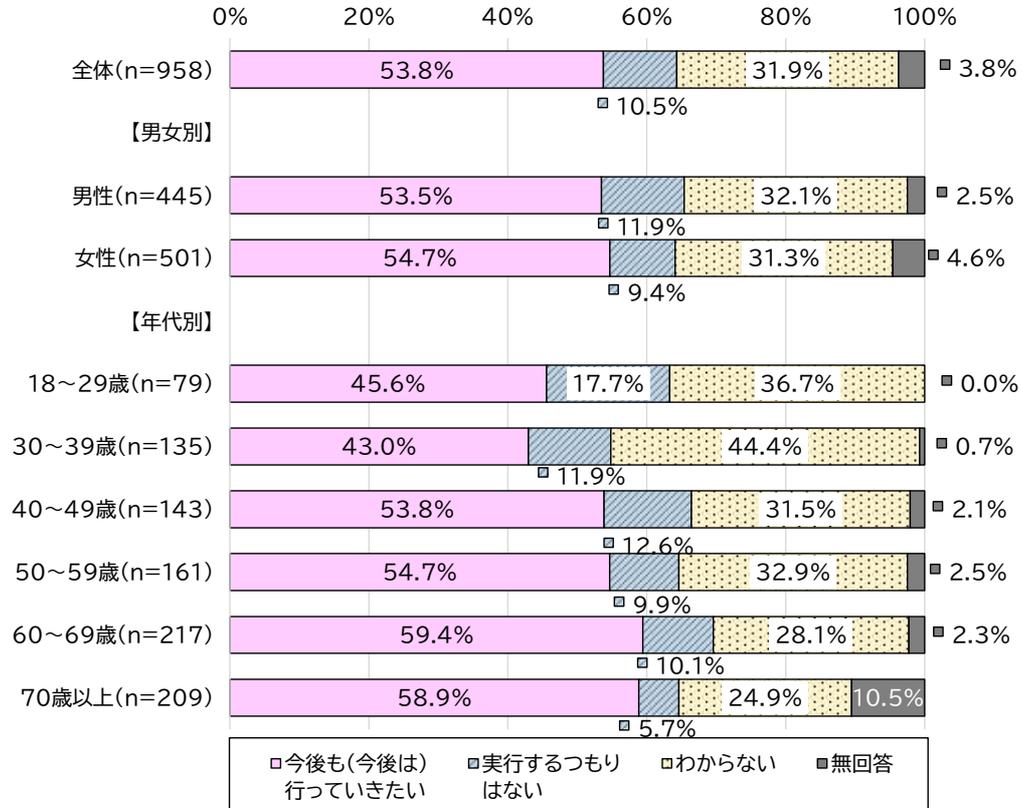
経年比較すると、「今後も(今後は)行ってきたい」は、H30年度調査より今回調査は4.1ポイント低くなっています。また、H17年度調査と比較すると9ポイント低くなっています。



9. 公園、道端などに捨てられている、ゴミや空き缶などを拾うなど、環境美化に努めている

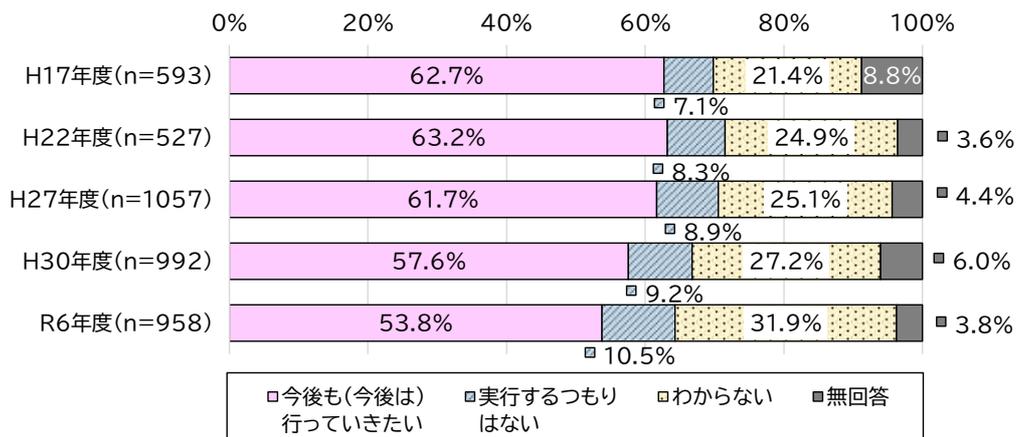
◆男女別・年代別

年代別にみると、「今後も(今後は)行ってきたい」は、年代が上がるほど高い傾向となっています。



◆経年推移

経年比較すると、「今後も(今後は)行ってきたい」は、H30年度調査より今回調査は3.8ポイント低く、調査ごとに減少傾向となっています。

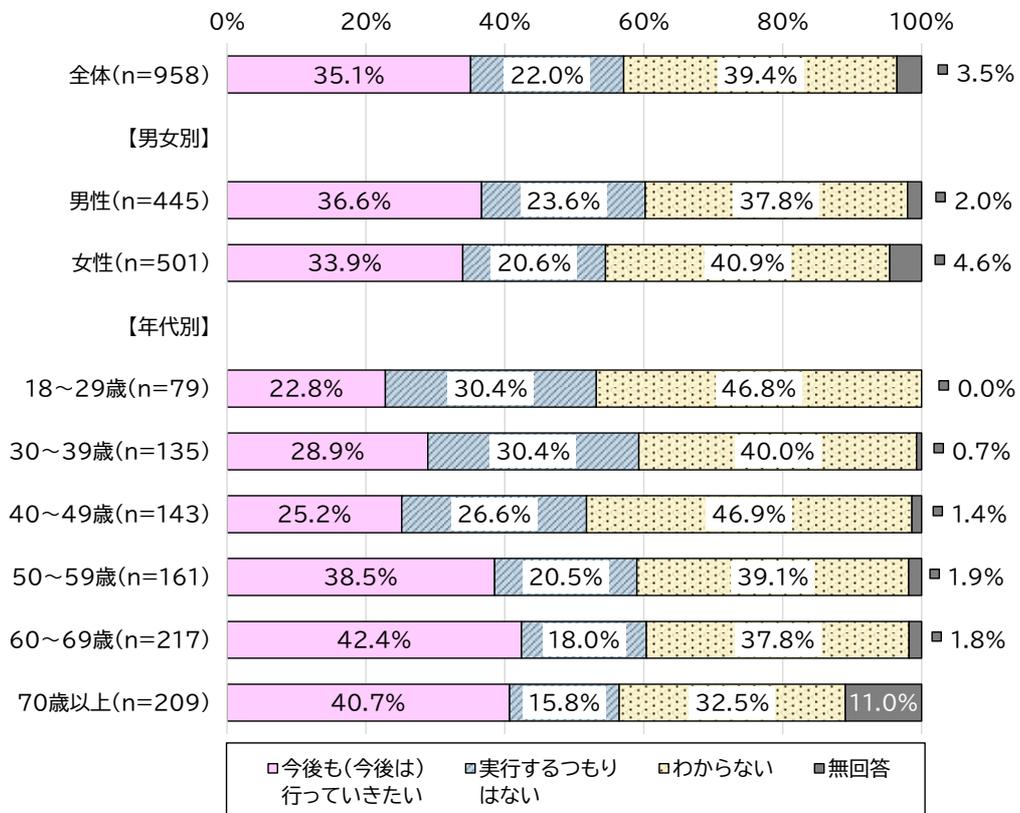


10. 生ゴミ、庭ゴミのコンポスト化※など減量化に努めている

(※生ゴミを発酵させて、たい肥にする処理方式)

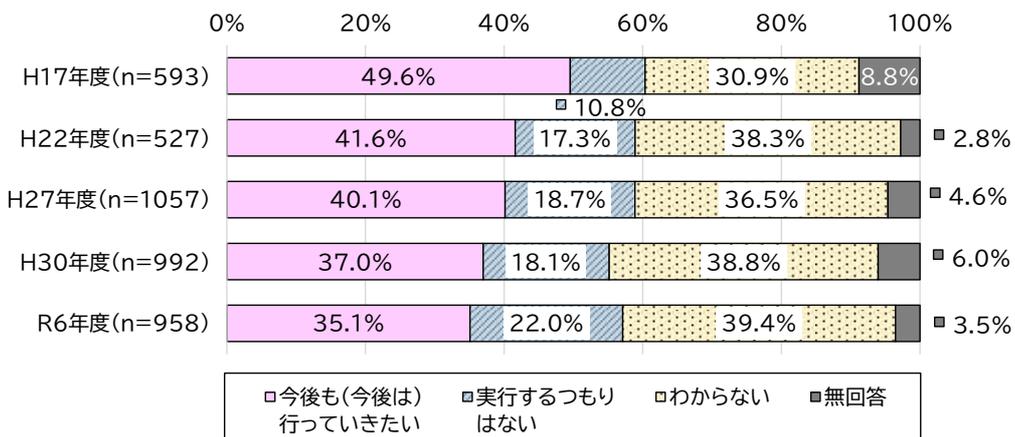
◆男女別・年代別

年代別にみると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、『60代以上』で4割を超えています。



◆経年推移

経年比較すると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、調査ごとに減少傾向となっています。

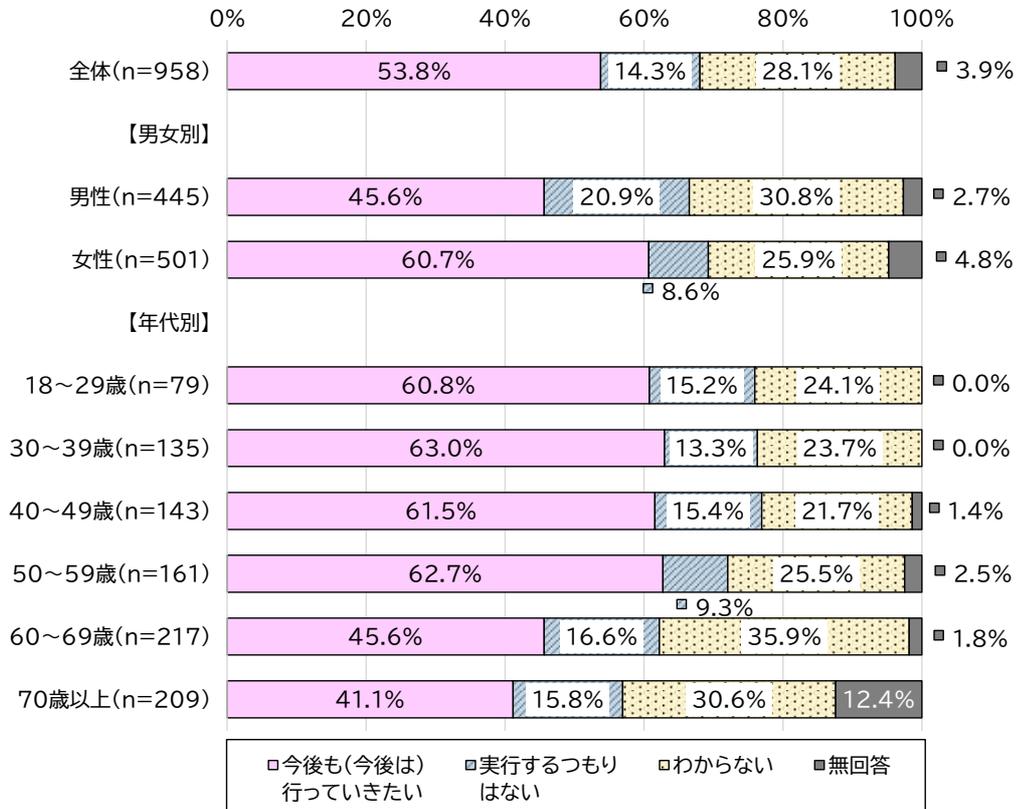


11. 不用になった衣類や家具などを、フリーマーケットに出すなど、リユース（再使用）に努めている

◆男女別・年代別

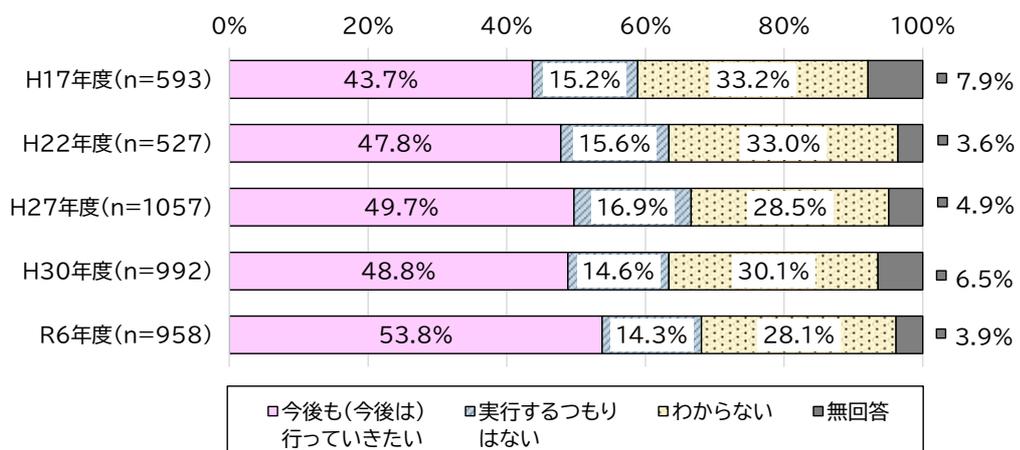
男女別で見ると、「今後も(今後)行っていきたい」は、男性よりも女性が15.1ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「今後も(今後)行っていきたい」は、『18～50代』で6割を超えています。



◆経年推移

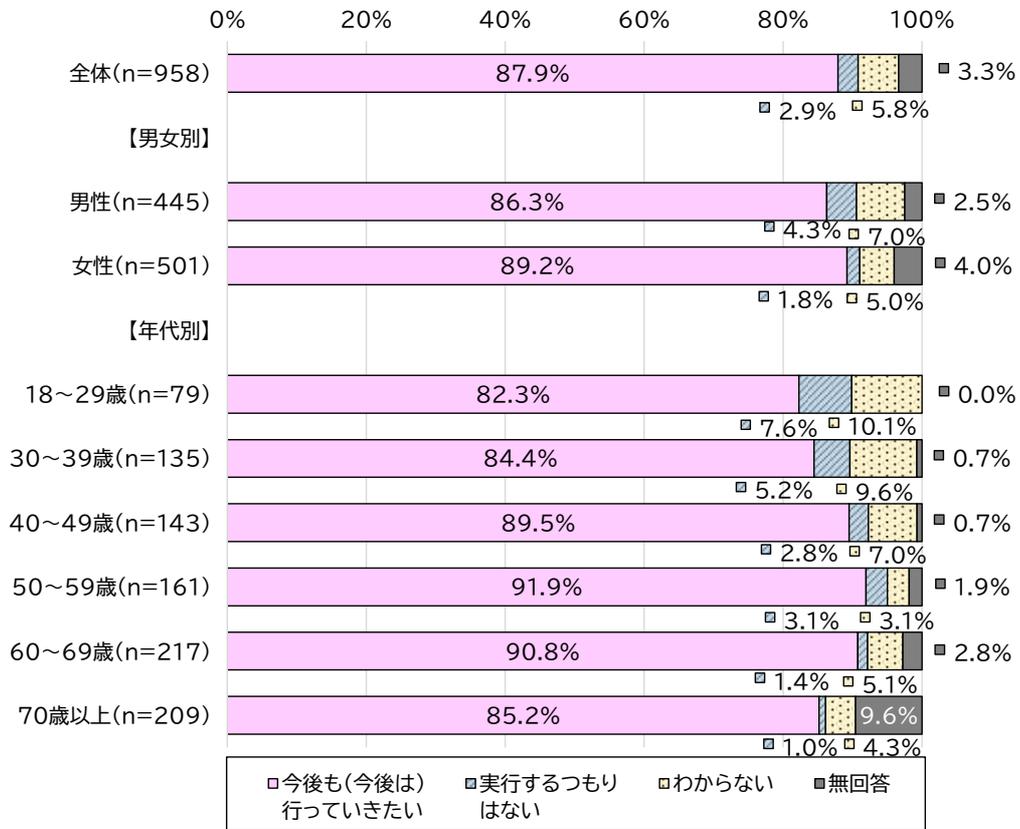
経年比較すると、「今後も(今後)行っていきたい」は、調査ごとに増加傾向となっています。



12. 資源ごみは分別して資源回収、店頭回収や廃品回収等を利用してリサイクルしている

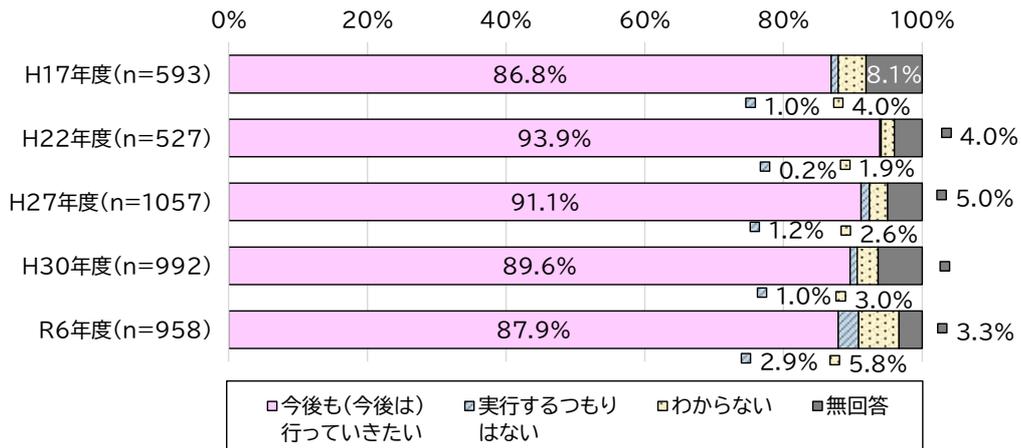
◆男女別・年代別

年代別でみると、「今後も(今後は)行ってきたい」は、『50～60代』で9割を超えています。



◆経年推移

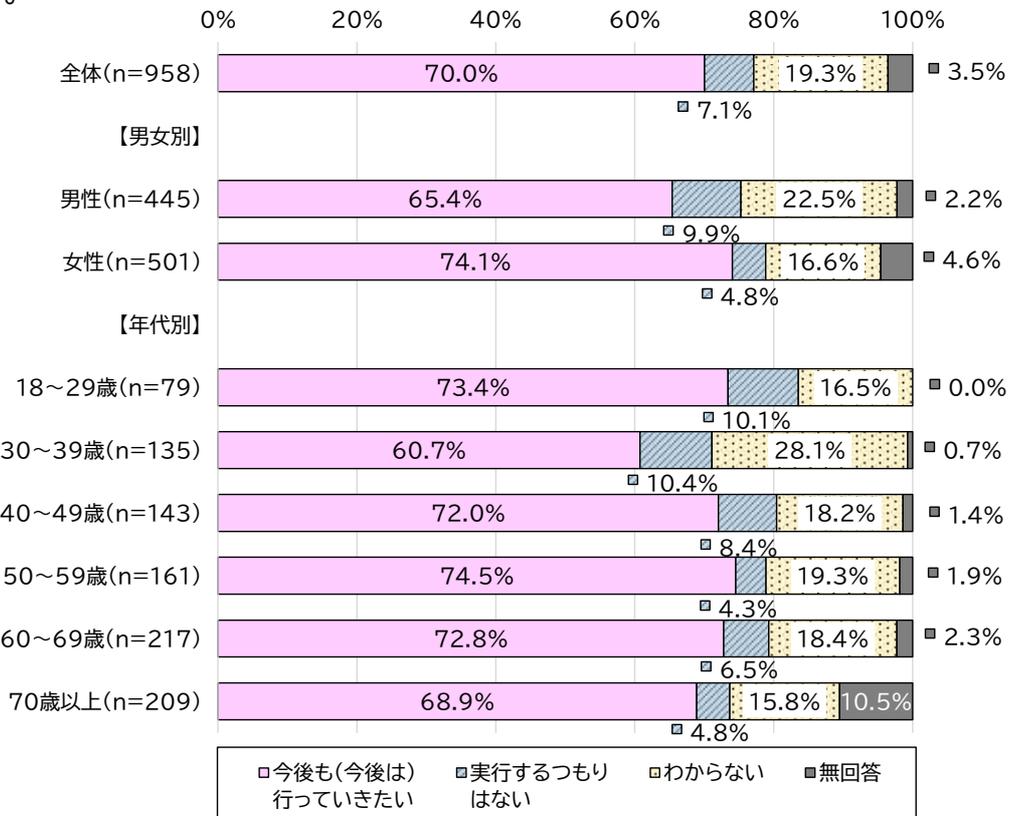
経年比較すると、「今後も(今後は)行ってきたい」は、H22年度調査以降、減少傾向となっています。



13. リサイクルされたトイレットペーパーなど環境に配慮した商品を購入する

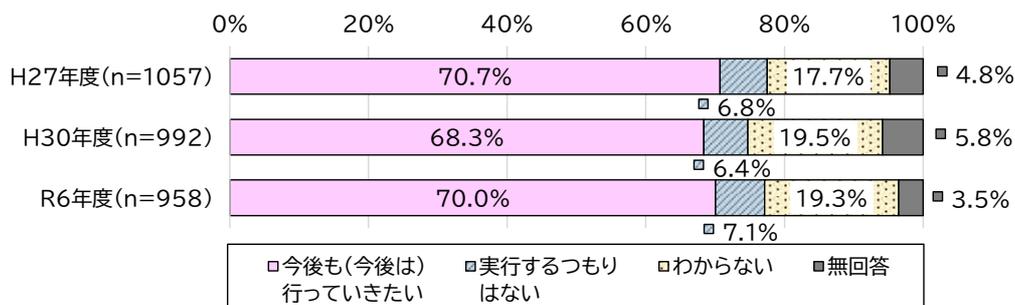
◆男女別・年代別

男女別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、男性よりも女性が 8.7 ポイント高くなっています。



◆経年推移

経年比較では、あまり傾向はみられませんでした。

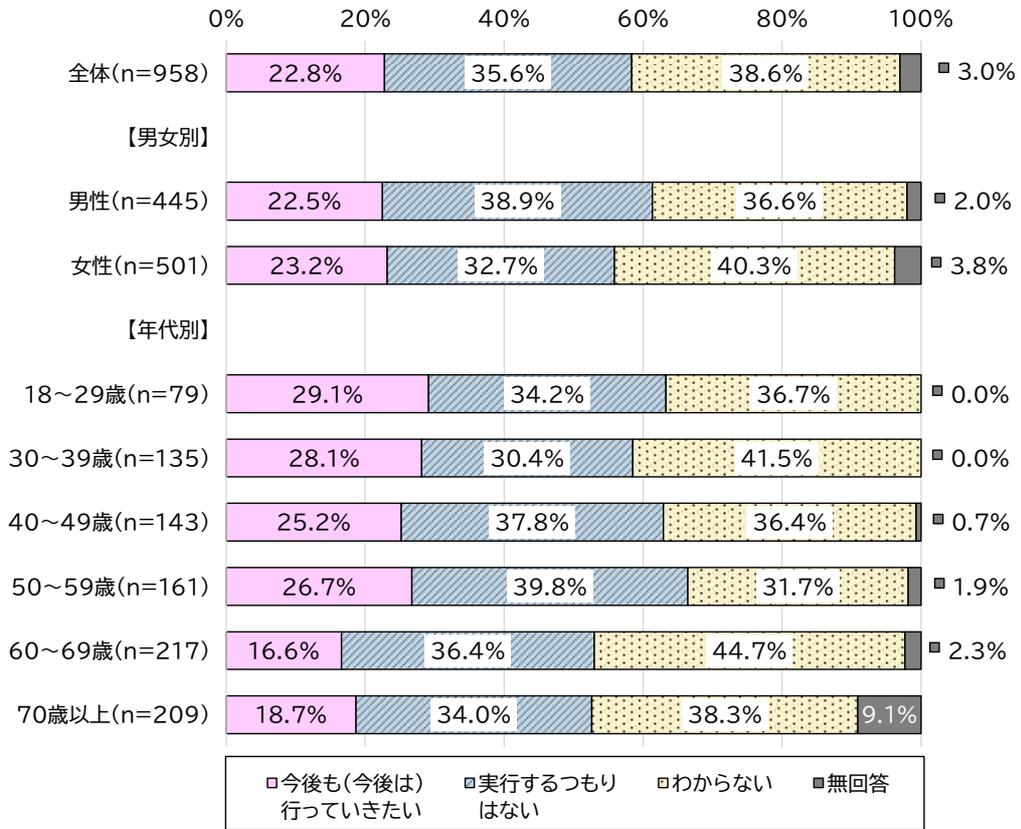


※H17、H22年度調査はありません。

14. 住宅用太陽光発電設備を導入している

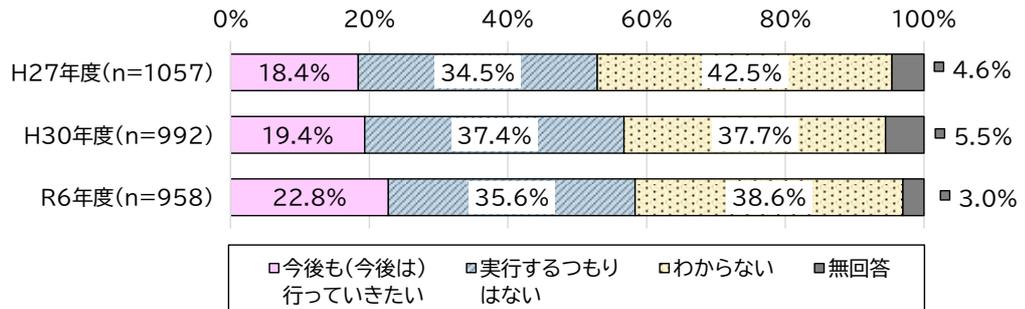
◆男女別・年代別

年代別でみると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、『50代以下』で2割を超えています。



◆経年推移

経年比較では、あまり傾向はみられませんでした。



※H17、H22年度調査はありません。

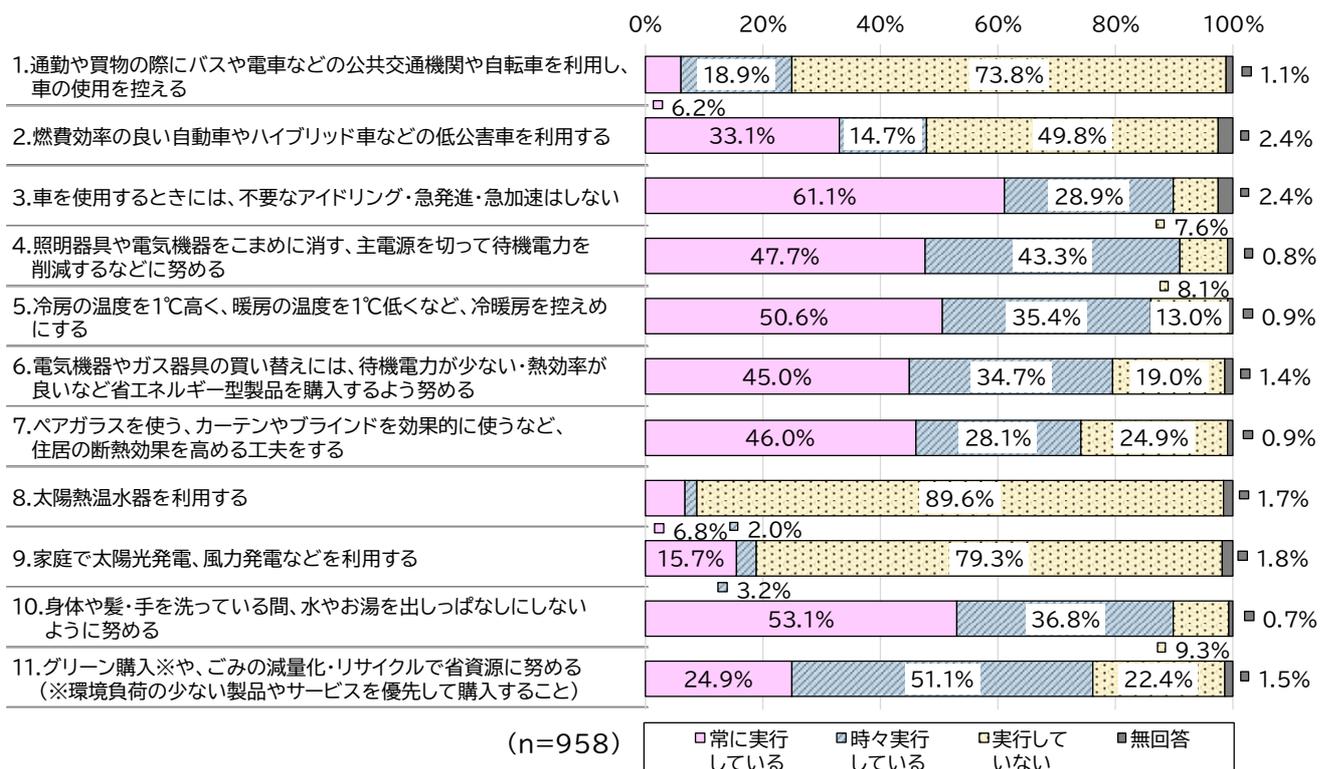
3-6 地球温暖化防止

3-6-1 地球温暖化防止のための取組状況と今後の取組意向

問9 あなたは、地球温暖化防止のために、現在どのようなことを心がけていますか。また、今後どのような取組を行っていきたいですか。以下のそれぞれの項目について、「A. 現在」「B. 今後」から、あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。(○はA, Bそれぞれ1つずつ)

A. 現在

◆令和6年度傾向

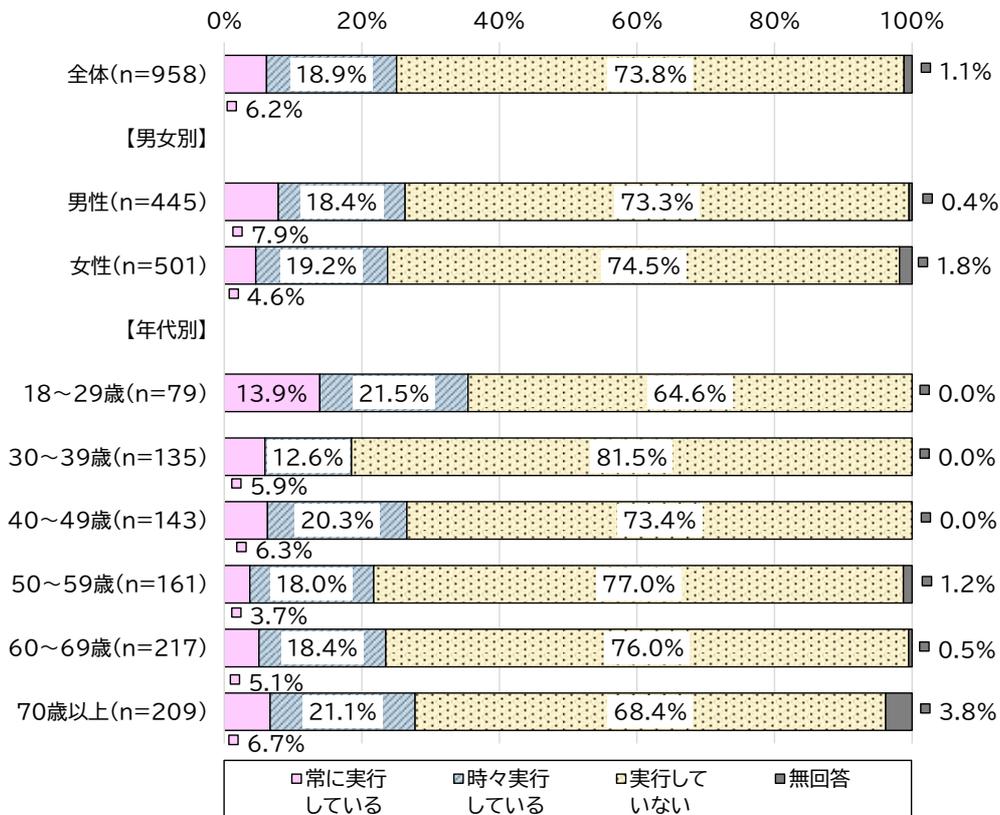


A. 現在

1. 通勤や買物の際にバスや電車などの公共交通機関や自転車を利用し、車の使用を控える

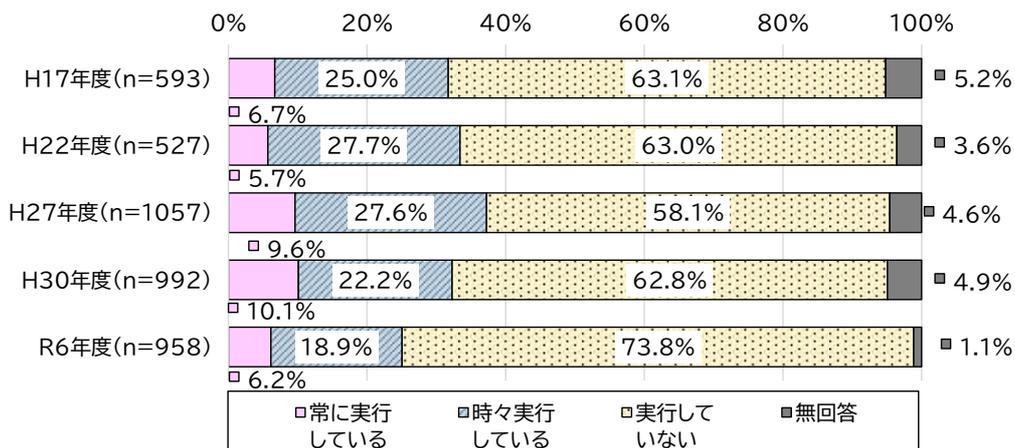
◆男女別・年代別

年代別でみると、『実行している』は、「18～20代」で3割を超えています。



◆経年推移

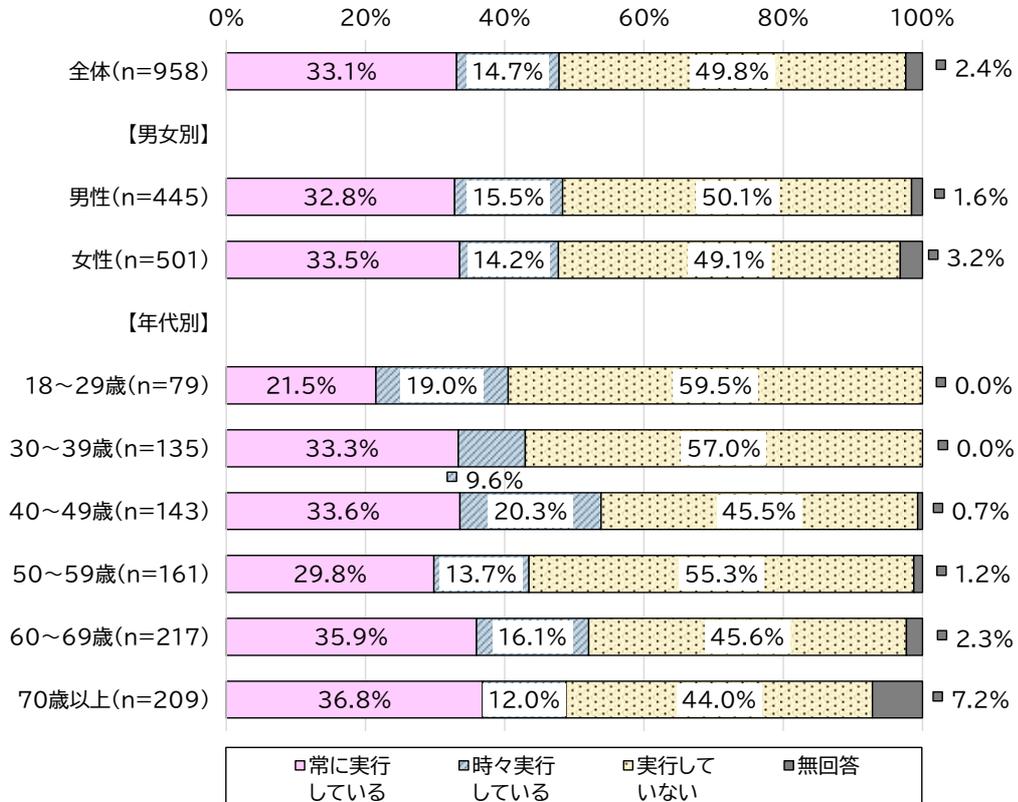
経年比較すると、『実行している』は、H27年度調査以降、減少傾向となっています。



2. 燃費効率の良い自動車やハイブリッド車などの低公害車を利用する

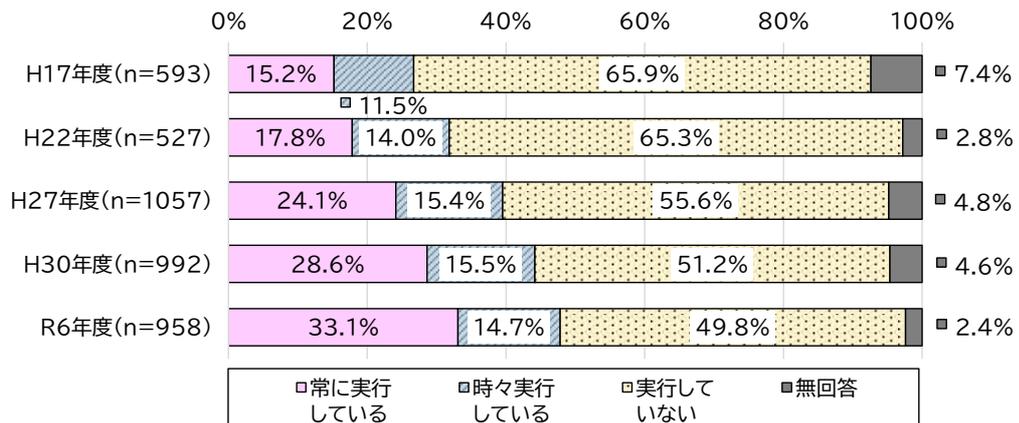
◆男女別・年代別

年代別でみると、『実行している』は、「40代」「60代」で5割を超えています。



◆経年推移

経年比較すると、『実行している』は、増加傾向となっています。

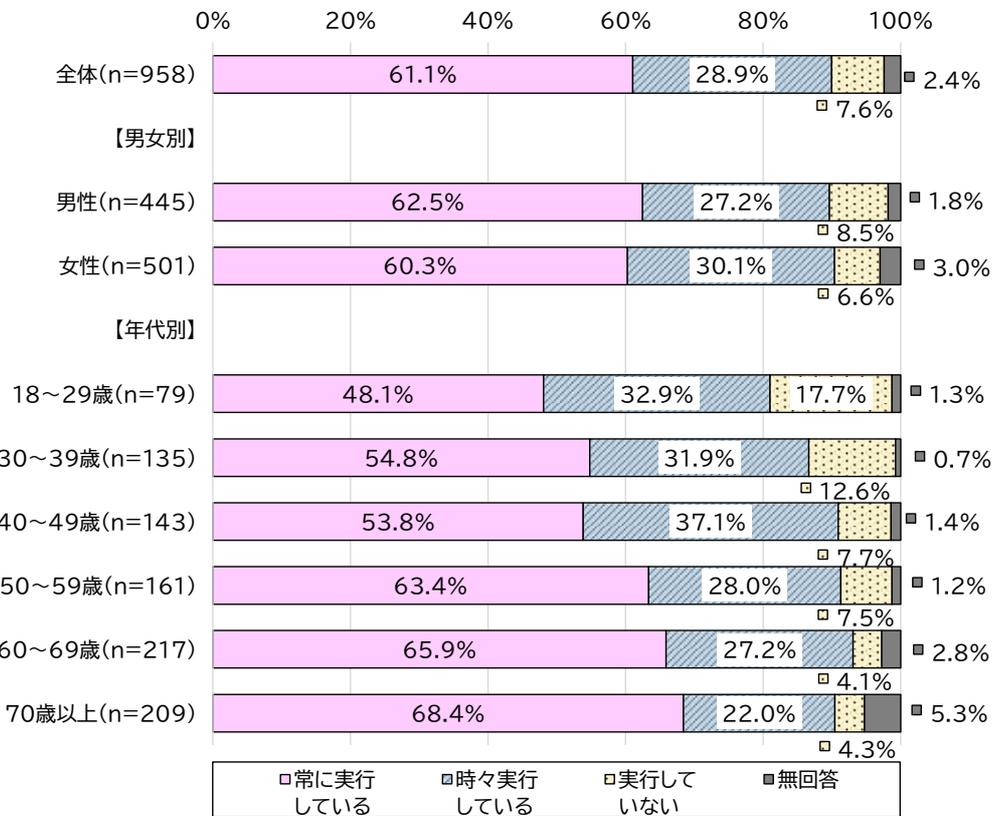


3 調査結果

3. 車を使用するときには、不要なアイドリング・急発進・急加速はしない

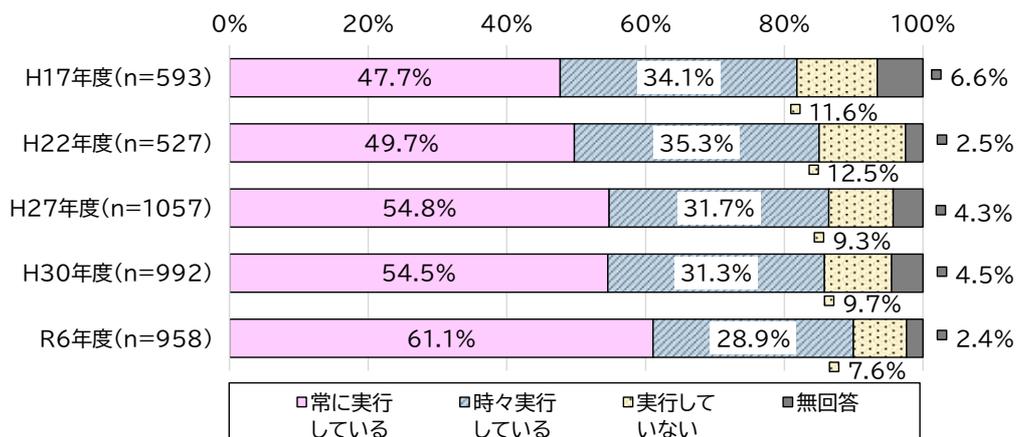
◆男女別・年代別

年代別で見ると、「常に実行している」は、年代が上がるほど高く、「70歳以上」で約7割となっています。



◆経年推移

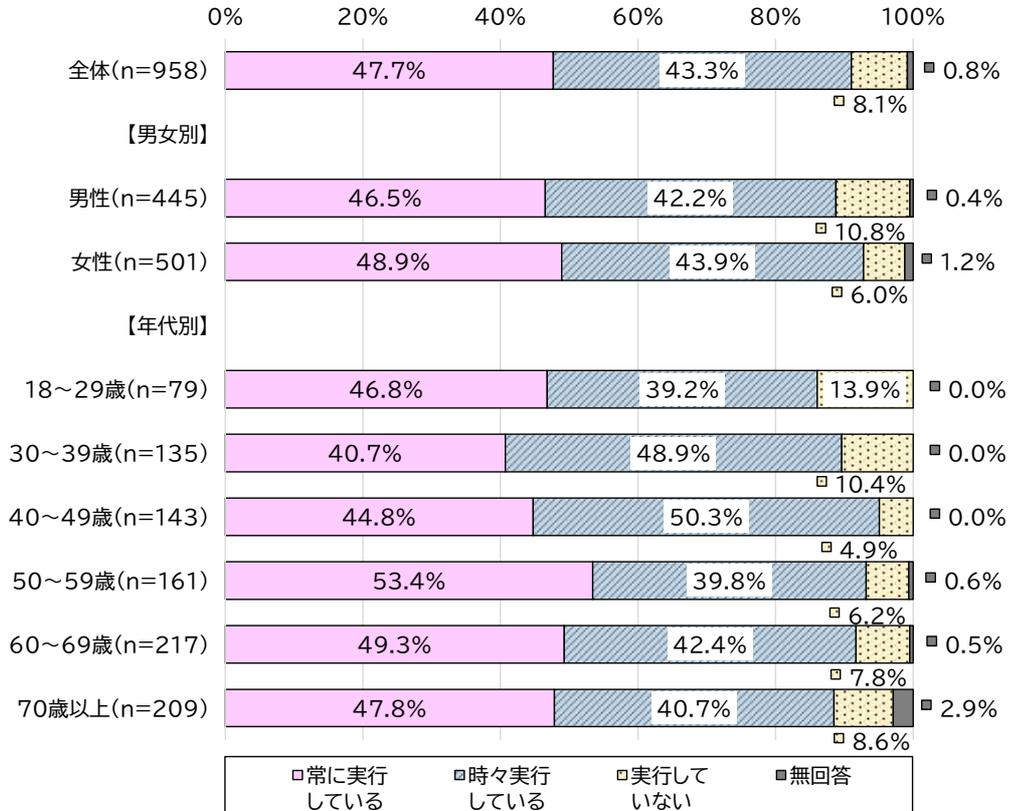
経年比較すると、「常に実行している」は、調査ごとに増加傾向となっています。



4. 照明器具や電気機器をこまめに消す、主電源を切って待機電力を削減するなどに努める

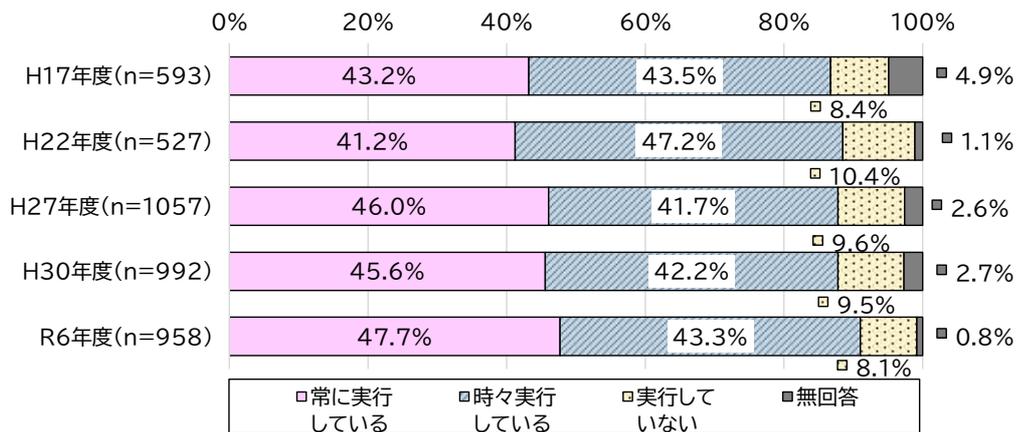
◆男女別・年代別

年代別で見ると、「常に実行している」は、「50代」で5割を超えています。



◆経年推移

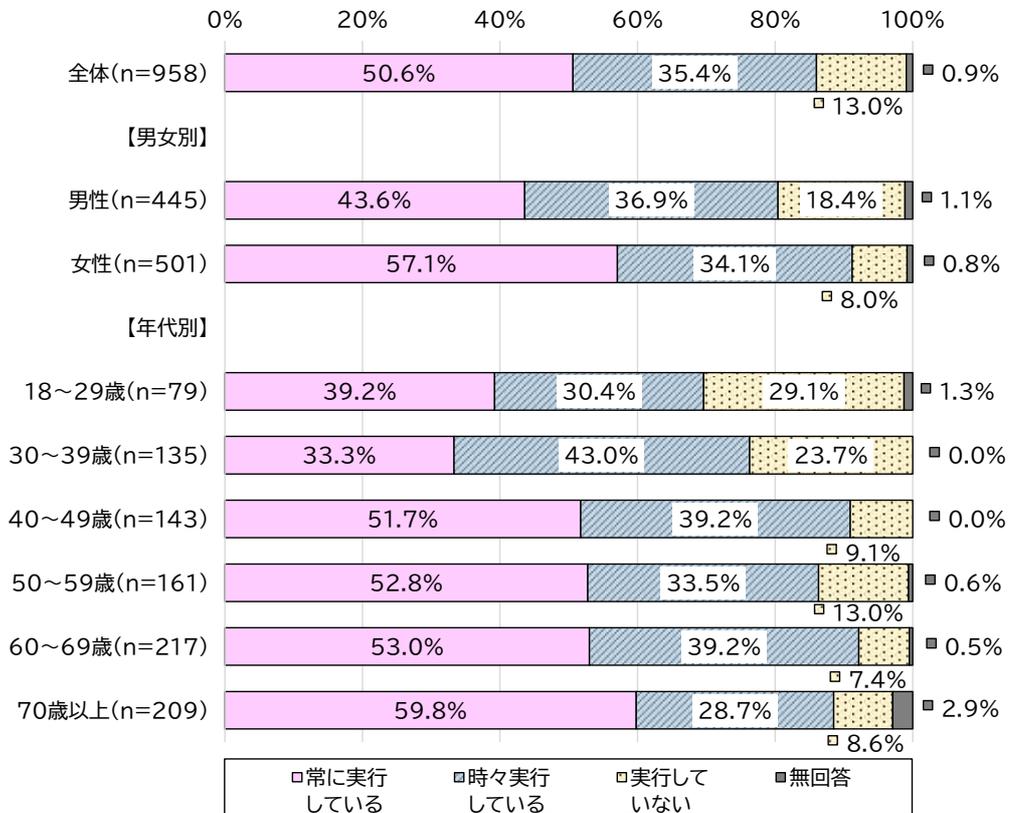
経年比較では、あまり傾向はみられませんでした。



5. 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低くなってなど、冷暖房を控えめにする

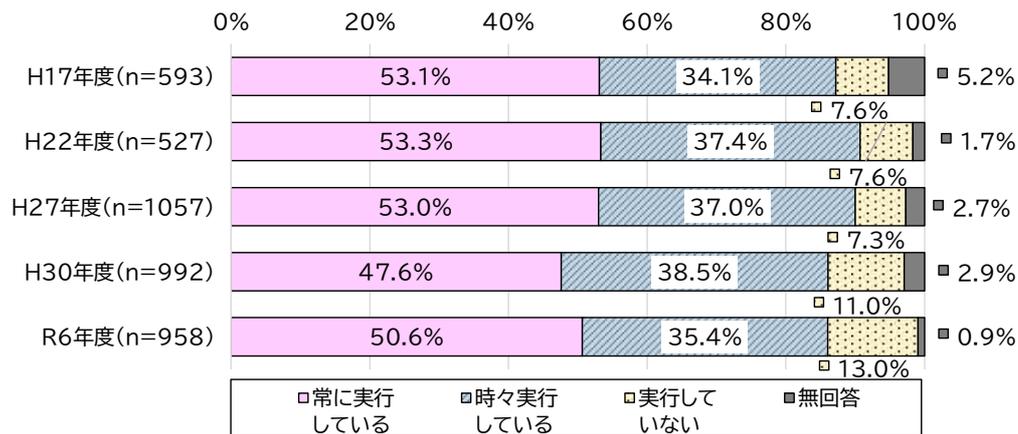
◆男女別・年代別

男女別でみると、『実行している』は、男性より女性が10.7ポイント高くなっています。
年代別でみると、「常に実行している」は、『40代以上』で5割を超えています。



◆経年推移

経年比較では、あまり傾向はみられませんでした。

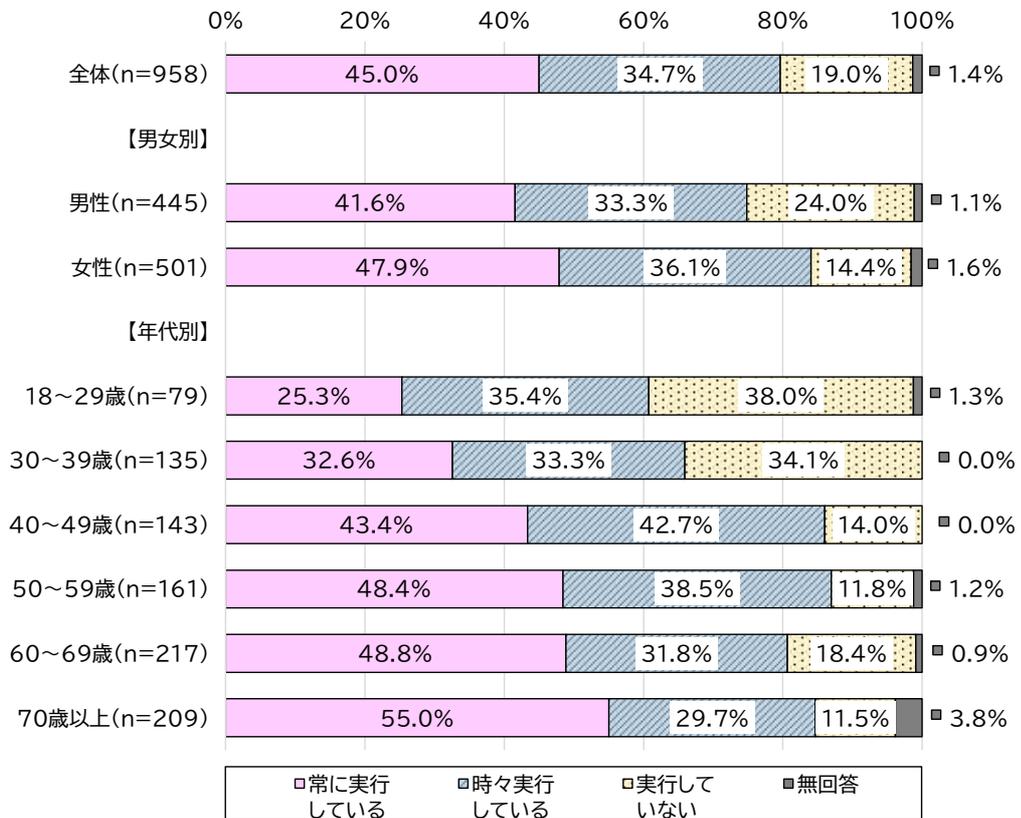


6. 電気機器やガス器具の買い替えには、待機電力が少ない・熱効率が良いなど省エネルギー型製品を購入するよう努める

◆男女別・年代別

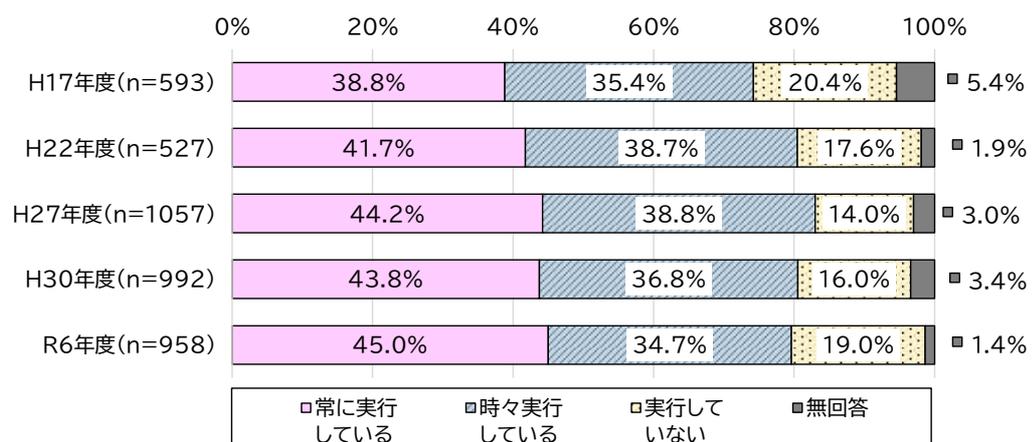
男女別で見ると、『実行している』は、男性より女性が9.1ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「常に実行している」は、年代が上がるほど高く、『実行している』は、『40代以上』で8割を超えています。



◆経年推移

経年比較すると、「常に実行している」は、調査ごとにやや増加傾向となっています。

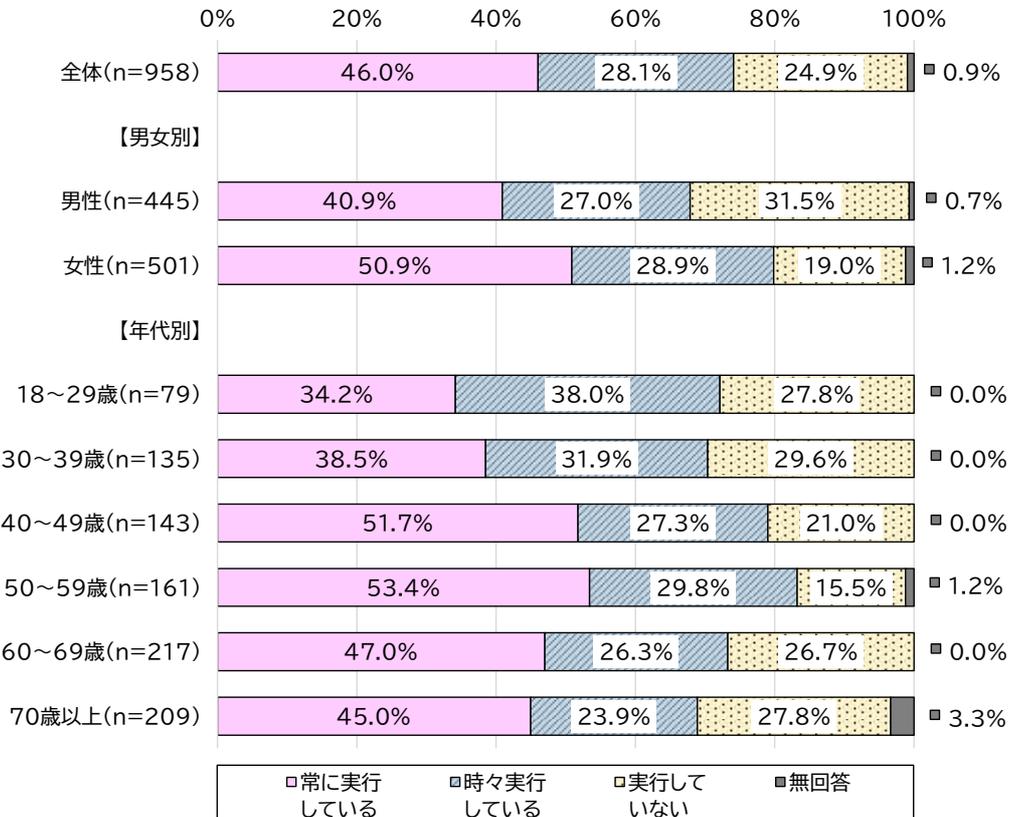


3 調査結果

7. ペアガラスを使う、カーテンやブラインドを効果的に使うなど、住居の断熱効果を高める工夫をする

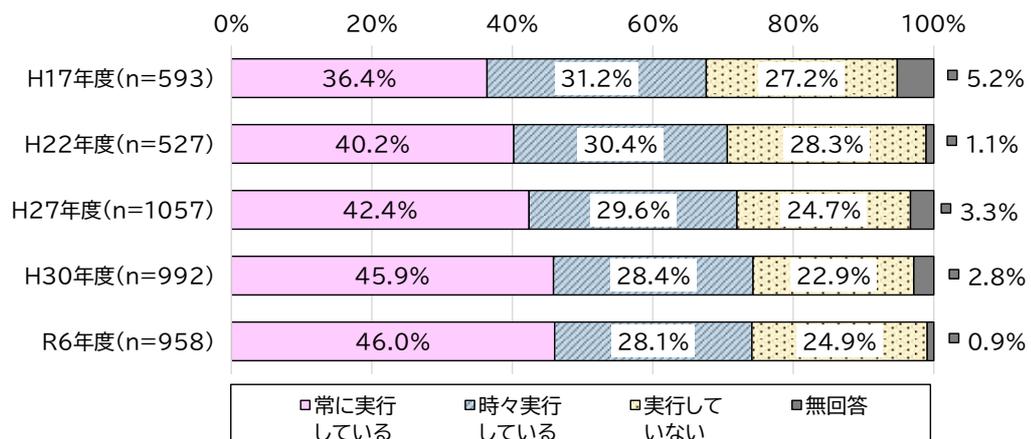
◆男女別・年代別

男女別で見ると、『実行している』は、男性より女性が11.9ポイント高くなっています。
年代別で見ると、『実行している』は、「50代」で8割を超えています。



◆経年推移

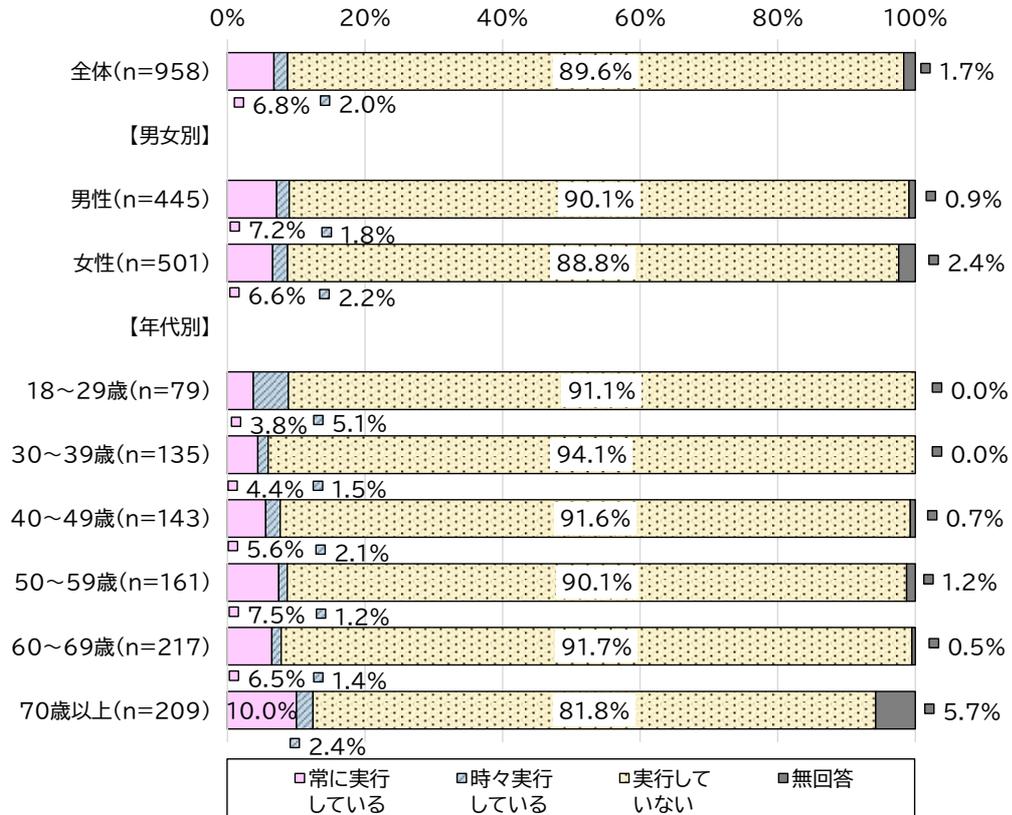
経年比較すると、「常に実行している」は、調査ごとにやや増加傾向となっています。



8. 太陽熱温水器を利用する

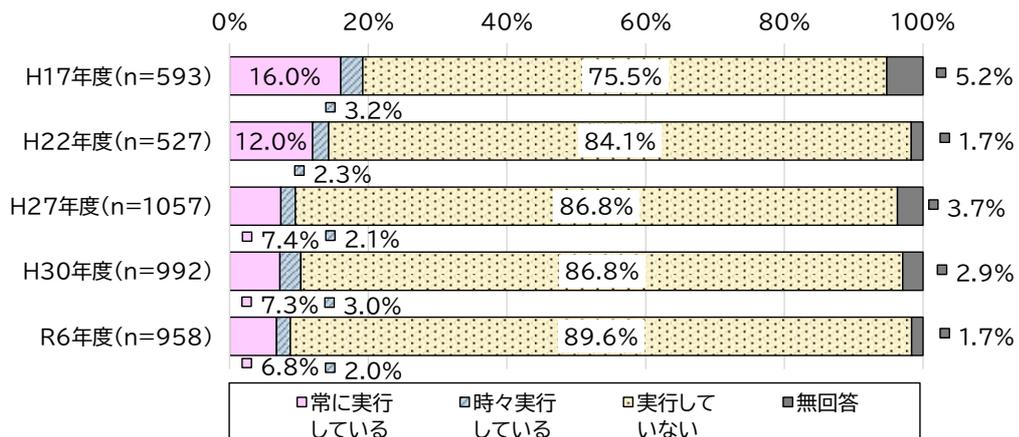
◆男女別・年代別

男女別・年代別では、あまり傾向はみられませんでした。



◆経年推移

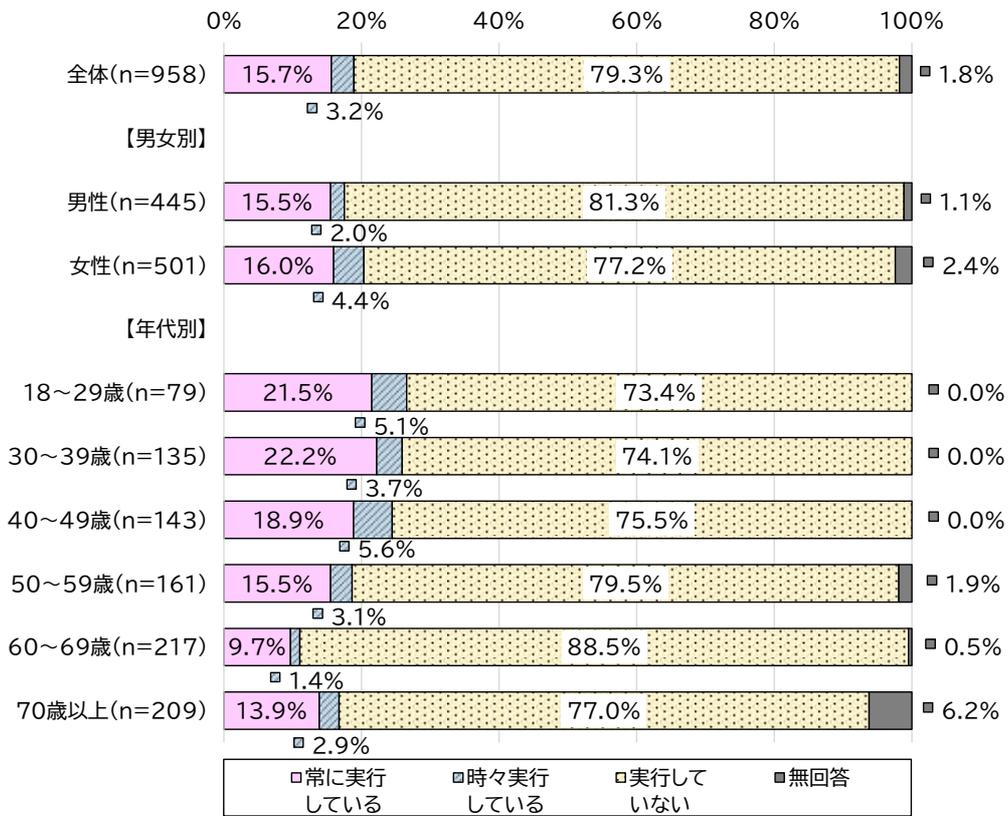
経年比較すると、『実行している』は、調査ごとにやや減少傾向となっています。



9. 家庭で太陽光発電、風力発電などを利用する

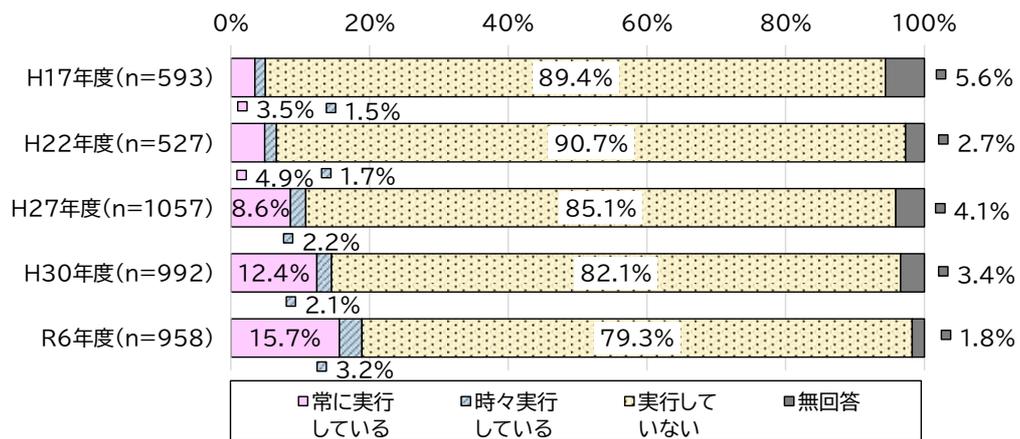
◆男女別・年代別

年代別でみると、『実行している』は、『18～40代』で2割を超えています。



◆経年推移

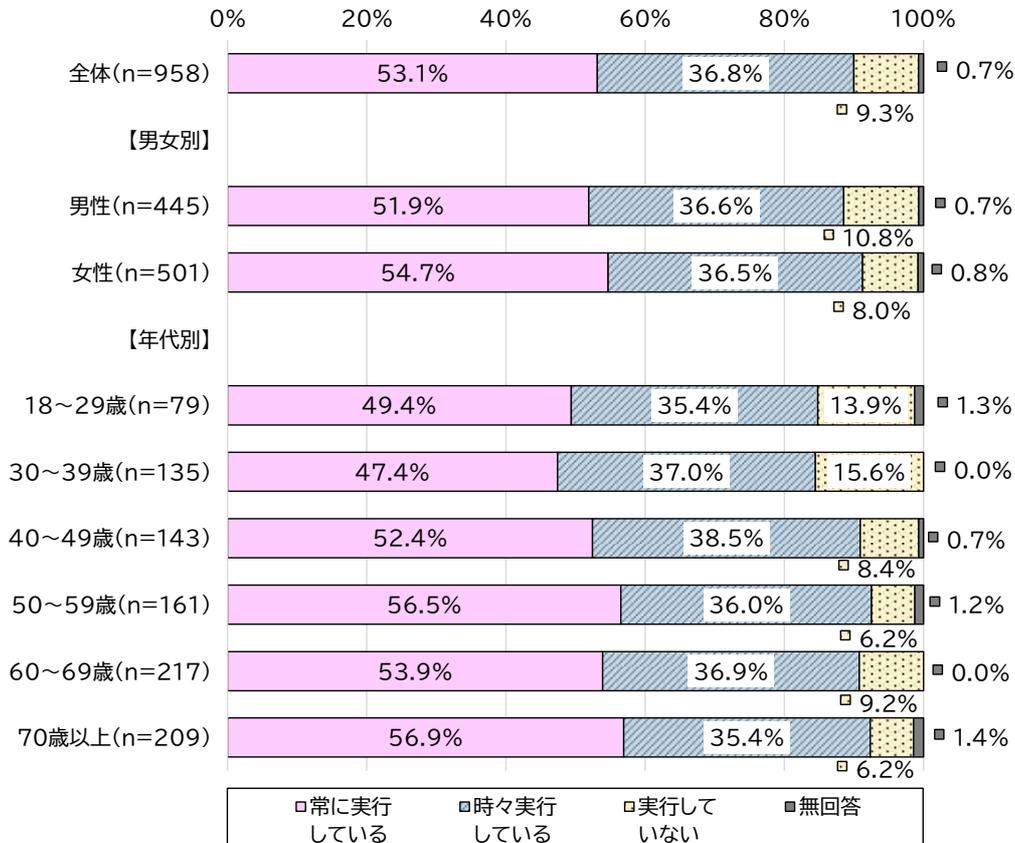
経年比較すると、『実行している』は、調査ごとに増加傾向となっています。



10. 身体や髪・手を洗っている間、水やお湯を出しっぱなしにしないように努める

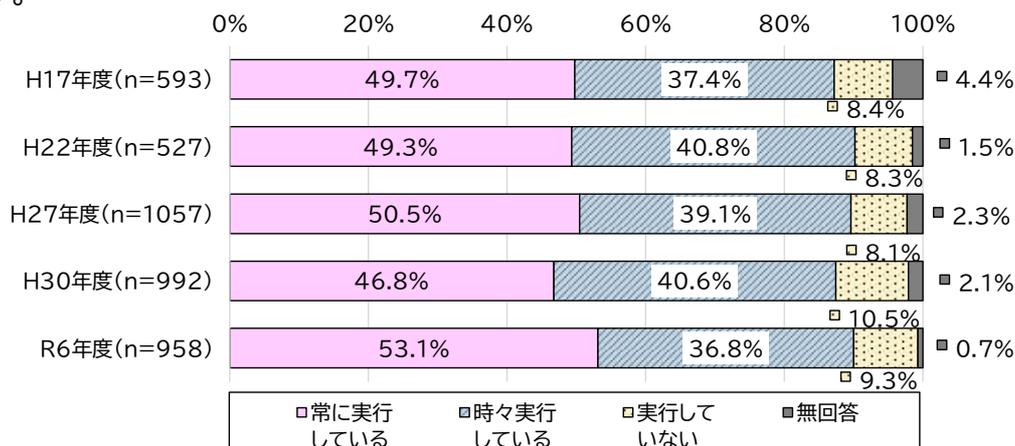
◆男女別・年代別

年代別でみると、『実行している』は、『40代以上』で9割を超えています。



◆経年推移

経年比較すると、「常に行っている」は、H30年度調査より今回調査は、6.3ポイント高くなっています。

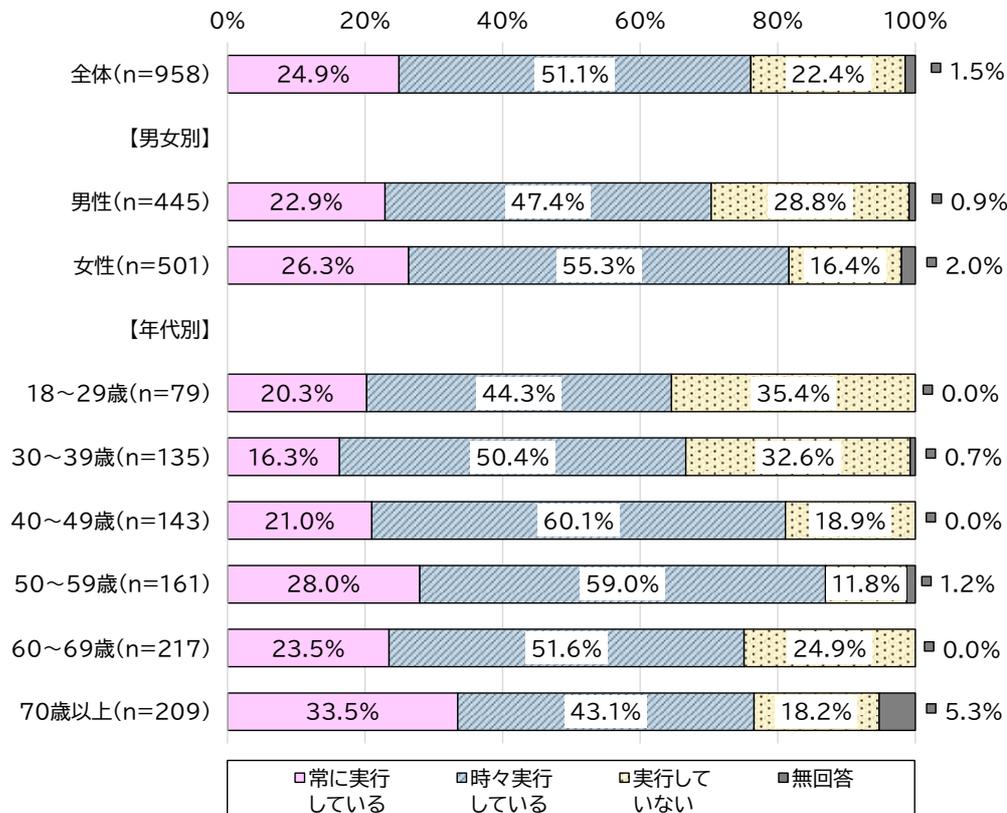


3 調査結果

11. グリーン購入※や、ごみの減量化・リサイクルで省資源に努める（※環境負荷の少ない製品やサービスを優先して購入すること）

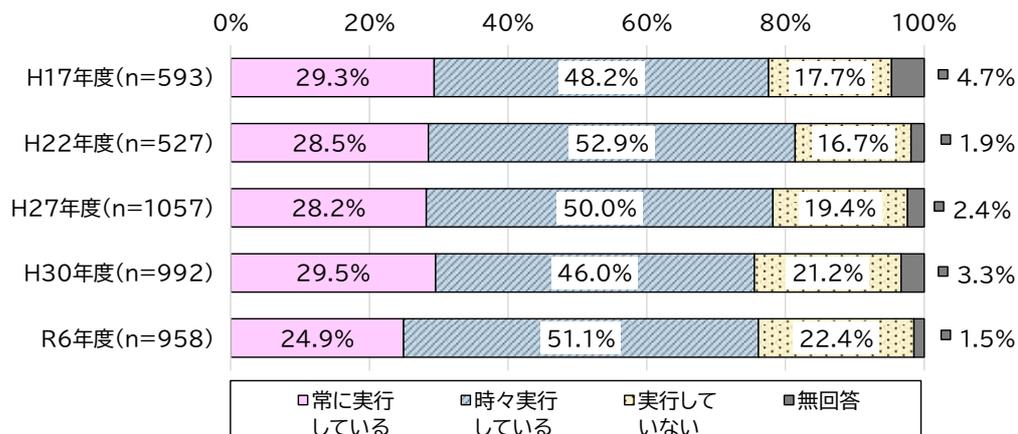
◆男女別・年代別

男女別で見ると、『実行している』は、男性より女性が11.3ポイント高くなっています。
年代別で見ると、『実行している』は、『40～50代』で8割を超えています。



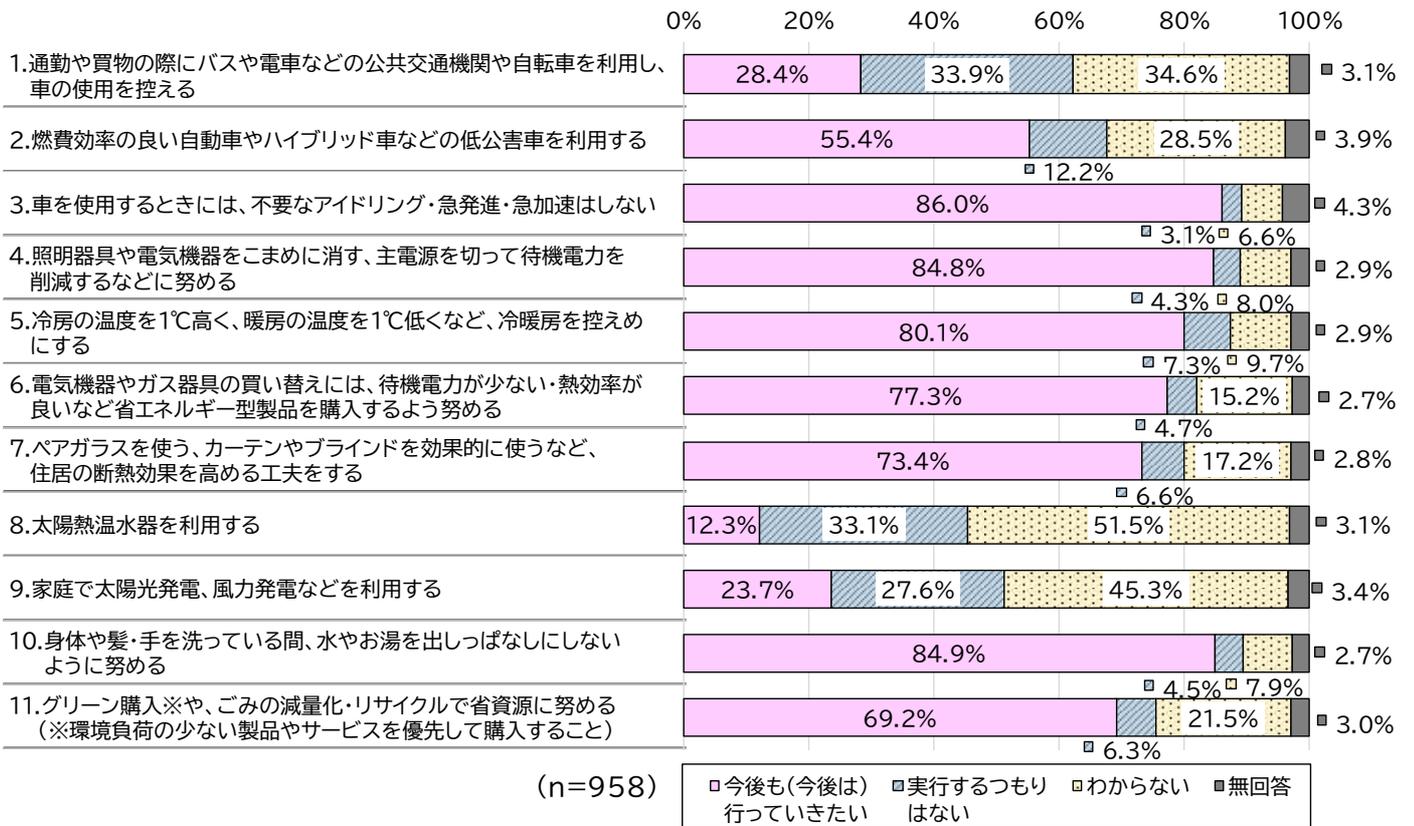
◆経年推移

経年比較すると、「常に行っている」は、H30年度調査より今回調査は、4.6ポイント低くなっています。



B. 今後

◆令和6年度傾向

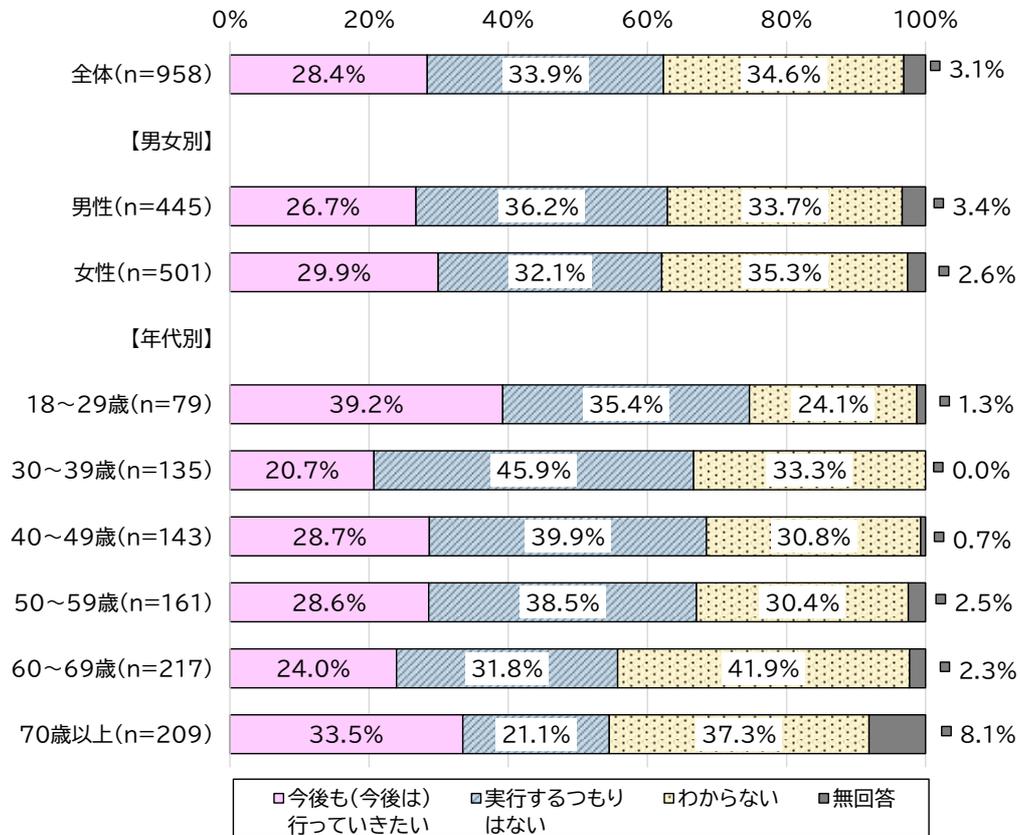


3 調査結果

1. 通勤や買物の際にバスや電車などの公共交通機関や自転車を利用し、車の使用を控える

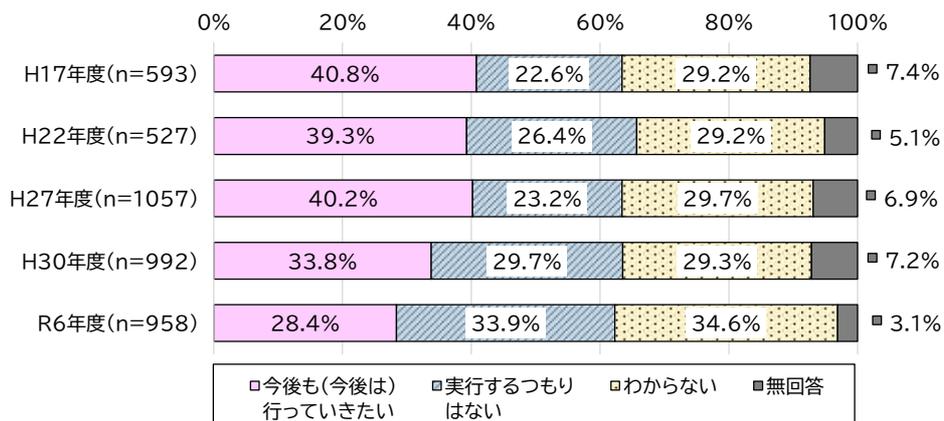
◆男女別・年代別

年代別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、「18～20代」「70歳以上」で3割を超えています。



◆経年推移

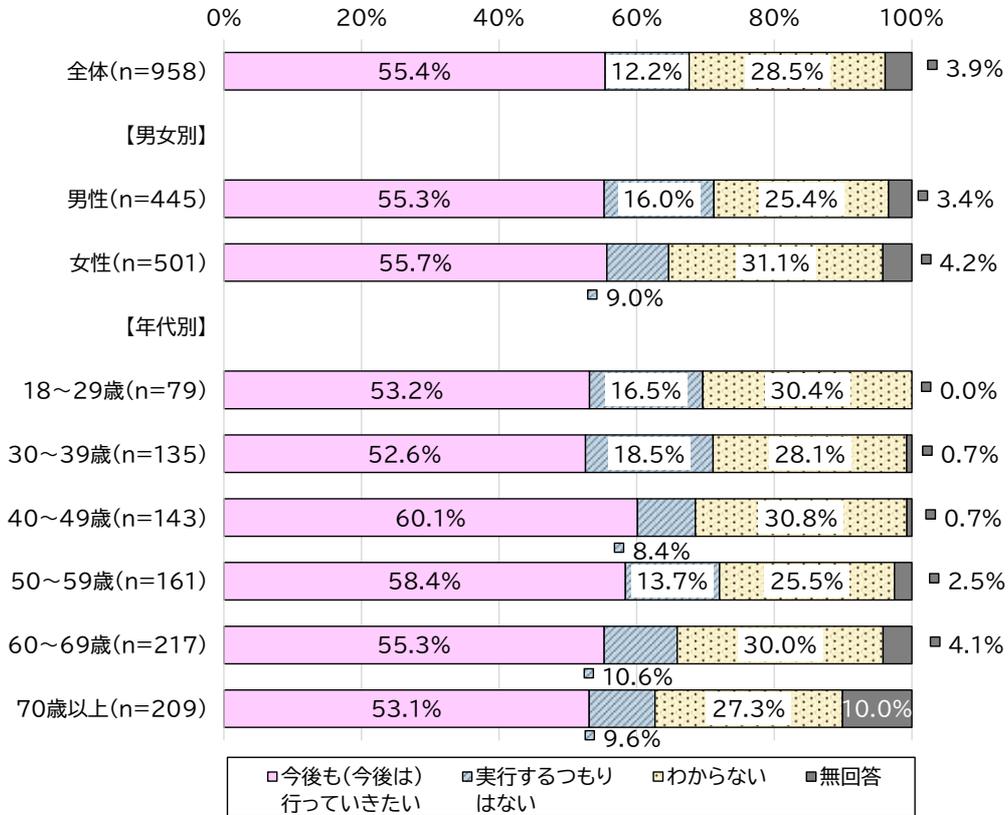
経年比較すると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、H27年度調査以降、減少傾向となっています。



2. 燃費効率の良い自動車やハイブリッド車などの低公害車を利用する

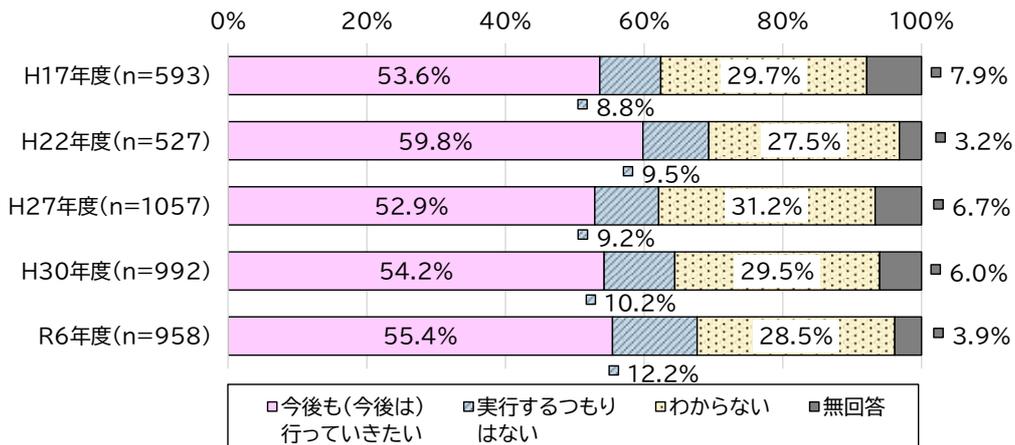
◆男女別・年代別

年代別でみると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、「40代」で約6割となっています。



◆経年推移

経年比較では、あまり傾向はみられませんでした。

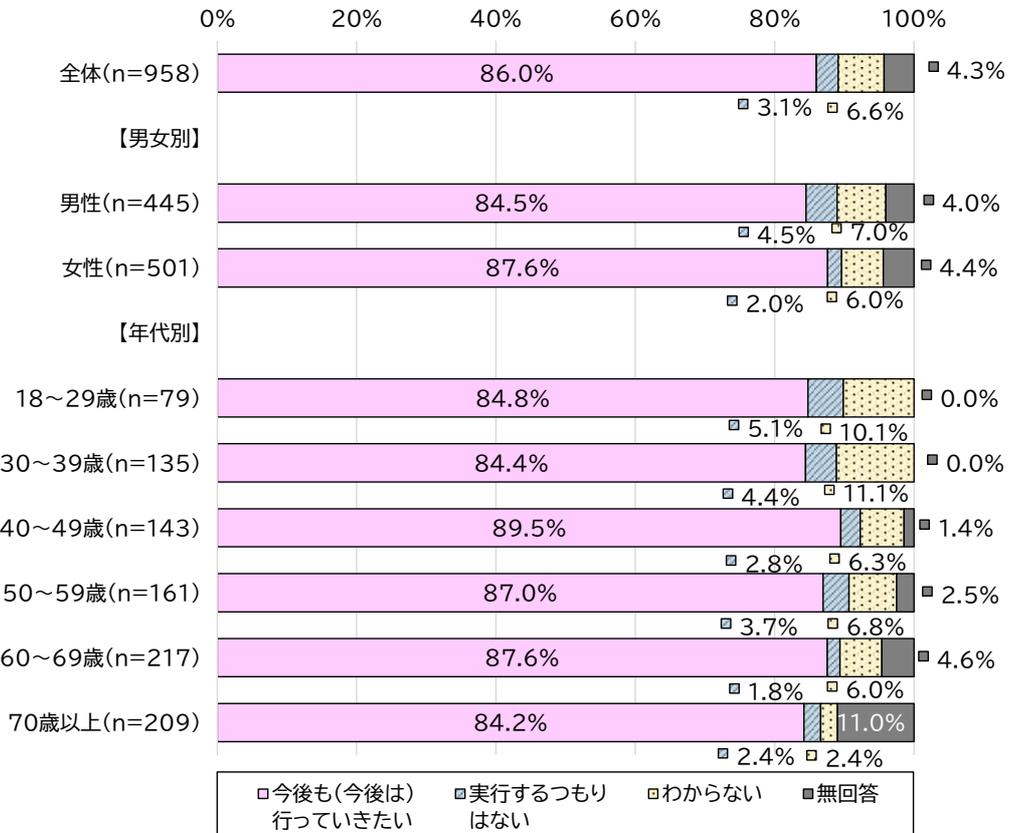


3 調査結果

3. 車を使用するときには、不要なアイドリング・急発進・急加速はしない

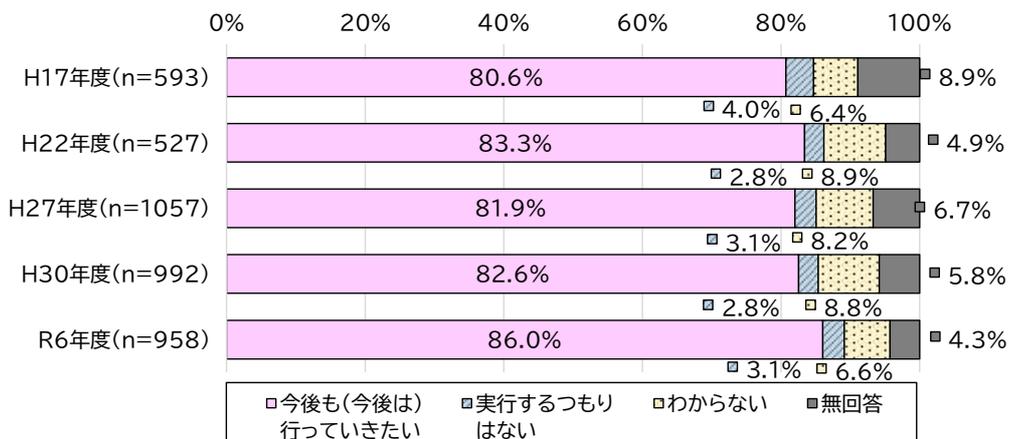
◆男女別・年代別

年代別でみると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、「40代」で約9割となっています。



◆経年推移

経年比較すると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、調査ごとにやや増加傾向となっています。

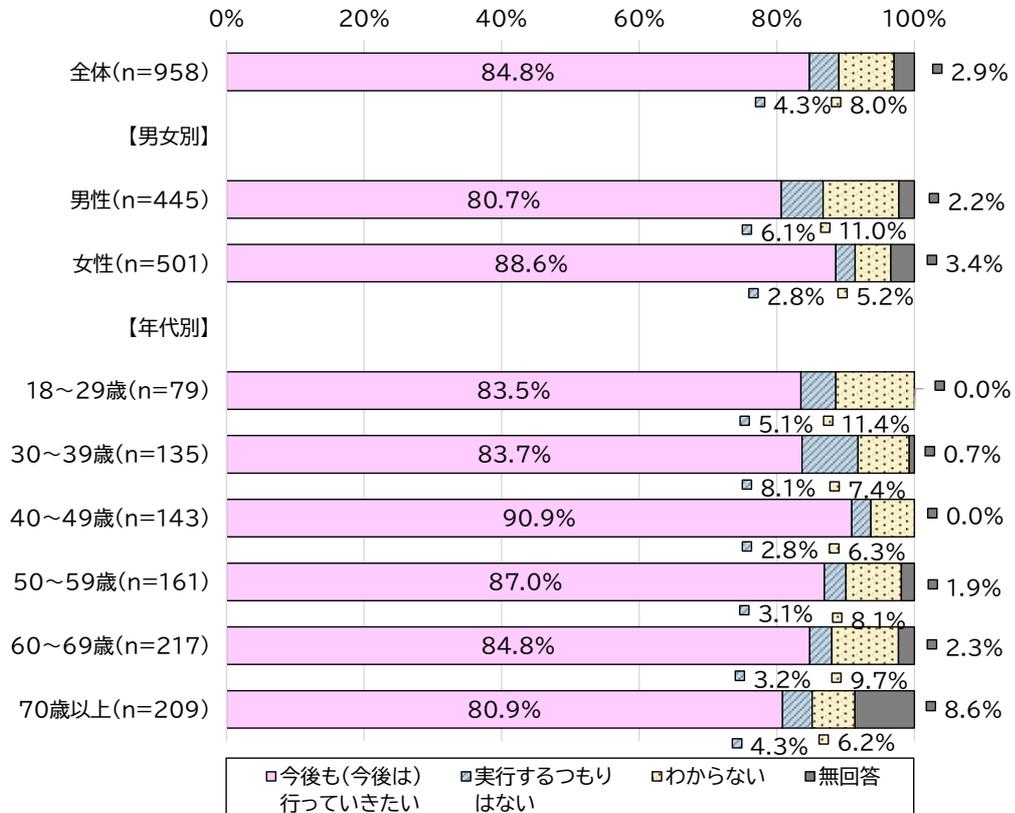


4. 照明器具や電気機器をこまめに消す、主電源を切って待機電力を削減するなどに努める

◆男女別・年代別

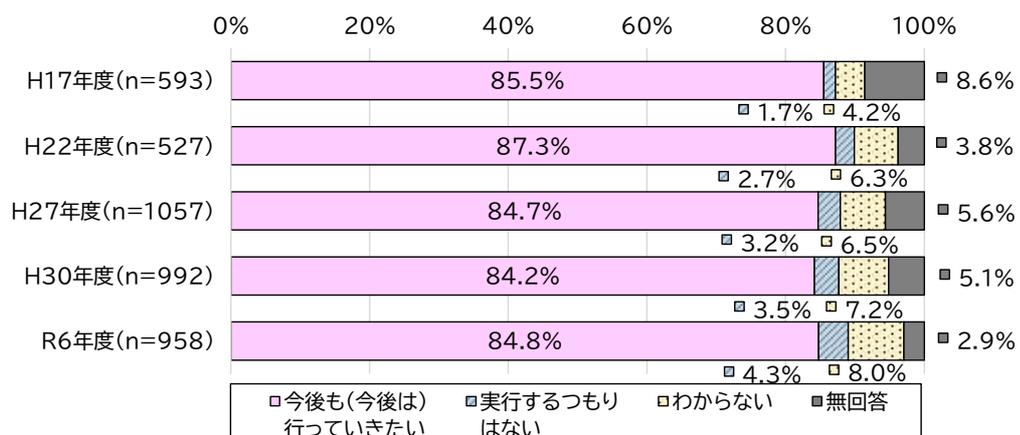
男女別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、男性よりも女性が7.9ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、「40代」で約9割となっています。



◆経年推移

経年比較では、あまり傾向はみられませんでした。

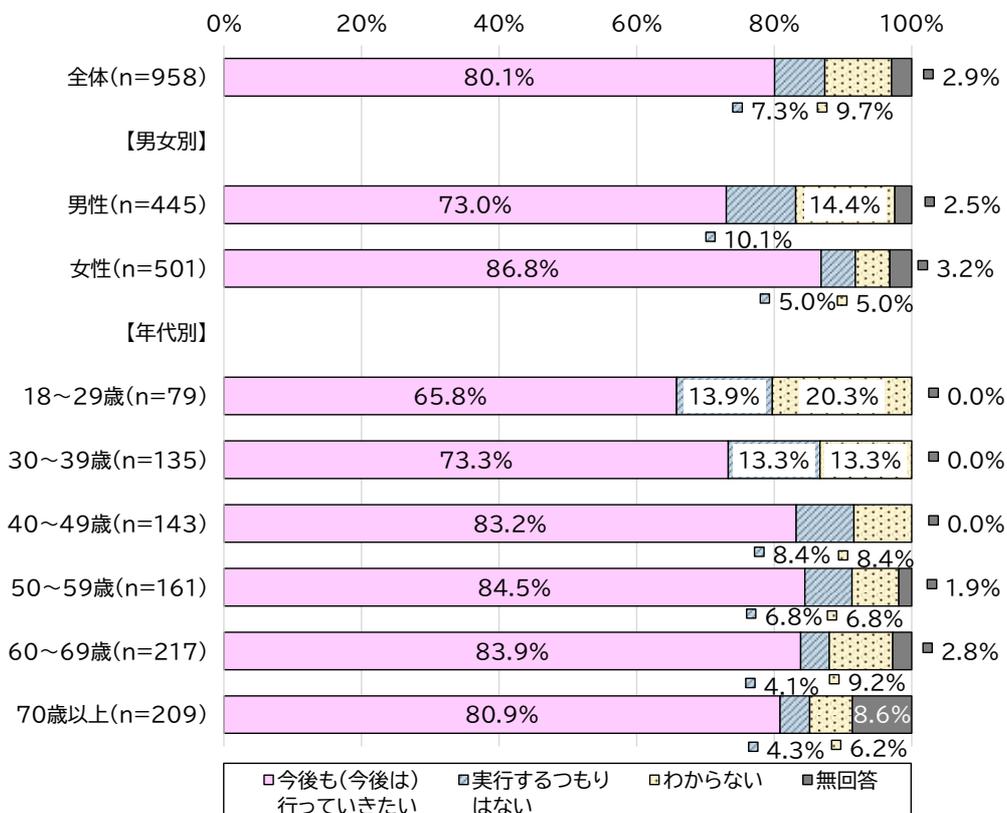


5. 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低くなってなど、冷暖房を控えめにする

◆男女別・年代別

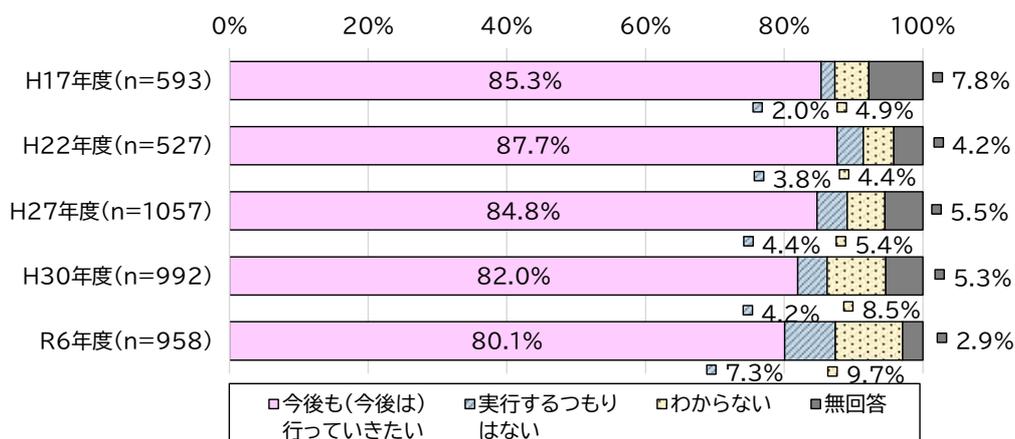
男女別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、男性よりも女性が13.8ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、『40代以上』で8割を超えています。



◆経年推移

経年比較すると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、H22年度調査以降、減少傾向となっています。

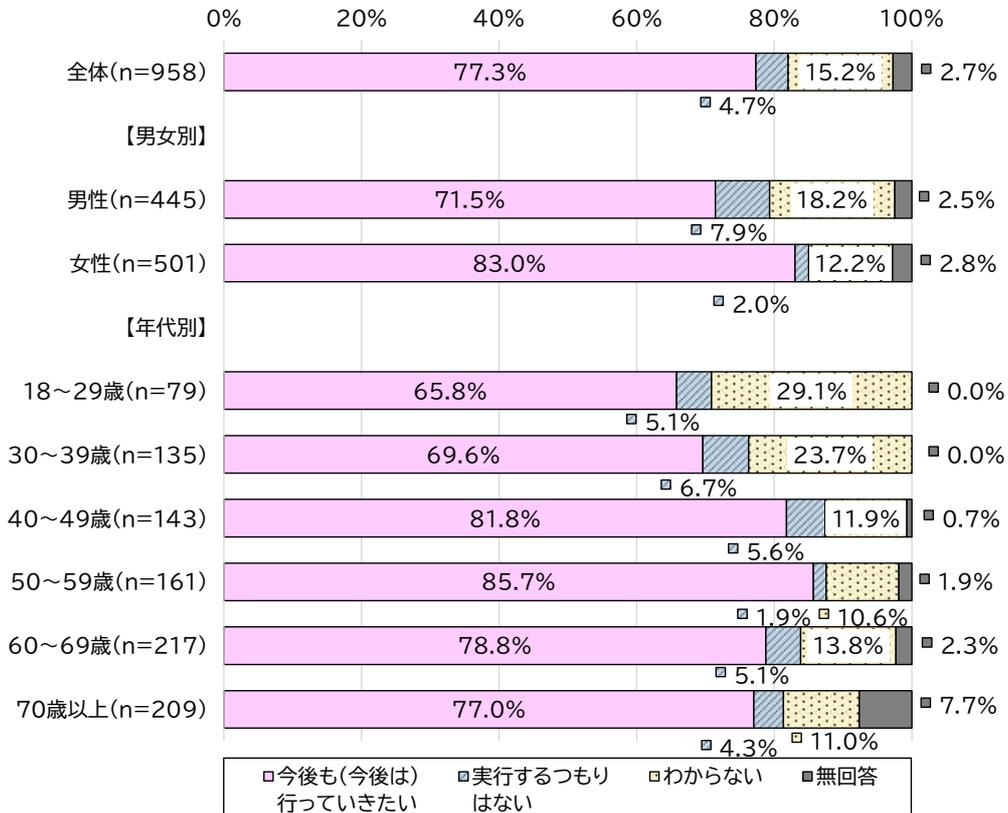


6. 電気機器やガス器具の買い替えには、待機電力が少ない・熱効率が良いなど省エネルギー型製品を購入するよう努める

◆男女別・年代別

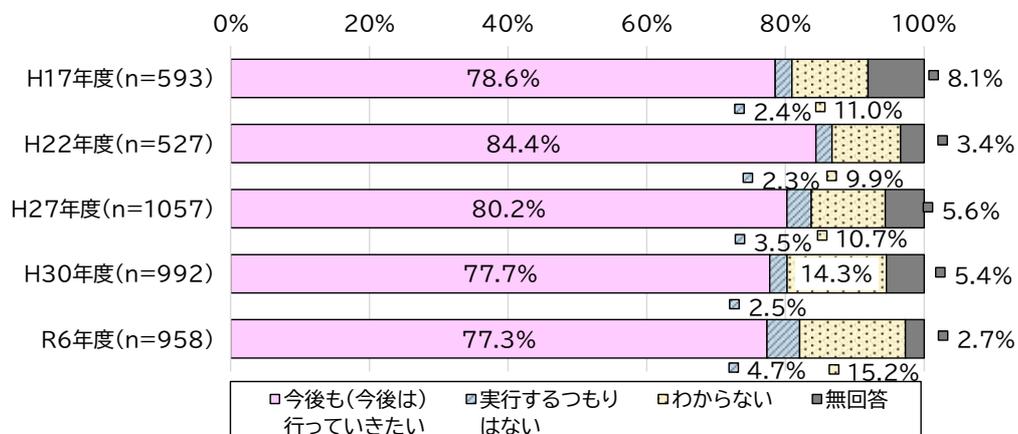
男女別でみると、「今後も(今後)行っていきたい」は、男性よりも女性が11.5ポイント高くなっています。

年代別でみると、「今後も(今後)行っていきたい」は、『40～50代』で8割を超えています。



◆経年推移

経年比較すると、「今後も(今後)行っていきたい」は、H22年度調査以降、減少傾向となっています。



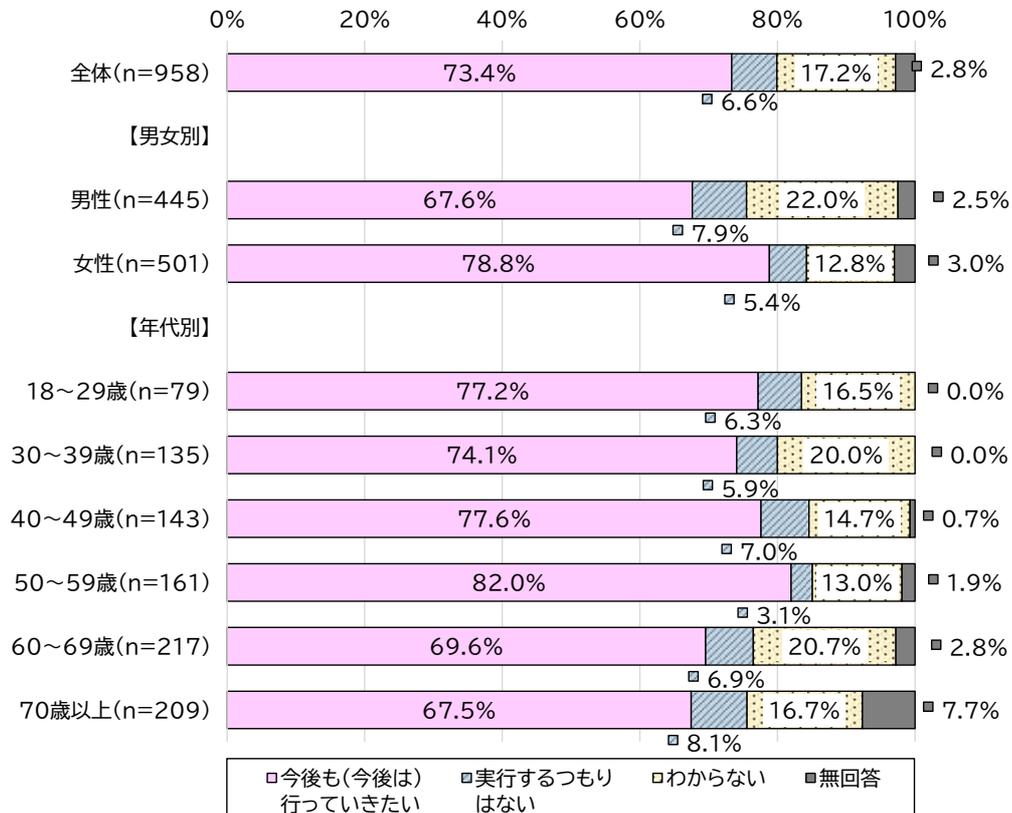
3 調査結果

7. ペアガラスを使う、カーテンやブラインドを効果的に使うなど、住居の断熱効果を高める工夫をする

◆男女別・年代別

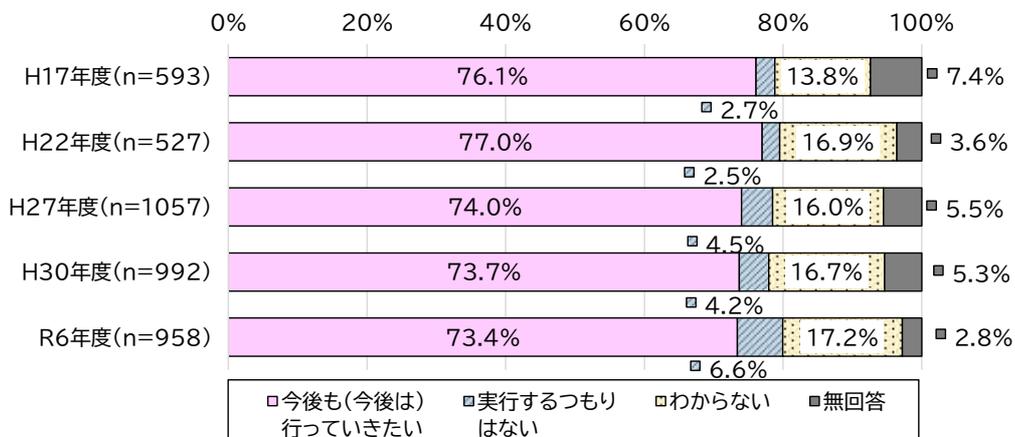
男女別でみると、「今後も(今後)行っていきたい」は、男性よりも女性が11.2ポイント高くなっています。

年代別でみると、「今後も(今後)行っていきたい」は、「50代」で8割を超えています。



◆経年推移

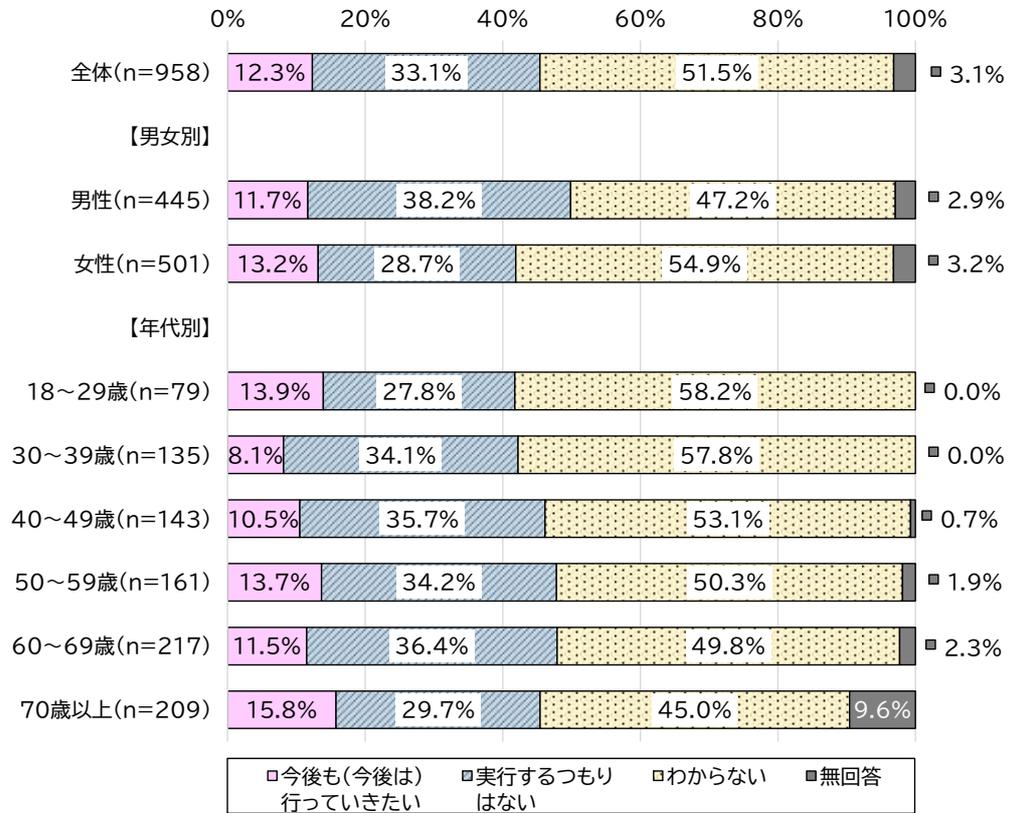
経年比較では、あまり傾向はみられませんでした。



8. 太陽熱温水器を利用する

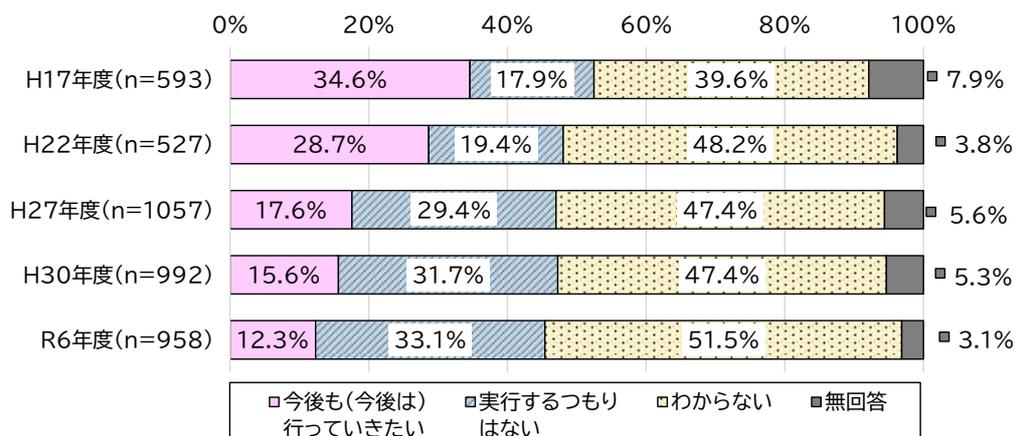
◆男女別・年代別

男女別で見ると、「実行するつもりはない」で女性よりも男性が9.5ポイント高くなっています。



◆経年推移

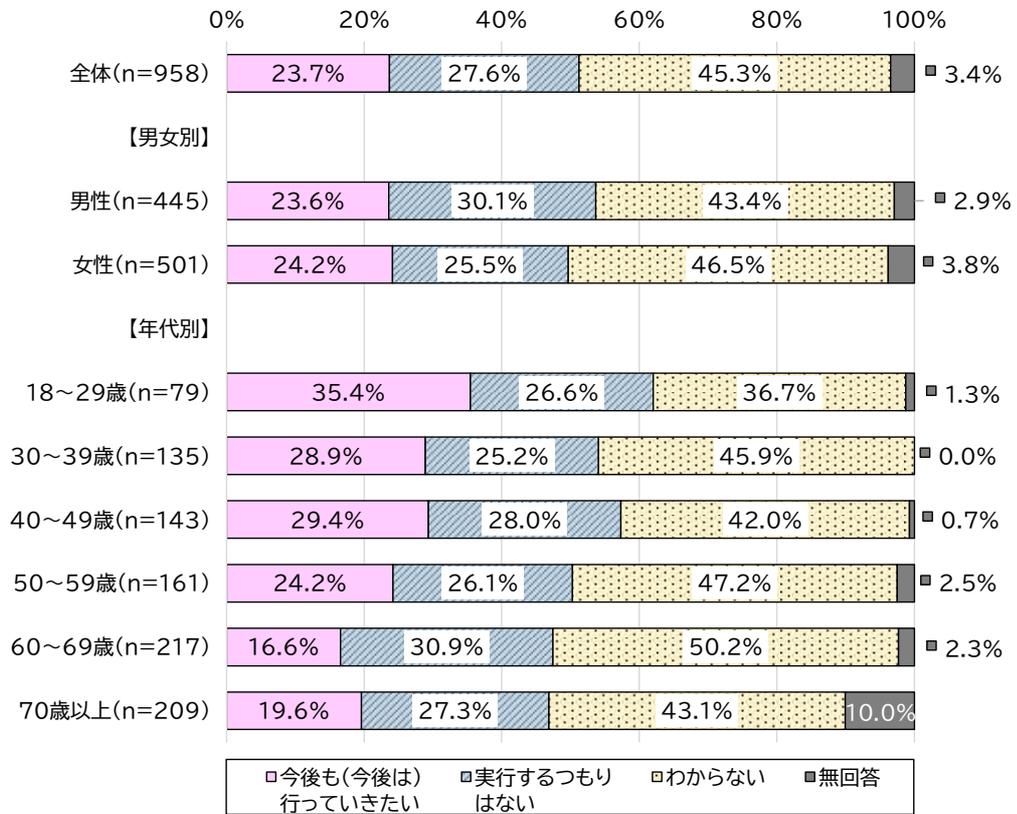
経年比較すると、「今後(今後は)行っていきたい」は、調査ごとに減少傾向となっています。



9. 家庭で太陽光発電、風力発電などを利用する

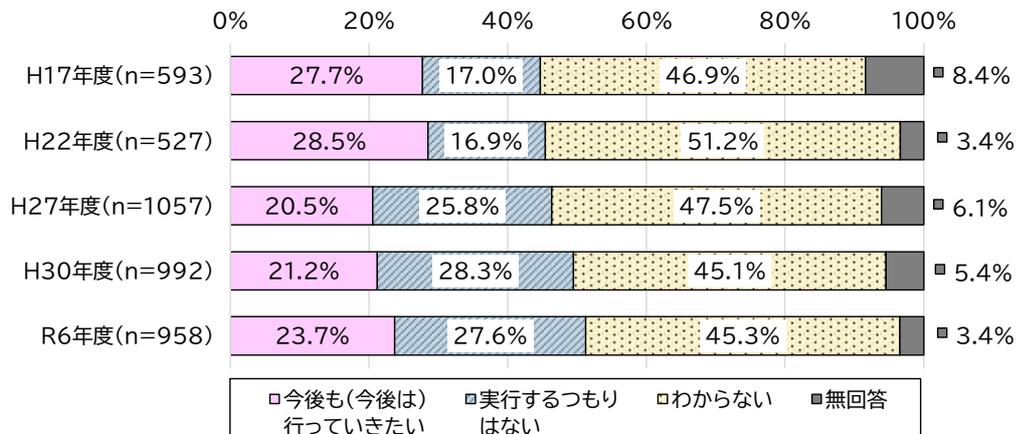
◆男女別・年代別

年代別で見ると、「今後も(今後は)行ってきたい」は、「18~20代」で3割を超えています。



◆経年推移

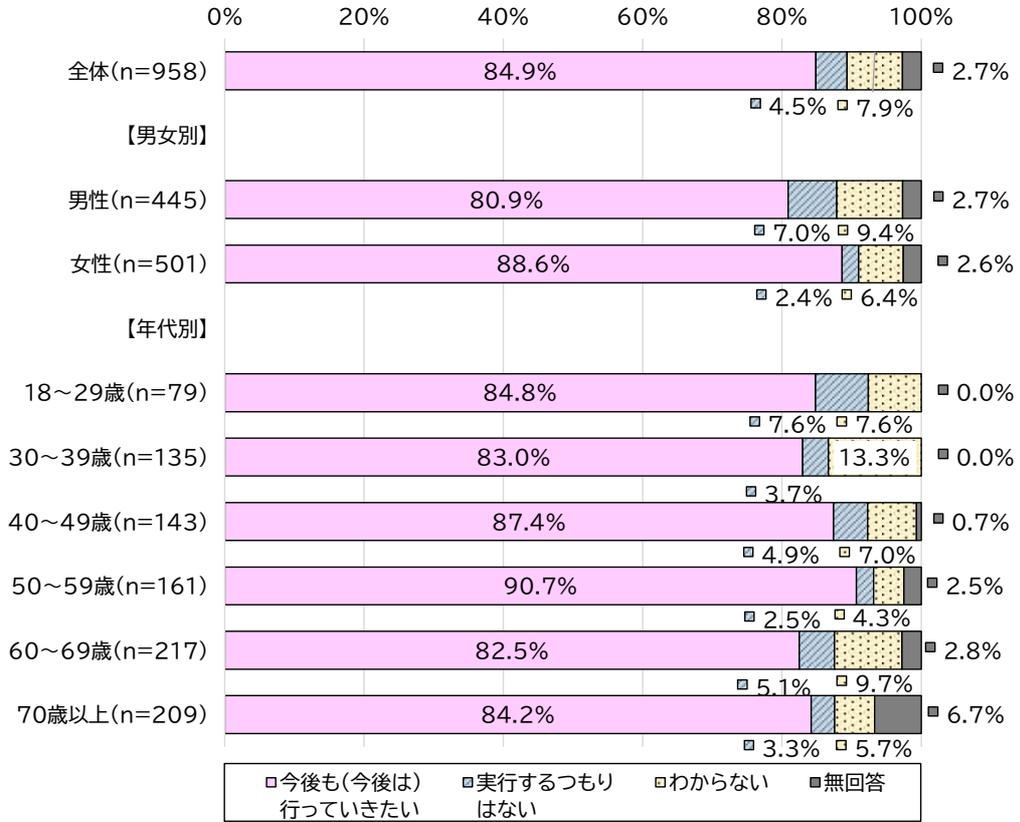
経年比較すると、「今後も(今後は)行ってきたい」は、H27年度調査以降、やや増加傾向となっています。



10. 身体や髪・手を洗っている間、水やお湯を出しっぱなしにしないように努める

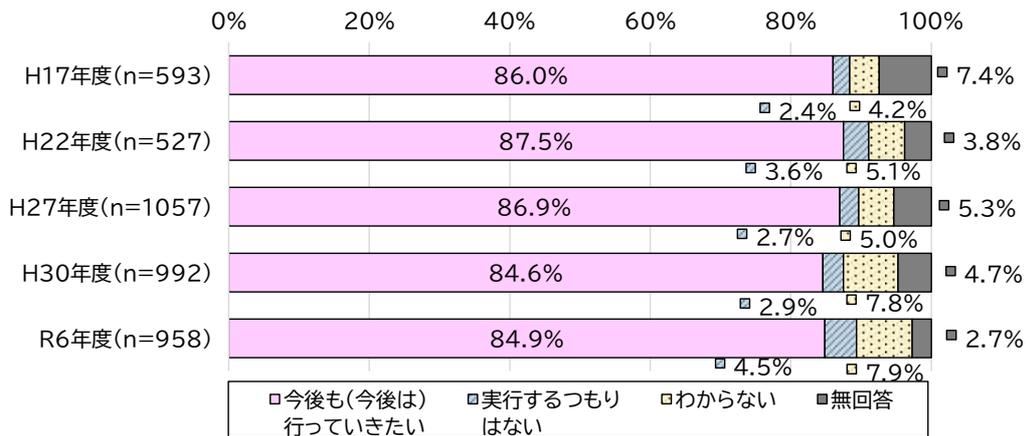
◆男女別・年代別

男女別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、男性よりも女性が 7.7 ポイント高くなっています。



◆経年推移

経年比較では、あまり傾向はみられませんでした。

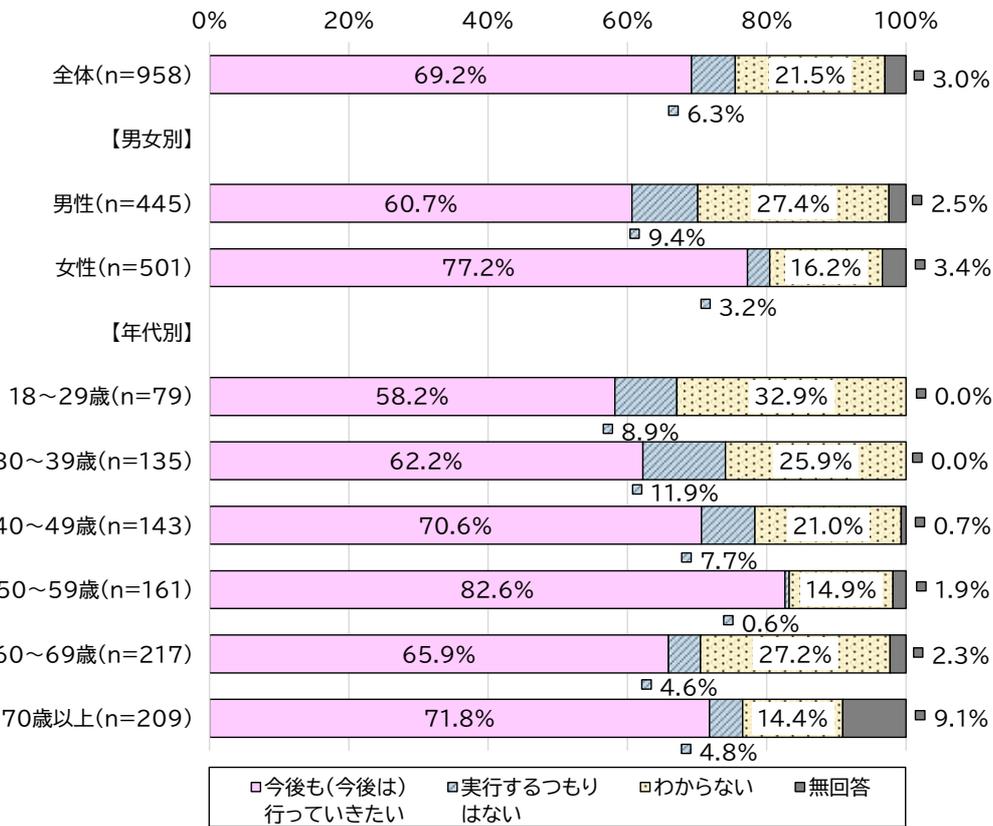


11. グリーン購入※や、ごみの減量化・リサイクルで省資源に努める（※環境負荷の少ない製品やサービスを優先して購入すること）

◆男女別・年代別

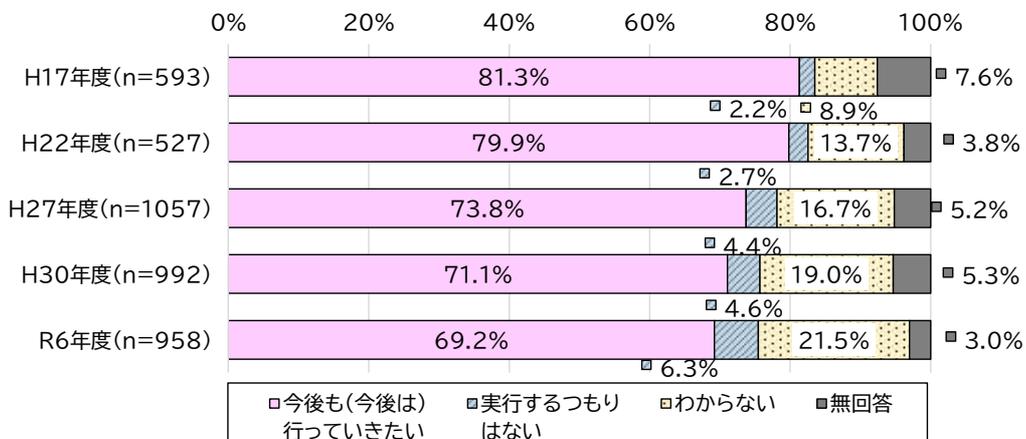
男女別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、男性よりも女性が16.5ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、「50代」で8割を超えています。



◆経年推移

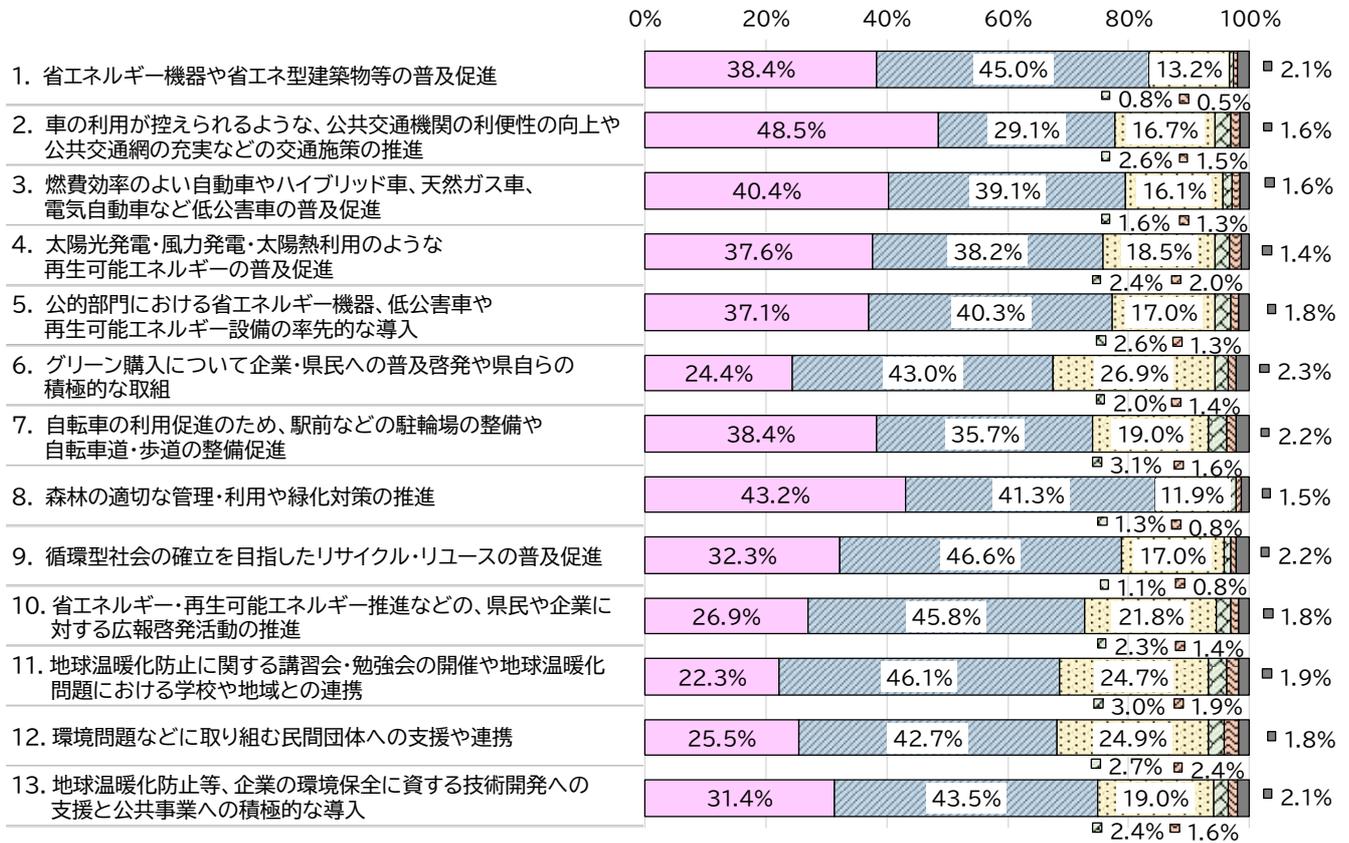
経年比較すると、「今後も(今後は)行っていきたい」は、調査ごとに減少傾向となっています。



3-6-2 地球温暖化防止のために県に求められる取組

問10 あなたは、地球温暖化防止のため、群馬県としてどのような取組をしていくことが必要だと思いますか。それぞれの課題について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

◆R6年度傾向

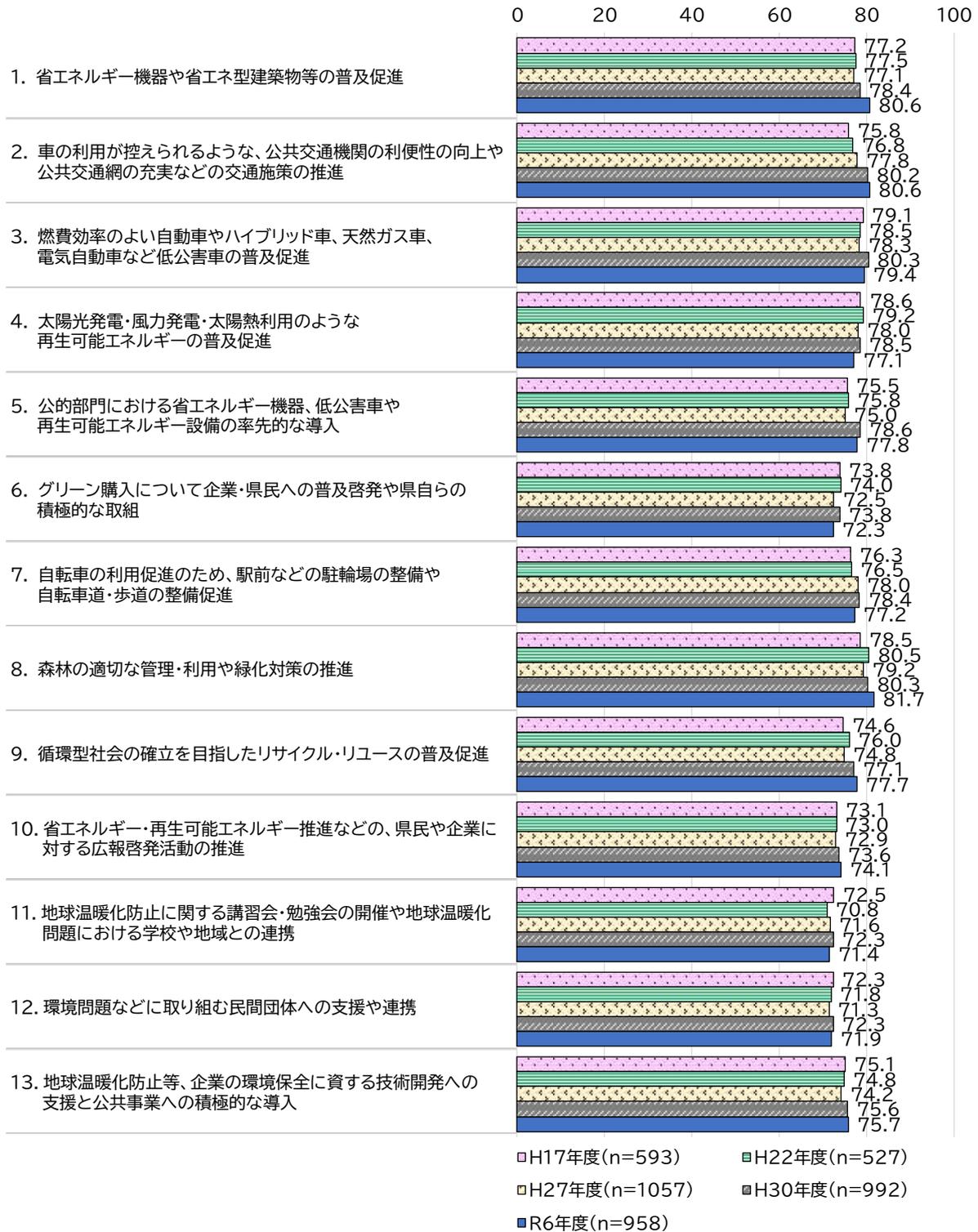


□とても必要 □どちらかと □どちらとも □どちらかと □全く不要 □無回答
 言えば必要 いえない 言えば不要

◆経年推移（加重平均）

加重平均の求め方

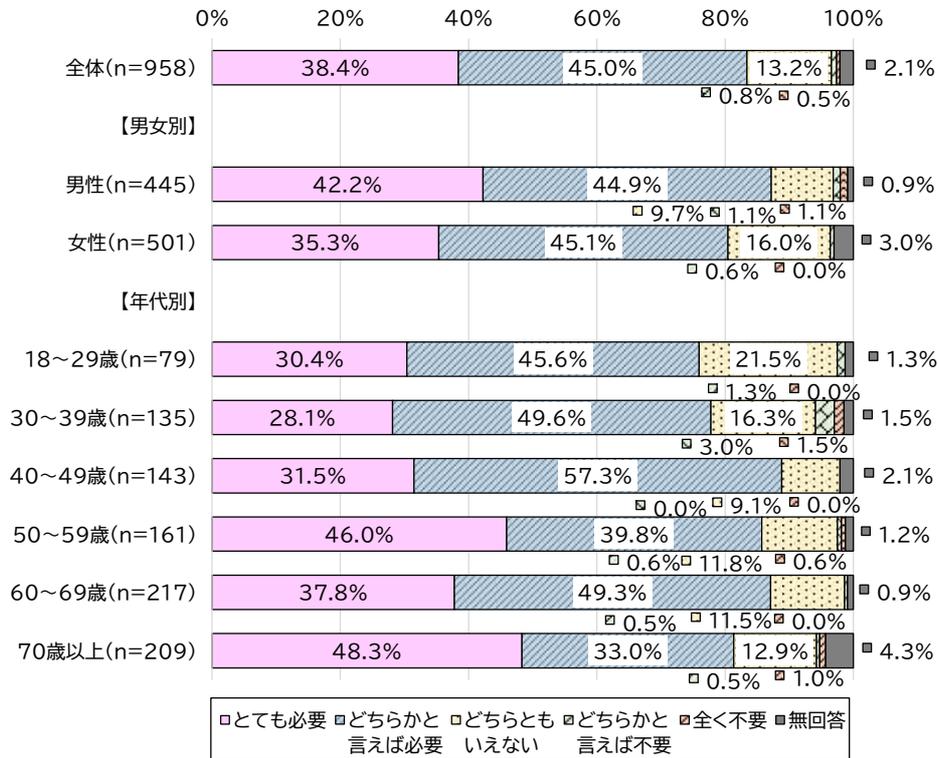
「とても必要」=100点、「どちらかと言えば必要」=75点、「どちらともいえない」=50点、「どちらかと言えば不要」=25点、「不要」=0点とし加重を与え、指標化



1. 省エネルギー機器や省エネ型建築物等の普及促進

◆男女別・年代別

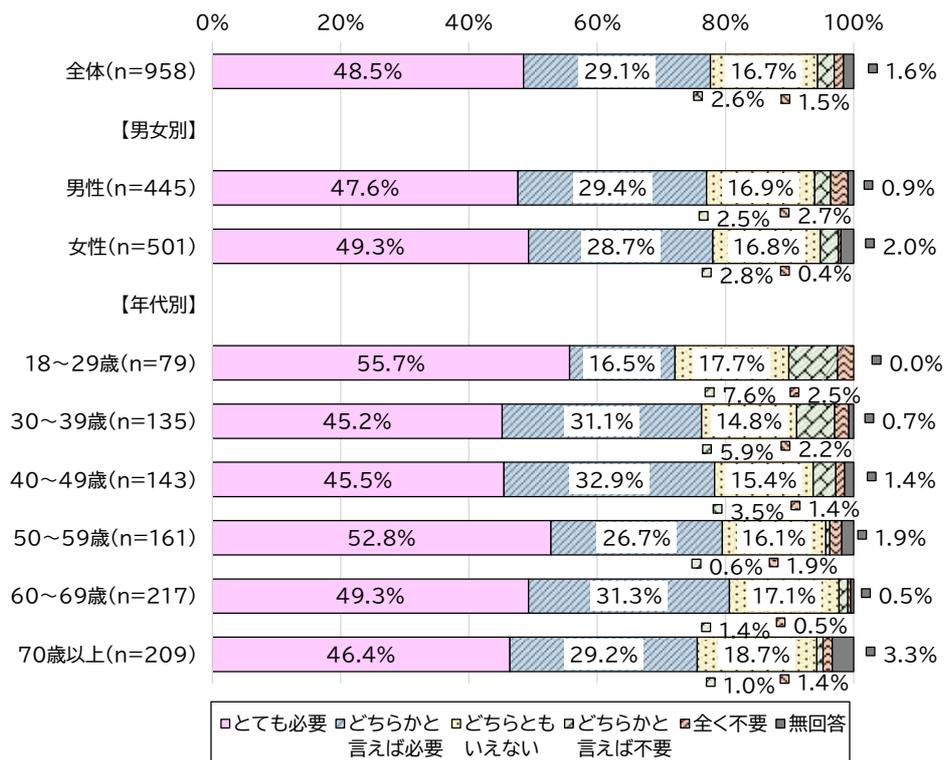
男女別で見ると、『必要』は、女性よりも男性が6.7ポイント高くなっています。



2. 車の利用が控えられるような、公共交通機関の利便性の向上や公共交通網の充実などの交通施策の推進

◆男女別・年代別

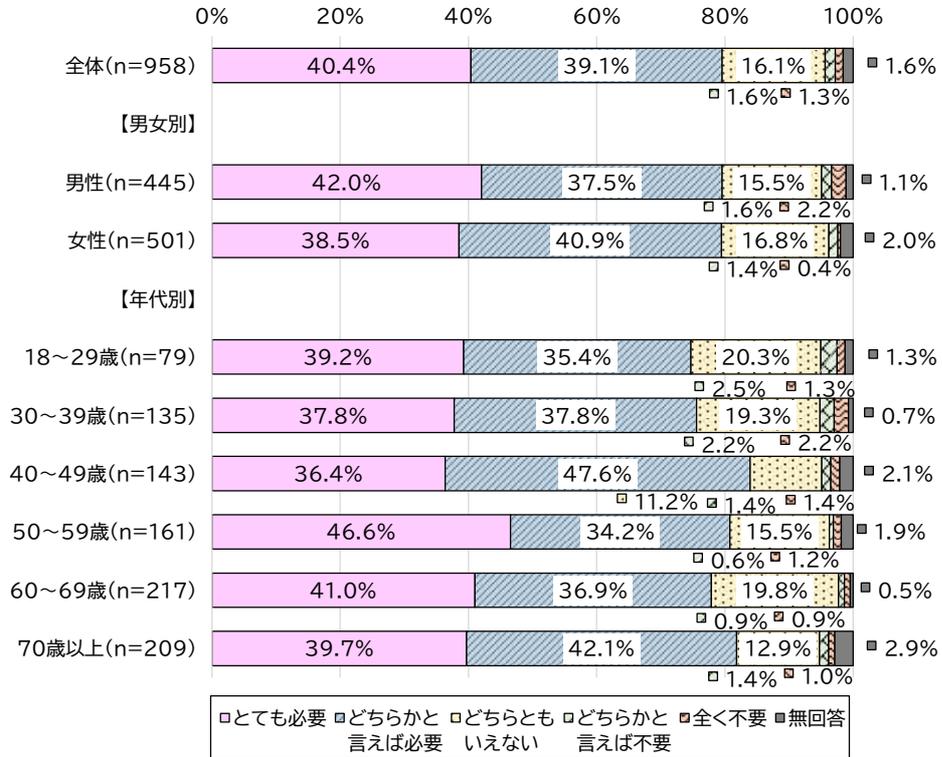
年代別で見ると、「とても必要」は、「18~20代」「50代」で5割を超えています。



3. 燃費効率のよい自動車やハイブリッド車、天然ガス車、電気自動車など低公害車の普及促進

◆男女別・年代別

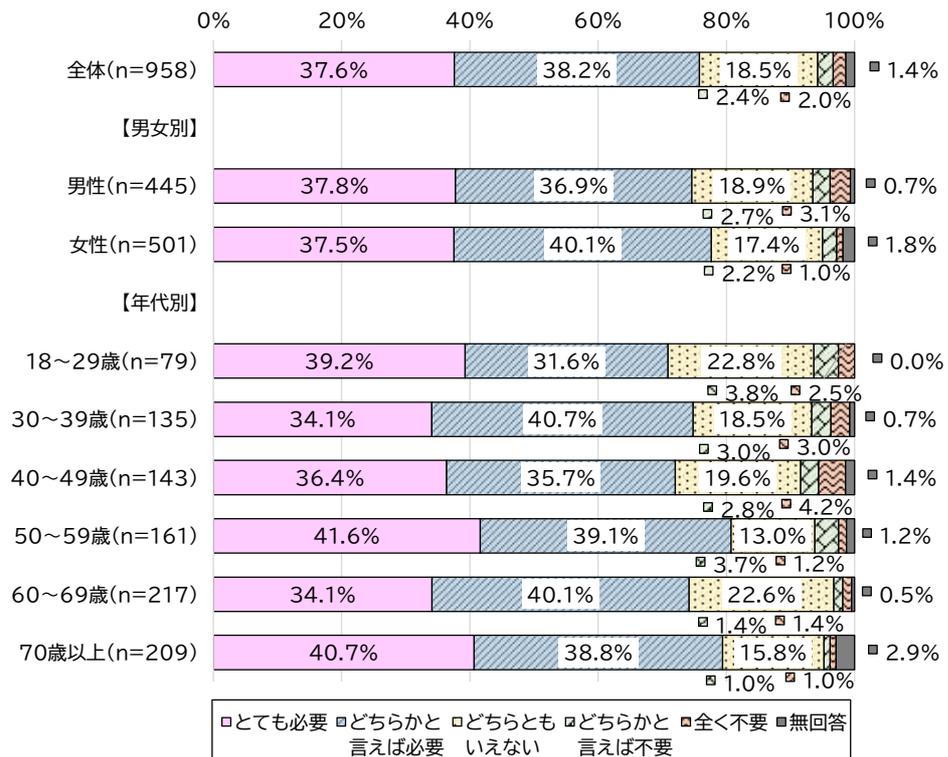
年代別で見ると、「とても必要」は、『50～60代』で4割を超えています。



4. 太陽光発電・風力発電・太陽熱利用のような再生可能エネルギーの普及促進

◆男女別・年代別

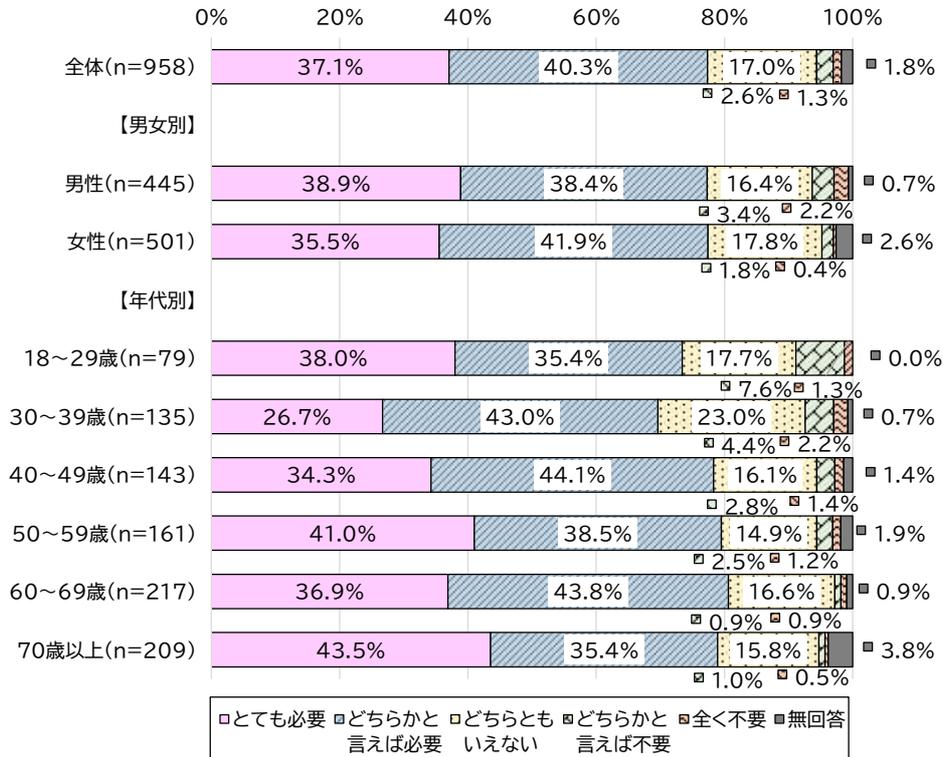
年代別で見ると、「とても必要」は、「50代」「70歳以上」で4割を超えています。



5. 公的部門における省エネルギー機器、低公害車や再生可能エネルギー設備の率優先的な導入

◆男女別・年代別

年代別でみると、「とても必要」は、「50代」「70歳以上」で4割を超えています。

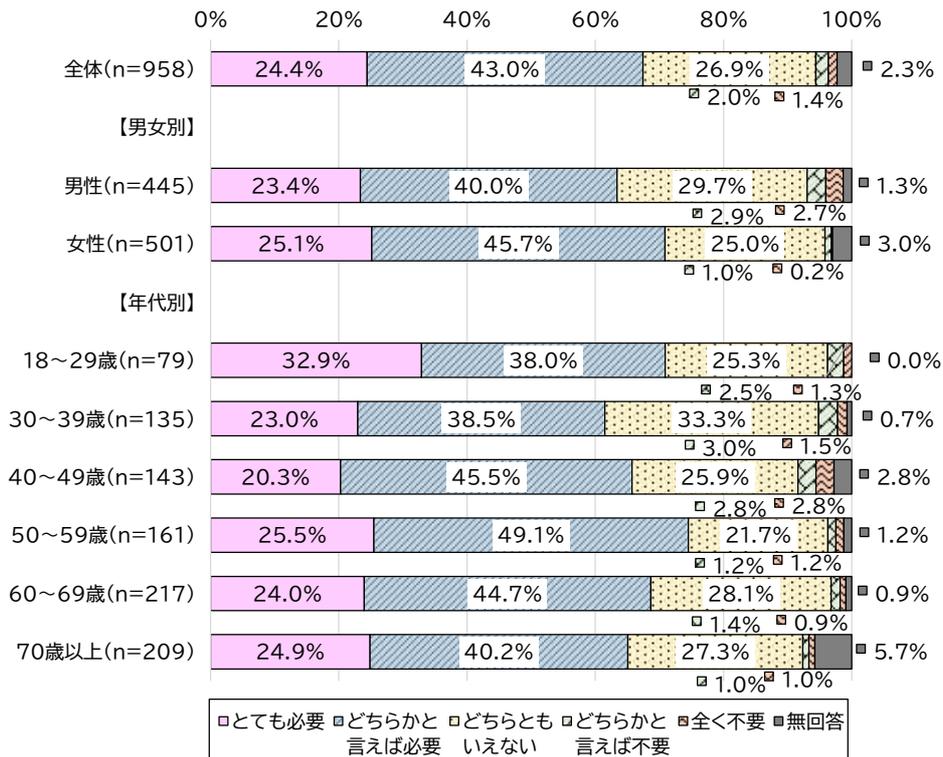


6. グリーン購入について企業・県民への普及啓発や県自らの積極的な取組

◆男女別・年代別

男女別でみると、『必要』は、男性よりも女性が7.4ポイント高くなっています。

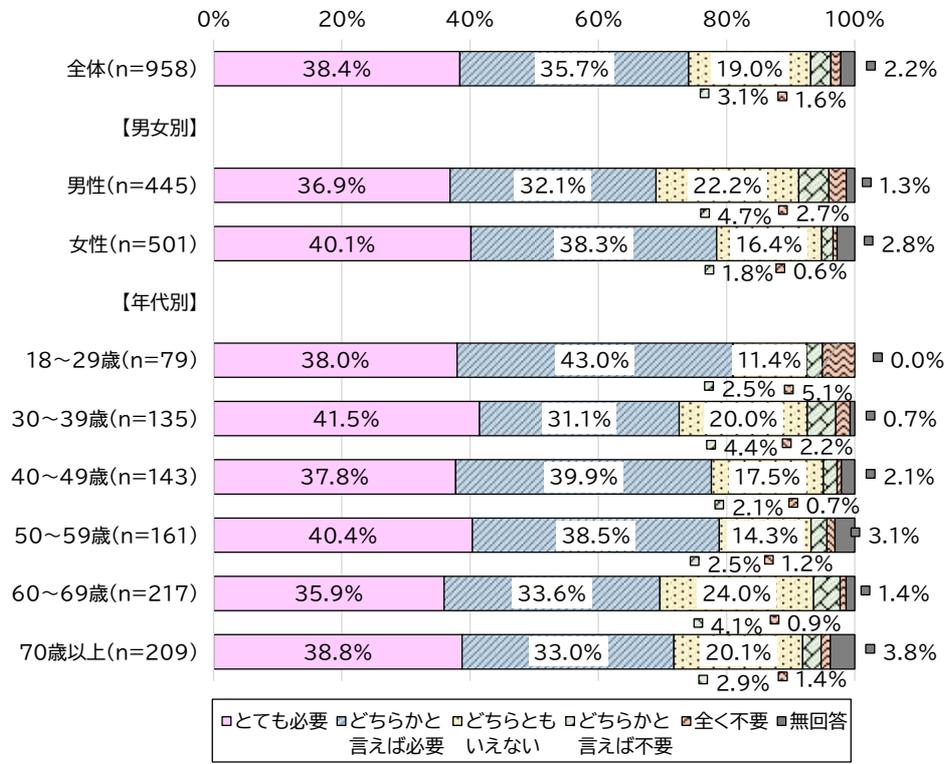
年代別でみると、「とても必要」は、「18~20代」で3割を超えています。



7. 自転車の利用促進のため、駅前などの駐輪場の整備や自転車道・歩道の整備促進

◆男女別・年代別

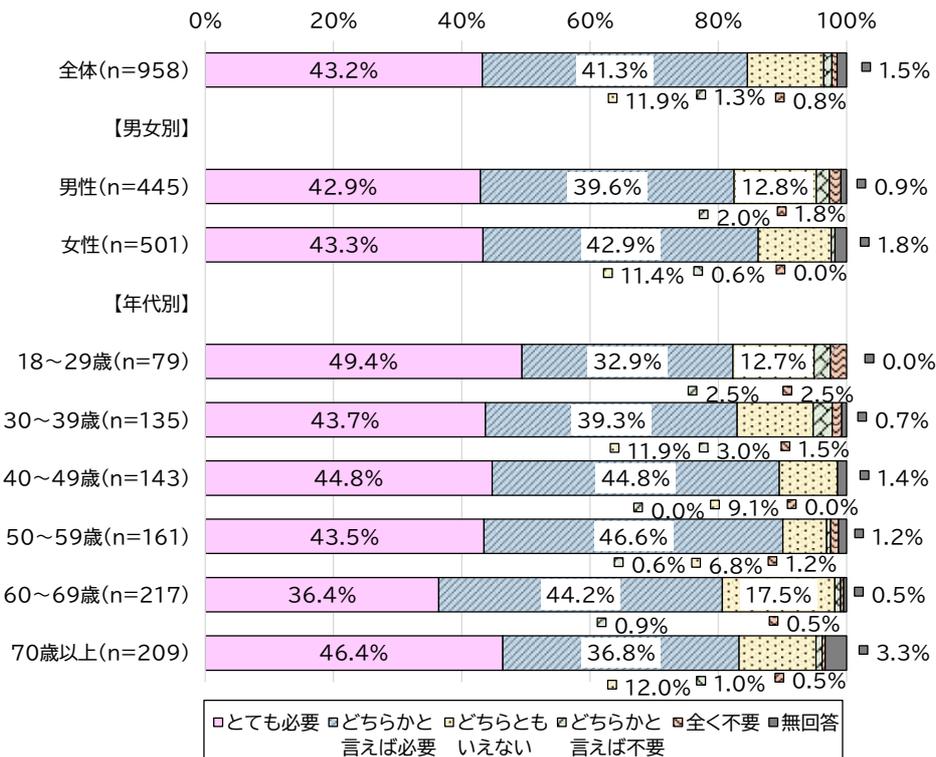
男女別でみると、『必要』は、男性よりも女性が9.4ポイント高くなっています。
年代別でみると、『必要』は、「18～20代」で8割を超えています。



8. 森林の適切な管理・利用や緑化対策の推進

◆男女別・年代別

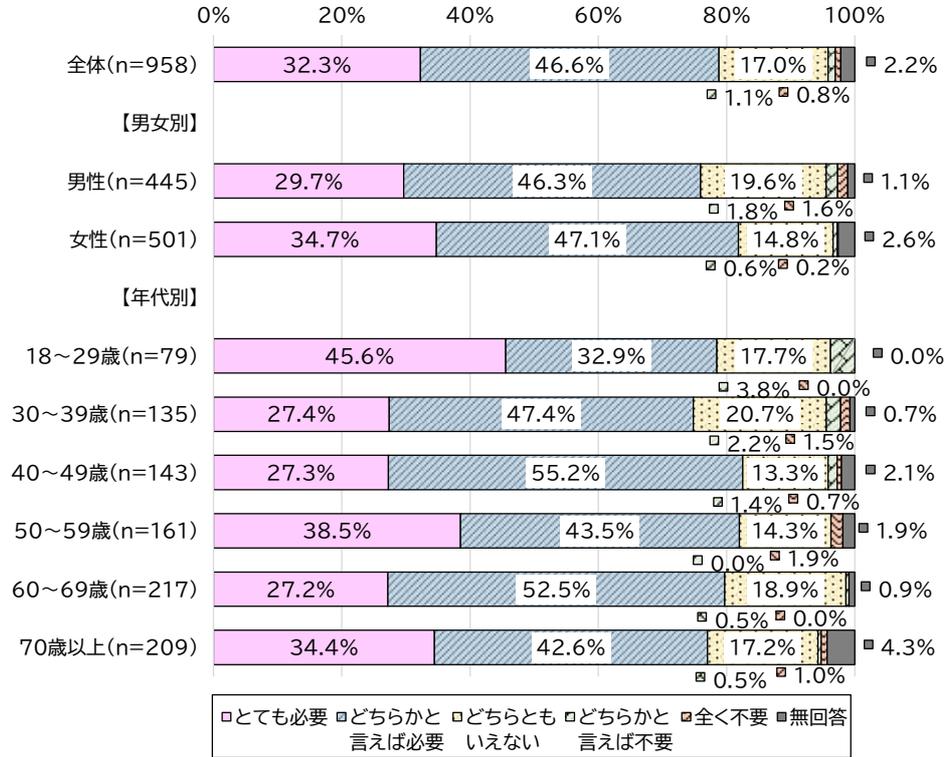
年代別でみると、「とても必要」は、「18～20代」で約5割となっています。



9. 循環型社会の確立を目指したリサイクル・リユースの普及促進

◆男女別・年代別

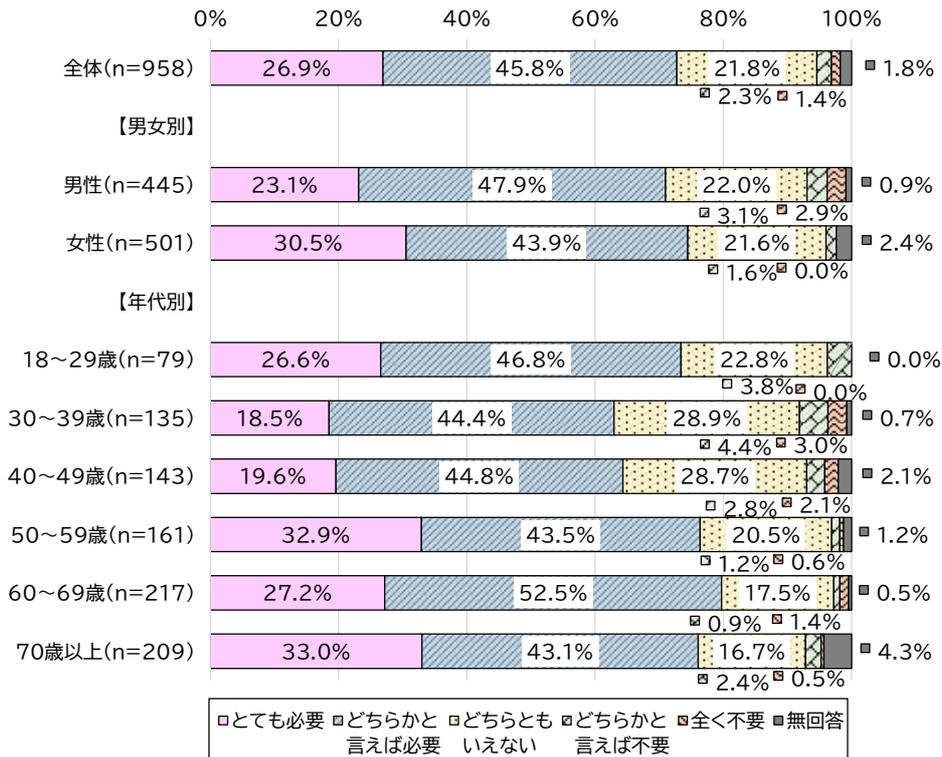
男女別で見ると、『必要』は、男性よりも女性が5.8ポイント高くなっています。
 年代別で見ると、「とても必要」は、「18～20代」で4割を超えています。



10. 省エネルギー・再生可能エネルギー推進などの、県民や企業に対する広報啓発活動の推進

◆男女別・年代別

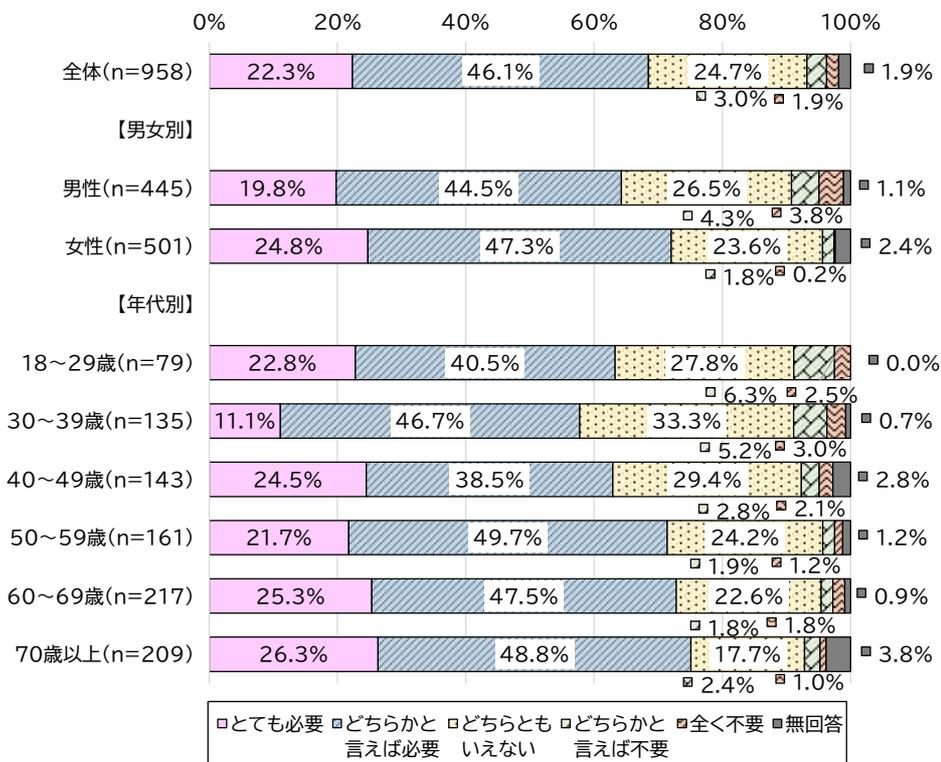
男女別で見ると、「とても必要」は、男性よりも女性が7.4ポイント高くなっています。
 年代別で見ると、「とても必要」は、「50代」「70歳以上」で3割を超えています。



11. 地球温暖化防止に関する講習会・勉強会の開催や地球温暖化問題における学校や地域との連携

◆男女別・年代別

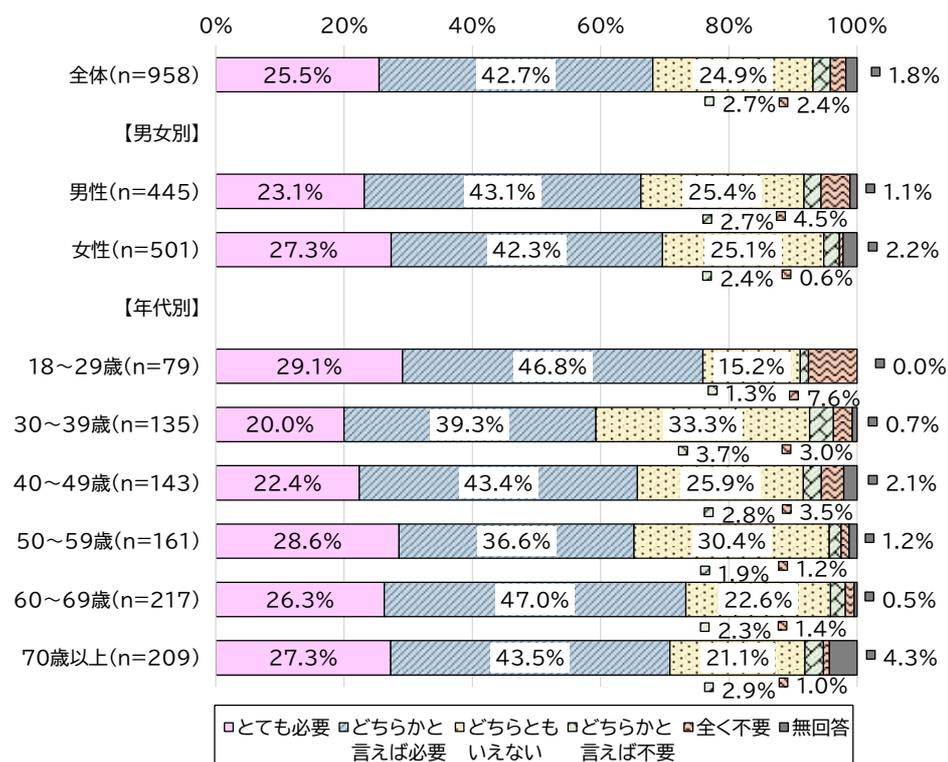
男女別でみると、『必要』は、男性よりも女性が7.8ポイント高くなっています。
年代別でみると、『必要』は、『50代以上』で7割を超えています。



12. 環境問題などに取り組む民間団体への支援や連携

◆男女別・年代別

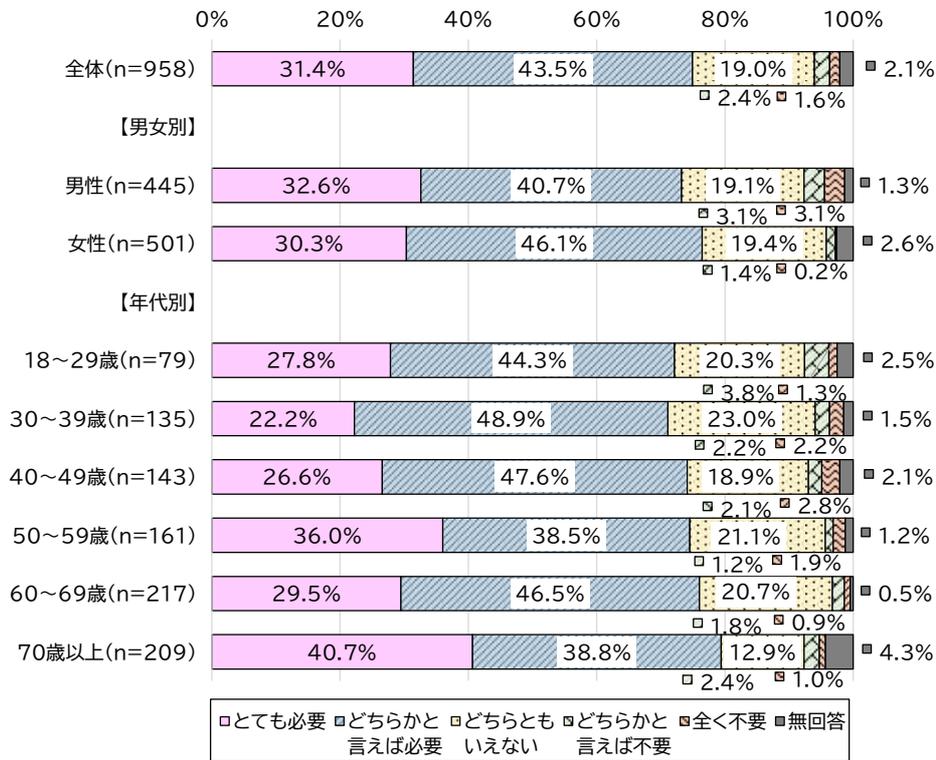
年代別でみると、『必要』は、「18~20代」で約8割となっています。



13. 地球温暖化防止等、企業の環境保全に資する技術開発への支援と公共事業への積極的な導入

◆男女別・年代別

年代別で見ると、「とても必要」は、「70歳以上」で4割を超えています。



3-7 生物多様性※1の保全とネイチャーポジティブ(自然再興)※2

開発や乱獲等による野生生物の種の絶滅や減少、里山・田園地域などの荒廃による生態系の分断や質の劣化、外来種の影響による在来種の絶滅や減少が問題化しています。2022年12月に開催された生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)では、「2030年までに生物多様性の損失を食い止め、反転させ、回復軌道に乗せる」、いわゆる「ネイチャーポジティブ(自然再興)」を国際目標としました。

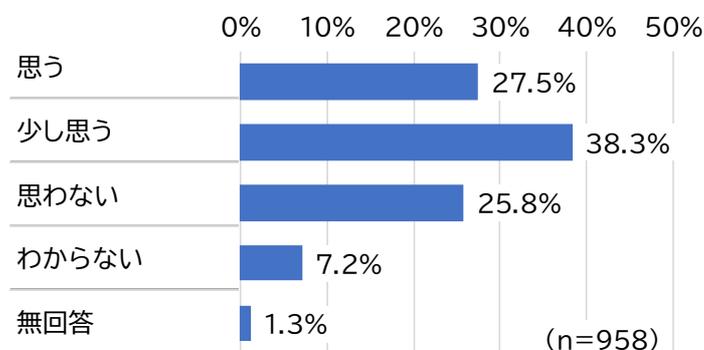
- ※1 「生物多様性」とは、全ての生物の間の変異性のことを意味し、種、遺伝子、生態系の3つのレベルでの多様性があるとされています。
- ※2 「ネイチャーポジティブ(自然再興)」とは、今の地球は過去と比べて非常に速い速度で生物が絶滅していく「マイナス」の状態だが、自然が豊かになっていく「プラス」の状態へと反転させることをいいます。

3-7-1 身のまわりの自然環境の5、6年前との変化

問 11

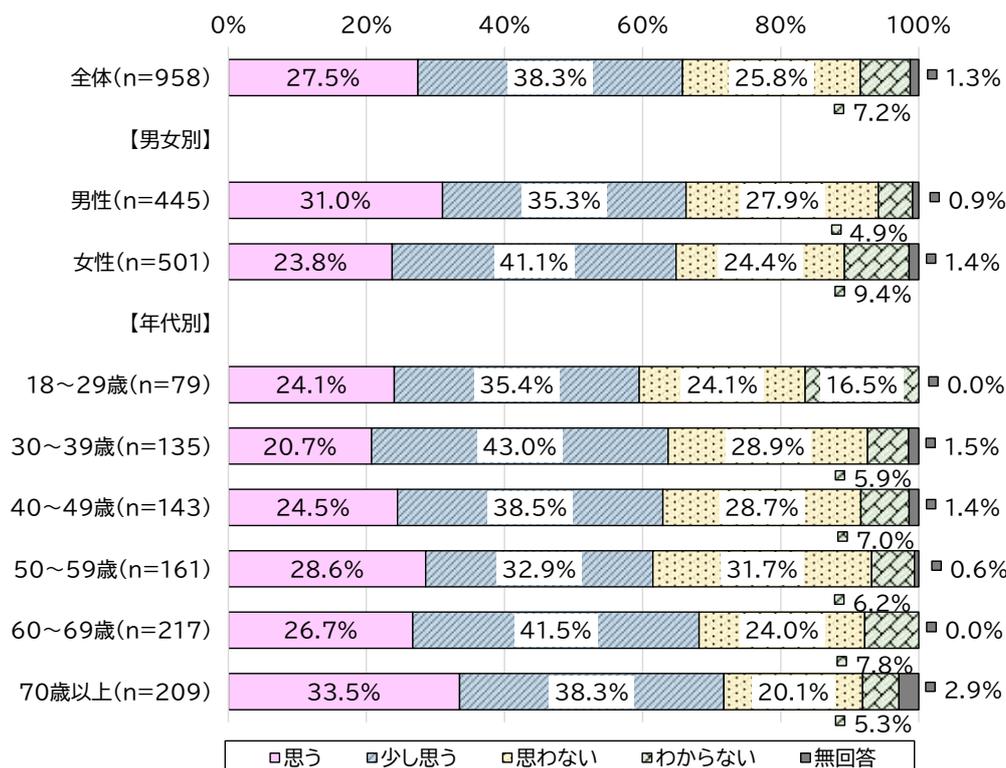
(1)あなたは、5、6年前と比べて、身近な自然環境が少なくなってきたと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

◆R6年度傾向



◆男女別・年代別

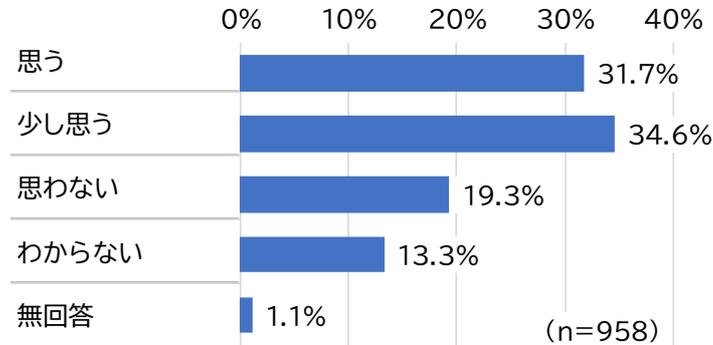
男女別でみると、「思う」は、女性よりも男性が7.2ポイント高くなっています。年代別でみると、『思う』は、「70歳以上」で7割を超えています。



3-7-2 身のまわりの植物や動物の5、6年前との変化

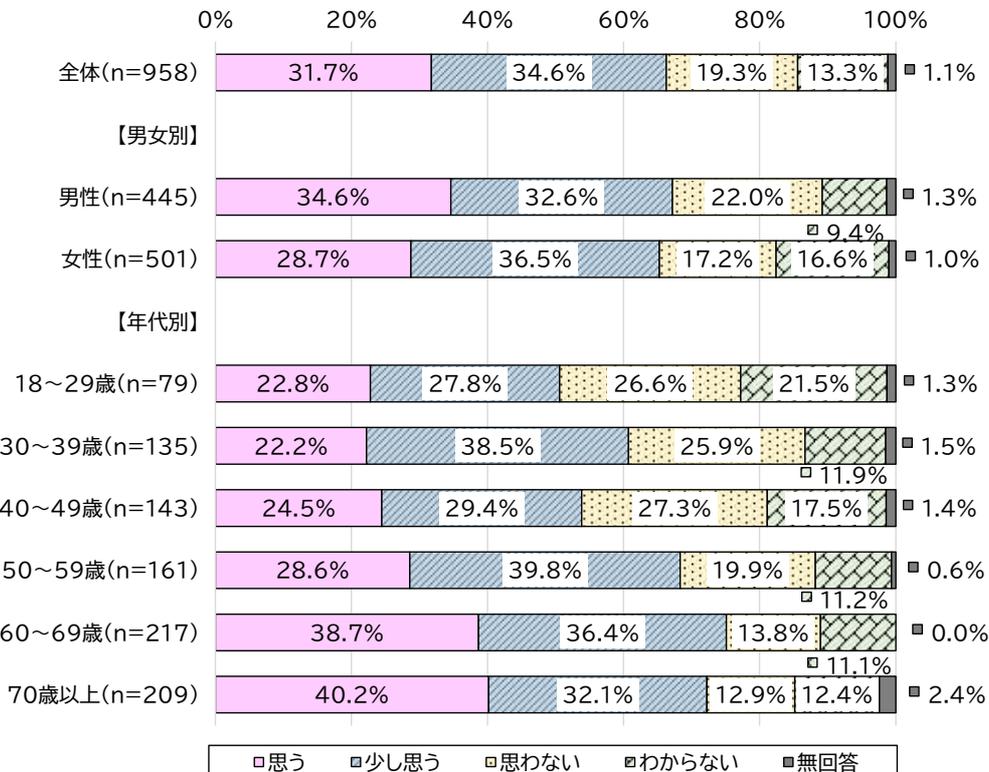
(2)あなたは、5、6年前と比べて、身近な野生の植物や動物の種類が変わってきたと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

◆R6年度傾向



◆男女別・年代別

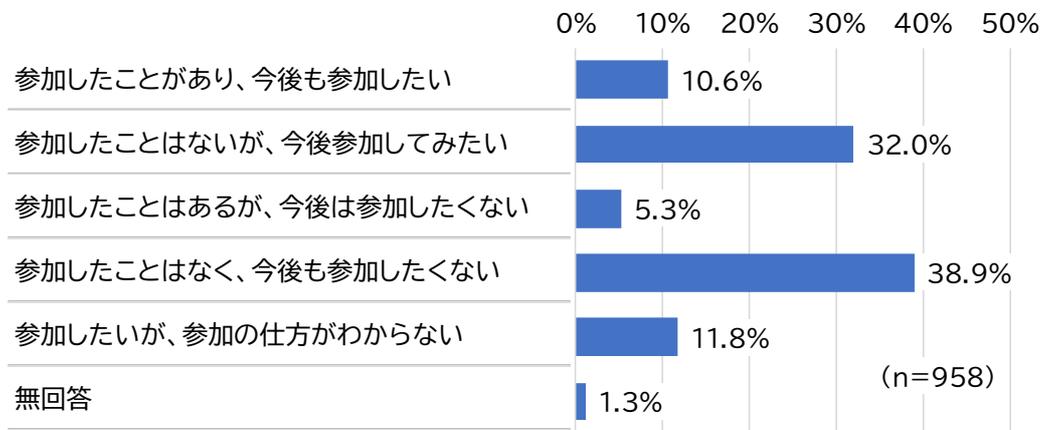
男女別でみると、「思う」は、女性よりも男性が5.9ポイント高くなっています。年代別でみると、『思う』は、『60代以上』で7割を超えています。



3-7-3 「自然環境」を保全する活動への参加

(3)あなたは、「自然環境」を保全する活動に参加したことはありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

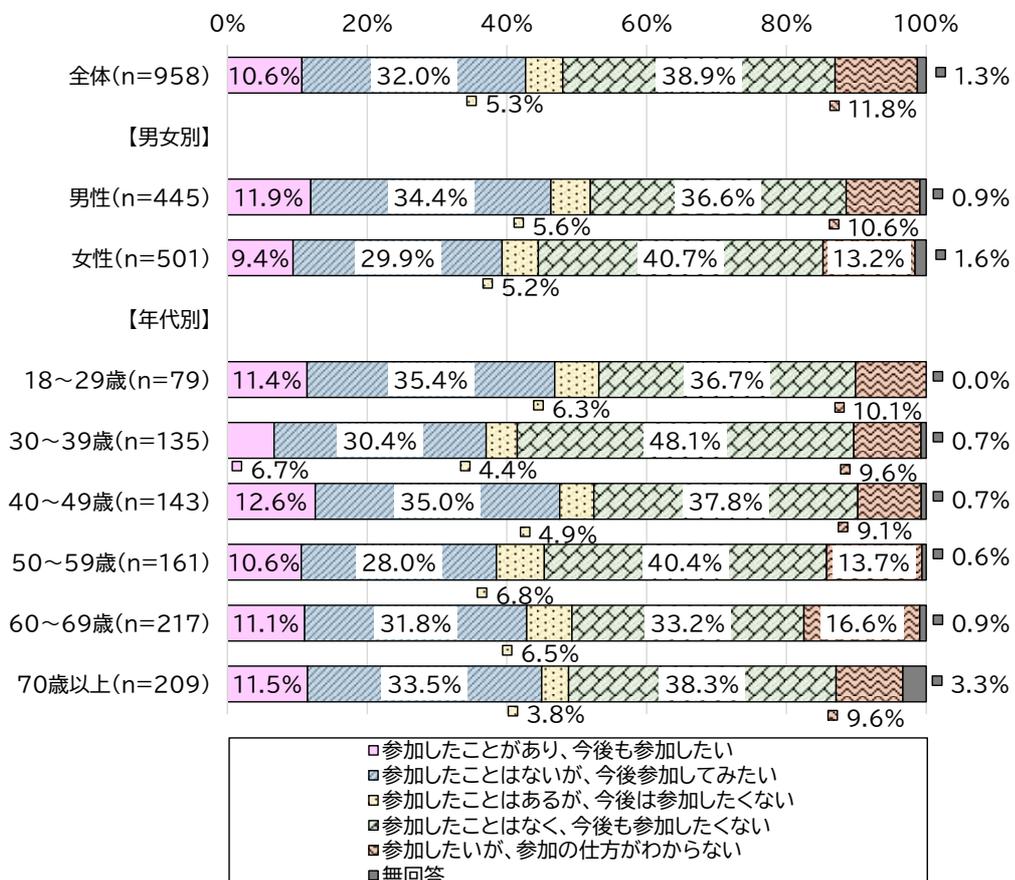
◆R6年度傾向



◆男女別・年代別

男女別でみると、「参加したことがあり、今後も参加したい」「参加したことはないが、今後参加してみたい」「参加したいが、参加の仕方がわからない」を合わせた『参加したい』は、女性よりも男性が4.4ポイント高くなっています。

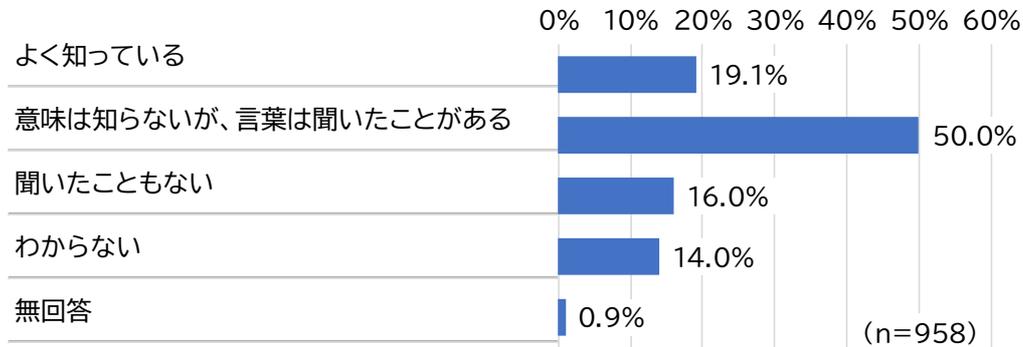
年代別でみると、『参加したい』は、「60代」が約6割となっています。



3-7-4 「生物多様性」の認知

(4)あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

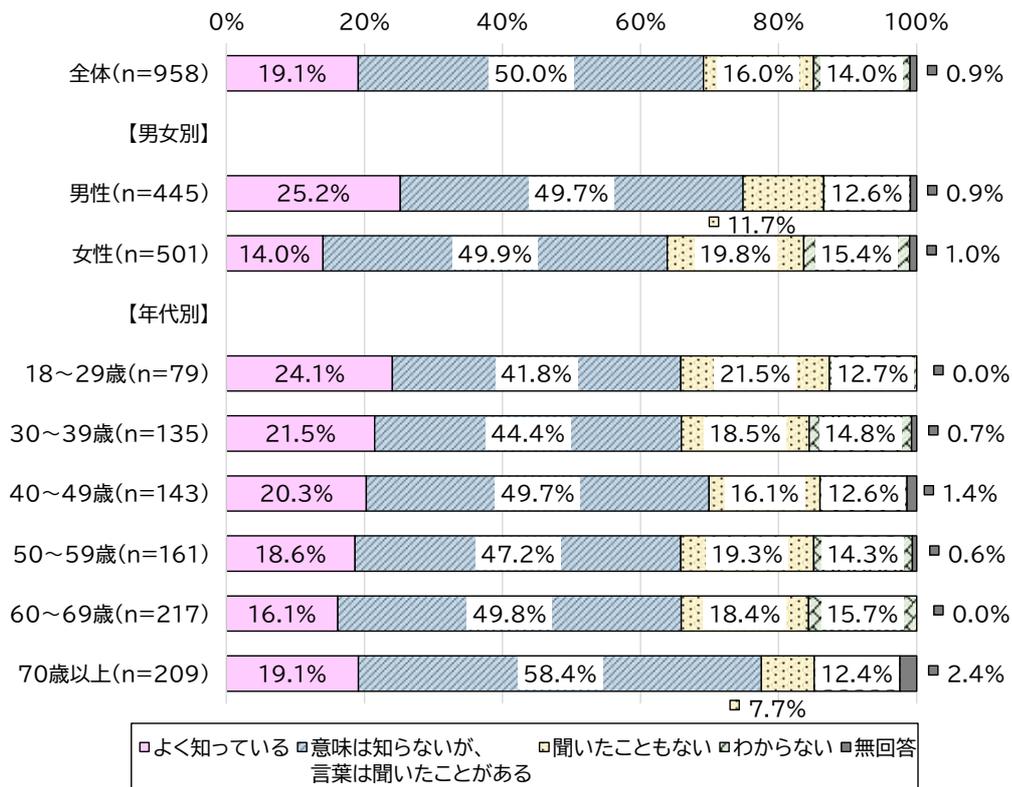
◆R6年度傾向



◆男女別・年代別

男女別でみると、「よく知っている」は、女性よりも男性が11.2ポイント高くなっています。

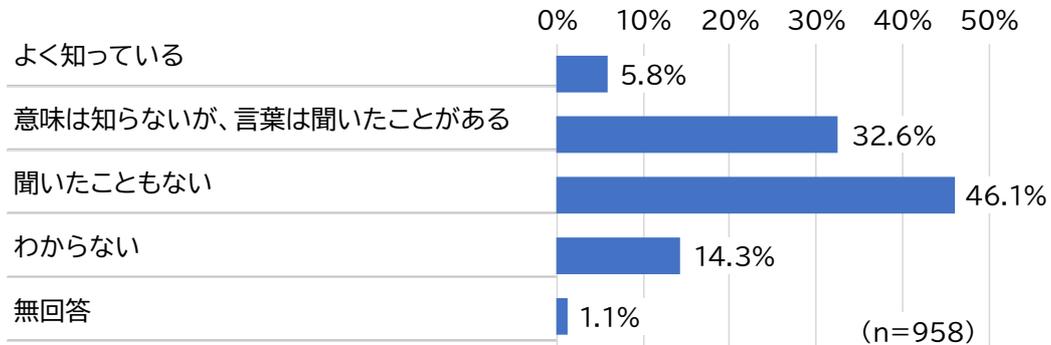
年代別でみると、「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」は、「70歳以上」が約6割となっています。



3-7-5 「ネイチャーポジティブ(自然再興)」の認知

(5)あなたは、「ネイチャーポジティブ(自然再興)」という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

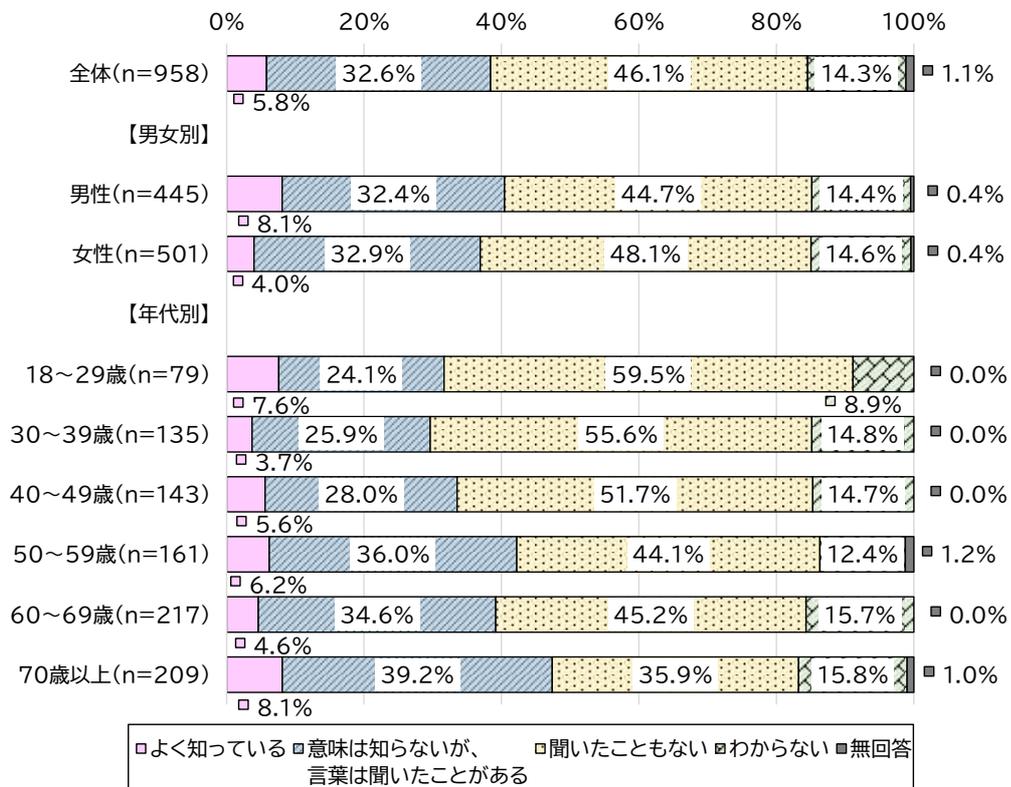
◆R6年度傾向



◆男女別・年代別

男女別でみると、「よく知っている」は、女性よりも男性が4.1ポイント高くなっています。

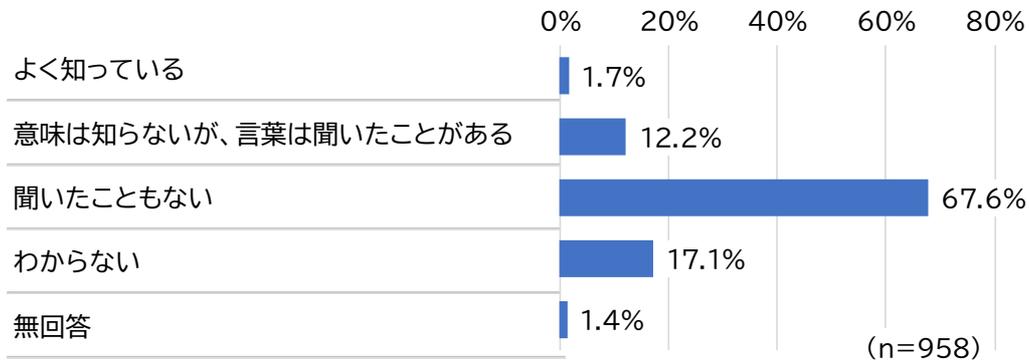
年代別でみると、「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」は、『50歳以上』が3割を超えています。



3-7-6 「30by30 目標」の認知

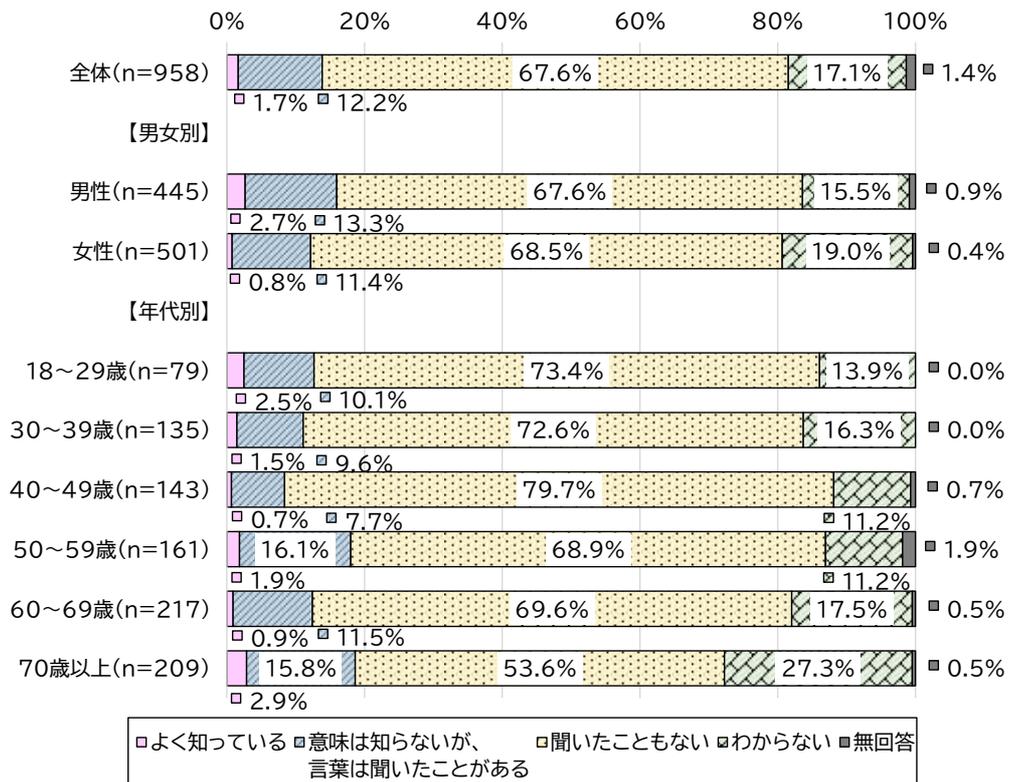
(6)あなたは、「30by30 目標」という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

◆R6年度傾向



◆男女別・年代別

男女別・年代別では、あまり傾向はみられませんでした。

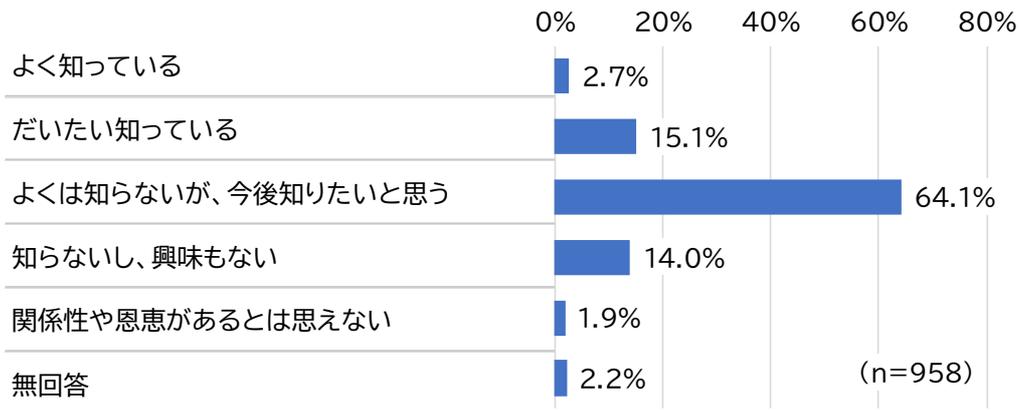


3-7-7 「生物多様性」の危機と人間社会との関係性の認知

(7)あなたは、「生物多様性」による人類への恩恵(生態系サービス※)や、生物多様性の危機と人間社会との関係性について、知っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

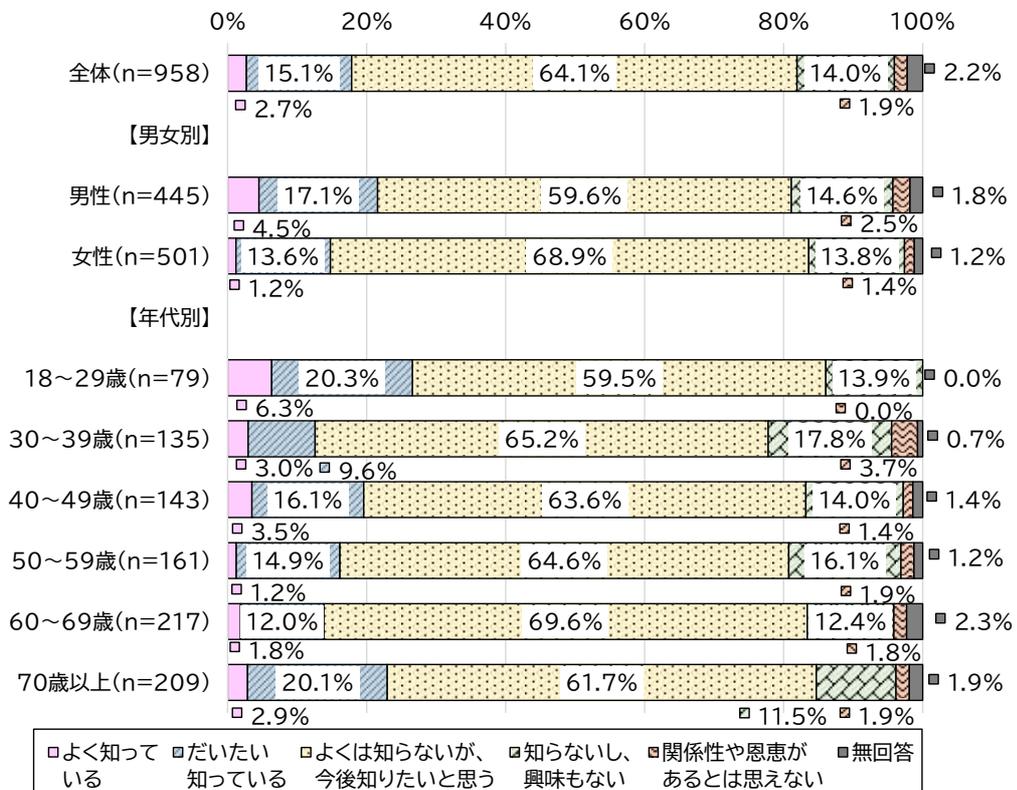
※私たちが当たり前だと思っている毎日の食事や医療、産業、防災や文化に至るまで、生態系サービスに支えられています。

◆R6年度傾向



◆男女別・年代別

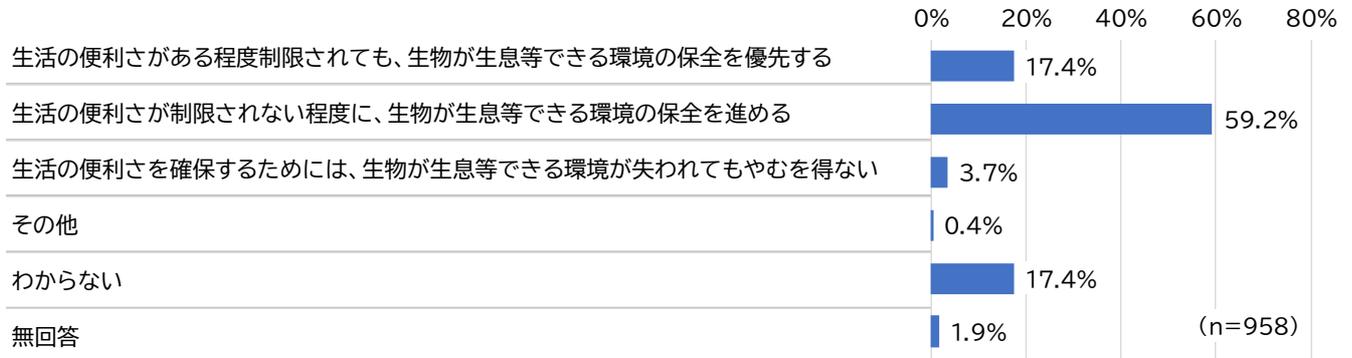
男女別でみると、『知っている』は、女性よりも男性が6.8ポイント高くなっています。年代別でみると、『知っている』は、「18～20代」「70歳以上」で2割を超えています。



3-7-8 「生物多様性」の保全のための取組の支持

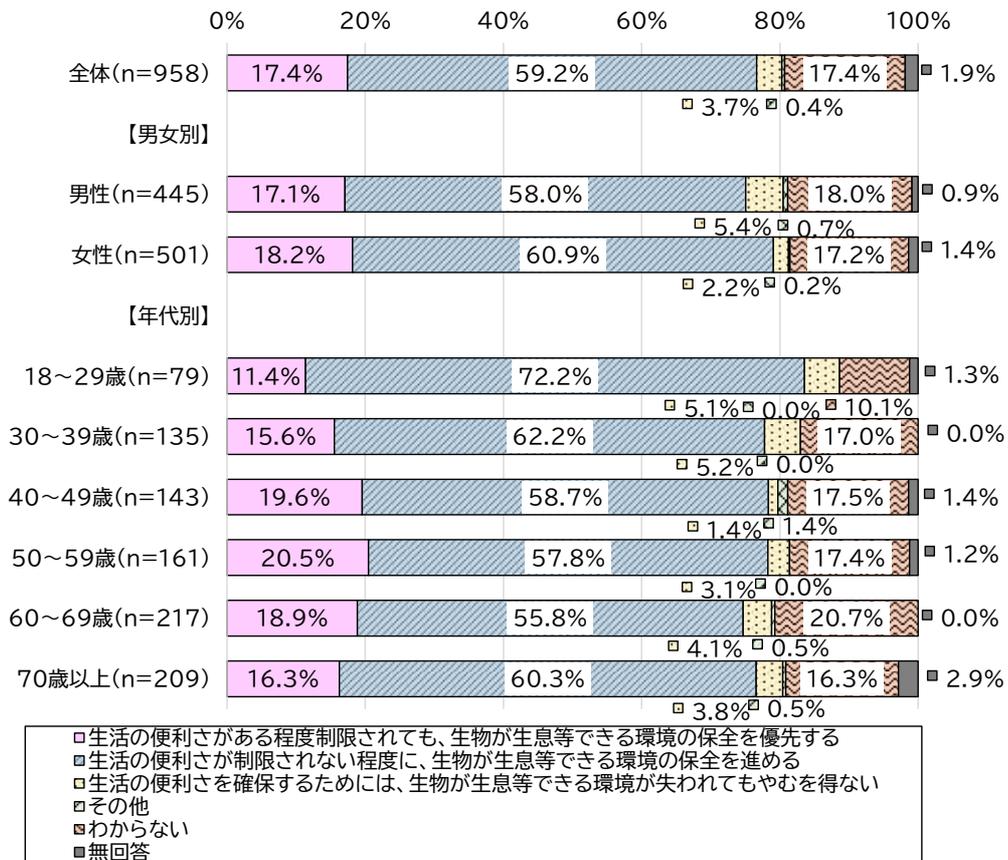
(8)あなたは、「生物多様性」の保全のために、どの取組を支持しますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

◆R6年度傾向



◆男女別・年代別

年代別で見ると、「生活の便利さが制限されない程度に、生物が生息等できる環境の保全を進める」は、「18～20代」で7割を超えています。



こんな群馬県になってほしい、こんな群馬県に住みたいなど、将来の群馬県の姿について、イメージや夢などがありましたら、ご自由にお書きください。

自由記述が 482 件あり 11 のカテゴリーに分け集計しました。

カテゴリー	件数
自然環境の豊かさ	74
地球温暖化・気候変動・エネルギー	22
農林業振興	12
良好な景観・空家	23
快適な生活環境・グリーンインフラ	52
快適な交通インフラ	91
安全・安心なまち	50
福祉・文化の充実	68
国際化・外国人に対する対応	10
街の活性化・魅力あるまちづくり	68
その他	12
計	482

主な意見の抜粋(年代、性別、地区)

自然環境の豊かさ

- 自然豊かで小さな町が点在する。少し不便で少し住みやすい便利な生活ではなく美(魅)力的な生活ができる群馬県。(50代、女性、太田・館林圏)
- 自然環境の維持と歴史的遺産を保護する施策(30代、男性、富岡圏)
- 山林、動植物、自然景観や水資源を大切にす群馬であってほしい。首都圏へのアピールも必要だと思います。(40代、男性、高崎・安中圏)
- 程良く田舎で程良く都会な群馬が大好きです。このまま自然豊かな群馬であって欲しいです。(30代、女性、高崎・安中圏)
- 現在の自然環境を保全しながらも利便性の高い「群馬県」になってほしい。(60代、男性、前橋圏)
- 高崎市や前橋市の市街地などの商業施設や住宅が密集したところがありながらも、そこから少し外れると自然が広がっている今の群馬県を維持したまま、より自然と人間とが共生できるような環境を作ってほしいです。(18~20代、男性、高崎・安中圏)

地球温暖化・気候変動・エネルギー

- 車保有台数が日本一と言われる群馬県。ハイブリッド車や低燃費車等の購入時助成金等の導入等、検討して欲しい。(60代、女性、伊勢崎圏)
- 太陽光発電によって電気代が上がっている。太陽光が無い時にその代替発電(火力)が必要だからだ。原子力発電を進めて太陽光の補助はやめるべきだ。環境と住民生活にもっとも重要な課題である。(70代以上、男性、桐生圏)
- 地球温暖化を止めるのは、皆無だと思ってしまっている自分がいる。電気自動車に買い替える資金もなくエアコンを使わない生活は考えられないし、今からじゃ遅いと思いこんでいる生活が続いています。(50代、男性、高崎・安中圏)
- エネルギーコスト低い都市ガスの配備。子供の教育環境、治安の向上。道路の整備。有名大学+企業の誘致(40代、男性、前橋圏)
- 海外に委託できなくなったプラスチック処理場を、環境にできる限り良い形で、群馬にできないとしてもせめて日本国内に作るべきだと思う。(30代、女性、前橋圏)
- 電気自動車の充電スポットが増えるといいと思う。(18~20代、男性、伊勢崎圏)

農林業振興

- イノシシ、シカ、クマ、サルの駆除をお願いしたい。畑、田んぼに入ってイノシシ、シカが野菜等を食べてしまう。野生動物の駆除を切に願いたい！（60代、男性、高崎・安中圏）
- 農業の活性化。市街地を広げる場合でも環境に配慮して計画的に。（60代、女性、太田・館林圏）
- 今現在、放棄地になっている土地は県、国で集約してJAなどが中心になって運営してほしい。（70代以上、女性、太田・館林圏）
- 山間地域の農業（家）を継続できるようにし、耕作放棄地をなくす様な政策（対策）を実施してほしい。山間地の農家の高齢化はひどいものです。（60代、男性、高崎・安中圏）
- 耕作放棄地がやたらと太陽光発電に利用されているけれど災害時の仮設住宅等の予備地として確保しておくべきだと思います。群馬県には古い立派な養蚕農家がいくつもあるが、空き家になってしまった場合、保存や斡旋等を行って欲しい。（年齢無記入、男性、地区無記入）

良好な景観・空家

- 自然が沢山あって、太陽光などがあちこちに無い方がいい。太陽光はめだたない方がいい。電線などはうめてほしい。キレイ便利な群馬がいい。子供やお年寄りに優しい県になってほしい。（30代、男性、高崎・安中圏）
- 水が綺麗で道もきれいな町（60代、男性、前橋圏）
- 緑地の多い穏やかなゴミの散らかってないゆったりと歩ける街であって欲しいです。群馬県でいる事はいつも誇らしく思っております。（70代以上、女性、前橋圏）
- 道路の雑草の処理、街路樹のせん定を。県道の舗装整備（70代以上、男性、太田・館林圏）
- クリーン大作戦というゴミ集めを子どもの頃にすることがあり、また開催されたら参加してみたいです。花や自然が身近に感じられるとうれしいです。（30代、女性、桐生圏）

快適な生活環境・グリーンインフラ

- 子どもたちが外でも元気に過ごせる環境、屋内でも遊べる施設を増やして欲しいです。車の利用を減らすには公共交通機関を増やして欲しいです。夜の街灯が少なすぎるので安心して歩けない。（年齢無記入、女性、高崎・安中圏）
- 自然は美しく交通の便が良いコンパクトシティ。上下水道の整備ができるようある程度まとまって住んでいくのが良いのではないのでしょうか。（同居という意味ではなく）（50代、女性、桐生圏）
- 水道の水が安全で美味しいものになってほしい。（60代、男性、伊勢崎圏）
- 最近、周囲の新築住宅の住人の方々は、緑の樹木を必要としていません。緑をもっと増やして欲しいと常に感じています。（70代以上、女性、太田・館林圏）
- 高速道路インター近くに森林公園やサイクリングロードがあったら利用したい。又、アウトレットなどあるといいなと思う。（50代、女性、藤岡圏）
- 食用、農業、工業…様々な用途に使われる良質な水が容易に手に入る。（40代、男性、高崎・安中圏）

快適な交通インフラ

- 自然環境に恵まれた町、緑いっぱいの町、車がなければ買い物も病院へも行けない高齢化が進む町。近くにインターがあるのに全く発展しない町。この町の地域活性化を望んでいます。（60代、女性、高崎・安中圏）
- 自然環境を維持しながら都心よりのアクセスの便も充実を願います。車に乗れなくなったら移動もできない現状が近づいています。（60代、女性、太田・館林圏）
- バスが少ない。（50代、女性、太田・館林圏）

3 調査結果

- 公共交通機関がもっと充実した街となってほしい。災害被害の心配のいらぬ街になってほしい。(50代、女性、太田・館林圏)
- 交通弱者に優しいインフラ整備を進めて欲しい。(60代、男性、伊勢崎圏)
- 自家用車がなくても驚かれない群馬県になってほしい。公共交通機関の充実や、自家用車を持たない子育て世代へのタクシー券助成など。(40代、女性、前橋圏)
- 現在、公共交通機関の運行本数が非常に少ないため、それが改善されること。(18~20代、男性、前橋圏)

安全・安心なまち

- 群馬県は災害も少なく住みやすい県だと思います。若者が戻ってきたくなくなるような古き良きところを残しつつ新しいことも取り入れていく県になって欲しいです。(30代、女性、太田・館林圏)
- 当県は自然災害も少なく、列島のほぼ真ん中、横幅からも真ん中に位置し本当に住み良い、穏やかな場所だと思っています。ここに生まれて70年以上も住み続けられて本当に有難いと思っています。ちなみに夫は東京から当市の会社へ勤め、「良い所へ来た!」と時々言って喜んでます。群馬県は本当に良い所だと思います。(70代以上、女性、太田・館林圏)
- 犯罪や事故の少ない県になってほしいです。(40代、男性、太田・館林圏)
- 防災に対する認識・意識が盛り上がる様、県民一体となるような行動が起こる様、アイデアなどが出るよう意識していきたい。(70代以上、男性、高崎・安中圏)
- 水・空気・環境を安全に維持。飲食物の安全性の保持。犯罪の無い、少ない街づくり等を堅持して頂きたいです。(50代、女性、高崎・安中圏)
- 観光地の活性化、車両事故の起きにくい道路、狭く、車通りのある道の整備、イオン、ケヤキなどの大きいショッピングモールの数を増やしてほしい。(30代、女性、藤岡圏)

福祉・文化の充実

- 医療が安く受けられて税金が安い。生活しやすい県づくり。お金がかかりすぎる…。県民なら安く利用できる施設の充実。(50代、女性、富岡圏)
- 高齢になっても自宅で1人で生活できるようになって欲しい。今現在障害者と健常者の隔たりがある様に思う。高速道路のSAの障害者トイレにエアコンをつけて欲しい。(60代、女性、高崎・安中圏)
- 子育てが充実した地域にしてほしい。娘が母子家庭なので2人の3才、7才と子供がいて行政援助を充実してほしい。それなら税金高くても納得できる。今の状況だと住民税、県民税払っても納得できない。(50代、男性、利根・沼田圏)
- 我が家には今、乳児がいます。乳児を連れて楽しめる施設があったら嬉しいなと思っています。産後ケアなどが充実していてとても有難いです。群馬の森のような場所があるとこれからの季節、お散歩などが出来るので嬉しいです。(30代、男性、高崎・安中圏)
- 高齢者、子供が安心して暮らせる群馬県になって欲しいです。(60代、女性、高崎・安中圏)
- 子供たちの給食費を無料にするなど、大人が子供に出来る事をして欲しい。(18~20代、女性、高崎・安中圏)
- 若い人達が子育てしやすい環境、子供達の声が聞こえる町。(70代以上、男性、太田・館林圏)

国際化・外国人に対する対応

- 国立公園にインバウンドを呼べる様にとそれ以前の環境整備受け入れる準備をしっかりとしていく事と大学との連携に伴う企業誘致、研究機関等。また、労働力としてのみの外国人労働者を入れないようにすること!(40代、男性、利根・沼田圏)
- 外国人留学生の増加による治安、環境の悪化(ゴミ、騒音等)。県庁周辺の日本語学校のマネー管理不足。割れ窓理論の実践できる群馬県であって欲しいです。(40代、男性、前橋圏)

- 温泉や自然観光などのゆっくりした休日を目的に来る観光客が増えたらいいなと思います。都心（都会）から近い、自然の多い住みやすい群馬と国民が思ってくれるようになってほしいです。（50代、男性、高崎・安中圏）
- 最近、外国人の方が多い。マナーを守る方もいるが、マナーを守っていない方の方が多い。差別ということではないが…以前より治安はよくない。ゴミのすて方を守らない、自転車の2人のり、歩きたばこ、無断違法駐車、スマートフォンのマナー色々、沢山、不快です。外国の方に啓蒙をして下さい。（年齢無記入、性別無記入、地区無記入）
- ルールを守らない外国人が住み着くような群馬県にはしないでほしいです。（30代、男性、桐生圏）
- 移民の少ない県（30代、男性、高崎・安中圏）

街の活性化・魅力あるまちづくり

- 観光スポットの充実、魅力のある群馬でありたい。（40代、男性、高崎・安中圏）
- 都市部は都市部なりに山間部は山間部なりに住民が仲良く活気のある地域になることを望んでいます。各地域にはその地の良さ悪さがあり、それは住民が分かっていることもあるが改善には限界もあり県の目配りによってより良く活気のある地域を願っています。（70代以上、男性、高崎・安中圏）
- 県外からも人々が来るような大きな遊園地や動物園等。年寄りも行けるような。スポーツ施設はもう要らないと思うのに、近くにまた建ちます。年寄りの事も少しは考えてほしい（介護以外）。（70代以上、女性、桐生圏）
- みどりと昔の歴史が融合した町にして欲しい。子供達が喜ぶ公園や室内施設等も増やして頂けるととても嬉しい。山では人口が減少しているので、もっと山の魅力が伝わるように皆が遊びに来たくなるような環境作りをお願いしたい。（30代、女性、桐生圏）
- 都内の大学県内の大学を卒業した若者たちが、学んだ事を生かせる企業が有ればいい。（70代以上、男性、太田・館林圏）

その他

- 都会化は望まない。（60代、女性、前橋圏）
- 純粋な町だと思います。（70代以上、女性、前橋圏）
- 所得が多い県（40代、男性、太田・館林圏）
- どうせ税金を使ってアンケートを取るのであれば、もう少し役に立つようにしてほしい。この内容ではアンケート自体が無意味と考える。（70代以上、男性、地区無記入）
- 無税（40代、男性、地区無記入）
- アンケートが長い（30代、男性、前橋圏）
- 正直者が馬鹿を見ない県（50代、女性、前橋圏）

あなたの声をお聞かせください ～ 環境に関する県民意識アンケート ～

令和6年9月

< ご記入前にお読みください >

1 あて名のご本人がお答えください。(代筆による回答も可能です。)

2 次のいずれかの方法でお答えください

> 調査票に記入して回答する場合(郵送による回答)

- ・回答は、あなたのお考えに最も近い番号に○をつけてください。
- ・○をつける回答数は、各設問で指定された個数としてください。
- ・「その他」の項目を選択された場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- ・自由回答も重要ですので、お手数ですが、ぜひご記入ください。
- ・同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、郵便ポストへ投函してください。

> WEBから回答する場合(WEBによる回答)

- ・パソコン、スマートフォン、タブレットで右の二次元コードまたは下記のURLにアクセスして回答してください。

URL : <https://forms.gle/7s8yxRHAurWEJbL78>



※WEBで回答された方は、調査票の返信は不要です。

3 回答期限

- ・郵送による回答・WEBによる回答ともに、**令和6年10月4日(金)**までに
お願いします。

4 調査委託

- ・本調査の発送・回収・集計は、群馬県が株式会社環境総合研究所北関東支社に委託しています。

5 お問い合わせ先

- ・この調査についてご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。

群馬県 環境森林部 環境政策課 環境政策係 石坂、板倉
電話 : 027-226-2821 (直通)

I 環境問題に対する関心

問1 環境問題を含めた社会問題について、お聞きします。

(1) 以下の社会問題について、あなたが特に関心をお持ちの問題を4つまで選び、あてはまる番号に○をつけてください。(○は4つまで)

1. 経済の活性化や、産業振興など、経済に関する問題
2. 就職支援や働く場の拡大など、労働環境に関する問題
3. ごみや大気・川の汚れなど、地域の生活環境に関する問題
4. 森林の荒廃や貴重な野生動植物の保護など、自然環境に関する問題
5. 地球温暖化やオゾン層の破壊など、地球規模の環境問題
6. 太陽光発電や電源の組み合わせなど、エネルギーに関する問題
7. 地震、火山、豪雨など、災害に関する問題
8. 医療機関の充実や医療従事者の確保など、地域の医療に関する問題
9. 増加する要介護高齢者や障害者の支援など、福祉に関する問題
10. 保育サービスの充実など、少子化対策や子育て支援、子どもの貧困対策に関する問題
11. 学力向上や豊かな心の育成など、子供の教育に関する問題
12. 公共交通や買い物など、生活の利便性に関する問題
13. 自主防犯活動や高齢者による地域の子育て支援など、地域コミュニティに関する問題
14. 防犯情報の提供や子供の安全対策など、犯罪防止に関する問題
15. LGBTQ などジェンダー平等に関する問題
16. 食料不安など飢饉に関する問題
17. フードロスやリサイクルなど資源循環に関する問題
18. 海洋プラスチックなど海洋汚染に関する問題

(2) 環境問題への関心について、お聞きします。

環境問題には様々な内容がありますが、あなたは以下の環境問題にどの程度関心をお持ちですか。それぞれの問題について、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	非常に 関心がある	関心がある	関心がない
1. 二酸化炭素などによる地球温暖化	1	2	3
2. フロンガスによるオゾン層の破壊	1	2	3
3. アフリカなど乾燥地帯での砂漠化の進行	1	2	3
4. 石油など大量消費による資源の枯渇	1	2	3
5. 工場や自動車の排気ガスによる大気汚染	1	2	3
6. 地下水の汲み上げによる地盤沈下	1	2	3
7. 工場や家庭からの排水による水質汚濁	1	2	3
8. 家畜排せつ物や工場による悪臭	1	2	3
9. 都市化や開発による自然景観や生物多様性への影響	1	2	3
10. 不法投棄や廃家電などのゴミ処理やリサイクル	1	2	3
11. 農薬や有機塩素系溶剤などによる土壌や地下水の汚染	1	2	3
12. 自動車や鉄道などによる騒音・振動	1	2	3
13. ダイオキシンなどの化学物質による汚染	1	2	3
14. 放射性物質による環境汚染	1	2	3
15. 太陽光発電・風力発電などの再生可能エネルギーの活用	1	2	3
16. ヒアリ、クビアカツヤカミキリなど外来生物による被害	1	2	3
17. イノシシ、シカ、クマなど野生動物による被害	1	2	3
18. 気温上昇による熱中症被害	1	2	3
19. 自然災害（農作物被害や感染症の流行拡大を含む）の原因となる異常気象	1	2	3
20. スギなどの花粉の飛散	1	2	3
21. 環境について学ぶ体験の機会	1	2	3
22. 経済、社会、環境に総合的に取り組むSDGs※	1	2	3

※SDGs（持続可能な開発目標）…「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。

Ⅱ 身のまわりの環境

問2 身のまわりの環境に対する満足度をお聞きます。

(1) あなたは、次の項目について満足していますか。各項目について、「1. 満足」～「5. 不満」の中から、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	満足	やや満足	どちらもしない	やや不満	不満
生活環境について					
1. 空気のさわやかさ	1	2	3	4	5
2. 日あたり	1	2	3	4	5
3. のんびり歩ける空間	1	2	3	4	5
4. 水道水のおいしさ	1	2	3	4	5
5. 街並みの美しさ	1	2	3	4	5
6. 住まいのまわりの静けさ	1	2	3	4	5
7. 住まいのまわりの清潔さ	1	2	3	4	5
8. 運動公園や森林公園など	1	2	3	4	5
9. 歴史的・文化的雰囲気	1	2	3	4	5
自然環境について					
10. 河川や湖沼のきれいさ	1	2	3	4	5
11. 緑の豊かさ	1	2	3	4	5
12. 野鳥や昆虫などのふれあい	1	2	3	4	5
13. 自然景観の美しさ	1	2	3	4	5
14. 水や水辺とのふれあい	1	2	3	4	5
15. 星空の美しさ	1	2	3	4	5
16. 野生動物による被害の防止	1	2	3	4	5
その他					
17. 安全で安定的なエネルギーの供給	1	2	3	4	5
18. 環境教育・環境学習の機会の提供	1	2	3	4	5

|(2) あなたは、身のまわりの生活環境全般に満足していますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 満足している
2. やや満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. 不満である

問3 (1) あなたの身のまわりの環境は、全体的に5、6年前と比べて、どのように変化していると思いますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 良くなった
2. 少し良くなった
3. 変化していない
4. 少し悪くなった
5. 悪くなった
6. わからない

(2) あなた自身の環境に対する意識や行動は、5、6年前と比べて、どのように変化していると思いますか。

《意識》、《行動》のそれぞれから、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○は1つずつ)

《意識》

1. 関心が深まった、またはその状態を継続している
2. 少し関心が深まった、またはその状態を継続している
3. どちらともいえない、またはその状態を継続している
4. 少し関心がうすれた、またはその状態を継続している
5. 関心がうすれた、またはその状態を継続している
6. わからない

《行動》

1. 頻繁に実践するようになった、またはその状態を継続している
2. 少し実践するようになった、またはその状態を継続している
3. どちらともいえない、またはその状態を継続している
4. あまり実践しなくなった、またはその状態を継続している
5. まったく実践しなくなった、またはその状態を継続している
6. わからない ⇒ 問4へ

(3) 上記(2)《行動》で1～2と回答した方におうかがいします。

実践するようになったきっかけは何ですか。(自由回答)

(例) 新聞・テレビなどの報道。自治体の環境イベントへの参加。等

(4) 上記(2)《行動》で3～5と回答した方におうかがいします。

あまり実践に結びつかないのは、どのような理由によるものですか。(自由回答)

(例) 夫婦共稼ぎで、手間のかからない行動をせざるを得ない。等

問4 あなたは、快適で住みよい環境を確保していくために、群馬県としてどのような取組をしていくことが重要だと思いますか。それぞれの項目について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○はそれぞれ1つ)

	重要	やや重要	どちらもしない	あまり重要ではない	重要ではない
生活環境について					
1. 空気のさわやかさ	1	2	3	4	5
2. 日あたり	1	2	3	4	5
3. のんびり歩ける空間	1	2	3	4	5
4. 水道水のおいしさ	1	2	3	4	5
5. 街並みの美しさ	1	2	3	4	5
6. 住まいのまわりの静けさ	1	2	3	4	5
7. 住まいのまわりの清潔さ	1	2	3	4	5
8. 運動公園や森林公園など	1	2	3	4	5
9. 歴史的・文化的雰囲気	1	2	3	4	5
自然環境について					
10. 河川や湖沼のきれいさ	1	2	3	4	5
11. 緑の豊かさ	1	2	3	4	5
12. 野鳥や昆虫などのふれあい	1	2	3	4	5
13. 自然景観の美しさ	1	2	3	4	5
14. 水や水辺とのふれあい	1	2	3	4	5
15. 星空の美しさ	1	2	3	4	5
16. 野生動物による被害の防止	1	2	3	4	5
その他					
17. 安全で安定的なエネルギーの供給	1	2	3	4	5
18. 環境教育・環境学習の機会の提供	1	2	3	4	5

Ⅲ 環境問題に関する情報源

問5 あなたは、どのようにして、自然環境や身近な生活環境についての情報を得ていますか。
あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 新聞やテレビなどを通じて | 6. 近所や地域の口コミ情報によって |
| 2. 本や雑誌などを通じて | 7. 自ら視察することによって |
| 3. 回覧板や県・市町村の広報などを通じて | 8. 国や県などが発行する環境白書を通じて |
| 4. インターネット・SNSを通じて | 9. その他(具体的に) |
| 5. NPOなどの活動団体を通じて | 10. 積極的には情報を得ていない |

問6 群馬県の発信する環境情報について、お聞きます。

(1) あなたは、県の環境に関する情報をどこから得たことがありますか。
あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 県のホームページ | 6. 市町村の広報誌 |
| 2. 群馬テレビの県政ガイド | 7. LINE や Instagram、X(旧 Twitter)などの SNS |
| 3. FMぐんまの県政ガイド | 8. tsulunon (県公式 YouTube) |
| 4. 県の広報誌(ぐんま広報) | 9. その他() |
| 5. 県の環境白書 | 10. 特になし |

(2) あなたは、県の環境に関する情報を今後どこから得たいと思いますか。
あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 県のホームページ | 6. 市町村の広報誌 |
| 2. 群馬テレビの県政ガイド | 7. LINE や Instagram、X(旧 Twitter)などの SNS |
| 3. FMぐんまの県政ガイド | 8. tsulunon (県公式 YouTube) |
| 4. 県の広報誌(ぐんま広報) | 9. その他() |
| 5. 県の環境白書 | 10. 特になし |

問7 あなたは、今後、環境に関するどのような情報を知りたいですか。
あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 地球温暖化やオゾン層の破壊など、地球規模の環境問題について
2. 地域の自然環境やゴミ問題など、身近な環境問題について
3. 世界各国で取り組んでいる、環境に関する取組について
4. 行政が取り組んでいる、環境に対する施策や取組について
5. 企業が取り組んでいる、環境に対する施策や取組について
6. 地域の環境保全活動の現状や、参加募集などについて
7. 普段の生活の中で、自分でできる環境保全の方法について
8. 太陽光や風力などを使った再生可能エネルギーへの取組について
9. 野生生物の減少や出没情報、外来生物の侵入などの状況について
10. その他（具体的に)

IV 取組

問8 あなたは、環境保全のために、現在どのようなことを心がけていますか。また、今後どのような取組を行っていきたいですか。

以下のそれぞれの項目について、「A. 現在」「B. 今後」から、あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。（○はA、Bそれぞれ1つずつ）

	A. 現在			B. 今後		
	常に行っている	時々実行している	実行していない	今後も(今後は)行っていきたい	実行するつもりはない	わからない
(例) 破損しても修理して使うなど、物を長く使用するように努めている	1	②	3	①	2	3
1. 破損しても修理して使うなど、物を長く使用するように努めている	1	2	3	1	2	3
2. 電気・ガス・水道等の節約に努めている	1	2	3	1	2	3
3. 近場の移動は自家用車を利用しないで、自転車や徒歩で移動する	1	2	3	1	2	3
4. 廃油をそのまま流さない、洗剤を使いすぎないなど、生活排水対策に努めている	1	2	3	1	2	3
5. 紙コップや紙皿など、使い捨て商品は使わない	1	2	3	1	2	3
6. 過剰包装を断ったり、簡易包装商品を選ぶ	1	2	3	1	2	3
7. 買物にはマイバッグ等を持参し、むだなレジ袋等を断る	1	2	3	1	2	3
8. 自然観察会や環境講演会、植林や緑化活動などに参加している	1	2	3	1	2	3
9. 公園、道端などに捨てられている、ゴミや空き缶などを拾うなど、環境美化に努めている	1	2	3	1	2	3
10. 生ゴミ、庭ゴミのコンポスト化 [※] など減量化に努めている(※生ゴミを発酵させて、たい肥にする処理方式)	1	2	3	1	2	3
11. 不用になった衣類や家具などを、フリママーケットに出すなど、リユース(再使用)に努めている	1	2	3	1	2	3
12. 資源ごみは分別して資源回収、店頭回収や廃品回収等を利用してリサイクルしている	1	2	3	1	2	3
13. リサイクルされたトイレットペーパーなど環境に配慮した商品を購入する	1	2	3	1	2	3
14. 住宅用太陽光発電設備を導入している	1	2	3	1	2	3

V 地球温暖化防止

人間の活動に起因する地球温暖化は、異常気象の頻発、生態系への悪影響、食糧の減産、海水面の上昇、感染症や熱中症の増加等様々な変化をもたらし、人類の生存にも重大な影響を及ぼす恐れがあることが指摘されています。群馬県では、県内の温室効果ガスの排出削減の実効を確保するため、『2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例』を制定しました。

問9 あなたは、地球温暖化防止のために、現在どのようなことを心がけていますか。また、今後どのような取組を行っていきたいですか。

以下のそれぞれの項目について、「A. 現在」「B. 今後」から、あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。（○はA、Bそれぞれ1つずつ）

	A. 現在			B. 今後		
	常に実行している	時々実行している	実行していない	今後も(今後は)行っていきたい	実行するつもりはない	わからない
(例) 通勤や買物の際にバスや電車などの公共交通機関や自転車を利用し、車の使用を控える	1	②	3	①	2	3
1. 通勤や買物の際にバスや電車などの公共交通機関や自転車を利用し、車の使用を控える	1	2	3	1	2	3
2. 燃費効率の良い自動車やハイブリッド車などの低公害車を利用する	1	2	3	1	2	3
3. 車を使用するときには、不要なアイドリング・急発進・急加速はしない	1	2	3	1	2	3
4. 照明器具や電気機器をこまめに消す、主電源を切って待機電力を削減するなどに努める	1	2	3	1	2	3
5. 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低くなど、冷暖房を控えめにする	1	2	3	1	2	3
6. 電気機器やガス器具の買い替えには、待機電力が少ない・熱効率が良いなど省エネルギー型製品を購入するよう努める	1	2	3	1	2	3
7. ペアガラスを使う、カーテンやブラインドを効果的に使うなど、住居の断熱効果を高める工夫をする	1	2	3	1	2	3
8. 太陽熱温水器を利用する	1	2	3	1	2	3
9. 家庭で太陽光発電、風力発電などを利用する	1	2	3	1	2	3
10. 身体や髪・手を洗っている間、水やお湯を出しっぱなしにしないように努める	1	2	3	1	2	3
11. グリーン購入 [※] や、ごみの減量化・リサイクルで省資源に努める ([※] 環境負荷の少ない製品やサービスを優先して購入すること)	1	2	3	1	2	3

問 10 あなたは、地球温暖化防止のため、群馬県としてどのような取組をしていくことが必要だと思いますか。
それぞれの課題について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	とても必要	どちらかと言えは必要	どちらともいえない	どちらかと言えは不要	全く不要
1. 省エネルギー機器や省エネ型建築物等の普及促進	1	2	3	4	5
2. 車の利用が控えられるような、公共交通機関の利便性の向上や公共交通網の充実などの交通施策の推進	1	2	3	4	5
3. 燃費効率のよい自動車やハイブリッド車、天然ガス車、電気自動車など低公害車の普及促進	1	2	3	4	5
4. 太陽光発電・風力発電・太陽熱利用のような再生可能エネルギーの普及促進	1	2	3	4	5
5. 公的部門における省エネルギー機器、低公害車や再生可能エネルギー設備の率先的な導入	1	2	3	4	5
6. グリーン購入について企業・県民への普及啓発や県自らの積極的な取組	1	2	3	4	5
7. 自転車の利用促進のため、駅前などの駐輪場の整備や自転車道・歩道の整備促進	1	2	3	4	5
8. 森林の適切な管理・利用や緑化対策の推進	1	2	3	4	5
9. 循環型社会の確立を目指したリサイクル・リユースの普及促進	1	2	3	4	5
10. 省エネルギー・再生可能エネルギー推進などの、県民や企業に対する広報啓発活動の推進	1	2	3	4	5
11. 地球温暖化防止に関する講習会・勉強会の開催や地球温暖化問題における学校や地域との連携	1	2	3	4	5
12. 環境問題などに取り組む民間団体への支援や連携	1	2	3	4	5
13. 地球温暖化防止等、企業の環境保全に資する技術開発への支援と公共事業への積極的な導入	1	2	3	4	5

VI 生物多様性^{※1}の保全とネイチャーポジティブ（自然再興）^{※2}

開発や乱獲等による野生生物の種の絶滅や減少、里山・田園地域などの荒廃による生態系の分断や質の劣化、外来種の影響による在来種の絶滅や減少が問題化しています。2022年12月に開催された生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）では、「2030年までに生物多様性の損失を食い止め、反転させ、回復軌道に乗せる」、いわゆる「ネイチャーポジティブ（自然再興）」を国際目標としました。

※1 「生物多様性」とは、全ての生物の間の変異性のことを意味し、種、遺伝子、生態系の3つのレベルでの多様性があるとされています。

※2 「ネイチャーポジティブ（自然再興）」とは、今の地球は過去と比べて非常に速い速度で生物が絶滅していく「マイナス」の状態だが、自然が豊かになっていく「プラス」の状態へと反転させることをいいます。

問 11 (1) あなたは、5、6年前と比べて、身近な自然環境が少なくなってきたと思いますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

1. 思う
2. 少し思う
3. 思わない
4. わからない

(2) あなたは、5、6年前と比べて、身近な野生の植物や動物の種類が変わってきたと思いますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

1. 思う
2. 少し思う
3. 思わない
4. わからない

(3) あなたは、「自然環境」を保全する活動に参加したことはありますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

1. 参加したことがあり、今後も参加したい
2. 参加したことはないが、今後参加してみたい
3. 参加したことはあるが、今後は参加したくない
4. 参加したことはなく、今後も参加したくない
5. 参加したいが、参加の仕方がわからない

(4) あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

1. よく知っている
2. 意味は知らないが、言葉は聞いたことがある
3. 聞いたこともない
4. わからない

(5) あなたは、「ネイチャーポジティブ（自然再興）」という言葉を知っていますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

1. よく知っている
2. 意味は知らないが、言葉は聞いたことがある
3. 聞いたこともない
4. わからない

(6) あなたは、「30by30 目標[※]」という言葉を知っていますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

1. よく知っている
2. 意味は知らないが、言葉は聞いたことがある
3. 聞いたこともない
4. わからない

※「30by30 目標」とは、陸と海のそれぞれで30%以上の面積で、健全な生態系を保全する目標をいいます。

(7) あなたは、「生物多様性」による人類への恩恵（生態系サービス[※]）や、生物多様性の危機と人間社会との関係性について、知っていますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

1. よく知っている
2. だいたい知っている
3. よくは知らないが、今後知りたいと思う
4. 知らないし、興味もない
5. 関係性や恩恵があるとは思えない

※ 私たちが当たり前だと思っている毎日の食事や医療、産業、防災や文化に至るまで、生態系サービスに支えられています。

(8) あなたは、「生物多様性」の保全のために、どの取組を支持しますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

1. 生活の便利さがある程度制限されても、生物が生息等できる環境の保全を優先する
2. 生活の便利さが制限されない程度に、生物が生息等できる環境の保全を進める
3. 生活の便利さを確保するためには、生物が生息等できる環境が失われてもやむを得ない
4. その他 ()
5. わからない

Ⅶ 最後に、あなたご自身についておたずねします

問 12 (1) あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

(2) あなたの年齢をお知らせください。(○は1つ)

1. 18～29歳 4. 50～59歳
2. 30～39歳 5. 60～69歳
3. 40～49歳 6. 70歳以上

(3) あなたのご職業をお答えください。(○は1つ)

1. 会社員 5. 学生
2. 農林漁業 6. パート、アルバイト
3. 2以外の自営業 7. 無職・その他(具体的に)
4. 教職員、公務員

(4) あなたのお住まいの市町村をお答えください。

(例) 高崎 市・町・村

_____市・町・村

(5) お住まいになっている地域の状況として、最も近いものを1つ選び、○をつけてください。(○は1つ)

1. 市街地(駅周辺や商店などが密集した地域) 4. 農村、山村
2. 古くからある住宅地 5. 工場地帯
3. 新興住宅地

環境問題に関する県民意識
アンケート報告書
令和7年2月
群馬県 環境森林部 環境政策課
〒371-8570 群馬県前橋市大手町 1-1-1
TEL. 027-226-2811

この報告書は、再生紙を利用しています。